

横浜市立 中村特別支援学校 小・中・高 令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針

学校 教育 目標	○一人ひとりが生き生きと主体的に生活できる力を高めます。 ・一人ひとりの発達を踏まえ、能力や可能性を伸ばします。【知】 ・健康で安全に他者とのふれあいを大切にしたい学校生活を送れるようにします。【徳】【体】 ・社会参加を推進し、地域での充実し、自立した生活を送れるようにします。【公】【開】						
	創立 41 周年	学校長 菊本 純	副校長 加藤 貴久	2 学期制			
学校 概要	幼児・児童・生徒数: 82 人	幼稚部: 0 人	小学部: 41 人	中学部: 21 人	高等部本科: 25 人	専攻科: 0 人	

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>育成を目指す資質・能力を踏まえた 「12年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他を認める豊かな心</li> <li>・ 自分の体を知る力</li> <li>・ 自分から発信する力</li> <li>・ 国語力及び学習の基礎的能力</li> <li>・ 情報化社会に対応する能力</li> <li>・ 環境の変化に対応する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりが地域社会で自立できる子</li> <li>○自分の思いを表現できる子</li> <li>○いろいろなことにチャレンジできる子</li> </ul> <p>①卒業後の社会自立を図るために児童生徒の良いところを伸ばすための授業研究をすすめる。そのためにも、児童生徒の状態を様々な方向からアセスメントして指導を行う。</p> <p>②居住地での地域活動を促進するために、就学前から学齢、卒業後までの切れ目のない地域連携を強化する。</p> <p>③文化・芸術活動を通して感性を豊かに、心の安定を図る。また、一人ひとりの特性に応じたICT機器を使用し、表現の幅を広げる。</p>

<b>中期 取組 目標</b>	1児童生徒一人ひとりの人権を尊重し、きめ細かい指導を行う。主体的に自分を表現する力を育む。 2教育課程の充実をはかり、一人ひとりの実態に応じた自立に向けた目標設定と評価を行えるように、個別の指導計画等を見直す。 3ICT機器を積極的に授業に取り入れ、検証を進める。また、そのための職員研修を充実させる。 4センター的機能を活かし、コーディネーターやSSWと連携し、ケース会議等課題解決に向けた取組を行う。 5交流及び共同学習を充実させ、地域への啓発を図り、「ともに学び、ともに生きる」社会環境づくりを推進する。 6学校運営協議会を立ち上げ、保護者や地域、関係機関と連携し、進路につながる関係づくりを推進する。
-------------------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知 確かな学力</b> 担当 各学部・学習指導部	①一人ひとりの障害の状態を的確に把握し、子どもの目線に立った個別の指導計画を作成し、保護者や関係諸機関と連携してきめ細かな指導に努める。 ②新しい教育課程(知的障害等)に合わせた教科指導の定着と自立活動の充実を図る。
<b>徳 豊かな心</b> 担当 各学部・交流人権部	①中村小学校や副学籍校、近隣小中学校を含む地域との交流活動を通して、互いの児童生徒の良さを引き出し尊重しあえる関係づくりとなるように、「交流」「共同学習」の充実を図る。 ②日々の教育活動や研修を通して、人権意識を高め「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できるようにする。
<b>体 自分の体を知る力</b> 担当 各学部・自立活動・保健安全給食部	①「健康な体づくり」をテーマに、給食や保健での指導の中で、「食べること」や「感染症予防」などに興味・関心をもち、取り組んでいけるよう支援していく。 ②全教職員が肢体不自由児の身体や感覚等についての学びを深め、児童生徒が日々の学習の中で体を動かす楽しさや心地よさを味わえるように取り組む。
<b>公開 地域連携</b> 担当 支援部・教務部	①地域の行事に参加したり、学校行事に携わるボランティア活動や介護等体験、交流活動を通じて、障害や特別支援学校についての良い理解者や支援者を増やす。 ②学校HPや掲示板、学校運営協議会、児童生徒の居住区での余暇支援を中心とした地域行事などを通じて、情報を発信し、学校の教育活動の理解者を増やして地域との繋がりを深める。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①児童生徒の実態把握に努め、自尊感情の育成の前提となる、自己表現能力の育成にも重きを置くことが大切であるという視点を学校全体で共有する。 ②教職員一人ひとりが人権を意識できるよう、人権チェックシートを実施する。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 教務部	①教職員一人ひとりが自覚と責任を持って組織運営に取り組めるように、組織の再編整備を行う。 ②授業力向上のための研修の充実、人権教育の推進を図るとともに、教職員間のコミュニケーションを密にし、専門性の共有化、共感と信頼し合える人間関係づくりに努める。 ③適材適所を意識した組織を編成することで、全体的な教育の質の向上を目指す。
<b>センター的機能の取組</b> 担当 支援部	①特別支援教育コーディネーターを中心に、就学に関する見学や相談活動に取り組む。また、地域の小中学校の特別な支援を必要とする子どもへの対応について、小中学校の特別支援教育コーディネーターや担任、関係機関との連携を深め、様々なケースに対応できるように努める。
<b>安全管理</b> 担当 防災安全部・医療的ケア委員会	①様々な非常時を想定した避難訓練、不審者対応訓練への取組、そして教職員の防災・防犯研修やAED研修、緊急シミュレーションを積み重ねることで意識を高め、迅速な対応ができるようにする。 ②日々安全な医療的ケアを実践すると共に、リスクマネジメントの取組の中で、ヒヤリハットの蓄積・分析・共通理解を図り、その対策を講じる。
<b>研究</b> 担当 研究研修部・教育課程編成委員会	①タブレット端末を用いた指導・支援の実践に向けて、関係部署と連携し校内研究を運営する。 ②外部講師を招き、児童生徒の指導・支援の場面で活用できる実践的な研修を充実させる。
<b>a15</b> 担当	<b>a25</b>

学校教育目標	
○一人ひとりが生き生きと主体的に生活できる力を高めます。 ・一人ひとりの発達を踏まえ、能力や可能性を伸ばします。【知】 ・健康で安全に他者とのふれあいを大切に学校生活を送れるようにします。【徳】【体】 ・社会参加を推進し、地域での充実し、自立した生活を送れるようにします。【公】【関】	

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	
・自他を認める豊かな心 ・自分の体を知る力 ・自分から発信する力 ・国語力及び学習の基礎的能力 ・情報化社会に対応する能力 ・環境の変化に対応する能力	<b>具体化した資質・能力</b> ・他者と関わろうとする力 ・自分を感ずる力 ・自分の思いを伝える力 ・チャレンジする力

中期取組目標	
1児童生徒一人ひとりの人権を尊重し、きめ細かい指導を行う。主体的に自分を表現する力を育む。 2教育課程の充実をはかり、一人ひとりの実態に応じた自立に向けた目標設定と評価を行えるように、個別の指導計画等を見直す。 3ICT機器を積極的に授業に取り入れ、検証を進める。また、そのための職員研修を充実させる。 4センター的機能を活かし、コーディネーターやSSWと連携し、ケース会議等課題解決に向けた取組を行う。 5交流及び共同学習を充実させ、地域への啓発を図り、「ともに学び、ともに生きる」社会環境づくりを推進する。 6学校運営協議会を立ち上げ、保護者や地域、関係機関と連携し、進路につながる関係づくりを推進する。	

**学力向上アクションプラン**

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	①一人ひとりの障害の状態を的確に把握し、子どもの目線に立った個別の指導計画を作成し、保護者や関係諸機関と連携してきめ細かな指導に努める。 ②新しい教育課程(知的障害等)に合わせた教科指導の定着と自立活動の充実を図る。
担当	各学部・学習指導部

学力向上に関わる本校の状況	今年度の目標
本校では「横浜市学力・学習状況調査」を行っていないため、本校に在籍する児童生徒の実態や様子についてと、取り組んでいる学習課題について説明する。 本校の児童生徒は、その多くが知的障害と肢体不自由のある重度重複障害の子どもたちである。今までは、自立活動を主とした教育過程のもと、身体面でのケアを中心に取り組んできたが、教科的ニーズのある児童生徒も増えてきて、個別のプリント学習に加え、個別や小集団で課題に取り組むなどして対応してきた。 一昨年度より新学習指導要領、横浜市のカリキュラム・マネジメント要領を意識した新しい教育課程の編成を行った。今までの教育活動も生かしつつ、知的障害特別支援学校の各教科の目標や内容を盛り込んだ教育課程を編成するとともに、児童生徒の個々の実態に合わせた教育活動が行えるように日課表も見直したところである。各教科においては、評価の観点も含めた年間指導計画を作成し、各学部やグループで計画に沿った指導を行っている。また、重点研究や年次研究等でも授業研究を行い、児童生徒の実態に即した、きめ細やかな指導ができるような授業づくりに取り組んでいる。	個別の指導計画の見直し ICT機器の活用
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期 ・児童生徒一人ひとりのアセスメントを丁寧に行い、個別の指導計画の作成にあたる。 ・個別の指導計画の教科編と自立活動編それぞれの課題点を集約し、改善点を探る。 ・教科指導の定着を図るとともに、目標設定と評価の一体化について検証していく。 ・わかる授業を展開するためにICT機器を活用した授業の設計にあたっての研修を充実させ、実践に取り組む。	下半期 ・児童生徒一人ひとりのアセスメントを丁寧に行い、個別の指導計画の作成にあたる。 ・個別の指導計画の教科編と自立活動編それぞれの改訂版の作成にあたる。 ・教科指導の定着を図るとともに、目標設定と評価の一体化について検証していく。 ・わかる授業を展開するためにICT機器を活用した授業に取り組み、各クラスの報告会等を行い情報を共有していく。

**豊かな心の育成推進プラン**

重点取組分野	具体的取組
<b>豊かな心</b>	①中村小学校や副学籍校、近隣小中学校を含む地域との交流活動を通して、互いの児童生徒の良さを引き出し尊重しあえる関係づくりとなるように、「交流」「共同学習」の充実を図る。 ②日々の教育活動や研修を通して、人権意識を高め「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できるようにする。
担当	各学部・交流人権部

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
①新型コロナウイルスの影響で、なかよし交流で直接の交流ができなかったが、間接的な交流を通して「交流」を行うことができた。共同学習の面は、間接的な交流のみでは難しく、課題が残った。副学籍交流は、間接的な交流・リモートでの交流・直接交流の様々な方法で交流を行った。 ②人権研修では、様々な事例をもとに“人権”についての基礎など確認し、人権を尊重できる環境について学んできた。また、また、人権チェックシート等を通して、日々の生活の中でも意識しながら指導に当たることができていると感じた。	交流及び共同学習の充実 人権意識のさらなる向上
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期 ・豊かな心とたくましく生きる児童・生徒の育成を目指し、道徳の時間以外における道徳教育と密接な関連を図りながら、これを補充、深化、統合し、人間としての生き方についての自覚を深め、道徳実践力を育成する。 ・道徳教育全体計画・別業の見直しを行う。 ・中村小学校とのなかよし交流や副学籍交流での授業交流を通じて、学びあいが相互理解が深められるよう取り組んでいく。 ・人権チェックシートの見直しとチェックシートのあり方の周知の徹底に努める。	下半期 ・豊かな心とたくましく生きる児童・生徒の育成を目指し、道徳の時間以外における道徳教育と密接な関連を図りながら、これを補充、深化、統合し、人間としての生き方についての自覚を深め、道徳実践力を育成する。 ・道徳教育全体計画・別業の見直しを行う。 ・中村小学校とのなかよし交流や副学籍交流での授業交流を通じて、学びあいが相互理解が深められるような取組を継続していく。 ・人権チェックシートの見直しとチェックシートのあり方の周知の徹底を継続する。

**健やかな体の育成プラン**

重点取組分野	具体的取組
<b>自分の体を知る力</b>	①「健康な体づくり」をテーマに、給食や保健での指導の中で、「食べること」や「感染症予防」などに興味・関心をもち、取り組んでいけるよう支援していく。 ②全教職員が肢体不自由児の身体や感覚等についての学びを深め、児童生徒が日々の学習の中で体を動かす楽しさや心地よさを味わえるよう取り組む。
担当	各学部・自立活動・保健安全給食部

健やかな体に関わる本校の状況	今年度の目標
本校は、重度重複障害のある児童生徒が多く在籍する肢体不自由の特別支援学校であり、日々の体調管理や医療的ケアの実施について、細心の配慮を必要としている。その実態は多岐にわたり、個に応じた教育活動を行いながら、健康の維持、増進を目指すとともに、環境整備や感染症予防などの配慮に努めている。その中でも、給食については、中期学校経営方針にも示した通り、児童生徒が自らの「食べること」や「感染症予防」などに興味関心を持ち、健康や食生活に関わる力が引き出されるようにしたり、食事の重要性、食事の喜びや楽しさを理解し、食事を通じた人間関係形成能力を身に付けられるようにしたりするために、家庭や関係機関と連携した摂食指導や食育の授業を実施している。給食を食べていない、注入等の医療的ケアを実施している児童生徒については、給食のにおいを嗅いだり、食育の授業に参加したりすることで、食と健康についての意識が持てるよう支援している。	健康な体づくり
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期 ・食育の観点を意識した摂食指導の充実を図る。 ・食の大切さを意識した授業の展開に努める。 ・身体機能維持・向上をねらった学習活動を確保する。 ・身体機能面全体に関わる研修の充実を図り、教員のスキルアップに努める。	下半期 ・食育の観点を意識した摂食指導の充実を図る。 ・食の大切さを意識した授業の展開に努める。 ・身体機能維持・向上をねらった学習活動を確保する。 ・身体機能面全体に関わる研修の充実を図り、教員のスキルアップに努める。

■ 年間指導計画

令和4年度 小学部 年間指導計画

小低グループ（1・2年生）

グループ目標	<p>○基本的な生活のリズムを身につけ、楽しく健康に学校生活が送れるようにします。</p> <p>○身のまわりのものに興味を持って、積極的に見たり聞いたり触ったりしながら、自分からかかわろうとする力を育てます。</p> <p>○友だちや教員とのやりとりの中で自分の思いを表現し、気持ちを伝えあう楽しさを感じることができるようになります。</p> <p>○行事や交流を通して多くの経験を積み、様々な人とかかわる楽しさが感じられるようになります。</p>
グループ運営方針	<p>○家庭との連携を図り、個々の健康状態を十分に把握し、健康で安全な学校生活が送れるようにします。</p> <p>○様々な場面で選択する機会を作り、自発的な表出や身体の動きを生かして活動に取り組めるよう支援します。</p> <p>○児童の表出やサインを大切に、一人ひとりに合った表現の仕方を育てます。</p>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事等		中村OP	遠足①	授業参観			遠足②	中村フェスタ				
特別活動(学活)	初めての学校	こどもの日		夏休み前お楽しみ		お月見	ハロウィン		ゆず湯 年末お楽しみ	正月遊び 書き初め	節分	年度末お楽しみ
生活	学校探検	植物を育てよう① (土づくり・植まき)		色水あそび		晴天時：公園に行こう 雨天時：秋を感じよう(秋の素材)		植物を育てよう③ (朝顔の種の収穫・片付け)	紙であそぼう (新聞紙・風)			1年間を振り返ろう
園工	べったんころころ ・自己紹介カード ・クラス旗づくり		カラフルいもず (色水あそび)		スライム		のぼしてべったん (粘土あそび)		ひかりのくにのなかまたち (工作・鑑賞) ※カラーセロハンと光を使って			ひらひら挿れて (工作) ※紙テープやスズランテープ を使って
音楽	みんなで歌おう (簡単な身体表現・楽器あそび)		歌であそぼう (歌に合わせた身体表現・ダンス)			叩いてならそう (楽器あそび)		音やリズムを楽しもう (音探し・音作り・演奏・ダンス)				中村ワンダーランド (音楽に合わせた身体表現・音や演奏の鑑賞)
体育	シーツブランコ ワンロール		エアトランポリン			トランポリン		ボールスライダー				ボール遊び ①いろいろなボール ②釣あて ③ボウリング
交流	なかよし交流(中村小学校1・2年生) 副学級交流											

自立活動：課題別学習(通年) / すいえい(期間未定)

- ・健康の保持増進、学校生活のリズムへの順応
- ・人間関係の形成とコミュニケーションの基礎
- ・感覚・認知
- ・日常生活(身体の清潔・衛生・安全・衣服の着脱、排せ、食事)

教科等を合わせた指導：朝の会 帰りの会 絵本の読み聞かせ 他 (国語・算数の内容を含む)

道徳：学校教育全体を通して、自立活動などとの関連を踏まえて指導を行います。

- ・人とのかかわり
- ・集団の生活
- ・豊かな心
- ・自ら律する態度
- ・個性の大切さ

令和4年度 小学部 年間指導計画

小中グループ (3・4年生)

グループ目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活のリズムを身につけ、楽しく健康に学校生活が送れるようにします。</li> <li>○身のまわりのものに興味を持って、積極的に見たり聞いたり触ったりしながら、自分からかかわろうとする力を育てます。</li> <li>○友だちや教員とのやりとりの中で自分の思いを表現し、気持ちを伝えあう楽しさを感じることができるようになります。</li> <li>○行事や交流を通して多くの経験を積み、様々な人とかかわる楽しさが感じられるようにします。</li> </ul>
グループ運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭との連携を図り、個々の健康状態を十分に把握し、健康で安全な学校生活が送れるようにします。</li> <li>○様々な場面で選択する機会を作り、自発的な表出や身体の動きを生かして活動に取り組めるよう支援します。</li> <li>○児童の表出やサインを大切に、一人ひとりに合った表現の仕方を育てます。</li> </ul>

行事等	卒業式6日 避難訓練(火災) 22日 学部学級懇話会 25日	避難訓練(地震) 6日 家庭訪問9日～ 中村OP28日	志足(市電保存館) 5日 換装体験9日 災害時用食料体験 20日	総合防災訓練1日 個別面談5日～	避難訓練(火災) 5日 前期卒業式7日 後期卒業式11日	中村フェスタ16日	10歳を祝う集会(日付未定) 遠足(みなとみらい) 24日	個別面談16日～	卒業を祝う会3日 卒業式
特別活動		○運動会練習	○遠足事前学習	○遠足事後学習		○中村フェスタに向けて	○中村フェスタに向けて		
生活	①中村探検隊発足 ・出発！学校周りの探検 ①植物を植えよう(ヘチマ/藍)		②中村探検隊 ・突撃！地区センター水遊び ②植物を育てよう(ヘチマ/藍)	③中村探検隊 ・出撃！お遊み(お遊み遊び) ③植物を収穫しよう(ヘチマ)	④中村探検隊 ・開局！中村郵便局 感謝の気持ちを届けよう ④収穫し加工した植物を使ってもらおう				
図工	自己紹介カードとクラス旗を作ろう	不思議なまき物を作ろう	染の物をしよう(～前期末)	はがみを作ろう(後期～)	手作りおもちゃで楽しもう				
音楽	春の音楽会【いろいろな音の重なりを知ろう】	夏の音楽会【手作り楽器deサンバ！】	秋の音楽会【和楽器を演奏しよう】	冬の音楽会【友だちと協力して演奏しよう】	光と音のハーモニー				
体育	準備運動を知ろう【おなかのせいじりん】	燃えろ！小C運動会(様々な動きを取り入れた3種目程度を予定) ※中村OPとは別		ボール運動【ポッチャ】	恒大運動【映像に合わせた揺れや振動など】				
なかよし交流 その他	○自己紹介しよう ・自己紹介カード等の活用	○運動会頑張ろうね ・運動会に向けての活動	○活動内容検討中	○作品展① ・作成した作品を活用しての活動	○作品展② ・作成した作品を活用しての活動	○活動内容検討中	○「ありがとう」を伝えよう ・作成したはがみを活用しての活動		

自立活動：課題別学習(通年) / すいせい(期間未定)

- ・健康の保持増進、学校生活のリズムへの順応
- ・人間関係の形成とコミュニケーションの基礎
- ・感覚・認知
- ・日常生活(身体の清潔・衛生・安全・衣服の着脱、排せ、食事)

教科等を合わせた指導：朝の会 帰りの会 絵本の読み聞かせ 他 (国語・算数の内容を含む)

道徳：学校教育全体を通して、自立活動などとの関連を踏まえて指導を行います。

- ・人とのかかわり
- ・集団の生活
- ・豊かな心
- ・自ら律する態度
- ・個性の大切さ

令和4年度 小学部 年間指導計画

小高グループ（5・6年生）

グループ目標	<p>○基本的な生活のリズムを身につけ、楽しく健康に学校生活が送れるようにします。</p> <p>○身のまわりのものに興味を持って、積極的に見たり聞いたり触ったりしながら、自分からかかわろうとする力を育てます。</p> <p>○友だちや教員とのやりとりの中で自分の思いを表現し、気持ちを伝えあう楽しさを感じることができるようになります。</p> <p>○行事や交流を通して多くの経験を積み、様々な人とかかわる楽しさが感じられるようにします。</p>
グループ運営方針	<p>○家庭との連携を図り、個々の健康状態を十分に把握し、健康で安全な学校生活が送れるようにします。</p> <p>○様々な場面で選択する機会を作り、自発的な表出や身体の動きを生かして活動に取り組めるよう支援します。</p> <p>○児童の表出やサインを大切に、一人ひとりに合った表現の仕方を育てます。</p>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行事等	始業式6日	中村OP28日		校内宿泊学習1日 授業参観9日		ふれあいコンサート？ 遠足（中旬）	前期終業式7日 後期始業式11日 修学旅行20,21日		中村フェスタ14日			小学部集会（卒業） 卒業式20日	
特別活動	みんなよろしく朝の会 クラスの係	OPに向けて	宿泊事前学習			公共のマナー遠足			フェスタに向けて				
生活	お仕事観への① ～校内で働く人～ さつまいもを植えよう		水で遊ぼう！ ～みず+0-?～			お仕事観への②～社会科見学に行こう（警ら隊 消防隊）～ 買い物へ行こう！			さつまいもdeリリース ～収穫＆制作～			感謝の気持ちを伝えよう	
園工	自己紹介カードづくり	絵具でアート① ～クリスマスカードを作ろう～	絵具でアート② ～絵具の楽しみ方を知ろう～		ねんどで好きにアート			ランタンの世界をつくろう		お祝いの花を咲かせよう		小高作品展をしよう	
音楽	どんな友だちがいるかな？ みんなでステキな音を楽しもう！		夏を感じよう			様々な曲調を味わおう。 楽器を知り、自分のやり方で演奏しよう。 秋を感じよう			世界の音楽に親しもう 冬を感じよう		お正月の音楽に親しもう 和を感じよう		リクエスト授業
体育	エアートランポリンをしよう （教室）	波乗りをしよう （教室）	リレーをしよう（体育館）			ポッチャをしよう			体育館で体を動かそう 「滑り台」＆マット運動 （体育館）		歌伝をしよう （廊下、スロープ、ホール）		まどのリクエスト体育
なかよし交流その他		自己紹介 中村OP練習	宿泊学習報告				修学旅行報告	サツマイモリース	中村フェスタ発表			作品展に招待	

自立活動：課題別学習（通年）／すいせい（期間未定）

- ・健康の保持増進、学校生活のリズムへの順応
- ・人間関係の形成とコミュニケーションの基礎
- ・感覚・認知
- ・日常生活（身体の清潔・衛生・安全・衣服の着脱、排せ、食事）

教科等を合わせた指導：朝の会 帰りの会 絵本の読み聞かせ 他（国語・算数の内容を含む）

道徳：学校教育全体を通して、自立活動などとの関連を踏まえて指導を行います。

- ・人とのかかわり
- ・集団の生活
- ・豊かな心
- ・自ら律する態度
- ・個性の大切さ

## 令和4年度 中学部 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学部 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動経験を広げていく中で、自分でできることを増やし、豊かで充実した学校生活を送ることができるよう支援します。(知)</li> <li>○ 健康状態に留意して、学校生活が安全で快適に過ごせるよう支援します。(徳・体)</li> <li>○ 友だちとの活動を通し、集団の一員としての認識を高め、社会性が身につくよう支援します。(公・開)</li> </ul>											
学部 経営 方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別の教育支援計画をもとに、一人ひとりの教育的ニーズに応えます。</li> <li>○ 生徒の個性を尊重して、生徒自身が選択できる場を積極的に設けていきます。</li> <li>○ 保護者、福祉・医療等の関係者等との連携を密にし、生徒の健康管理を図るとともに、学習や社会参加と地域生活がより充実したものになるように支援します。</li> <li>○ 現在及び卒業後の一人ひとりの生活が豊かになるように学校全体の計画に沿って進路支援を行います。</li> </ul>											
道徳	<p>学校教育全体を通して自立活動などとの関連を踏まえて指導を行います。</p> <p>○ 人とのかかわり ○ 集団の生活 ○ 豊かな心 ○ 自ら律する態度 ○ 個性の大切さ</p>											
特別 活動 ・ 横浜の 時間	始業式 入学式	中村オン ピック	遠足  修学旅行	授業参観	総合防災 訓練  レイン ボーフ ェスタ みなみ		宿泊学習  平楽中交 流	中村フェ スタ				卒業を祝 う会  卒業式  修了式 離任式
集 団 で の 学 習	音楽	音を知る 「自分の音、友だちの 音」		リズム 「速いとゆっくりの違いを意識し て」		メロディー「高いと低い を意識して」		身体表現		創る・発表する		
	美術	自己紹 介カー ド	クラス旗	ゼリーアート		ダイナミックアート		紙染め	ランタン 作り	紙粘土	1年間の まとめ	
	体育	リトミ ック・パ ラバル ーン	オリジナ ル徒競走	風船バレ ー	Tボール	台車スライダー		トランポ リン	ポッチャ	エアトランポリン		
	技術・ 家庭	植物育成に関する技術		私たち食生活		清掃に関する技術		材料と加 工に関する 技術①	材料と加工に関する 技術②	衣服	1年間の まとめ	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動(6月～2月)</li> <li>・すいえい(6月～11月)</li> </ul>										

個別 または 小集団 での 学習	個別の課題に応じた学習 ・自立活動（通年） ・課題別学習（通年） ・小集団学習（通年）
------------------------------	--

令和4年度 高等部 年間指導計画

		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部目標		☆小・中学部の教育をふまえ高等部までの一貫した教育を通して、教育目標の具現化を図ることを教育方針とします。 ○小・中学部で培った力を卒業後も生活の中で生かすために学習内容を工夫し、実践を進めます。 ○自分の感情や要求を積極的に表現する力を高めるように支援します。 ○仲間や教員と一緒に充実した学校生活を送れるようにします。 ○社会参加する中で、興味・関心の幅を広げるように支援します。 ○医療や福祉との連携の中で、生徒の安定した健康状態を作るように支援します。											
学部経営方針		☆生徒本人が「自分らしく」生活していく将来（どんなことをやりたいのか、どんな生活を送りたいのか等自分の生き方）を探ります。 ○小学部、中学部で培った学習経験をさらに生かして、卒業後の生活につなげます。 ○卒業後を見据えた社会生活に役立つ経験を積み、生活力を高めます。 ○卒業後の社会生活に向けて具体的に活動します。											
道徳		☆学校教育全体を通して自立活動などとの関連をふまえて指導を行います。 ← ●人との関わり ●集団の生活 ●豊かな心 ●自ら律する態度 ●個性の大切さ →											
特別活動		・始業式 ・入学式 ・内科検診 ・身体計測 ・全校集会 ・合同避難訓練 ・歯科検診	・合同避難訓練 ・眼科検診 ・全校集会	・保健集会 ・身体計測 ・耳鼻科検診	・合同不審者対応訓練 ・1・2年合同遠足 ・給食集会 ・全校集会	・総合防災訓練 ・身体計測 ・全校集会 ・レインボーFみなみ	・合同避難訓練 ・宿泊前検診 ・修学旅行	・保健集会 ・身体計測 ・中村オリンピック	中村フェスタ 歯科検診 ・弘済会コンサート ・全校集会	・全校集会 ・避難訓練 ・身体計測 ・給食集会	・3年遠足 ・卒業生を送る会	・卒業生を祝う会 ・卒業式 ・修了式	
		朝のHR、帰りのHR、係活動、集会、どんとこいみなみとの交流、フレンドシップなどの公共施設利用、コンサート等											
		← 3年：現場実習 1、2年：一日体験実習 →											
自立活動	学部活動	新入生歓迎会		レインボーF準備委員会			中村フェスタ 準備委員会			卒業・進級に向けて			
	音楽	「日本の音楽」『和太鼓 de 祭囃子』				「東南アジアの音楽」				「鑑賞・音と光のハーモニー」			
	美術	ココロアート		土と仲良くなる	クラス旗づくり	装飾旗づくり	土のオブジェを作ろう		1、2年生 「3年生を送り出す準備をしよう」 3年 卒業制作オルゴール 「デコパージュ」				
	体育	粗大運動	球技①(9) (ポッチャ、Tボール等)			レクリエーションスポーツ (運動パレー、ダンス、ボウリング、パラバレーン)			球技②(9) (ポッチャ、Tボール等)				
	職業・家庭	オリエンテーション	紙工～名刺づくり			布工～花ふきんちゃくづくり～		季節を感じるペーパープレート作り 卒業生のネームプレート作り		レジ袋ストッカーを作って卒業生に贈ろう (1、2年) 卒業記念タペストリーを作ろう(3年)			
	課題別学習	課題別学習/小集団学習											
		・健康の保持増進、学校生活のリズムへの順応 ・人間関係の形成とコミュニケーションの基礎 ・感覚・認知 ・日常生活(身体の清潔・衛生・安全、衣服の着脱、排泄、食事)											



令和4年(2022年)度 分教室 小学部 年間指導計画

学部目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味や関心が広がるように学習内容を工夫し、活動的で楽しい学校生活を送ることができるようにします。(知)</li> <li>・横浜医療福祉センター・港南との連携の中で、体調や生活のリズムを整え、健康で安全な学校生活を送ることができるようにします。(徳)(体)</li> <li>・友だちや教員とのやりとりの中で自分の思いを表現し、豊かな生活を送ることができるようにします。(公)(開)</li> </ul>
学部経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面で選択する機会を作り、自発的な表出や身体の動きを生かして活動に取り組めるように支援します。</li> <li>・居室のスタッフや保護者との情報交換を密にし、健康状態の変化を把握しながら快適な学校生活を送ることができるように支援します。</li> <li>・児童同士が関わり合えるような活動や場面を設定し、支援の仕方を工夫します。</li> <li>・児童の表出やサインを大切に、一人ひとりに合った表現の仕方を育てます。</li> </ul>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別活動	入学式 始業式  KONAN TIME・ライブ図書館・クラブ活動	校外散策	港南オリンピック	(子どものアトリエ) 来年度末まで閉館		(日野南中との音楽交流)	とちのき祭 校外散策	(ロック音楽交流) (金沢動物園出張授業)	港南フェスタ (音楽交流会)	(手話ダンス交流)	(小坪小学校6年生との交流) 10歳を祝う会	・卒業生を祝う会 ・卒業式 ・修了式 ・離任式

道徳	☆学校教育全体を通して指導を行います。 ●人との関わり ●集団の生活 ●豊かな心 ●自ら律する態度 ●個性の大切さ											
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

教科別・教科等を合わせた指導	体育	その他の運動 粗大運動 ・リトミックと揺れの運動	粗大運動 ・エアートランポリン	球技 ・的あてゲーム	粗大運動 ・水袋体験	その他の運動 ・港南オリンピック	球技 ・ポッチャ	その他の運動 ・リトミック	粗大運動 ・台車スライダー	リクエスト授業			
	音楽	音楽で友だちの輪を広げよう	リズムを感じ取ろう	いろいろな音を楽しもう 雨の音	海・波の音	虫の声	合奏 指揮者体験	雪の世界 ヘル系	音楽鑑賞会・紅白歌 合戦 クリスマスソング他	日本の伝統音楽 和太鼓 わらべうた	日本の伝統音楽 和太鼓 わらべうた	リクエスト音楽	
	図工	誕生日、自己紹介 カードを作ろう(平面)	クラス旗を作ろう (平面・版画)	光るかたつむりを作ろう (立体・工作・感触)	タオルを染めよう (平面・絵の具)	自分だけの花火を作ろう (絵の具・工作)	クリスマス絵巻に親しむ (造形遊び・粘土・立体)	クリスマス飾りを作ろう (立体・絵の具・工作)	クリスマスの飾りを作ろう (立体・絵の具・光・感触)	クリスマスの飾り作ろう (立体・絵の具・光・感触)	新聞紙でマイだるまを作ろう (立体・工作・感触)	卒業の飾りを作ろう (平面・版画・絵の具) (高3のみ卒業制作花瓶を作る)	1年間の思い出をアルバムにしよう (平面・絵の具・光・版画・工作)
	生活	新緑の季節を感じよう [自然]		サツマイモを植えよう [自然]	・夏だ！祭りだ！[身の回りの生活] ・お月見をしよう[身の回りの生活]		紙すぎでカードを作ろう [社会]	種・サツマイモをいろいろしてみよう? [自然]	・冬至です。ゆず湯です。 ・年賀状を書こう [身の回りの生活]	・餅つきをしよう・ 伝承遊びを楽しもう [身の回りの生活]	・豆まきをしよう [身の回りの生活] ・買い物をしてみよう[社会]	お世話になった人に感謝の気持ちを届けよう[社会]	
	課題別学習	課題別学習/小集団学習(児童の実態に応じた課題に取り組む)											
	朝の会/帰りの会	はじまりの挨拶、日付の確認、出席確認、今日の予定、今月の歌、先生の話し、おわりの挨拶 / はじまりの挨拶、今日の感想、明日の予定、おわりの歌											
	日常生活の学習	健康の保持増進 学校生活のリズムへの順応 人間関係の形成とコミュニケーションの基礎 日常生活(身体の清潔・衛生・安全)											
	国際理解教室	異文化交流											
	KONAN TIME	学部間を超えた集会活動を行う。											
	ライブ図書館	読み聞かせ パネルシアター エブロンシアター											
クラブ活動	異学年交流を目的とし、児童生徒の興味関心に合わせた活動を企画する。												
※ 学校行事	儀式的な行事 遠足 交流												
自立活動	健康の保持 心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き コミュニケーション												

※特別活動

令和4年(2022年)度 分教室 中学部 年間指導計画

学部目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動経験を広げていく中で、やろうとする意欲を高め、豊かで充実した学校生活を送ることができるようにします。(知)</li> <li>横浜医療福祉センター・港南との連携の中で、健康状態に留意して学校生活が安全で快適に過ごすことができるようにします。(徳)(体)</li> <li>いろいろな人との活動を通し、集団の一員としての意識を高め、社会性の基礎が身につくようにします。(公)(関)</li> </ul>
学部経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の個性を尊重して、生徒自身が選択できる場面を積極的に設け、より意欲的に活動に臨めるように支援します。</li> <li>保護者、福祉・医療等の関係諸機関との連携を密にし、体の変化に対応した健康管理を図ります。</li> <li>人との関わりを大切に、触れ合いを通して気持ちや要求を伝えようとする意欲(気持ち)を育てます。</li> </ul>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別活動	入学式 始業式	校外散策	1/2成人式 港南オリンピック	子どものアトリエ		日野南中との音楽交流	とちのき祭 校外散策	ロック音楽交流 金沢動物園出張授業	港南フェスタ 音楽交流会	手話ダンス交流		<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業生を祝う会</li> <li>卒業式</li> <li>修了式</li> <li>離任任式</li> </ul>
	KONAN TIME・ライブ図書館・クラブ活動											
	学級活動											

道徳	☆学校教育全体を通して指導を行います。 ●人との関わり ●集団の生活 ●豊かな心 ●自ら律する態度 ●個性の大切さ											
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

教科別・教科等を合わせた指導	体育	その他の運動 粗大運動 ・リトミックと揺れの運動	粗大運動 ・エアートランポリン	球技 ・的あてゲーム	粗大運動 ・水袋体験	その他の運動 ・港南オリンピック	球技 ・ポッチャ	その他の運動 ・リトミック	粗大運動 ・台車ライダー	リクエスト授業		
	音楽	音楽で友だちの輪を広げよう	リズムを感じ取ろう	いろいろな音を楽しもう				音楽鑑賞会・紅白歌合戦 クリスマスソング他	日本の伝統音楽 和太鼓 わらべうた	日本の伝統音楽 和太鼓 わらべうた	リクエスト音楽	
	図工	誕生日、自己紹介カードを作ろう(平面)	クラス旗を作ろう(平面・版画)	光るかたつむりを作ろう(立体・工作・感触)	タオルを染めよう(平面・絵の具)	自分だけの花火を作ろう(絵の具・工作)	自分だけの花火を作ろう(造形遊び・粘土・立体)	クリスマス飾りを作ろう(立体・絵の具・光・感触)	クリスマス飾りを作ろう(立体・絵の具・光・感触)	新聞紙でマイだるまを作ろう(立体・工作・感触)	卒業の飾りを作ろう(平面・版画・絵の具)(高3のみ卒業制作花瓶を作る)	1年間の思い出をアルバムにしよう(平面・絵の具・光・版画・工作)
	生活	新緑の季節を感じよう[自然]	サツマイモを植えよう[自然]	夏だ!祭りだ![身の回りの生活] お月見をしよう[身の回りの生活]			紙すきでカードを作ろう[社会]	種・サツマイモをいろいろしてみよう?[自然]	餅つきをしよう・年賀状を書こう[身の回りの生活]	餅つきをしよう・伝承遊びを楽しもう[身の回りの生活]	豆まきをしよう[身の回りの生活] 買い物をしてみよう[社会]	お世話になった人に感謝の気持ちを届けよう[社会]
	課題別学習	課題別学習/小集団学習(生徒の実態に応じた課題に取り組む)										
	朝のHR/帰りのHR	はじまりの挨拶、日付の確認、出席確認、今日の予定、今日の歌、先生の話し、おわりの挨拶 / はじまりの挨拶、今日の感想、明日の予定、おわりの歌										
	日常生活の学習	健康の保持増進 学校生活のリズムへの順応 人間関係の形成とコミュニケーションの基礎 日常生活(身体の清潔・衛生・安全)										
	国際理解教室	異文化交流										
	KONAN TIME	学部間を超えた集会活動を行う。										
	ライブ図書館	読み聞かせ パネルシアター エブロンシアター										
クラブ活動	異学年交流を目的とし、児童生徒の興味関心に合わせた活動を企画する。											
※ 学校行事	儀式的な行事 遠足 交流											
自立活動	健康の保持 心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き コミュニケーション											

※特別活動

令和4年(2022年)度 分教室 高等部 年間指導計画

学部目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部、中学部で培った力をさらに伸ばし、卒業後の生活につなげて、充実した学校生活を送ることができるようにします。(知)</li> <li>・横浜医療福祉センター・港南との連携の中で、安定した健康状態で学校生活を安全に過ごすことができるようにします。(徳)(体)</li> <li>・交流や体験学習等を通して、地域や社会への興味・関心を広げ、豊かな人間関係を築くことができるようにします。(公)(開)</li> </ul>
学部経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の学習活動の中で、選択する力や思いを表出する力をさらに伸ばし、卒業後の生活に生かすことができるように支援します。</li> <li>・保護者、居室やリハ科スタッフと情報交換を密にし、健康状態を把握しながら安全に学校生活を送ることができるように支援します。</li> <li>・交流や共同学習、体験学習を通して、いろいろな人と触れ合い、人との関わりを楽しむことができるように支援します。</li> </ul>

	4月	5月	6月	7月	8月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別活動	入学式 始業式	校外散策	1/2成人式 港南オリンピック	子どものアトリエ		日野南中との音楽交流	とちのき祭 校外散策	ロック音楽交流 金沢動物園出張授業 修学旅行	港南フェスタ 音楽交流会	手話ダンス交流		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生を祝う会</li> <li>・卒業式</li> <li>・修了式</li> <li>・離任任式</li> </ul>
	KONAN TIME・ライブ図書館・クラブ活動											
	学級活動											

道徳	☆学校教育全体を通して指導を行います。 ← ●人との関わり ●集団の生活 ●豊かな心 ●自ら律する態度 ●個性の大切さ →											
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

教科別・教科等を合わせた指導	体育	その他の運動 粗大運動 ・リトミックと揺れの運動	粗大運動 ・エアートランポリン	球技 ・的あてゲーム	粗大運動 ・水袋体験	その他の運動 ・港南オリンピック	球技 ・ポッチャ	その他の運動 ・リトミック	粗大運動 ・台車スライダー	リクエスト授業		
	音楽	音楽で友だちの輪を広げよう	リズムを感じ取ろう	いろいろな音を楽しもう					日本の伝統音楽 和太鼓 わらべうた	日本の伝統音楽 和太鼓 わらべうた	リクエスト音楽	
	図工	誕生日、自己紹介カードを作ろう(平面)	クラス旗を作ろう(平面・版画)	光るかたつむりを作ろう(立体・工作・感触)	タオルを染めよう(平面・絵の具)	自分だけの花火を作ろう(絵の具・工作)	自分だけの花火を作ろう(造形遊び・粘土・立体)	クリスマス飾りを作ろう(立体・絵の具・光・感触)	クリスマス飾りを作ろう(立体・絵の具・光・感触)	新聞紙でマイだるまを作ろう(立体・工作・感触)	卒業の飾りを作ろう(平面・版画・絵の具)(高3のみ卒業制作花瓶を作る)	1年間の思い出をアルバムにしよう(平面・絵の具・光・版画・工作)
	生活	新緑の季節を感じよう[自然]	サツマイモを植えよう[自然]	夏だ！祭りだ！[身の回りの生活] お月見をしよう[身の回りの生活]			紙すきでカードを作ろう[社会]	種・サツマイモをいろいろしてみよう?![自然]	餅つきをしよう。お正月です。年賀状を書こう[身の回りの生活]	餅つきをしよう。伝承遊びを楽しもう[身の回りの生活]	豆まきをしよう[身の回りの生活] 買い物をしてみよう[社会]	お世話になった人に感謝の気持ちを届けよう[社会]
	課題別学習	課題別学習/小集団学習(生徒の実態に応じた課題に取り組む)										
	朝のHR/帰りのHR	はじまりの挨拶、日付の確認、出席確認、今日の予定、今日の歌、先生の話し、おわりの挨拶 / はじまりの挨拶、今日の感想、明日の予定、おわりの歌										
	日常生活の学習	健康の保持増進 学校生活のリズムへの順応 人間関係の形成とコミュニケーションの基礎 日常生活(身体の清潔・衛生・安全)										
	国際理解教室	異文化交流										
	KONAN TIME	学部間を超えた集会活動を行う。										
	ライブ図書館	読み聞かせ パネルシアター エブロンシアター										
クラブ活動	異学年交流を目的とし、児童生徒の興味関心に合わせた活動を企画する。											
※ 学校行事	儀式的な行事 遠足 交流											
自立活動	健康の保持 心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き コミュニケーション											

※特別活動

2022年版

# 個別の教育支援計画・個別の指導計画作成の手引き

横浜市立中村特別支援学校

## 目次

I	個別の教育支援計画・個別の指導計画とは	2
II	中村特別支援学校での進め方	
	1 作成・変更・追加について	
	(1) 個別の教育支援計画	3
	(2) 個別の指導計画	4
	2 記入時期と1年間の流れについて	
	(1) 小学部1年生	5
	(2) 小学部2年生～高等部3年生	6
	3 データの保存について	
	4 文書（プリントしたもの）の保存について	} 7
	5 校内でのデータおよび文書の管理	
	6 家庭での文書の保管について（保護者）	
	7 個別の指導計画の評価について	8
III	個別の教育支援計画の書式および記入方法	
	【小・中学部】基本情報シート 表面	9
	【小学部1年～3年】基本情報シート 裏面	10
	【小学部4年～6年】基本情報シート 裏面	11
	【中学部】基本情報シート 裏面	12
	【高等部】基本情報シート	13
	移行支援シート 基本情報	15
	移行支援シート 追加様式1	17
	移行支援シート 追加様式2	18
	移行支援シート 追加様式3	20
	【教育的ニーズの絞り込みについて】	21
IV	個別の指導計画の書式および記入のポイント	
	アセスメントシート【教科等】	22
	個別の指導計画【教科等】	23
	アセスメントシート【自立活動】	24
	個別の指導計画【自立活動】	25
	同意書	26
V	記入例	
	【小学部】基本情報シート（個別の教育支援計画）	27
	【中学部】基本情報シート（個別の教育支援計画）	29
	【高等部】基本情報シート（個別の教育支援計画）	31
	移行支援シート 基本情報	33
	移行支援シート 追加様式1	34
	移行支援シート 追加様式2	35
	移行支援シート 追加様式3	36
	アセスメントシート【教科等】	37
	個別の指導計画【教科等】	41
	アセスメントシート【自立活動】	44
	個別の指導計画【自立活動】	45
	同意書	46

# I 個別の教育支援計画・個別の指導計画とは【特別支援教育課 2019年3月発行 「個別の教育支援計画・個別の指導計画 作成の手引き」より】

## (1) 個別の教育支援計画

- ◆一人ひとりのニーズを正確に把握します。
- ◆教育の視点から適切に対応していきます。
- ◆福祉、医療、労働等の関係機関と連携を図ります。
- ◆乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って作成します。
- ◆学校が中心となって、本人・保護者と一緒に作成します。【合意形成】
- ◆関係者が情報を共有し、役割分担しながら適切な支援に生かします。

「個別の教育支援計画」とは…  
他機関との連携を図り、一貫して的確な  
教育的支援を行なうための計画です。



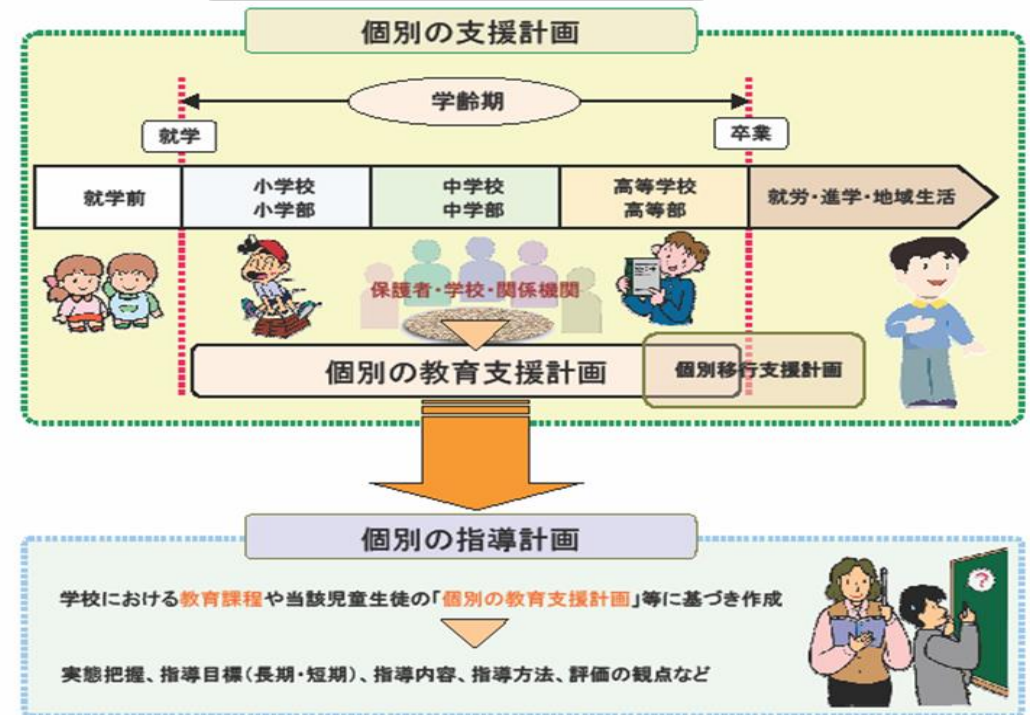
「個別の指導計画」とは…  
学校全体で適切な指導・支援を行  
なうためのきめ細かい計画です。

## (2) 個別の指導計画

- ◆実態把握を丁寧に行いません。
- ◆個別の教育支援計画や学校の教育課程を踏まえます。
- ◆より具体的に一人ひとりの目標を設定し、目標達成に向け、指導内容や指導形態、指導方法等を明確にします。
- ◆一人ひとりの状態に応じたきめ細かな指導を行いません。
- ◆作成に当たっては、本人・保護者の同意を得ることが望ましいです。
- ◆本人・保護者、教職員などが共通理解いて、指導を行いません。

### 基本的な考え方

- 1 計画的・組織的に、一貫した指導・支援を行います。
- 2 積極的に子ども・保護者の参加を図ります。
- 3 校内教職員や地域・関係機関と共に子どもを支えるために活用します。
- 4 保護者との信頼関係を深めます。
- 5 情報を共有して、一貫した支援を行うために活用します。

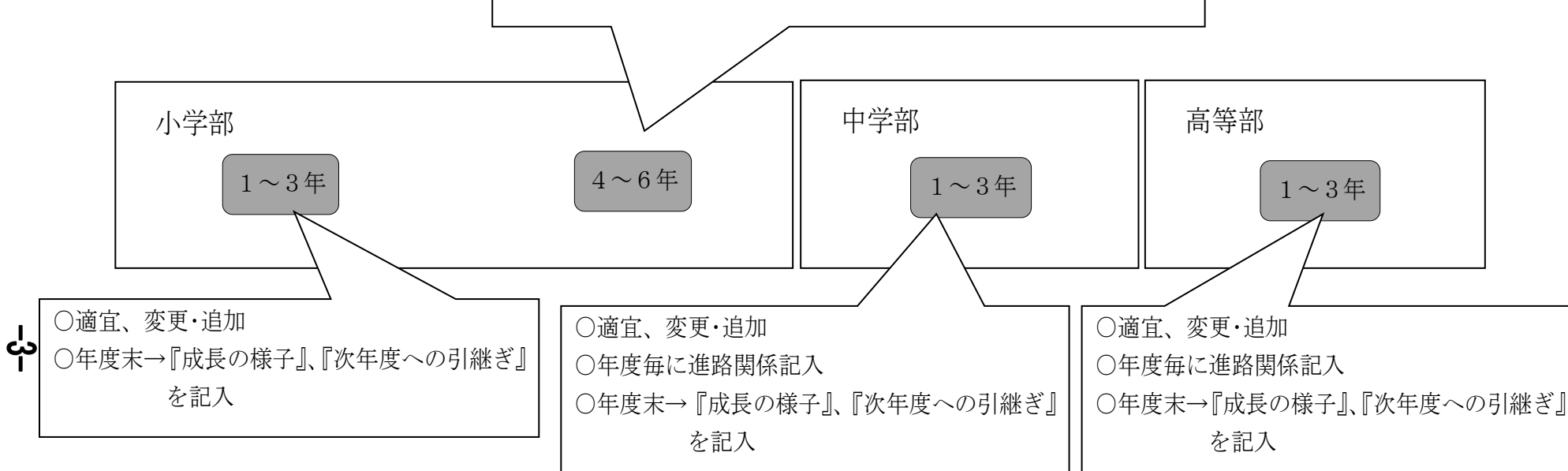


本校では 【アセスメントシート(教科等)】【アセスメントシート(自立活動)】  
【個別の指導計画(教科等)】【個別の指導計画(自立活動)】  
の4つの書式をまとめて、**個別の指導計画**とします。

## Ⅱ 中村特別支援学校での進め方

### 1 作成・変更・追加について

#### (1) 個別の教育支援計画



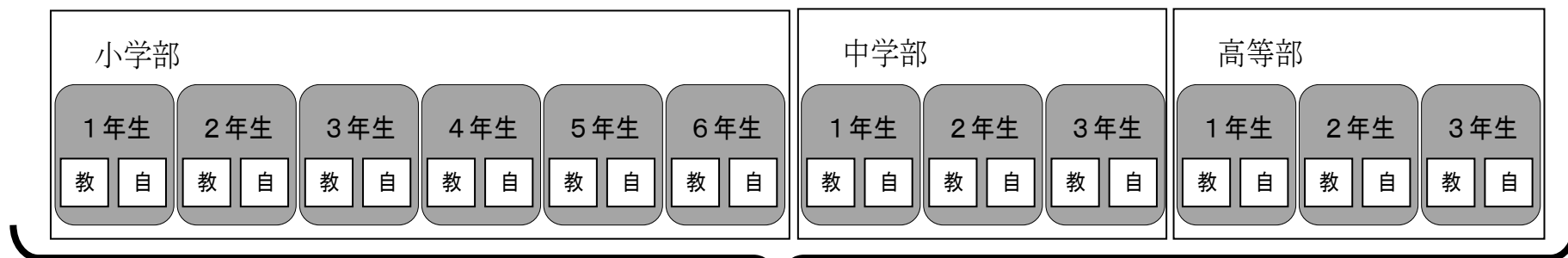
※ 個別の教育支援計画は適宜(特に年度末)変更や追加をし(年月を記入)、面談等で保護者と確認の上、すでにある文書と差し替えていく。



前情報を削除しない(黒の取消線と黒字で処理する)

(2) 個別の指導計画

① アセスメントシート



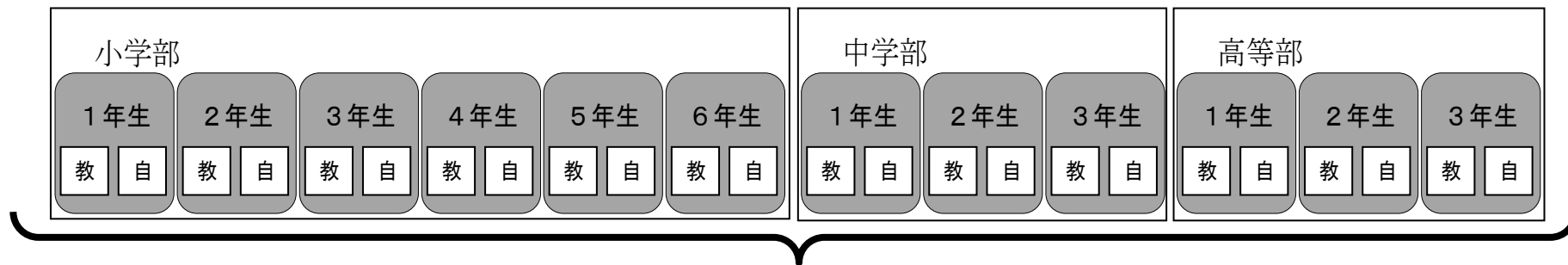
アセスメントシートは、年間で（教科等）と（自立活動）の2枚を作成する。

② 個別の指導計画

4

個別の指導計画は、年間で（教科等）と（自立活動）を1枚ずつ作成する。

年間：（教科等） 1枚 + （自立活動） 1枚 = 2枚 } 合計 2枚



年間で2枚（教科等と自立活動）の個別の指導計画を作成する。



## 2 記入時期と1年間の流れについて

### (1) 小学部1年生と4月入学の転入生

小学部1年生と4月入学の転入生	
5月	<p>○家庭訪問にて聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」</li> <li>・「アセスメントシート（教科等）」</li> <li>・「アセスメントシート（自立活動）」</li> </ul> <p>作成のための聞き取りを丁寧に行う</p> <p>○5月の学級会にて学級検討（適宜）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」</li> <li>・「アセスメントシート（教科等）」「アセスメントシート（自立活動）」</li> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」→指導目標および指導の手立て</li> </ul> <p>*家庭で保管するファイルを用意してもらうように説明する。</p>
6月	<p>○個別面談にて確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」「アセスメントシート（教科）」「アセスメントシート（自立活動）」「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」を確認</li> </ul>
9月	<p>○学級検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の指導経過について共通理解を図る。※評価（記入）はしない。</li> </ul> <p>○個別面談にて共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の指導経過を口頭で確認する。</li> </ul>
2月	<p>○学級検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」の変更点、成長の様子、次年度への引継ぎ等を記入する。</li> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の評価をする。</li> </ul> <p>○個別面談にて確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」変更点、成長の様子、次年度への引継ぎ等を確認する。</li> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の評価を確認する。</li> </ul>
3月	<p>●校内作業（次年度用の引き継ぎ文書作り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アセスメントシート（教科等）」</li> <li>「アセスメントシート（自立活動）」</li> <li>「個別の指導計画（教科等）」</li> <li>「個別の指導計画（自立活動）」</li> </ul> <p>※ 個別の指導計画の新目標と新指導内容・手立ても記入する</p>

次年度用の  
「アセスメントシート」  
「個別の指導計画」は、  
**赤で「加筆・訂正」を行う。**

※年度中に作成・評価したものは、必ず別  
データで作成すること！

○学級検討（5～8月、9月、2月）後…

校長・副校長の点検を受け、面談前に保護者に配布する。 ※記載月日(作成日)は、無記入とする。

○個別面談（9月、2月）後…

清書を保護者に渡す。下書きとして保護者へ渡したものに修正がなければ、面談時にその場で日付を入れて清書としてもかまわない。

①通常用いている紙でよい。

②清書の記載月日(作成日)は、内容を確認した実際の日(実際の面談日)とする。

③個別の指導計画の作成者の欄については、年度途中で担当が変わった場合のみ連名可とする。

④個別の教育支援計画の基本情報シート1枚目下にある、年月日、保護者同意の署名は、内容を確認した実際の日(実際の面談日)とする。(※年度始めのみ) 同様に、1枚目中間にある個別の教育支援計画は面談時、2枚印刷をし、一枚は保護者へ(無記名)、一枚は保護者同意の署名をしてもらったものを担当が持ち、個人ファイルに保管する。

(2) 小学部2年生～高等部3年生

小学部2年生～高等部3年生	
5月	<p>○学級検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」を確認</li> <li>・「アセスメントシート（教科等）」「アセスメントシート（自立活動）」</li> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」</li> </ul> <p>※高等部は移行支援シートも含む</p> <p>○家庭訪問 or 個別面談にて確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」「アセスメントシート（教科等）」「アセスメントシート（自立活動）」「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」を確認。※高等部は移行支援シート（基本情報シート）も含む</li> </ul>
9月	<p>○学級検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の指導経過について共通理解を図る。※評価（記入）はしない。</li> </ul> <p>○個別面談にて共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の指導経過を口頭で確認する。</li> </ul>
2月	<p>○学級検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」の変更点、成長の様子、次年度への引継ぎ等を記入する。</li> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の評価を行なう。</li> </ul> <p>※ <u>高等部の移行支援シートも含む（基本情報、追加様式1、追加様式3に関しては高1年度末に作成しておく）</u></p> <p>○個別面談にて確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別の教育支援計画」変更点、成長の様子、次年度への引継ぎ等を確認する。</li> <li>・「個別の指導計画（教科等）」「個別の指導計画（自立活動）」の評価を確認する。</li> </ul>
3月	<p>●校内作業（次年度用の引き継ぎ文書作り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アセスメントシート（教科等）」</li> <li>「アセスメントシート（自立活動）」</li> <li>「個別の指導計画（教科等）」</li> <li>「個別の指導計画（自立活動）」</li> </ul> <p>※小6、中3に関しては、次年度用の「個別の教育支援計画」の作成、中3は移行支援シート（基本情報）と追加様式1の作成。</p> <p>※ 個別の指導計画の新目標と新指導内容・手立ても記入する</p>

次年度用の  
「アセスメントシート」  
「個別の指導計画」は、  
赤で「加筆・訂正」を行う。

※年度中に作成・評価したものは、必ず別  
データで作成すること！

○学級検討（5・2月）後…

校長・副校長の点検を受け、面談前に保護者に配布する。 ※記載月日(作成日)は、無記入とする。

○家庭訪問（5月）&個別面談（5・2月）後…

清書を保護者に渡す。下書きとして保護者へ渡したものに修正がなければ、面談時にその場で日付を入れて清書としてもかまわない。

①通常用いている紙でよい。

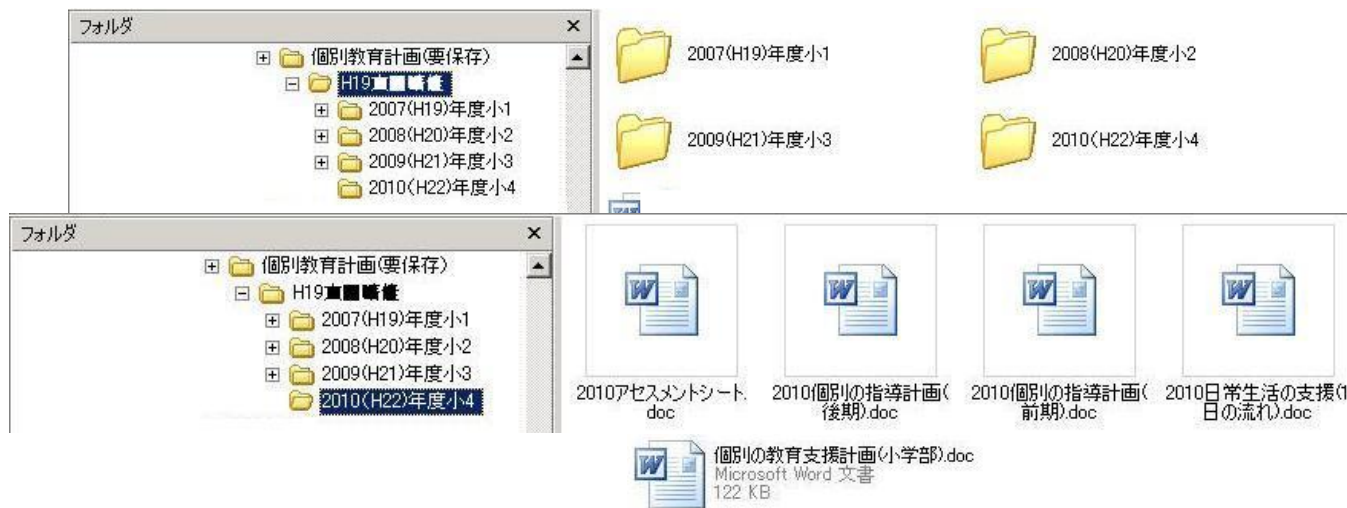
②清書の記載月日(作成日)は、内容を確認した実際の日(実際の面談日)とする。

③個別の指導計画の作成者の欄については、年度途中で担当が変わった場合のみ連名可とする。

④個別の教育支援計画の基本情報シート1枚目下にある、年月日、保護者同意の署名は、内容を確認した実際の日(実際の面談日)とする。(※年度始めのみ) 個別の教育支援計画は面談時、2枚印刷をし、一枚は保護者へ（無記名）、一枚は保護者同意の署名をしてもらったものを担任が持ち、個人ファイルに保管する。

※高等部の移行支援シート、基本情報、追加様式3に関しても同様の流れとする。

### 3 データの保存について（サーバー内：**共通** → **個別の教育支援計画（要保存）**）



※年度末に加筆・訂正した文書データも入れる  
…ファイル名を変える【例:2010 アセスメントシート(引継ぎ用)】

★個別の教育支援計画（要保存）内の各個人学年別フォルダに下記一式を保存

#### 【個別の指導計画】

- アセスメントシート【教科等】
- 個別の指導計画【教科等】
- アセスメントシート【自立活動】
- 個別の指導計画【自立活動】

\*年度末に**赤で加筆訂正した**引継ぎ用の文書データもファイル名を変えて保存

#### 【個別の教育支援計画】

\*小学部は6年間、中学部・高等部は3年間、**前情報を削除せずに黒で追加・訂正**していく。

\*「保護者確認月日」には年度末に保護者からの確認が取れた日（面談日）を入力して保存。

#### 【移行支援シート（基本情報・追加様式1, 3）】

\*高等部のみ

### 4 文書（プリントしたもの）の保存について（保管場所：校長室）

★**基本情報綴（個人ファイル）**に綴じるもの

#### 【個別の指導計画】

- アセスメントシート【教科等】【自立活動】
- 前期・後期個別の指導計画【教科等】【自立活動】
- \***年度末に赤で加筆・訂正した文書（引き継ぎ用文書）**も入れる  
(前年度の引継ぎ用文書は年度末に破棄する)

#### 【個別の教育支援計画】

- \*小学部は6年間、中学部・高等部は3年間、**前情報を削除せずに黒で追加・訂正**していく。
- \***新書式**に関しては、年度始めに基本情報シート下の保護者の同意の署名と「保護者確認月日（5月面談日）」を得たものと、年度末に「保護者確認月日（2月面談日）」を得たもの2枚を綴じる。

#### 【移行支援シート】※高等部のみ

- 基本情報（保護者同意の署名を得たもの）
- 追加様式1
- 追加様式3（保護者同意の署名を得たもの）
- \***前情報を削除せずに黒で追加・訂正**していく。

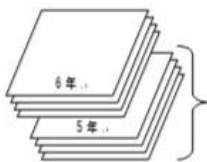
※上記の一式を各学年ごとにまとめて綴じる。

### 5 校内でのデータおよび文書管理

- ・教務部内の担当係が管理する。
- ・卒業、転出等の後、5年間を経過したものは、データおよび文書ともに廃棄する。

### 6 家庭での文書の保管について(保護者)

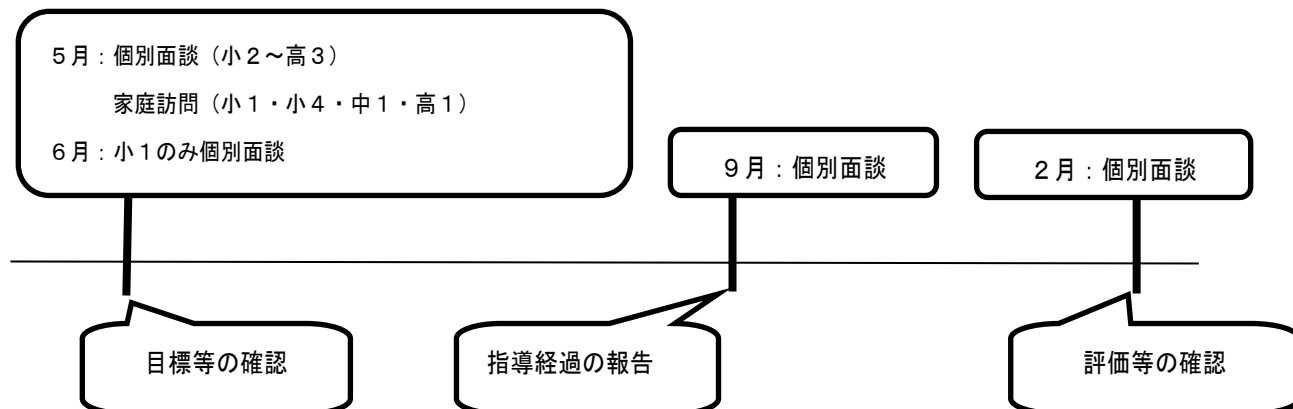
- ・校内と同様に保存してもらう。  
※個別の教育支援計画は、学部ごとに常に最新の文書に差し替えてもらう。
- ・面談(家庭訪問)時には「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を手元に用意してもらい、話し合いに役立てる。
- ・文書のやりとりには「連絡ファイル」を使用する。



## 7 個別の指導計画の評価について

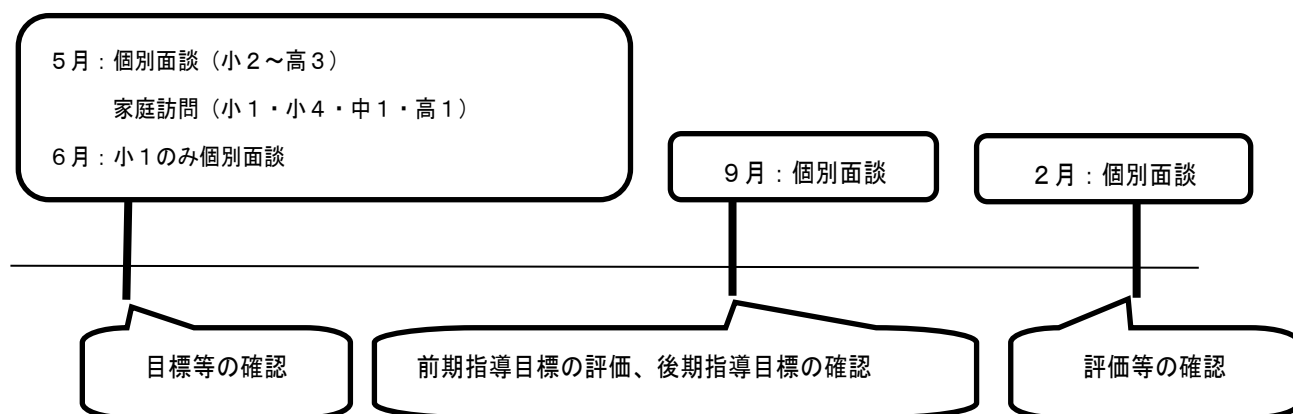
### (1) 年度末評価

個別の指導計画の「指導経過・評価」欄には、年間を通じて指導・評価を行った内容を、原則年度末に記入する。保護者には2月の個人面談で、1年間の指導の評価を伝える。



### (2) 年度途中評価

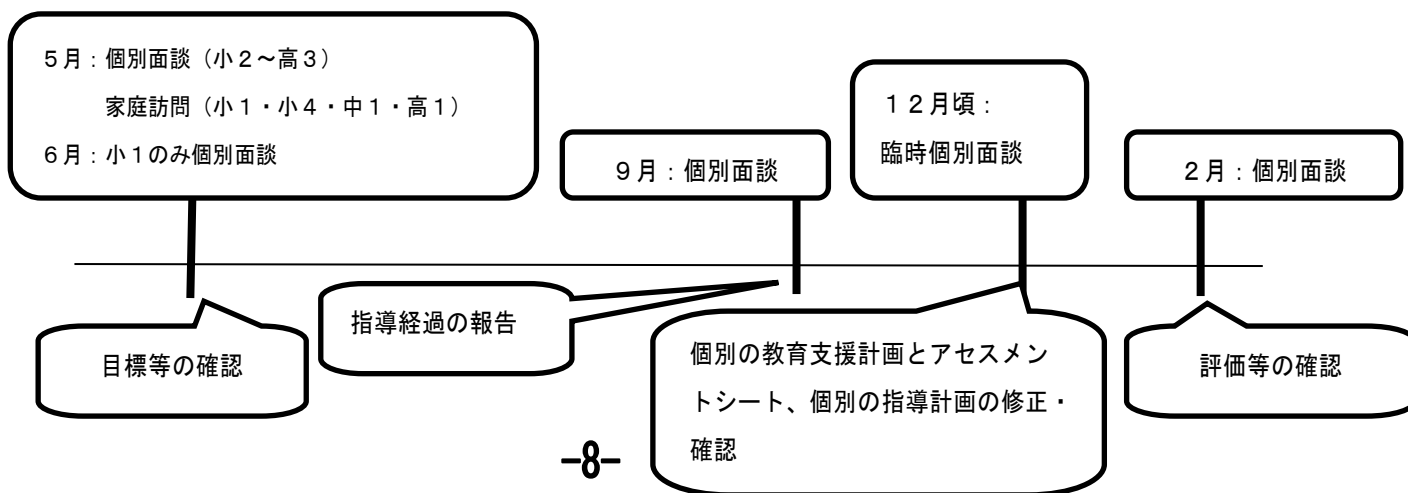
例外的に前期で評価し、後期は新たな目標を設定する場合（目標を達成してしまった、目標が高すぎた…など）は、保護者と9月の個別面談で確認する。その際、各クラスや学部で十分な検討の上、管理職と確認後に保護者と確認する。



### (3) 臨時的評価

児童生徒の実態が大きく変わった場合（発作の様子が変わり普段の状態が変化した、手術をして身体の様子や実態が変わったなど）は、速やかに個別の教育支援計画の見直しと個別の指導計画の修正を行なう。年度当初に設定されている面談（5・6月、9月、2月）以外に、保護者と臨時で面談日を設定し、個別の教育支援計画やアセスメントシート、個別の指導計画の目標等の変更を確認する。その際、必ず学部・クラス等で検討・確認をし、さらに管理職と確認をする。

（例）10月に手術をして、実態が大きく変わった児童生徒の場合



### Ⅲ 個別の教育支援計画の書式および記入のポイント

※   部は、前年度担任(小学部3/6年・中学部3年)が作成(記入)する箇所…新担任が補完・修正する

【小・中学部】基本情報シート 表面

・記述の文末は、常体(～だ/～である調)とします。

・フォントは全て「MS明朝」で記入します。  
・サイズは8～10ポイントで記入し、枠内におさまるようにします。

#### 個別の教育支援計画(基本情報シート)

フリガナ		性別	手帳の有無										
氏名	生年月日は、西暦(元号のアルファベット●●)年○月○日と正確に記入します。		愛の手帳			身体障害者手帳			精神障害者保健福祉手帳				
			種 級			種 級			種 級				
生年月日	年	月	日	年 月 交付			年 月 交付			年 月 交付			
保護者名			障害名 診断名	診断名・障害名は、この欄に記入します。									
住所	番地、マンション名など正確に記入します。						指定地区校名						
学校情報・アセスメント	学校名	元号で記入します。						小学校・小学部			中学校・中学部		
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	保護者 確認月日	作成内容について、保護者と確認し、同意を得られたら月日を記入します。 年度始め(5月面談日)と年度末(2月面談日)の2回確認が必要です。											
	学年・組	1年	法定学級の組を記入します。						2年 組	3年 組			
	担任名	法定学級の担任の名前を記入します。											
	記入者名	記入した担任の名前を記入します。											
本人の様子	乳児期			幼児期			小学部						
	乳児期：0～2歳頃まで 幼児期：3歳頃～就学前まで ※前籍(療育センター等)がある場合には在籍期間と共に記入します。 ※小学部1年次に記入しなかった場合や、療育歴がない場合などは、「乳児期」等の書き分けはしなくてよいです。 自立活動6区分27項目について、主だった内容のみ記入します。 障害名・診断名、手帳の取得についての記入欄がありますが、ここには記入しません。												
	本人の長所や特性・特徴を記入します。 また、行動の様子、授業の様子、日常生活の様子、交流内容について記入しても構いません。 ※記入するのは、小学部6年の年度末です。												
障害の様子等	障害名・診断名・医学的所見(服薬等)・手帳の取得												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医ケア(経管栄養、気管切開、吸引、吸入等)</li> <li>・アレルギー、シャント</li> <li>・服薬(例：抗てんかん剤)</li> <li>・車いすの作成年月日、装具等の作成年月日</li> </ul> 等について簡潔に記入						基本資料内文書(就学前・リハ科)などから、該当する項目を探し記入し、保護者と面談で確認します。						
支援情報(支援機関・支援期間・支援内容)	第1～3学年			第4～6学年			中学部						
	地域生活・家庭生活・余暇 副学級交流・サマフレ・サークル(親の会)、地域行事への参加等を記入します。			地域生活・家庭生活・余暇 ・文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、余白等は変更不可です。			地域生活・家庭生活・余暇 ・保護者からの聞き取りおよび保護者との了解の下で行った関係機関との情報交換をもとに記入します。 ・各機関での支援内容の変更や、合同の支援会議を行なった場合には、その結果を記入します。 ・追加や変更をした場合は、年月を記入します。変更の際には、前情報を削除しません(取消線で処理します)。 ※12年間追加や訂正をしていくので、できるだけ簡潔に記入します。						
	医療機関 定期通院の病院名、その他受診歴がある医療機関等を記入します。			医療機関 定期通院の病院名、その他受診歴がある医療機関等を記入します。			医療機関 定期通院の病院名、その他受診歴がある医療機関等を記入します。						
	福祉機関 短期入所・ヘルパー利用・送迎ボランティア・日中一時支援等、福祉機関(制度)、訓練(PT・ST)などを利用している全てのケースを記入します。 計画相談の実施の有無および相談事業所名を記入します。			福祉機関 短期入所・ヘルパー利用・送迎ボランティア・日中一時支援等、福祉機関(制度)、訓練(PT・ST)などを利用している全てのケースを記入します。 計画相談の実施の有無および相談事業所名を記入します。			福祉機関 短期入所・ヘルパー利用・送迎ボランティア・日中一時支援等、福祉機関(制度)、訓練(PT・ST)などを利用している全てのケースを記入します。 計画相談の実施の有無および相談事業所名を記入します。						
年度始め(5月面談日)に、他機関への情報共有、支援情報の提供の必要が生じた場合は、同意を得たことを確認するために署名をもらいます。(紙媒体で、直筆署名)													

学校長

以上の内容を確認し、学校が支援機関と情報を共有し、連携して支援を行うことに同意します。

年 月 日 氏名

		氏名【 】の 情報	
学校生活や 社会生活 への期待 ・ 成長への 願い	本人から	保護者から	
	<p>目頃から話し合える関係作りを心掛け、日常生活の中で本人の思いを感じ取ったり、本人や保護者から直接聞き取ったりして記入します。本用紙を渡して、記入してもらうことも可能です。</p> <p>※保護者と面談の上、未記入でも可です。</p>		<p>「保護者の思い」アンケートを転記します。(要約も可)</p>
現 在 の 様 子		よ さ ・得意なこと・頑張っていること	苦手なこと、困っていること
	学習		
	行動	<p>・興味や関心をもっていること、頑張っていること、困っていることなど、保護者からの聞き取りやアンケートの活用、休み時間の様子観察等から情報を収集し、指導の手掛かりになることについて記入します。</p> <p>・作成後でも、指導・支援の参考になる情報が得られた場合は、追記します。その場合は、記入年月日を記入しておきます。(例：2020. 1. 20)</p>	
	人間関係		
家庭生活			

### 教育支援の内容

教育的 ニーズ	<p>・本人や保護者の願いや実態等の情報をもとに、学校教育の視点から見た一人ひとりに応じた教育的ニーズを選定します。</p> <p>・子どもの障害の状態だけではなく、生活年齢や発達段階、優先的な課題等を考慮して、保護者と話し合って設定します。</p>
3年間で 目指す 子どもの姿 (小1～小3)	<p>・教育的ニーズをもとに、3年後を見通して目指す姿(3項目程度)を記入します。</p> <p>・主眼的に判断しながら、得意なことを最大限に発揮し、安心して豊かな学校生活を送ることを目指して、障害の状態や生活年齢を考慮し、保護者と話し合って設定します。</p> <p>※支援者の立場で設定し、記述の文末は「～する」調で記入します。</p>

支援の具体	学年	成長の様子	次年度への引継ぎ
<p>・目指す子どもの姿の達成のための具体的な支援内容や方法を1年毎に、簡潔に記入します。</p> <p>・成長の様子や次年度への引継ぎをもとに、次年度の支援の具体を記入します。</p> <p>・年度途中の加除修正を行なった場合は、その年月日を記入します。</p> <p>(例：2020. 1. 22)</p> <p>・個別の指導計画で、その具体化を図っていきます。</p>	1年	<p>・伸長のあった点や達成できたことなど、簡潔に記入します。</p>	
	2年	<p>・評価や指導・支援について引き継ぐべきことなどを簡潔に記入します。</p> <p>・1年間の終わりに記入します。</p> <p>・評価結果をもとに教育的ニーズや3年間で目指す子どもの姿について加除修正を行ないます。</p>	
<p>・文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、余白等は変更不可です。</p>	3年	<p>・学年の途中から作成の場合は、該当の学年の欄に記入します。その場合は、目指す子どもの姿は3年間ではなく、2年間あるいは1年間として記入してください。</p>	

氏名【		】の 情報		
学校生活や 社会生活 への期待 ・ 成長への 願い	本人から		保護者から	
現 在 の 様 子		よ さ ・得意なこと・頑張っていること	苦手なこと、困っていること	
	学習			
	行動			
	人間 関係			
	家庭 生活			
<b>教育支援の内容</b>				
教育的 ニーズ				
3年間で 目指す 子どもの姿 (小4～小6)				
	支援の具体	学年	成長の様子	次年度への引継ぎ
		4年		
	・文字数により多少の枠の移動は可と します。ただし、余白等に変更不可 です。	5年		
		6年		
進路	保護者や本人の希望		進学先への引継事項・留意点等	
	・6年次に本人や保護者から聞き取って記 入します。		・進路に向けての具体的な取り組み（見学、 資格取得等）を行なった場合は、記入し ておきます。	

氏名【 】の 情報				
学校生活や 社会生活 への期待 ・ 成長への 願い	本人から		保護者から	
現 在 の 様 子		よ さ ・得意なこと・頑張っていること	苦手なこと、困っていること	
	学習			
	行動			
	人間 関係			
家庭生活				
教育支援の内容				
教育的 ニーズ				
3年間で 目指す 子どもの姿 (中1～中3)				
	支援の具体	学年	成長の様子	次年度への引継ぎ
		1年		
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     ・文字数により多少の枠の移動は可と                      します。ただし、余白等は変更不可                      です。                 </div>	2年		
		3年		
進路	保護者や本人の希望		進学先への引継事項・留意点等	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;">                     ・年度毎に本人や保護者から聞き取って記                      入します。その場合は、追記した年月日                      を記入しておきます。                      (例：2020. 5. 20)                 </div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;">                     ・進路に向けての具体的な取り組み(見学、                      資格取得等)を行なった場合は、記入し                      ておきます。                 </div>	



### 個別の教育支援計画(基本情報シート)

フリガナ		性別	手帳の有無			
氏名			愛の手帳	身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳	
			種 級	種 級	種 級	
			年 月交付	年 月交付	年 月交付	
生年月日	年 月 日	障害名 診断名	診断名・障害名は、この欄に記入します。			
保護者名		連絡先				
住所						
入学前情報 入学前学校名						
学校情報・アクセスメント	学校名	特別支援学校高等部				
	年度	年度	年度	年度	年度	
	保護者 確認月日	作成内容について、保護者と確認し、同意を得られたら月日を記入します。 年度始め(5月面談日)と年度末(2月面談日)の2回確認が必要です。			記入の必要のない部分は斜線を引きます。	
	学年・組	1年 組	2年 組	3年 組	4年 組	
	担任名					
	記入者名					
	本人の様子	小学部の様子		中学部の様子		
		・中学部の「個別の教育支援計画」基本情報シートの『小学部の様子』を転記します。  障害名・診断名、手帳の取得についての記入欄がありますが、ここには記入しません。		本人の長所や特性・特徴を記入します。 また、行動の様子、授業の様子、日常生活の様子、交流内容について記入しても構いません。 ※記入するのは、中学部3年の年度末です。		
		障害名・診断名・医学的所見(服薬等)・手帳の取得				
	障害の様子等	・医ケア(経管栄養、気管切開、吸引、吸入等) ・アレルギー、シャント ・服薬(例:抗てんかん剤) ・車いすの作成年月日、装具等の作成年月日		基本資料内文書(就学前・リハ科)などから、該当する項目を探し記入し、保護者と面談で確認します。 ※小・中学部の個別の教育支援計画(基本情報シート)から転機してもかまいません。		
支援情報(支援機関・支援期間・支援内容)	地域 家庭 生活 余暇	・保護者からの聞き取りおよび保護者との了解の下で行った関係機関との情報交換をもとに記入します。 ・各機関での支援内容の変更や、合同の支援会議を行なった場合には、その結果を記入します。 ・追加や変更をした場合は、年月を記入します。変更の際には、前情報を削除はしません(取消線で処理します)。				
	医療機関	※3～4年間追加や訂正をしていくので、できるだけ簡潔に記入します。				
	福祉機関	※文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、余白等は変更不可です。				
	労働機関	年度始め(5月面談日)に、他機関への情報共有、支援情報の提供の必要が生じた場合は、同意を得たことを確認するために署名をもらいます。(紙媒体で、直筆署名)				
特別支援学校 学校長						
以上の内容を確認し、学校が支援機関と情報を共有し、連携して支援を行うことに同意します。			年	月	日 氏名	

氏名【 〇 】の 情 報

学校生活や 社会生活 への期待 ・ 成長への 願い	本人から	保護者から	
現 在 の 様 子		よ さ ・得意なこと・頑張っていること	苦手なこと、困っていること
	学習		
	行動		
	人間 関係		
	家庭 生活		

教 育 支 援 の 内 容

教育的 ニーズ	
3年もしくは 4年間で 目指す 子どもの姿 (高1～高3・4)	

支援の具体	学年	成長の様子	次年度への引継ぎ
<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px; text-align: center;">                     ・文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、余白等は変更不可です。                 </div>	1年		
	2年		
	3年		
	4年	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;">                         記入の必要のない部分は斜線を引きます。                     </div>	

進路	保護者や本人の希望	進路先への引継事項・留意点等
	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;">                     ・年度毎に本人や保護者から聞き取って記入します。その場合は、追記した年月日を記入しておきます。 (例：2020. 5. 20)                 </div>	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;">                     ・進路に向けての具体的な取り組み（見学、資格取得等）を行なった場合は、記入しておきます。                      ・卒業後に必要と思われる支援や配慮について記入します。                      ・個々の職場体験や実習等の評価などをもとにして次への課題をまとめて、引継ぎに活かします。                       ※追記した場合は、年月日を記入しておきます。(例：2020. 5. 20)                 </div>

・記述の文末は、常体（～だ/～である調）とします。

個別の教育支援計画 移行支援シート(高等部・高等学校等) 基本情報

ふりがな		性別	
氏名		生年月日	年 月 日
		電話番号	
保護者名		住所	
障害名		手帳	

・フォントは全て「MS明朝」で記入します。  
 ・サイズは8～10ポイントで記入し、枠内におさまるようにします。

本人が希望する配慮事項  
 障害特性に配慮した必要な支援  
 本人の強み

・「基本情報」は全てのケースに共通するシートです。  
 ・「基本情報」については必ず作成します。  
 ・追加様式1～3については必須ではありませんが、進路先や本人の状況によって選択し、作成します。

出身校		電話番号	
		FAX	
	担任名	進路担当	
	所在地		
区担当ケースワーカー		担当者名	
	電話番号	障害支援区分	

主治医または連携する医療機関	名称	担当者名	
	所在地	電話番号	
	備考		

区分認定後の担当者を記入する。決まり次第、記入します。保護者聞き取りの際、未定の場合は決定後に追記することを保護者と確認しておきます。

進路先①	名称		
	所在地	〒	
	電話	FAX	
	担当者名	部署・役職	
	Email		

・「移行支援シート」は卒業後の支援の充実のために進路先や関係機関との情報共有をする際のツールとして活用します。  
 ・情報の提供は本人・保護者から進路先等へ提出するほか、本人・保護者の同意のもと、学校から提供する場合があります。  
 ・進路先の状況や必要に応じて基本情報に追加様式を適宜組み合わせてください。

進路先②	名称		
	所在地	〒	
	電話		
	担当者名		
	Email		

計画相談支援事業所	名称	担当者名	
	所在地	電話番号	
	備考		

その他連携機関①	名称	担当者名	
	所在地	電話番号	
	備考		

進路先が複数にわたる場合や相談支援事業所、その他連携機関がある場合は、適宜加除修正を行ってください。

その他連携機関②	名称	担当者名	
	所在地	電話番号	
	備考		

年度始め(5月面談日)に、他機関への情報共有、支援情報の提供の必要が生じた場合は、同意を得たことを確認するために署名をもらいます。本人の自書が難しい場合は、保護者のみでも構いません。(紙媒体で、直筆署名)

個人情報の取扱について

卒業後の支援の充実のために、移行支援シートの情報を進路先及び連携機関へ提供することについて同意いたします。

年 月 日	氏名	(本人・保護者)
	氏名	(本人・保護者)

自署し、どちらかに○をつけてください

移行支援シート 追加様式1 福祉施設用 表面

個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式1			
氏名	0	出身校	0
学習の様子			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #c8e6c9; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報に加えて、福祉施設等利用にあたって、支援の引継ぎが必要なケースを想定しています。</li> <li>・全ての項目について必ず記入するわけではなく、必要に応じて加除訂正してください。</li> </ul> </div>			
日常生活に必要な知識の理解			
金 銭	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #c8e6c9; padding: 10px;"> <p>※「日常生活に必要な知識の理解」に関しては、生徒の実態として必要になった場合、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表示</span>をして記入をしてください。</p> <p>必要のない場合は非表示にしてありますので、そのまま記入をしてください。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表示・非表示</span>の操作に関してわからなければ、係までお願いします。</p> </div>		
時 間 ・ こ よ み			
情 報 ・ 通 信 手 段			
コ ミュ ニ ケー ション			
理 解			
表 出			
日常生活の様子			
移 動			
食 事			
排 泄			
入 浴 ・ 洗 面			
更 衣			

移行支援シート 追加様式1 福祉施設 裏面

障害の状態・健康

<服薬・発作>

性格・行動の様子

本人の望む生活、必要な支援

保護者の希望

個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式2(就労・進学・訓練機関用)				
氏名	0	出身学校名	0	
健康面での 配慮事項	服薬		通院	
	その他			
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報に加えて、就労先・進学先・訓練機関への移行時に共有したい情報について記載します。</li> <li>・各校の状況に応じて、加除訂正して構いません。</li> </ul>			
移動				
身辺自立 (ADL面)				
健康面				
コミュニケーション				
その他				
今後必要となる 支援				

個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式3(就労支援センター等連携用)						
		氏名	0	出身校	0	
健康面での 配慮事項	服薬				通院	
	その他					
在 学 中 の 状 況	出席状況					
	学校生活・学習への 取組姿勢	<div style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>追加様式3は必要に応じて就労支援センター等との連携にご活用ください。</li> <li>基本情報と合わせると従来の「情報提供書」と同じ内容になります。</li> </ul> </div>				
	コミュニケーション の状況					
	現 場 実 習	学年	期間	実習先	評価(課題を含む)	
進路先企業について		0				
障害者雇用の 状況	障害者雇用の経験					
	現在就業中の 障害者数					
配属部署	部署名	部署の従業員数		約 人		
就労条件について						
雇用形態						
勤務時間						
勤務日・休日						
業務内容						
作業環境						
その他 就労にあたっての 合理的配慮事項 等						

個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式3(就労支援センター連携用)						
	氏名	0	出身校			
			0			
支援目標・支援体制について						
支援目標・支援内容	支援目標	本人への支援	企業への支援			
	支援内容					
学校からの支援	学校からの支援期間					
	役割	本人への支援	企業への支援			
就労支援センター	センター名					
	役割	本人への支援	企業への支援			
<b>個人情報の取扱について</b> 就労支援センター登録するに当たっては、就職及び職場定着に向けて就労支援センターが地域の関係機関(行政、教育、福祉、企業等)と連携して支援すること、そのために登録者の障害の状況等の情報(個別の教育支援計画 移行支援シート)をこれらの機関と共有することがあります。						
私は、上記、個人情報に関する取扱事項に同意致します。 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>				年	月	日
年	月	日				
年度始め(5月面談日)に、他機関への情報共有、支援情報の提供の必要が生じた場合は、同意を得たことを確認するために署名をもらいます。本人の自書が難しい場合は、保護者のみでも構いません。(紙媒体で、直筆署名)		本人氏名				
		保護者氏名				



## 【個別の教育支援計画における、教育的ニーズの絞り込みについて】

### [教育的ニーズの選定方法]

学校生活や社会生活への期待・成長への願いおよびアセスメントシートを参考にしながら、教師の願い「この子がこうなってほしい」「こんな力がつければ、この子の生活はもっといいものになるだろう」を基に最優先の課題を選定すると、教育的ニーズとなる。

### [ 具体的な例 ]

#### 本人の願い(保護者の願い)

- ・自分の気持ちを人にもっと伝えたい。
- ・毎日健康に過ごしてほしい。
- ・集団での活動に慣れてほしい。

#### 子どもの実態 (アセスメントシートによる)

#### 教師の願い

- ・体調よく学校生活を送ってほしい。
- ・気持ちを表現できる方法を増やしてほしい。
- ・友だちと一緒に活動を楽しんでほしい。

#### 教育的ニーズ

- ・呼吸の安定
- ・意思伝達手段の拡大
- ・集団活動への適応

#### 3年間で目指す子どもの姿

- ・リラックスした臥位姿勢をとれるようにする。
- ・発声や表情、身振りなどの動きを広げる。
- ・集団での活動に参加できる機会を増やす。

# IV 個別の指導計画の書式および記入のポイント

## アセスメントシート【教科等】

- ・フォントは全て「MS 明朝」で記入します。
- ・サイズは10.5ポイントで記入します。

- ・記述の文末は、常体（～だ/～である調）とします。
- ・課題だけでなく、よいところ、できているところも記入します。

元号で記入します

年度

氏名	性別	学部・学年	小学部・年
現在の様子			
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽に気づき、音楽表現を楽しむための音楽あそび、歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現につながる技能について記入します。</li> <li>・音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことなど、音や音楽を味わっている様子や表現について記入します。また、身近な人の演奏を見たり、聴いたり、体の動きで表したりしながら聴くことについて記入します。</li> <li>・教師と一緒に楽しみながら音楽活動をする姿勢や音楽経験を生かして生活を楽しいものになろうとする態度について記入します。</li> </ul>		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色に気づき、材料や用具を使おうとする技能（かく、切る、ぬる、はるなど）について記入します。</li> <li>・材料などに触れて、感触に気づいたり味わったりしたときの様子や表現について記入します。また、作品を観たり、触ったりしたときの様子や興味・関心について記入します。</li> <li>・教師と一緒に楽しみながらつくりだそうとする態度について記入します。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の動きのことや、教師と一緒に体を動かしたときの様子や表現について記入します。また、器械・器具・ボール（または球技）を使って体を動かした時の様子や表現について記入します。</li> <li>・楽しく体を動かそうとする態度について記入します。</li> <li>・水の中での動きや様子、表現について記入します。</li> </ul>		
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部「生活」（分教室小学部含む）は、季節の変化、年中行事、自然を扱った遊び、動植物の飼育・栽培など、学習で取り扱った内容について記入します。また、地域散策や身近な人々のかかわりなどの様子について記入します。</li> <li>・中学部「技術・家庭」は、自然を扱った活動、職業体験、情報機器活用など学習で取り扱った内容について記入します。</li> <li>・高等部「職業・家庭」は、体験的活動など、学習で取り扱った内容について記入します。</li> <li>・分教室中学部・高等部「総合」は、季節の変化、年中行事、自然を扱った遊び、動植物の飼育・栽培、情報機器活用など、体験的活動や学習で取り扱った内容について記入します。</li> </ul>		
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等を合わせた指導（グループ学習、課題別学習、朝の会、帰りの会、日常生活の指導、国際理解教室、集会、交流、学校行事）の中から、特に必要だと思われる様子について記入します。</li> </ul>		
作成者	作成日	令和 年 月 日	

・文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、フォントのサイズや余白等は変更不可です。

・フォントは全て「MS 明朝」で記入します。  
 ・サイズは10、5ポイントで記入します。

## 個別の指導計画【教科等】

元号で記入します

年度

氏名	性別	学部・学年	小学部・年
	指導目標	指導内容・手立て	指導経過・評価
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ簡潔（各欄1～2文程度）に記入します。（余白があってもよいです。）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、フォントのサイズや余白等は変更不可です。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントシートから課題を導き出し、目標を設定します。</li> <li>指導目標は、前年度からのつながりを踏まえて、一年間で目指す成長の姿を考えて設定します。</li> <li>達成状況が評価できるような具体的な目標とします。</li> <li>前年度の「指導経過と評価」を参考にしながら、次の目標がどんな目標になるかイメージをもって検討します。</li> <li>文末は常体（～だ/～である調）とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導目標を達成するための具体的な指導内容と手立てを記入します。明確に分けられない場合もありますが、「何を」「どのように」指導・支援するかを具体的に記入します。</li> <li>具体的な配慮や工夫、活用する教材・教具なども記入しても構いません。</li> <li>指導場面や指導形態もわかるように記入します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導を振り返り、目標の達成状況とできるようになったことなど、成長の様子を記入します。</li> <li>児童・生徒の様子だけでなく、そのような反応を生み出した教師の働きかけや場面設定なども合わせて記入します。</li> <li>達成状況によって、次年度に継続した目標になる場合は、経過や達成が不十分だった点、課題を示し、次年度につなげます。</li> <li>目標継続の必要性や変更点などについて明記し、今後の指導に役立てるようにします。また、「アセスメントシート」「指導目標」「指導内容・手立て」が適切であったかどうかなどについても見直し、評価します。</li> <li>記入の文末は常体（～だ/～である調）とします。</li> </ul>
体育			
生活			
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問の児童生徒について、作成時点で「体育」などの目標設定が困難である場合には、保護者の了解の下、斜線を引きます。</li> </ul>		
作成者	作成日	令和 年 月 日	
	評価日	令和 年 月 日	

# アセスメントシート【自立活動】

元号で記入します

年度

氏名	<ul style="list-style-type: none"> <li>記述の文末は、常体（～だ/～である調）とします。</li> <li>課題だけでなく、よいところ、できているところも記入します。</li> </ul>	性別	学部・学年	年度
障害名		<ul style="list-style-type: none"> <li>フォントはMS明朝で、サイズは10.5ポイントで記入します。</li> </ul>		
○就学前・入学前・前年度の様子				
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部1年は「就学前」、中高1年は「入学前」、他学年は「前年度」を残して記入します。</li> <li>保護者からの聞き取り、保護者との了解の下で行った関係機関との情報交換、前年度からの引き継ぎをもとに、児童生徒理解のために必要なことを記入します。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、フォントのサイズや余白等は変更不可です。</li> </ul>		
現在の様子				
健康の保持	<ol style="list-style-type: none"> <li>安定した呼吸・・・気道の確保と姿勢、呼吸の援助、排痰の促進</li> <li>規則正しい生活リズム・・・体温調整、服薬、排泄リズム</li> <li>安全で確実な栄養・・・栄養・水分摂取、ウェイトコントロール</li> <li>清潔な生活・・・口腔内の衛生、皮膚の衛生、じょくそうの予防</li> <li>体力づくり・・・外気浴、水浴、マッサージ、適当な運動</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、フォントのサイズや余白等は変更不可です。</li> </ul>	
心理的な安定	<ol style="list-style-type: none"> <li>情緒の芽生えと安定・・・基本的欲求の充足、快の情動を促す</li> <li>場面理解・見通し・・・場面の理解、ものの永続性、目的と手段の分化、見通し</li> <li>困難を改善・克服する態度・・・主体的に学ぼうとする意欲</li> </ol>			
人間関係の形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>対人関係の育成・・・人への興味・関心、感情の多様化、ラポートの形成</li> <li>集団活動、交流活動・・・教師や友だちの存在の意識、集団としての場の共有、集団での活動を楽しむ、集団活動のルール、あいさつ</li> </ol>			
環境の把握	<ol style="list-style-type: none"> <li>身体意識の形成・・・皮膚感覚、固有受容覚、前庭覚、身体感覚</li> <li>基礎感覚の発達と統合・・・内臓感覚、五感</li> <li>物の操作・・・把握、指を使う把握、目と手の協応、両手操作</li> <li>生活・環境・・・身近な自然、身近な事物の性質やしぐみ、数量や図形</li> </ol>			
身体の動き	<ol style="list-style-type: none"> <li>変形拘縮の予防・・・体幹のリラクゼーション、骨盤の可動、関節の可動、姿勢変換</li> <li>姿勢のコントロール・・・頭部のコントロール、肘立て位、腕立て位、手膝位、座位、膝立て位、立位</li> <li>移動能力の向上・・・寝返り、肘這い、手膝這い、歩行、車椅子の操作</li> <li>自発運動の向上・・・粗大運動、運動のコントロール</li> <li>給食・・・食事の意欲、基本的な生活習慣、摂食機能、食事姿勢、食事動作、嗜好・栄養</li> <li>排泄・・・快・不快の感覚、サインの表出、トイレ等での排泄</li> <li>着脱・・・着脱感覚、協力姿勢・動作、衣服等の着脱</li> <li>生活場面に応じた活動・・・片付け、整理整頓、身だしなみ</li> </ol>			
コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>人と関わるときの表現能力の向上・・・発声、視線、表情、動作、模倣、要求表現、サイン</li> <li>言語理解・・・注意を向ける、自分の名前に意識を向ける、簡単な指示や問いかけの理解、ことばや文字への興味・関心・理解</li> <li>言語表現・・・発声、発語、コミュニケーション手段の活用</li> </ol>			
作成者	作成日		年 月 日	

# 個別の指導計画【自立活動】

元号で記入します

年度

氏名		性別		学部・学年	
障害名・種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォントはMS明朝で、サイズは<u>10.5</u>ポイントで記入します。</li> </ul>				
目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシート【自立活動】から得られた指導すべき課題や課題相互の関連を整理し、目標を設定します。</li> <li>・段階的に短期の目標が達成され、やがて長期の指導目標の達成につながるような見通しが大切です。</li> <li>・目標が複数ある場合は、番号(①②)をふって記入します。</li> </ul>					
取り組んでいる活動・内容					
活動・内容			指導内容・手立て		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「活動・内容」には、目標を達成するための具体的な活動・内容を記入します。</li> <li>・活動・内容の文末には、どの目標と対応しているか記入します。対応している目標が複数あっても可です。(記入例参照) <b>そのため目標が複数ある場合は、番号を振って記入します。</b></li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指導内容・手立て」には、目標を達成するための活動・内容の具体的な手立てを記入します。</li> <li>・「何を」「どのように」指導・支援するかを具体的に記入します。</li> <li>・具体的な配慮や工夫、活用する教材・教具なども記入しても構いません。</li> <li>・指導場面や指導形態もわかるように記入します。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、フォントのサイズや余白等は変更不可です。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指導内容・手立て」欄に書ききれない内容や写真や図のほうがわかりやすい内容については、補足資料(書式は自由)を作成しても構いません。ただし、作成した補足資料は、「個別の指導計画」には含まれませんので、保管は基礎ファイルとクラスの個別ファイルで管理します。</li> </ul>		
目標に対する指導経過・評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標に対する指導経過・評価」には、「活動・内容」の実践を振り返り、目標の達成状況とできるようになったことなど、成長の様子を記入します。児童・生徒の様子だけでなく、そのような反応を生み出した教師の働きかけや場面設定なども合わせて記入します。</li> <li>・達成状況によって、次年度に継続した目標になる場合は、経過や達成が不十分だった点、課題を示し、次年度につなげます。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字数により多少の枠の移動は可とします。ただし、フォントのサイズや余白等は変更不可です。</li> </ul>		
作成者		作成日		年	月 日
		評価日		年	月 日

元号で記入します

年度

・年度毎に保護者に同意書の記入のお願いをします。

# 同意書

(氏名)

に係る個人情報について必要

があるときは、貴校が本人・保護者以外の関係者並びに関係機関から  
収集もしくは、提供することに同意します。

ただし、収集もしくは、提供できる個人情報は支援シートの作成、  
活用、に関わるものに限ることとします。

記

【除外事項】

令和 年 月 日

学校長様

本人

印

保護者

印

・本校は年度初めの面談（5月または6月）で同意書に記入のお願いをします。

・分教室は、個別の指導計画等をもとにセンターと定期的なカンファレンスを行なうため、前年度末（2月）の面談で次年度用の同意書に記入してもらうようお願いします。

# V 記入例

【小学部】基本情報シート 1枚目

## 個別の教育支援計画(基本情報シート)

フリガナ	イバラキ アイ	性別	手帳の有無							
氏名	茨城 藍	女	愛の手帳		身体障害者手帳		精神障害者保健福祉手帳			
			A-1		1種1級		級			
			平成25年4月交付		平成22年4月交付		年 月交付			
生年月日	平成20年10月22日		障害名	障害名：四肢体幹機能障害(1級) 聴覚障害(6級)						
保護者名	茨城 正慎		診断名	診断名：骨系統疾患 (Campomelic dysplasia)						
			連絡先	045-242-8387						
住所	横浜市南区西宮町337						指定地区校名			
							太田小学校			
学校情報・アセスメント	中村特別支援学校小学部						中村特別支援学校中学部			
	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	保護者確認月日	5月2日	5月9日	5月12日	5月17日	5月15日	5月8日			
	学年・組	1年1組	2年3組	3年4組	4年5組	5年7組	6年8組	1年 組	2年 組	3年 組
	担任名	石入恵子	今町澄野	塩原 拓	長野若菜	銀田綾子	新川尚子			
	記入者名	石入恵子	今町澄野	塩原 拓	長野若菜	銀田綾子	田中ひろみ			
	本人の様子	乳児期			幼児期			小学部		
		水戸赤十字病院にて36週2676gで生まれる。生後1か月間、同病院のNICUで過ごした。その後、水戸市立大学病院に数か月入院。ことばは1歳位から。離乳食も1歳位から。平成22年1月～(1歳)水戸発達支援センター 平成22年6月～(2歳)水戸盲訓学院の訪問療育 ※呼吸停止(4ヵ月、6ヵ月)…大泣き時			平成23年4月～(3歳)水戸盲訓学院の教育相談(月1回) 平成24年4月～(4歳)水戸盲訓学院入学(週3回登校)					
		水戸市立こども医療センターに3歳、5歳時に数か月間入院 ※呼吸停止(3歳)								
	障害の様子等	障害名・診断名・医学的所見(服薬等)・手帳の取得								
	医ケア：プール後および夜間酸素 服薬：あり アレルギー：そば粉 発作：あり 平成26年5月～抗てんかん薬服用(2015.4) 平成28年11月～おう吐発作(2017.2.7) 車いす作成年月日：平成27年4月(2014.5.15)									
支援情報(支援機関・支援期間・支援内容)	第1～3学年			第4～6学年			中学部			
	地域生活・余暇	副学籍交流(機初小)			副学籍交流(太田小) 南区サマーフレンド			地域生活・余暇		
	医療機関	こども医療センター 主治医：内分泌代謝科 Dr.花川(H28.4) 新生児科Dr星野 耳鼻科Dr井上 PT鈴木 ST佐藤 神経内科Dr後藤(H29.1) 整形Dr中村 歯科Dr佐々木 遺伝科Dr黒澤 リハビリ科Dr上原 摂食Dr高橋			こども医療センター 主治医：内分泌代謝科 Dr.花川(H28.4) 新生児科Dr星野 耳鼻科Dr井上 PT鈴木 ST佐藤 神経内科Dr後藤(H29.1) 整形Dr中村 歯科Dr佐々木 遺伝科Dr黒澤 リハビリ科Dr上原 摂食Dr高橋			医療機関		
	福祉機関	訪問看護：南区医師会 通学、通院：ツツキ伊勢佐木(ヘルパー) 森のスノーピー(ヘルパー) イベント等参加：ぱっちこいみなみ			訪問看護：南区医師会 通学、通院：ツツキ伊勢佐木(ヘルパー) 森のスノーピー(ヘルパー)			福祉機関		
							労働機関			

中村特別支援学校

学校長

以上の内容を確認し、学校が支援機関と情報を共有し、連携して支援を行うことに同意します。

令和元年 5月 8日

氏名 茨城 正慎

氏名【 茨城 藍 】の 情報																	
学校生活や社会生活への期待 ・ 成長への願い	<p>本人から</p> <p>保護者から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時計を理解してほしい。</li> <li>・助詞をしっかりと理解し、文章で自分の気持ちを伝えたり、できるようになってほしい。</li> <li>・「認知」力をあげてほしい。</li> </ul>																
現在の様子	<p>よ さ ・得意なこと・頑張っていること</p> <p>学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会や集団学習に期待感をもち、積極的に臨んでいる。</li> <li>・ひらがなや数字（1～10）を理解し学習できる。</li> </ul>	<p>苦手なこと、困っていること</p> <p>苦手意識が高いものや、一人で行う学習は、短時間で飽きてしまうことや拒否を示すことがある。</p>															
	<p>行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のカバンから物の出し入れをし、給食や下校の準備片付けができる。</li> <li>・挙手や発言、場面に応じた挨拶ができる。</li> <li>・要求を単語で訴えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのことや見通しがもてないことへの取り組みが難しいことがある。</li> </ul>															
	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慣れた教員に積極的に話し、楽しむことができる。</li> <li>・友だち思いで、状況に応じて声をかけ、楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての人と話すことや、慣れない人への挨拶に時間を要する。</li> </ul>															
	<p>家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙を書くことが好きで、友だちや教員宛によく書いている。</li> <li>・日記帳や、手書きの宿題を自分で行うことができる。</li> </ul>																
<b>教育支援の内容</b>																	
教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の形成</li> <li>・望ましい人間関係の形成</li> <li>・地域社会とのかかわりの拡大</li> <li>・基礎的・基本的知識の習得</li> </ul>																
3年間で目指す子どもの姿(小4～小6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことはできるだけ自分で行う。</li> <li>・適切なコミュニケーションができるようになる。</li> <li>・地域での行事参加や社会資源の活用を通して経験の幅をひろげる。</li> <li>・日常生活に必要な国語や算数の知識を習得する。</li> </ul>																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援の具体</th> <th>学年</th> <th>成長の様子</th> <th>次年度への引継ぎ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食への意識や意欲が高まるよう言葉がけをし、経験の幅を広げる。</li> <li>・平仮名を見ながら書き写しができるようにする。</li> </ul> </td> <td>4年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時のやり取りの中で食が広がり、食べられるものや量が増えてきた。</li> <li>・50音については字形を覚えることができた。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を楽しく食べられるよう引き続きの支援が必要である。</li> <li>・濁音、促音につなげていけるようにする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肺活量が高まるよう、鍵盤ハーモニカ等吹くようにします。</li> <li>・日常使う漢字やカタカナも扱い、読む機会を設けます。</li> </ul> </td> <td>5年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・息をコントロールしてタイミングよく音を出すことができるようになってきた。</li> <li>・朝の会ボードで使う曜日や月日の漢字を読むことができた。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うんどくと共に継続できるようにする。</li> <li>・予定等、身近なものにつなげていけるようにする。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でできることを増やすようにする。</li> <li>・自分の思いや気持ちを伝えられるようにする。</li> <li>・いろいろな場所で様々な人たちと一緒に活動を体験し、心地よい経験を増やす。</li> </ul> </td> <td>6年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ズボン等、手指を使い上げることができるようになってきた。</li> <li>・「～ください」等、表現できるようになってきた。</li> <li>・副学級交流では、大きな声で発表することができた。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに多くの経験から自信をつけてできることを増やしていく。</li> <li>・自分から伝えられるまで待つようにする。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	支援の具体	学年	成長の様子	次年度への引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食への意識や意欲が高まるよう言葉がけをし、経験の幅を広げる。</li> <li>・平仮名を見ながら書き写しができるようにする。</li> </ul>	4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時のやり取りの中で食が広がり、食べられるものや量が増えてきた。</li> <li>・50音については字形を覚えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を楽しく食べられるよう引き続きの支援が必要である。</li> <li>・濁音、促音につなげていけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺活量が高まるよう、鍵盤ハーモニカ等吹くようにします。</li> <li>・日常使う漢字やカタカナも扱い、読む機会を設けます。</li> </ul>	5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・息をコントロールしてタイミングよく音を出すことができるようになってきた。</li> <li>・朝の会ボードで使う曜日や月日の漢字を読むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うんどくと共に継続できるようにする。</li> <li>・予定等、身近なものにつなげていけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でできることを増やすようにする。</li> <li>・自分の思いや気持ちを伝えられるようにする。</li> <li>・いろいろな場所で様々な人たちと一緒に活動を体験し、心地よい経験を増やす。</li> </ul>	6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ズボン等、手指を使い上げることができるようになってきた。</li> <li>・「～ください」等、表現できるようになってきた。</li> <li>・副学級交流では、大きな声で発表することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに多くの経験から自信をつけてできることを増やしていく。</li> <li>・自分から伝えられるまで待つようにする。</li> </ul>
支援の具体	学年	成長の様子	次年度への引継ぎ														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食への意識や意欲が高まるよう言葉がけをし、経験の幅を広げる。</li> <li>・平仮名を見ながら書き写しができるようにする。</li> </ul>	4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時のやり取りの中で食が広がり、食べられるものや量が増えてきた。</li> <li>・50音については字形を覚えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を楽しく食べられるよう引き続きの支援が必要である。</li> <li>・濁音、促音につなげていけるようにする。</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺活量が高まるよう、鍵盤ハーモニカ等吹くようにします。</li> <li>・日常使う漢字やカタカナも扱い、読む機会を設けます。</li> </ul>	5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・息をコントロールしてタイミングよく音を出すことができるようになってきた。</li> <li>・朝の会ボードで使う曜日や月日の漢字を読むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うんどくと共に継続できるようにする。</li> <li>・予定等、身近なものにつなげていけるようにする。</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でできることを増やすようにする。</li> <li>・自分の思いや気持ちを伝えられるようにする。</li> <li>・いろいろな場所で様々な人たちと一緒に活動を体験し、心地よい経験を増やす。</li> </ul>	6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ズボン等、手指を使い上げることができるようになってきた。</li> <li>・「～ください」等、表現できるようになってきた。</li> <li>・副学級交流では、大きな声で発表することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに多くの経験から自信をつけてできることを増やしていく。</li> <li>・自分から伝えられるまで待つようにする。</li> </ul>														
進路	保護者や本人の希望	進学先への引継事項・留意点等															
	中村特別支援学校 中学部入学希望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首への負担に十分に配慮し、抱っこの仕方は保護者及び前担当から直接丁寧引き継ぐ。</li> <li>・感染症対策をしっかりと行う。</li> </ul>															



### 個別の教育支援計画(基本情報シート)

フリガナ	マツモト アカネ		性別	手帳の有無									
氏名	松本 茜		女	愛の手帳		身体障害者手帳		精神障害者保健福祉手帳					
				A 1		1 種 1 級		級					
				H20年1月交付		H20年1月交付		年 月交付					
生年月日	平成17年 1月 22日		障害名	障害名:四肢体幹機能障害									
保護者名	松本 岳		連絡先	045(313)0052									
住所	横浜市西区日吉1-5-5サンフォリスト日吉105						指定地区校名						
							日吉小学校						
学校情報・アセスメント	学校名	横浜市立中村特別支援学校小学部						横浜市立中村特別支援学校中学部					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	保護者確認月日	6月6日	5月17日	5月15日	5月19日	5月13日	5月11日	5月13日	5月10日	5月14日			
	学年・組	1年1組	2年1組	3年4組	4年6組	5年7組	6年10組	1年2組	2年2組	3年5組			
	担任名	外田久仁子	竹山 万里子	外田久仁子	下妻伊津子	鎌倉 布恵	加藤 千浩	大林 敬子	上井 晶	上井 晶			
	記入者名	外田久仁子	竹山 万里子	外田久仁子	下妻伊津子	鎌倉 布恵	加藤 千浩	大林 敬子	中田 樹	杉田 秀子			
	本人の様子	乳児期			幼児期			小学部					
		早産(28週産) 出生時体重1026g 新生児仮死 関東労災病院 NICUで保育器にて入院 加療 生後3カ月で退院			2才までは、口から哺乳瓶でミルクを飲んで いた。その後経管栄養。 両眼レーザー治療 H.17.4 療育 中部療育センター H.21.4~2 2.3(親子通園) H.22.4~23.3(単独通園)			・日によって体温や体調に変化はある が、登校した際にはしっかり覚醒して、 学習活動に取り組むことができていた。 特に集団学習では、やる気を表情や発 声、身体の動きで表出していた。 ・身体意識を高めるとともに、緊張の抜 き方がスムーズにできるようになって きた。 ・感情表現が豊かになり笑顔だけではなく、 ムスッとした表情や声を出して伝える ことが増えてきた。					
	障害の様子等	障害名・診断名・医学的所見(服薬等)・手帳の取得											
		医学的所見[服薬]など:服薬(緊張緩和剤 去痰剤ほか)、経鼻経管による注入、胃ろうによる注入(2018,4月変更) 口腔・鼻腔吸引、夜間在宅酸素療法(0.25l/分) 障害者受給者証:有 車いす作成年月日:平成23年9月作成 平成26年9月作成(2014.9.22) 平成30年12月作成(2018.2.13) 装具作成年月日:平成23年4月作成 平成27年10月作成(2016.2.26) 平成31年1月作成(2019.2.13)											
支援情報(支援機関・支援期間・支援内容)	第1~3学年			第4~6学年			中学部						
	・乗馬(ガッツいしまつ西の余暇活動)			・ガッツいしまつ西 ・ばっちこいみなみ			地域家庭生活・余暇 ・放課後等デイサービスこい ぬ。 ・ガッツいしまつ西 ・いき場の会、 ・小学校高学年の妹がいて、中村 特支の学校行事にも保護者と参加 している。						
	・神奈川県立こども医療センター ・新生児科 松井Dr. 1回/月 ・整形外科 1回/半年 ・神経内科 井合Dr. 不定期(ボトックス注射他相談) ・中部療育センター 松田PT 1回/週			・神奈川県立こども医療センター ・新生児科 Dr.松井 1回/月 ・整形外科 1回/半年 ・神経内科 Dr.井合 不定期(ボトックス注射他相談) ・中部療育センター PT 松田 1回/ 週 ・横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科 Dr.菊地 1回/ 月			・神奈川県立こども医療センター 総合診療科 Dr.田上1回/月、 整形外科1回/半年、神経内科 D r.井合 1回/3か月(ボトッ クス注射他相談)、歯科1回/3 ~4か月、外科 Dr.白井 1回/ 3か月 ・横浜療育福祉センター港南 PT 加藤 2回/月、整形外科 1回/ 月						
	・一時ケア ばっちこいみなみ ガッツい しまつ西 ・訪問看護 レスパイトサービス花 ・通学支援ヘルパー 市民ビート中央			・一時ケア ばっちこいみなみ ガッツい しまつ西 ・訪問看護 レスパイトサービス花 ・通学支援ヘルパー 市民ビート中央 ・デイサービス こいぬ			・一時ケア ばっちこいみなみ ガッツいしまつ西、・通学支援ヘル パー 市民ビート中央(送 迎)、・デイサービス こいぬ (放課後等デイサービス)						
福祉機関			福祉機関			福祉機関							
労働機関			労働機関			労働機関							
横浜市立中村特別支援学校 校長													
以上の内容を確認し、学校が支援機関と情報を共有し、連携して支援を行うことに同意します。					令和	元	年	5	月	14	日	氏名	松本 岳

氏名【 松本 茜 】の 情報			
学校生活や社会生活への期待・成長への願い	本人から	保護者から	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を崩すことなく、通学できるよう願っている。</li> <li>・卒業後の進路について具体的に考えていきたい。</li> <li>・学校生活を通して、自分の気持ちをもっと体や表情で表現できるようになってほしい。</li> <li>・車いす一人で座っていられる時間が増えてほしい。</li> </ul>	
現在の様子の様子	よ さ ・得意なこと・頑張っていること	苦手なこと、困っていること	
	学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな活動でも意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・新しい活動は、始めは身体に緊張がはいったり声をだしたりすることがある。</li> </ul>	
	行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事の選択や好き嫌いを、わかりやすく提示することで表情や発声、手や首の動きで表現することができる。</li> <li>・すぐにレスポンスがないこともある。体調が思わしくないときは、表現できないときもある。</li> </ul>	
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員や友だちに興味をもつことができる。</li> <li>・興味がないと反応が薄くなる。</li> </ul>	
家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭は協力的であり、体調管理や様々な体験を考えて取り組んでいる。</li> </ul>		
教育支援の内容			
教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した健康の維持</li> <li>・身体機能の向上</li> <li>・意思伝達手段の拡大</li> </ul>		
3年間で目指す子どもの姿(中1～中3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した体調で、学校生活のいろいろな活動に参加することができる。</li> <li>・いろいろな姿勢や揺れ、見る、聴く、触れるなどの学習活動を通して、身体意識を高めることができる。</li> <li>・学習活動や人とのふれ合いを通して、感じたことを発声や表情、手の動きなどで表現することができる。</li> </ul>		
支援の具体	学年	成長の様子	次年度への引継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携し、健康状態に配慮しながら登校ができるようにする。</li> <li>・粗大運動や様々な教材など五感を通して、感覚の経験を広げる。</li> </ul>	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を整えながら、各行事にも参加することができた。</li> <li>・様々な感触の教材にも嫌がることなく触り続けることができた。また回転や大きな揺れを体験することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携が必要。</li> <li>・体温緊張に応じて適切な対応をし、学習活動、行事への参加を行う。</li> <li>・感じた事を表出できるように、働きかけや環境設定をする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携し、健康状態に配慮しながら継続的に登校ができ、活動できるようにする。</li> <li>・日頃から身体を動かす機会を多くもち、身体意識を高める。</li> </ul>	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を整えた上で、登校できた時には姿勢変換や粗大運動、感覚を使う学習活動に取り組むことができた。</li> <li>・粗大運動や姿勢変換等を行うことで緊張が緩むことが多くなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携が必要。</li> <li>・体温緊張に応じて適切な対応をし、学習活動、行事への参加を行う。</li> <li>・本人なりの意志表出の方法と場面を多く設定する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携し、健康状態に配慮しながら学習活動・行事活動に参加できるようにする。</li> <li>・日頃から身体を動かす機会を多くもち、身体意識を高める。</li> <li>・、自分の思い等を伝える機会を多く設定する。</li> </ul>	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を整えた上で、学校生活のいろいろな活動に参加することができた。</li> <li>・姿勢変換や粗大運動、感覚を使う学習活動を通して、身体への意識をもてるようになってきている。</li> <li>・感じたことや好き嫌いを、発声や表情、手や首の動きで表現できるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携が必要。</li> <li>・体温緊張に応じて適切な対応をし、学習活動、行事への参加を行う。</li> <li>・意思表示が多くできる環境を設定する。</li> </ul>
進路	保護者や本人の希望		進学先への引継事項・留意点等
	1年・本校高等部に進学希望。施設見学はこれからする予定。高等部卒業後は看護師のいる施設を希望。計画相談をがっつびーとに依頼。 2年・本校高等部に進学希望。引き続き計画相談をがっつびーとに依頼。 3年・施設見学希望は若草と横療。卒業後は自宅に近い場所で1, 2か所4～5日通える場所を希望。計画相談はレスパイトサービス萌予定中。がっつびーとにも継続して依頼中。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体温と緊張に留意して適切な対応をして活動する必要がある。</li> <li>・呼吸状態の要観察が必要である。</li> </ul>

個別の教育支援計画(基本情報シート)

フリガナ	マツモト アカネ	性別	手帳の有無		
氏名	松本 茜	女	愛の手帳	身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳
			A 1	1種1級	級
			平成20年1月交付	H20年1月交付	年月交付
生年月日	平成17年1月22日	障害名 診断名	四肢体幹機能障害		
保護者名	松本 岳	連絡先	045(313)0052		
住所	横浜市横浜区磯子区田中1-29-3 サンタクルス横浜洋光台101				
入学前情報 入学前学校名	横浜市立中村特別支援学校小学部 横浜市立中村特別支援学校中学部				

学校情報・ アクセスメント	学校名	特別支援学校高等部			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度
	保護者 確認月日	令和2年5月14日	令和3年5月10日	令和4年5月14日	
	学年・組	1年 5組	2年 6組	3年 7組	4年 組
	担任名	桜木 彩子	流川 太郎	大空 彰	
	記入者名	中田 樹	仙道 翼	岬 楓	

本人の様子	小学部の様子	中学部の様子
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日によって体温や体調に変化はあるが、登校した際にはしっかり覚醒して、学習活動に取り組むことができていた。特に集団学習では、やる気を表情や発声、身体の動きで表出していた。</li> <li>・身体意識を高めるとともに、緊張の抜き方がスムーズにできるようになってきた。</li> <li>・感情表現が豊かになり笑顔だけではなく、ムスツとした表情や声を出して伝えることが増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中1に胃ろう増設後、体の変化が大きく、入退院が多かった。体温、緊張の変化もあるが、登校時は意欲的に学習活動に取り組むことができた。</li> <li>・様々な姿勢や粗大運動、感覚を使用する学習活動を通して、身体への意識を高めるとともに、緊張を抜くこともできるようになってきた。</li> <li>・感情の表出が多くなり、表情や発声、手や首の動きで表現できるようになってきた。</li> </ul>
	障害名・診断名・医学的所見(服薬等)・手帳の取得 医学的所見[服薬]など：服薬(緊張緩和剤 去痰剤ほか)、経鼻経管による注入、胃ろうによる注入(2018,4月変更) 口腔・鼻腔吸引、夜間在宅酸素療法(0.25l/分) 障害者受給者証：有 車いす作成年月日：平成23年9月作成 平成26年9月作成(2014.9.22) 平成30年12月作成(2018.2.13) 装具作成年月日：平成23年4月作成 平成27年10月作成(2016.2.26) 平成31年1月作成(2019.2.13)	

支援情報(支援機関・支援期間・支援内容)	地域生活・余暇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1~2回は放課後等デイサービスこいぬを利用している。</li> <li>・土日や長期休業中はガッツいしまつ西を利用することがある。</li> <li>・磯子区ネットワークの親の会・訓練会に参加している。</li> <li>・兄弟児がいて、中村特支の学校行事にも保護者と参加している。</li> </ul>
	医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県立こども医療センター 総合診療科 Dr. 田上 1回/月、整形外科 1回/半年、神経内科 Dr. 井合 1回/3か月(ボトックス注射他相談)、歯科 1回/3~4カ月、外科 Dr. 白井 1回/3か月</li> <li>1回/3.4か月</li> <li>・横浜療育福祉センター港南 PT加藤 2回/月、整形外科 1回/月</li> <li>・西区医療センター訪問看護ステーション PT 1回/週 (H30.8追記)</li> <li>・在宅医 浅野医院 黒田Dr. (H31.4追記)</li> </ul>
	福祉機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時ケア ぱっちこいみなみ ガッツいしまつ西</li> <li>・訪問看護 レスパイトサービス花 1~3回/週</li> <li>・通学支援ヘルパー 市民ビート中央(送迎)</li> <li>・デイサービス こいぬ(放課後等デイサービス)</li> <li>・ショートステイ こども医療センター ・メディカルショートステイ 関東労災病院</li> </ul>
	労働機関	

横浜市立中村特別支援学校 学校長  
 以上の内容を確認し、学校が支援機関と情報を共有し、連携して支援を行うことに同意します。 令和4年5月14日 氏名 松本 岳

氏名【 松本 茜 】の 情報			
学校生活や社会生活への期待 ・ 成長への願い	本人から ・体調を崩すことなく、高校生活を過ごしたい。	保護者から ・体調を崩すことなく、通学できるよう願っている。 ・卒業後の進路について具体的に考えていきたい。 ・学校生活を通して、自分の気持ちをもっと体や表情で表現できるようになってほしい。	
	よ さ ・得意なこと・頑張っていること ・どんな活動でも意欲的に取り組むことができる。	苦手なこと、困っていること ・新しい活動は、始めは身体に緊張がはいったり声をだしたりすることがある。	
現 在 の 様 子	学 習	・物事の選択や好き嫌いを、わかりやすく提示することで表情や発声、手や首の動きで表現することができる。	・すぐにレスポンスがないこともある。体調が思わしくないときは、表現できないときもある。
	行 動	・教員や友だちに興味をもつことができる。	・興味がないと反応が薄くなる。
	人 間 関 係	・家庭は協力的であり、体調管理や様々な体験を考えて取り組んでいる。	
	家 庭 生 活		
<b>教育支援の内容</b>			
教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した健康状態の維持</li> <li>身体機能の向上</li> <li>意思伝達手段の拡大</li> </ul>		
3年もしくは4年間で目指す子どもの姿 (高1～高3・4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定した体調で、学校生活のいろいろな活動や行事に参加することができる。</li> <li>いろいろな姿勢、粗大運動、感覚を使用した学習を通して、身体への意識を高めることができる。</li> <li>感じたことや自分の意志を発声や表情、手や首の動きなどで表現し、誰にでもわかるように伝えられる。</li> </ul>		
<b>支援の具体</b>	学年	<b>成長の様子</b>	<b>次年度への引継ぎ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し、健康状態に配慮しながら学習活動・行事に参加できるようにする。</li> <li>日頃から身体を動かす機会を多くもち、身体意識を高める。</li> <li>本人からの表出を受け止めフィードバックしたり、自分の思い等を伝える機会を多く設定する。</li> </ul>	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し、良い健康状態で学習活動・行事に参加することができた。</li> <li>粗大運動などを毎日継続することで緊張が抜けやすくなってきた。</li> <li>好みの物や活動には、提示するだけで笑顔で期待感を表していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭とのこまめな連携が必要。</li> <li>粗大運動だけではなく、身体全体の緊張を緩める機会も継続的に設定する。</li> <li>自分なりの意思表出方法の拡大。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し、健康状態に配慮しながら学習活動・行事に参加する。</li> <li>日頃から身体を動かしたり緊張を緩める機会を多くもち、身体意識を高める。</li> <li>本人からの表出を受け止めフィードバックしたり、自分の思い等を伝える機会を多く設定する。</li> </ul>	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し、良い健康状態で学習活動・行事に参加することができた。</li> <li>緊張を緩めてから活動に参加することができた。</li> <li>目や口、首の動きだけではなく、発声もして意思を表出できるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭とのこまめな連携が必要。</li> <li>粗大運動、緊張を緩める、伸ばす等の活動を継続的に行う。</li> <li>自分なりの意思表出方法の拡大とフィードバックすることでの理解への支援。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し、健康状態に配慮しながら学習活動・行事に参加する。</li> <li>身体を動かしたり緊張を緩めたり伸ばしたりする機会を多くもち、身体意識を高める。</li> <li>本人からの表出を受け止めフィードバックしたり、自分の思い等を伝える機会を多く設定する。</li> </ul>	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し、良い健康状態で職場実習に参加することができた。</li> <li>環境が違って緊張が緩んで参加できることが多くなった。</li> <li>教員でなくても、自分の意思を表出し、伝わる経験を多く積むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境が大きく変わるので家庭との連携と状態把握の情報共有は必須。</li> <li>緊張を緩めるための運動や粗大運動の機会を継続的に設定する。</li> <li>意志表出の受け止めとフィードバック、そのことでの表出方法の拡大の継続。</li> </ul>
	4年		
進路	保護者や本人の希望		進路先への引継事項・留意点等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後は自宅に近い場所で1, 2か所4～5日通える場所を希望。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>体温調整や呼吸状態、身体の緊張については、こまめな確認が必要である。</li> <li>健康状態の把握は家庭と情報共有をこまめにするには必須である。</li> <li>安定していると見えても、呼吸状態の悪化や体温上昇降下をすることが多いので、定期的な健康観察をする。</li> <li>目や口、首や手の動き、発声で、快不快やYes, Noを伝えることが多いので表出を見逃さずに活動する。</li> </ul>

移行支援シート 基本情報

				2021年2月5日			
個別の教育支援計画 移行支援シート(高等部・高等学校等) 基本情報							
ふりがな	なかむら しんぺい			性別	男		
氏名	中村 慎平			生年月日	平成12年 10月 23日		
				電話番号	045-123-456		
保護者名	中村 瞳			住所	横浜市南区誉田町4-32-1		
障害名	四肢麻痺			手帳	1種1級 A1		
本人が希望する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャツが入っているので、頭部への衝撃などに注意が必要。</li> <li>・H29年2月と6月に右目の手術をした。目周辺を叩いたり引っかいたりしないよう、配慮が必ず。</li> <li>・H30年1月に側彎の手術をおこなった。移乗の際は背中が丸まらないようにする。排泄のオムツ替えは寝返りをするようにかえる。</li> <li>・発作がある。前兆として、手をギュッと握りしめ、目つきが変わる。ひどくなると嘔吐が伴うこともある。主に、朝食後におこることが多い。</li> <li>・体調不良時には、泣く、空嘔吐、イライラするなどの症状が見られる。空嘔吐は発作の前兆かもしれないので注意が必要。</li> <li>・嬉しかったり怒ったり、気持ちが高ぶったときに、顔や耳を叩いたり引っ掻いたりして出血することがある。</li> </ul>						
本人の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのことは苦手だが、慣れてくるといろいろなことに取り組むことができる。</li> </ul>						
出身校	横浜市立中村特別支援学校			電話番号	045-261-9863		
				FAX	045-261-9872		
	担任名	小笠原 浩二		進路担当	三浦 芳美		
所在地				神奈川県横浜市南区中村町4-261-1			
区担当ケースワーカー				担当者名			
	電話番号				障害支援区分		
主治医または連携する医療機関	名称	神奈川県立こども医療センター		担当者名	松井Dr.		
	所在地	神奈川県横浜市南区六浦2-138-4		電話番号	045-711-2351		
	備考						
進路先①	名称	そよかぜの家					
	所在地	〒233-0003 神奈川県横浜市港南区港南4丁目2-8					
	電話	045-847-0230		FAX	045-845-5610		
	担当者名				部署・役職		
	Email						
進路先②	名称	たちいずみの					
	所在地	〒245-0016 神奈川県横浜市泉区和泉町6562-1					
	電話	045-805-0105		FAX	045-805-0130		
	担当者名				部署・役職		
	Email						
進路先③	名称						
	所在地	〒					
	電話				FAX		
	担当者名				部署・役職		
	Email						
計画相談支援事業所	名称				担当者名		
	所在地	〒			電話番号		
	備考						
その他連携機関①	名称	横浜医療福祉センター港南		担当者名			
	所在地	〒234-0054 横浜市港南区港南台4-6-		電話番号			
	備考						
その他連携機関②	名称				担当者名		
	所在地	〒			電話番号		
	備考						
<b>個人情報の取扱いについて</b>							
卒業後の支援の充実のために、移行支援シートの情報を進路先及び連携機関へ提供することについて同意いたします。							
令和元年	5月	22日	氏名	中村 瞳 (本人・保護者)			
			氏名	(本人・保護者)			
自署し、どちらかに○をつけてください							

個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式1			
氏名	中村 慎平	出身校	中村特別支援学校
学習の様子			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのことは苦手ですが、慣れてくるといろいろなことに取り組むことができる。</li> <li>・握る、つまむ、引っ張る、スイッチを押すなどの手の動きができる。左手優位ですが、右手も使うことができる。</li> <li>・トランポリンで揺れたり、抱き姿勢で回転したりする粗大運動は好きである。</li> <li>・のこぎりやドリルなど、工具を使うことが好きです。ただし、工具の中にも好き嫌いはあると考える。</li> <li>・粘土や絵の具などドロドロしたものを直接手で触ることは苦手。</li> <li>・自分の持ち物をかばんから出したり、しまったり、靴や靴下を脱ぐなどの自主動作がある。</li> </ul>			
コミュニケーション			
理解			
表出			
日常生活の様子			
移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全介助</li> <li>・車椅子</li> <li>・学校用SRCウォーカーで歩行していたが、側彎手術後は実施していない。</li> <li>・背這いでエアレックスマットを移動していたが、側彎手術後は実施していない。</li> </ul>		
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分介助</li> <li>・粗ミキサー食を経口摂食。</li> <li>・介助皿3皿を自分で位置をかえながら食事する。</li> <li>・水分は増粘剤でとろみをつけてスプーンで摂取。</li> </ul>		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全介助</li> <li>・オムツ+パット使用</li> <li>・側彎手術後は足をあげるのではなく、寝返りをするようにオムツをかえる。</li> <li>・トイレサイン（下腹部に手をやる、支援者の手を下腹部周辺に誘導する）がある。</li> </ul>		
入浴・洗面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全介助</li> </ul>		
更衣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全介助。上着の腕を通す際には自分で手を伸ばす協力がある。</li> <li>・ズボン、上着の際に、寝返りをするようにおこなう。</li> </ul>		
障害の状態・健康			
<服薬・発作>			
性格・行動の様子			
本人の望む生活、必要な支援			
自分の得意なことができる活動をしたい。 楽しい雰囲気の中で過ごしたい。			
保護者の希望			
親子ともに安心して、楽しく元気に毎日過ごせる場所を見つけていきたい。			

個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式2(就労・進学・訓練機関用)				
氏名	中村 慎平		出身学校名	中村特別支援学校
健康面での 配慮事項	服薬	テグレートール・イーケプラ		通院
	その他			
学習面				
移動	全介助(車いす)			
身辺自立 (ADL面)	更衣 排泄 食事			
健康面				
コミュニケーション				
その他				
今後必要となる 支援				

個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式3(就労支援センター等連携用)					
		氏名	中村 慎平	出身校	中村特別支援学校
健康面での 配慮事項	服薬	テグレートール・イーケブラ		通院	
	その他	ヒアレイン			
在 学 中 の 状 況	出席状況	良好			
	学校生活・学習への 取組姿勢				
	コミュニケーション の状況	問いかけにタッチや発声で応えることができる。			
	現 場 実 習	学年	期間	実習先	評価(課題を含む)
		1	2017・1・30	そよかぜの家	落ち着いて過ごすことができた。
		2	2017・10・2	たちほどがや	落ち着いて過ごすことができた。
2		2017・11・7	ひかり		
	3				
進路先企業について		#REF!			
障害者雇用の 状況	障害者雇用の経験				
	現在就業中の 障害者数				
配属部署	部署名			部署の従業員数	約 人
就労条件について					
雇用形態					
勤務時間					
勤務日・休日					
業務内容					
作業環境					
その他 就労にあたっての 合理的配慮事項 等					



**個別の教育支援計画 移行支援シート 追加様式3(就労支援センター連携用)**

氏名	中村 慎平	出身校	中村特別支援学校
----	-------	-----	----------

**支援目標・支援体制について**

支援目標・支援内容	支援目標	本人への支援	企業への支援
	支援内容		

学校からの支援	学校からの支援期間	本人への支援	企業への支援
	役割		

就労支援センター	センター名	本人への支援	企業への支援
	役割		

**個人情報の取扱について**

就労支援センター登録するに当たっては、就職及び職場定着に向けて就労支援センターが地域の関係機関(行政、教育、福祉、企業等)と連携して支援すること、そのために登録者の障害の状況等の情報(個別の教育支援計画 移行支援シート)をこれらの機関と共有することがあります。

私は、上記、個人情報に関する取扱事項に同意致します。 令和元年 5月 22日

	本人氏名	中村 慎平
	保護者氏名	中村 瞳

## アセスメントシート【教科等】

令和10年度

氏名	茨城 藍	性別	女	学部・学年	小学部・6年
	現在の様子				
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みのある歌を大きな声で歌うことができる。</li> <li>・簡単なリズム打ちができる。</li> <li>・色や数字のシールを貼った鍵盤ハーモニカでキラキラ星等を演奏することができる。</li> </ul>				
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハサミやのりを使って、切ったり貼ったりすることができる。</li> <li>・色を選び、ペンや筆で塗ることができる。</li> <li>・友だちや教員の顔を書くことができる。</li> </ul>				
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟らかいボールを片手または両手で投げるができる。</li> <li>・Tベースでは、バットを持って打つことができる。</li> <li>・</li> </ul>				
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の栽培として、種を蒔きやジョウロでの水やり、握って引っ張っての収穫ができる。</li> <li>・買い物の中で自分の財布からお金を出し、お釣りを受け取ることができる。</li> <li>・カレンダーを理解して簡単な予定の把握ができる。</li> </ul>				
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～10までの数は理解しています。また、1～10までの数字を書けるようになってきました。終点を意識して縦に並んだ2つの点をつなぐこともできるようになった。</li> <li>・○、△、□の形や色の理解はできており、なぞり書きができる。</li> <li>・1～10までの数の合成ができる。</li> <li>・ひらがなを読むことができるようになりました。拗音や促音については○で囲むことで、正しい発音で読もうとする様子がみられる。</li> <li>・ひらがなをほぼ書くことができるようになった。</li> </ul>				
作成者	田中 ひろみ	作成日	令和10年5月22日		

# アセスメントシート【教科等】

令和13年度

氏名	松本 茜	性別	女	学部・学年	中学部・3年
現在の様子					
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽は好きで、特に生の演奏のときには、大きく目を開けたり歌うように大きく口を開けたりする。</li> <li>・音楽を聞くだけではなく、音に合わせてのタッピングなどを好む。</li> <li>・教員や友だちの歌声を良く聞く様子が見られる。</li> <li>・楽器の音の振動を感じることができる。</li> <li>・好きな音楽のときには目を大きく開けたり首を動かしたりするが、関心のない音楽には反応しないことが多い。</li> </ul>				
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始めに活動内容を提示し体験することで、様々な素材に触ることに抵抗がなくなってきた。</li> <li>・動きに合わせてリズムカルに活動することを好む。</li> <li>・自分の好きな色や形、方法などを教員と一緒に選択（2択）して活動に取り組むことができる。</li> </ul>				
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリンやバルーン、回転などの粗大運動を好む。</li> <li>・台車スライダーなどのスピード感のある活動を好む。</li> <li>・すいえいをとても好み、入る前から期待感をもって参加できる。水の中でも身体に緊張が入らず活動することができる。</li> <li>・ボウリングなどの玉を投球器に乗せてゆっくり押し出すような手の動きがある。</li> </ul>				
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての材料や素材の感触や臭いに驚くことがある。</li> <li>・好きな道具は握っていることが多い。</li> <li>・道具を使用するときの音や振動を好む。</li> <li>・食べ物の香りや感触をじっくりと嗅ぎ、口を動かすことができる。</li> </ul>				
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝や帰りの学活や学級の係活動に好き嫌いなく取り組むことができる。</li> <li>・タブレット端末の動きや音がある画面に興味をもち、手指をわずかに動かして触ったり視線をむけたりすることが多い。</li> <li>・絵本の読み聞かせなど、物語をじっと見たり聴いたりして興味をもっている様子が見られる。</li> <li>・事前学習を行い、期待感をもって参加することができる。また参加して自分なりの楽しさを感じて意志表出することが多くなっている。</li> <li>・集団活動のにぎやかな環境の中でも、落ち着いて学習活動に取り組める。</li> </ul>				
作成者	杉田 秀子	作成日	令和13年5月22日		

# アセスメントシート【教科等】

令和20年度

氏名	中村 新太郎	性別	男	学部・学年	高等部・2年
/	現在の様子				
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな歌やなじみのある曲を聴くと、笑ったり、声を出したりする。</li> <li>・教員が太鼓やタンバリンなどの膜を鳴らす楽器を目の前に提示すると、叩いて音を出すことができる。鈴やマラカス、バチを使って音を鳴らす楽器などを手に持つと後方に投げってしまうことがある。</li> <li>・特徴的なリズムの曲や歌を聴くと、身体を動かして楽しいことを表現することができる。</li> <li>・興味・関心のある音楽や曲が流れると、楽しそうに全身を動かす。</li> <li>・なじみのない歌や曲が流れると、静かに聴いている様子がみられる。</li> </ul>				
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具に触ると、握ったり指先を動かしたりして、感触を確かめている様子がみられる。絵の具を手のひらに塗り、教員と一緒に手形をとることができる。</li> <li>・ペンや筆、ローラーを教員と一緒に持つと、腕を動かして思いのままを絵に表すことができる。</li> <li>・興味・関心のある作品やものは、手に取りじっと見ることがある。</li> </ul>				
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌に合わせて教師と一緒に手足を動かすことができる。</li> <li>・教員と一緒に音楽に合わせてバルーンで揺れることができる。</li> <li>・球入れゲームでは、球入れ用投球器のトリガーを引っ張って球を投げることができる。</li> <li>・エアトランポリンを使った学習では、落ち着いて大きな揺れを受け入れることができた。</li> <li>・ボウリング用投球器を使って自分で球を押し出すことができる。</li> <li>・水袋を使った学習（プール体験）では、水の音や揺れに親しむことができた。</li> <li>・桶に入った水に、自ら両手を入れて水遊びをすることができる。</li> </ul>				
職業・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・餅つきの学習では、教員と一緒に杵を持ち、餅を叩くことができた。餅つきの楽しい雰囲気を感じとり、笑顔をみせて取り組むことができた。</li> <li>・ハーブの栽培では、土の代わりに使用したジェルボールに興味を示し、触ったりよく見たりしていた。</li> </ul>				
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会では、呼名後に声を出して応える事ができる。また、教員が手を出すと、手を合わせる事ができる。</li> <li>・クラブ活動では、回を重ねるごとに徐々に異学年の友達や教員とのかかわりを深めることができた。</li> <li>・国際理解教室では、外国籍の講師と一緒に楽しくかかわることができました。</li> </ul>				
作成者	塩原 正慎	作成日		令和20年 5月 22日	

## 個別の指導計画【教科等】

令和10年度

氏名	茨城 藍	性別	女	学部・学年	小学部・6年
	指導目標	指導内容・手立て		指導経過・評価	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声で表現できる。</li> <li>さまざまな楽器で表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく取り組める曲でタイミングよく発声できるようにする。</li> <li>色をつけた楽譜や鍵盤で取り組みやすいようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「あ」の歌ではマイクに向かっていろいろな「あ」をタイミングよく表現することができた。</li> <li>鍵盤ハーモニカで「キラキラ星」のほか、「ハッピーバースデー」の曲も弾くことができるようになった。</li> </ul>	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>色や形を意識し、さまざまな材料や用具を使って表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材や色を自分で選び、表現できるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>折り染めでは、コーヒーフィルターの上・下両方に色をつけ朝顔を作り配置を考えながら台紙にはることができた。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象物との距離感を理解してコントロールできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>的当てやボール運動で、対象物を狙う経験を重ねるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンドサッカーでは、ゴールを狙い、両手で力強くシュートを決めることができた。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節を感じる。</li> <li>植物の成長や変化に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌や教材で季節を感じられるようにする。</li> <li>苗植や収穫等。栽培を体験する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕では、短冊に何枚も願い事を書いて飾りつけを行い、季節を感じることができた。</li> <li>苗うえで土に触れ、自分でジョウロで水やりをし、ピーマンを握って引っ張り収穫した。</li> </ul>	
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物や身近な生活を通して数への理解を深める。</li> <li>助詞を使って表現できるようになる。</li> <li>手作業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1～10までの数の合成・分解を理解できるようにします。</li> <li>生活で体験したことを簡単な文章にして伝えます。</li> <li>感想や発表などで、自分で表現する場を設定します。</li> <li>おりがみや手芸などに取り組むようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳パックを角ハンガーに干す・外すの作業の中で数を数えながら学習した。</li> <li>学習の振り返りや帰りの会の感想で、気持ちを表現する言葉のレポーターが増えてきた。</li> <li>牛乳パックやフェルト地に紐や毛糸で波縫いすることができるようになった。</li> </ul>	
作成者	田中 ひろみ	作成日		令和10年5月22日	
		評価日		令和11年2月22日	

## 個別の指導計画【教科等】

令和13年度

氏名	松本 茜	性別	女	学部・学年	中学部・3年
	指導目標	指導内容・手立て		指導経過・評価	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を聞くだけではなく、身体で感じる経験を広げる。</li> <li>好みの音色や音楽を見付けられる機会をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の振動やリズムに合わせてのタッピングなどが感じられるように支援をする。</li> <li>いろいろな音楽や楽器など選択ができる環境を整える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>和太鼓の音の大きさだけではなく、直接触ったときには、大きく目を開けて振動を感じることができた。</li> <li>テンポの速い曲が覚醒が良く笑顔が見られた。ゆったりした曲のときには心地よさそうに表情を変えていた。</li> </ul>	
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>触覚・嗅覚などの感覚の経験を広げる。</li> <li>手で持つ、握るなどをし、道具を使って活動に取り組む経験をすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指や手のひら、腕などを意識できるようにタッピングやストレッチ等を行う。いろいろな操作ができる教材を提示する。</li> <li>使用する教材や道具を事前に提示し感触を確認してから活動に取り組む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>手のひらをゆっくり開いて握ってを数回してからローラーを持つと、自らぎゅっと握る様子があった。</li> <li>活動で使う体の部位に触れてから取り組んだ。道具や教材の感触や香りにびっくりすることが減ってきた。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>前後左右の大小の揺れ、回転、滑る等の学習活動を通して身体を大きく動かす経験をすすめる。</li> <li>いろいろな姿勢に慣れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大小の揺れなどで前庭覚や五感を働かせる活動をする。</li> <li>学習活動に応じ、ベンチ座位や車いす、臥位等の姿勢で取り組む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンロールにベンチ座位をして大きな左右の揺れ、体の傾きを感じることができた。多少の大きな揺れでは動じないようになってきた。</li> <li>車椅子での学習活動でも、一定時間は座っていられるようになってきた。</li> </ul>	
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな材料の感触を経験し、興味関心の幅を広げる。</li> <li>日常生活に行う調理や清掃などの体験する機会をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の名前前の提示や視覚的情報を取り入れられるよう環境設定し、落ち着いて感触を体験できるように支援する。</li> <li>調理器具や清掃用具を使用しやすいうように工夫をし、体験できるように支援する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>毛糸や竹の感触を体験した。素材そのものだけではなく、加工して変化した感触も落ち着いて触ることができた。</li> <li>お玉やはたきをしっかりと持ち、教員と一緒に用途に合わせて動かすと、じっくりと動きを感じている様子が見られた。</li> </ul>	
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の係活動に積極的に取り組む。</li> <li>個別の課題別学習は、能動的に活動ができる経験をすすめる。</li> <li>いろいろな学校行事に参加し、生活経験を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まった係活動を定期的に行うようにする。</li> <li>タブレット端末を使用したり、興味をもてる光る教材や触感を楽しむ教材を使用したりして、自主的な動きが出せる環境を整える。</li> <li>体調に留意し、活動に参加ができるように支援する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員として保健室にハンドソープをもらいに行った。教員とのやり取りで数を決めてもらうことができた。</li> <li>触れると図形と音楽が出るアプリに興味をもち、少しだが自ら指が動く様子が見られた。</li> <li>遠足、中村オリンピック、そして修学旅行に参加することができた。体調を保ち、行事に対してやる気や期待感をもって参加することができた。</li> </ul>	
作成者	杉田 秀子	作成日		令和13年5月22日	
		評価日		令和14年2月22日	

## 個別の指導計画【教科等】

令和20年度

氏名	中村 新太郎	性別	男	学部・学年	高等部・2年
指導目標	指導内容・手立て		指導経過・評価		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な打楽器などに親しみ、音を出すことができる。</li> <li>・好きな音楽や歌を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バチを握りやすいよう工夫したり、興味あるものに替えたりする。</li> <li>・いろいろなジャンルの音楽や歌を聴く機会を多くもつようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち手を握りやすいよう工夫すると、バチを持って楽器を数回鳴らすことができた。</li> <li>・なじみのない音楽や曲でも繰り返し聴くことで、笑顔がみられた。特にエーデルワイスは、声を出して楽しそうに聴くことができた。</li> </ul>		
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な材料や用具を使って、かいたり、塗ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち手を握りやすいよう工夫するなどして、自発的にかいたり、塗ったりすることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローラーを持ちやすいよう工夫すると、腕を動かして色を塗ることができた。</li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな用具を使って身体を動かすことを楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな音楽を流すなど、自発的に身体が動くような楽しい雰囲気をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせてエアトランポリンに揺れる学習では、割り座の姿勢で揺れを感じ、楽しそうな表情でバランスをとることができた。</li> </ul>		
職業・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化を感じたり、年中行事の体験をしたりして、経験の幅を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけなどを行ない楽しい雰囲気を感じることができるようにして、活動に意欲的に参加できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕の学習では、人工衛星「おりひめ」と「ひこぼし」の映像をよく見て、関心を示すことができた。</li> </ul>		
教科等を合わせた指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のHRの呼名で、タイミングよく声で返事することができる。</li> <li>・異学年の友だちや他学部の教員と楽しくクラブ活動を行うことができる。</li> <li>・外国の文化に親しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイミングよく返事をするようになったときに賞賛し、強化を図っていく。</li> <li>・声かけなどを行ないにぎやかな雰囲気をつくり、異学年の友だちや他学部の教員と楽しくかかわれるようにする。</li> <li>・事前学習などを行い、外国籍の講師と落ちてかかわれるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼名時には、声を出して返事をするのを理解している様子が見られた。タイミングのよい返事ができるよう今後も指導の継続が必要。</li> <li>・すごろくゲームでは、友だちと協力してコマを回したり、止まったマスのゲームに取り組んだりして、楽しく活動することができた。</li> <li>・サルサ体験では、にぎやかな音楽と雰囲気を感じ、笑顔で踊りを楽しむことができた。</li> </ul>		
作成者	塩原 正慎	作成日	令和20年 5月 22日		
		評価日	令和21年 1月 20日		

# アセスメントシート【自立活動】

令和20年度

氏名	中村 新太郎	性別	男	学部・学年	高等部・2年
障害名・種類	四肢体幹機能障害 鎖肛 脳梁低形成				
○前年度の様子 大きく体調を崩すことなく1年間を過ごすことができた。自分から教員の手を握ったり、教員の服を引っ張ったりするなど、積極的に関わろうとする姿勢が見られた。朝のホームルームの歌や教員の問いかけに活発に体を動かしたり声を出したりしていた。					
現在の様子					
健康の保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工肛門のため腹部にストマ用装具を身につけている。そのため、腹臥位などで腹部が圧迫される姿勢や腹部の筋肉を使う手膝這いの姿勢などは、これまであまりとってきていない。</li> <li>・人工肛門が左腹部にあるため、適宜ガス抜きが必要。においがあつたり、Tシャツに内容物が付着したりしている場合はパウチがはがれている可能性があるため、はがれてないか確認をする。はがれている場合は居室に連絡をする。</li> <li>・パウチにガスが溜まっている時には付き添いの看護師にガス抜きをしてもらう。</li> <li>・水分を取りすぎたり、体調が悪くなったりするとガスが増えたり便がゆるくなったりするため、水分は1日600ml程度の摂取制限がある。</li> <li>・服薬はないが、便やガスの状態によって整腸剤を服用することがある。</li> <li>・2014年3月に尿道狭窄手術、2015年5月に腎臓結石手術を受けている。</li> </ul>				
心理的な不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲のことが気になると集中力が持続しないことがあるが、パーテーション等で周囲の状況を制限すると集中して活動に取り組むことができる。</li> <li>・初めてのことにに対して活動意欲が低く声を出してためらうことがあるが、慣れた活動には落ち着いて取り組むことができる。</li> <li>・不満なことがあると、下唇を噛んだり、車椅子のハンドルバーに頭を打ちつけたりする。</li> </ul>				
形成の人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼関係が築けている人には、笑いかけたり、手を握ったりして、かかわりを楽しむことができる</li> <li>・知らない人や慣れていない人、苦手な人には、じっと顔を見て不安そうな表情をするが、相手からかかわりを求められると素直に応じることができるときもある。</li> <li>・怒った表情などをすると、相手の意図や感情を捉えるときもある。</li> </ul>				
環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味のあるもの格闘技の動画は、首や上体をひねってみることができる。</li> <li>・提示されたものや近くにある興味のあるものは、自ら手を伸ばして触り、顔に近づけてよく見ることができる。提示されても、興味の無いものは、すぐに放したり、倒してしまったりする。</li> <li>・具体物や状況を手掛かりにして、繰り返し行う活動には見通しをもって、落ち着いて取り組むことができる。</li> <li>・視覚や聴覚に問題はないが、触覚は過敏傾向である。徐々に慣れてきて触ることができるようになるものもある。</li> </ul>				
身体の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座位から腹臥位や側臥位、仰臥位に姿勢を変えることができる。</li> <li>・仰臥位から側臥位や腹臥位へ姿勢変換ができる。また、腹臥位から両腕支持で上体を起こして割り座になることができる。</li> <li>・背中が反った状態にはなるが、支えなしで床や台上などで座位を保持することができる。</li> <li>・援助があれば背中を反らさずに手膝這いの姿勢を保つことができる。</li> <li>・台などにつかまって膝立ちの姿勢を保持することができる。</li> <li>・立位では、膝が反張膝にならないよう腰を介助することで、腰の高さのテーブルに両手でつかまり短時間姿勢を保つことができる。</li> </ul>				
シニコ ョケ ミン ンユ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔や声を出して楽しい気持ちを伝えることができる。</li> <li>・朝のHRの呼名では、発声で応えることができる。</li> <li>・声を出したり手を伸ばしたりして、要求の対象を選択することはまだ難しい。</li> </ul>				
作成者	塩原 正慎	作成日	令和20年 5月 22日		



## 個別の指導計画【自立活動】

令和20年度

氏名	中村 新太郎	性別	男	学部・学年	高等部・2年
障害名・種類	四肢体幹機能障害 鎖肛 脳梁低形成				
目標					
①体幹を保持する筋力と下半身を使って身体を支えるバランス力を身につける。 ②集中力を持続させて、意欲的に課題に取り組むことができる。					
取り組んでいる活動・内容					
活動・内容			指導内容・手立て		
バランスボールを使った活動 (①②)			・前後に揺れるようバランスボールを動かし、体幹の筋肉が働くようにする。 ・教員とのやりとりを通して意欲を高め、集中力の向上を図る。		
膝立ちの姿勢保持の活動 (①)			・ウレタンブロックに手をつき、片手を離して膝立ちの姿勢をとることができるよう支援し、抗重力筋が働くようにする。 ・膝立ちの姿勢から片手を離し、教員と手を合わせるようにする。		
手膝這いの姿勢保持の活動 (①②)			・手膝這いの姿勢をとることができるよう支援し、体幹の筋力が働くようにする。 ・興味・関心のある動画を用意し、集中力の持続を促す。		
バランスロールを使った活動 (①②)			・バランスロールにまたがり、体幹の筋肉を働かせながら足に体重をのせてバランスをとるようにする。 ・ビー玉の入ったペットボトルを提示し、手を伸ばして倒すよう促す。		
目標に対する指導経過・評価					
①【バランスボールを使った活動】で体幹の筋肉が働くようになったことも加え、毎日手膝這いの姿勢をとることで、姿勢保持が安定するようになってきた。はじめは背中が反った状態でバランスボールの前後の揺れに取り組んでいたが、バランスロールに替えて行なうと、背中を反らさずに前後の揺れの活動に取り組むことができた。 【バランスロールを使った活動】では、反張膝にならないようにバランスロールにまたがり左右に体重移動することで、下肢で身体を支える力やバランス力が高まってきた。また、【膝立ちの姿勢保持の活動】では、膝立ちの姿勢から片手を離し、教員と手を合わせることでより負荷をかけた状態でも安定した膝立ちの姿勢保持ができるようになってきている。 ②【手膝這いの姿勢保持の活動】では、興味・関心のある動画を見ることで、集中力を持続しながら活動に取り組むことができた。また、【バランスロールを使った活動】では、手を伸ばせば届く距離にペットボトルを提示し、バランスを取りながら活動に取り組んだ。教員とコミュニケーションをとりながらペットボトルを提示することで、意欲的に取り組むことができていた。					
作成者	塩原 正慎	作成日		令和20年 5月 22日	
		評価日		令和21年 1月 20日	

同意書

令和20年度							
<h1>同意書</h1>							
(氏名)	茨城 藍			に係る個人情報について必要			
<p>があるときは、貴校が本人・保護者以外の関係者並びに関係機関から</p> <p>収集もしくは、提供することに同意します。</p> <p>ただし、収集もしくは、提供できる個人情報は支援シートの作成、</p> <p>活用、に関わるものに限ることとします。</p>							
記							
<b>【除外事項】</b>							
令和20年5月15日							
横浜市立中村特別支援			学校長様				
本人							印
保護者				茨城 正慎			印

各書式(原本)はサーバー内の、、、

¥共通 → ¥各種書式 → ¥個別書式 → ¥2020年度～ 新書式

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 低学年グループ) (音楽) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を広げ、音や音楽に気づいたりいろいろな音楽表現の方法を知ったりするとともに、できることを見つげたり増やしたりしながら音楽活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	いろいろな音楽に慣れるとともに、音や楽器を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	音楽活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4 5	みんなで歌おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽遊びの経験をし、好きなこと、できることを見つげながら活動に取り組む。</li> <li>いろいろな音楽に慣れると共に、感じたことを表すことができる。</li> <li>音楽活動を通して、興味関心を広げる。</li> </ul>	歌・歌遊び 手遊び歌 歌に合わせた簡単な身体表現 歌に合わせた簡単な楽器遊び	CD 歌詞カード 楽器等
6 7	歌で遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなこと、できることを見つげながら音楽活動に取り組む。</li> <li>いろいろな音楽になれるとともに感じたことを表すことができる。</li> <li>音楽活動を通して、一緒に活動する友だちに気づくことができる。</li> </ul>	歌・歌遊び 歌に合わせた身体表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>一人で行うもの</li> <li>みんなで行うもの</li> </ul> ダンス	CD 歌詞カード 楽器等
8 9 10	叩いてならそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>打楽器を鳴らす経験を通して、音に気づき、自分なりの鳴らし方を見つける。</li> <li>好きな打楽器や鳴らし方を選ぶ。</li> <li>音楽活動を通して、一緒に活動する友だちに気づくことができる。</li> </ul>	楽器遊び いろいろな楽器をならす 歌に合わせてならす みんなでならす	楽器
11 12	音やリズムを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽遊び・身体表現等の経験を広げ、音や音楽に気づき、できることを見つげながら音楽活動に取り組む。</li> <li>好きな音を選んだり、感じたことを表現したりできるようにする。</li> <li>活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げる。</li> </ul>	音探し・音作り 身近な素材で手作り楽器 演奏・ダンス 手作り楽器で演奏・ダンス	手作り楽器の材料 CD等
1 2 3	中村ワンダーランド	<b>【リズムを感じる】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽活動を通して、リズムやリズムの変化に気づく。</li> <li>リズムの変化を感じ、表現することができる。</li> <li>活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げる。</li> </ul> <b>【音・演奏を鑑賞する】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>音や演奏を鑑賞する経験を通して、音の響きに気づき、好きな音色や楽器の音を見つける。</li> <li>音や演奏を鑑賞し、感じたことを表現することができる。</li> <li>鑑賞を通して、興味関心の幅を広げる。</li> </ul>	<b>【リズムを感じる】</b> 音楽に合わせた身体表現 テンポの変化、ON/OFF 拍子の変化等 <b>【音・演奏を鑑賞する】</b> 「音と光のハーモニー」等 音の響き 演奏の鑑賞	CD等  ライト類 楽器

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小部 中グループ) (音楽) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を広げ、音や音楽に気付いたりいろいろな音楽表現の方法を知ったりするとともに、できることを見つげたり増やしたりしながら音楽活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	いろいろな音楽に慣れるとともに、音や楽器を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	音楽活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4 5	春の音楽会 【いろんな音の重なりを知ろう】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽遊びや演奏を通し、いろいろな音色や表現の方法を知り活動に取り組む。</li> <li>・いろいろな音楽に慣れるとともに、好きな音を見つける。</li> <li>・音楽活動を通してを、一緒に活動する友だちや教員の存在に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじまりの歌(歌唱・音楽遊び):ドレミのうた</li> <li>・いろんか声の重なりを知ろう:</li> <li>・いろんな楽器を演奏してみよう(器楽) :ミッキーマウスマーチ</li> <li>・鑑賞:はるの小川(パラバルーン)</li> </ul>	CD 歌詞カード 楽器等
6 7	夏の音楽会 【手作り楽器deサンバ!】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体表現や演奏を通して、リズムやリズムの変化に気づく。</li> <li>・いろいろな音楽に慣れるとともに、音楽に合わせて表現することができる。</li> <li>・音楽活動を通してを、一緒に活動する友だちや教員の存在に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじまりの歌(歌唱・音あそび):ドレミのうた</li> <li>・手作り楽器を演奏しよう:</li> <li>・鑑賞:雨ふり水族館(パネルシアター)</li> </ul>	CD 歌詞カード 楽器等
8 9 10	秋の音楽会 【和楽器を演奏しよう】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和楽器の演奏を通して、いろいろな音色や表現の方法を知り活動に取り組む。</li> <li>・いろいろな音楽に慣れるとともに、好きな音を見つける。</li> <li>・音楽活動を通してを、一緒に活動する友だちや教員の存在に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじまりの歌(歌唱・音あそび):ドレミのうた</li> <li>・和楽器を演奏しよう:和太鼓や琴などを演奏する。</li> <li>・鑑賞:うさぎ</li> </ul>	CD 歌詞カード 和楽器等
11 12	冬の音楽会 【友だちと協力して演奏しよう】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏を通し、いろいろな楽器の演奏方法や表現の方法を知り、できる方法を生かしながら演奏活動に取り組む。</li> <li>・いろいろな音楽に慣れるとともに、好きな音を見つける。</li> <li>・音楽活動を通してを、一緒に活動する友だちや教員の存在に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじまりの歌(歌唱・音あそび):ドレミのうた</li> <li>・リコーダーやトーンチャイムなどを使って合奏(器楽):聖者の行進・ゆかいな牧場</li> <li>・鑑賞:クリスマスや冬にまつわる曲</li> </ul>	CD 歌詞カード 楽器等
1 2 3	光と音のハーモニー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏を通し、いろいろな音色や表現の方法を知り活動に取り組む。</li> <li>・いろいろな音楽に慣れるとともに、好きな音を見つける。</li> <li>・音楽活動を通してを、一緒に活動する友だちや教員の存在に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじまりの歌(歌唱・音あそび):ドレミのうた</li> <li>・身体表現:</li> <li>・鑑賞:音と光のハーモニー 演奏の鑑賞</li> </ul>	CD 歌詞カード 楽器等

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 高学年グループ) (音楽) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を広げ、音や音楽に気付いたりいろいろな音楽表現の方法を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながら音楽活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	いろいろな音楽に慣れるとともに、音や楽器を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	音楽活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4 5	どんな友だちがいるかな？ みんなでステキな音を楽しもう！	・自分の音を決めたり、友だちの音を聴いたりして、音楽を楽しむ。	①「あ」のうたを歌う。 ②手遊び・リトミックをする。 ③歌に合わせて、楽器を鳴らす。	・歌唱：「あ」のうた ・手遊び・リトミック 「あなたのお名前は」 ・器楽：タンバリン、カスタネット、マラカス 「こげよマイケル」「こいのぼり」 <small>○歌詞カード、楽器、CD、タブレット端末</small>
6 7	夏を感じよう	・夏の歌で音やリズムを楽しむ。	①「あ」のうたを歌う。 ②手遊び・リトミックをする。 ③歌に合わせて、楽器を鳴らす。 ④音楽鑑賞をする。	・歌唱：「夏は来ぬ」 ・手遊び・リトミック 「山のごちそう」 ・器楽：タンバリン、カスタネット、マラカス 「気球にのってどこまでも」 ・鑑賞「ヨーデル」「ガムラン」「folkローレ」「ハンガリー舞曲第5番」
8 9 10	様々な曲調を味わおう。 楽器を知り、自分のやり方で演奏しよう。(秋を感じよう)	・曲調やリズムの違いを感じ、動きに合わせて楽しむ。 ・楽器とその音を知る。 ・自分が担当する音を決め、演奏する楽しみを味わう。	①「あ」のうたを歌う。 ②手遊び・リトミックをする。 ③歌に合わせて、楽器を鳴らす。	・歌唱：「あ」のうた ・手遊び・リトミック「東京音頭」「がんばれパチパチマン」 ・器楽：ギロ、アゴゴ、シェケレ、マラカス、鈴、ボンゴ、ビブラスラップ、カバサ等 「風になりたい」
11 12	世界の音楽に親しまおう (冬を感じよう)	・曲の面白さを感じたり、見つけたりする。 ・楽器とその音を知る。 ・自分が担当する音を決め、演奏する楽しみを味わう。	①「あ」のうたを歌う。 ②手遊び・リトミックをする。 ③歌に合わせて、楽器を鳴らす。 ④音楽鑑賞をする。	・歌唱：「あ」のうた、「むすんでひらいて」 ・手遊び・リトミック「つるぎのまい」「アブラハムの子」 ・器楽・鑑賞：ギロ、アゴゴ、シェケレ、マラカス、鈴、ボンゴ、ビブラスラップ、カバサ、大太鼓、シンバル等「ゴジラ」、ハンドベル等「本島」「きよしこの夜」
1 2	お正月の音楽に親しまおう (和を感じよう)	・3拍子のワルツ、2拍子の行進曲を通して、リズムの違いを味わう。 ・音を鳴らすところ鳴らさないところを意識して、自分なりに楽器を鳴らして合奏することを楽しむ。 ・日本のお正月の伝統音楽を通して琴の音色に親しむ。	①「あ」のうたを歌う。 ②手遊び・リトミックをする。 ③歌に合わせて、楽器を鳴らす。 ④音楽鑑賞をする。	・歌唱：「あ」のうた、 ・手遊び・リトミック「美しく青きドナウ」 ・器楽・鑑賞：ギロ、アゴゴ、シェケレ、マラカス、鈴、ボンゴ、ビブラスラップ、カバサ、大太鼓、シンバル等 「ラデツキー行進曲」「春の海」「さくらさくら」
3	リクエスト授業	・学んだことを生かして、曲やリズムを楽しむ。 ・自分の1年間の成長を感じながら、楽器を鳴らしたり、リズムを味わったりする。	①「あ」のうたを歌う。 ②手遊び・リトミックをする。 ③歌に合わせて、楽器を鳴らす。 ④音楽鑑賞をする。	・歌唱：「あ」のうた、 ・手遊び・リトミック 「花いちもんめ」 ・器楽・鑑賞：ギロ、アゴゴ、シェケレ、マラカス、鈴、ボンゴ、ビブラスラップ、カバサ、大太鼓、シンバル等

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (中学部) (音楽) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を深め、自分に合った音楽表現の方法についてりかいするとともに、できることを生かして音楽活動に取り組みめるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	音や音楽のつがいを意識できるようにするとともに、音楽表現の方法をきめよとしたり、自分の気持ちを伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	音楽活動を行う中で楽しみ方を広げ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	<音を知る> 「自分の音、友だちの音」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの方法で楽器を鳴らしたり、曲に合わせて声を出したりすることができる。(知・技)</li> <li>・友だちの表現を見たり聴いたりしながら一緒に活動をし、楽しさを感じるとともに音楽経験をつむことができる。(学び・人)</li> <li>・音や音楽を聴いたり感じたりして、自分なりの表出方法で気づきを表現する。(思・表・判)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじまりの歌」を知る。(中1)</li> <li>・得意なことを生かして“自分の音”を見つける(楽器を鳴らす、歌を歌うなど)</li> <li>・“友だちの音”を知る。</li> <li>・「はじまりの歌」にそれぞれの“自分の音”を合わせる。</li> <li>・感じたことを発表する。</li> </ul>	歌詞カード ウィンドバーチャイム
5				
6	<鳴らす・歌うーリズム編> ※速いとゆっくりの違いを意識して 「 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの方法で楽器を鳴らしたり、曲に合わせて声を出したりすることができる。(知・技)</li> <li>・リズムの違いや曲の速さの違いに気づきながら、活動に興味関心をもって楽しむことができる。(学び・人)</li> <li>・音楽活動を通して感じたことを、身体の動きや表情、声などで表出する。(思・表・判)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじまりの歌」を歌う。</li> <li>・曲や歌に合わせて、身体を動かしたり、教員がタッピングしたりしてリズムを体感する。</li> <li>・速さの異なる曲の演奏や歌唱・鑑賞を通して、速さの違いを感じる。</li> <li>・感じたことを発表する。</li> </ul>	歌詞カード ウィンドバーチャイム
7				
8				
9	<鳴らす・歌うーメロディー編> ※高いと低いを意識して 「 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの方法で楽器を鳴らしたり、曲に合わせて声を出したりすることができる。(知・技)</li> <li>・リズムの違いや曲の速さの違いに気づきながら、活動に興味関心をもって楽しむことができる。(学び・人)</li> <li>・音楽活動を通して感じたことを、身体の動きや表情、声などで表出する。(思・表・判)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじまりの歌」を歌う。</li> <li>・曲や歌に合わせて、身体を動かしたり、教員がタッピングしたりしてリズムを体感する。</li> <li>・速さの異なる曲の演奏や歌唱・鑑賞を通して、速さの違いを感じる。</li> <li>・感じたことを発表する。</li> </ul>	歌詞カード ウィンドバーチャイム
10				
11	<身体表現> 「 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことができる。(知・技)</li> <li>・模倣したり、リズムを意識したりして、体を動かそうとする。(思・判・表)</li> <li>・自分の得意な動きや好きな動きを見つけて表現することができる。(学び・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじまりの歌」を歌う。</li> <li>・曲やリズムを聞いて、自分で感じた動きやリズムをとる。</li> <li>・曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現をする。</li> <li>・様々な動きを組み合わせて身体表現をする。</li> <li>・友だちと動きを合わせて動く。</li> <li>・感想発表。</li> </ul>	歌詞カード ウィンドバーチャイム
12				
1	<創る・発表する・鑑賞> 「 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員や友だちと一緒に簡単な音や音楽をつくることことができる。(知・技)</li> <li>・音をつなげたり選んだりして自分なりに表現することができる。(思・表・判)</li> <li>・友だちの発表を見たり聴いたりしながら音楽の楽しさに触れることができる。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじまりの歌」を歌う。</li> <li>・音を選択したり組み合わせたりして簡単な音楽を作ろう。</li> <li>・リズムや短い音をつなげて音楽を作る。</li> <li>・いろいろな音の響きや特徴を見つける。</li> <li>・感想発表</li> </ul>	歌詞カード ウィンドバーチャイム
2				
3				

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (高等部 グループ) ( ) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	卒業後につながるいろいろな音楽活動を経験する中で、自分に合った音楽表現の方法についての理解を広げたり深めたりするとともに、できることを生かせるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	音や音楽に応じて表現するとともに、音楽表現の方法を自分で決めたり、自分の意思を伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	音楽活動を行う中で卒業後につながる楽しみを見つけ、主体的に取り組めるようにするとともに、仲間と協働して自分の役割を果たすことができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4				
5	「ビバ!サンバ ～ブラジル～」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が自分のやり方で楽器を鳴らし、その音色や振動を感じることで、ラテン楽器に親しみ興味関心の幅を広げる</li> <li>・サンバの音楽にのせて、ラテン楽器を鳴らしたり踊りを踊ったりして、ブラジルの雰囲気を感じ取る</li> <li>・クラスで音楽を作り上げ、みんなで一つのことを成し遂げる達成感を味わう</li> <li>・感じたことを、身体の動きや表情、声などで表出する</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①リオのカーニバル動画鑑賞</li> <li>②ラテン楽器体験 (マイ楽器作り)</li> <li>③サンバのリズムで楽器演奏</li> <li>④サンバのリズムでダンス</li> <li>⑤楽器隊とダンサーに分かれて発表</li> </ol>	動画：リオのカーニバル BGM：サンバの曲 楽器：スネアドラム、アゴゴ、ギロ、シェーカー、カバサ、など その他：コーヒーの香り・サンバ風衣装
6				
7	「南国のダンス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器演奏や身体表現、鑑賞などを通して、南国の音楽を体験する</li> <li>・音楽活動を通し、友だちや教員とのやり取りを楽しむ</li> <li>・感じたことを、身体の動きや表情、声などで表出する</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①南国のダンスの動画鑑賞 フラダンス、タヒチアンダンス、レゲエダンス、エイサー</li> <li>②南国の衣装・香り・あいさつを知る</li> <li>③波の音を作る (水袋、マイオーシャンドラムなど)</li> <li>④音楽に合わせて楽器を鳴らす</li> <li>⑤ダンスをする</li> </ol>	動画：ハワイ、タヒチ、フィジー、ジャマイカ、沖縄などの音楽 楽器：ウクレレ、パーランクー、三線、スリットドラムなど その他：オーシャンドラム用の容器
8・9				
10	「ヨーロッパの音楽 ワルツ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3拍子のリズムに合わせて指揮や身体表現、リズム打ちをおこない、ワルツの拍子を体で感じ取る</li> <li>・ワルツのリズムや旋律を楽しむ</li> <li>・感じたことを、身体の動きや表情、声などで表出する</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①4拍子と3拍子の音楽を聴き比べる</li> <li>②3拍子の音楽に合わせてリズム打ちをする</li> <li>③ワルツの音楽に合わせてダンスをする</li> </ol>	動画：ワルツのダンス 楽器：トライアングル、太鼓、鈴など BGM：花のワルツ、スケーターズワルツ海の見える街、いつか王子様がなど
11				
12				
1	「ラグジュアリーコンサート in高等部」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生演奏や演奏動画に触れて、好きな音色や楽器の音を見つける</li> <li>・感じたことを、身体の動きや表情、声などで表出する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①大画面でのコンサート・パフォーマンス動画の鑑賞</li> <li>②生演奏鑑賞</li> </ol>	動画： ミュージカル、オーケストラ、フィギュアスケートetc生演奏：合奏、合唱etc その他：iPad クラビノーバ プロジェクター
2	「音と光のハーモニー」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内の明暗や光の動き、楽器の音の変化に気づき、受け入れることができる</li> <li>・感じたことを、身体の動きや表情、声などで表出する</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ブラックライトに浮かび上がる光や聴こえてくる音の鑑賞</li> <li>②設置されている楽器を、自分なりの方法で鳴らす</li> <li>③光や音の変化を感じ取る</li> </ol>	使用曲：「ヒーリングミュージック」 楽器：ウィンドパーチャイム、ガング、トライアングル、ツリーチャイム、トーンチャイム その他：ブラックライト、布、装飾 iPad
3				

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。



# 令和4年度 中村特別支援学校 分教室 小学部 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	音楽遊び、器楽、歌唱、身体表現等の経験を広げ、音や音楽に気付いたりいろいろな音楽表現の方法を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながら音楽活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力・表現力等	いろいろな音楽に慣れるとともに、音や楽器を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力・人間性等	音楽活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	歌で友だちの輪を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学年の始まりや季節の変化を感じながら音楽を楽しむ【経験を深める】【楽しむ】</li> <li>・仲間を意識して演奏をする【つながる】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①季節の歌、校歌</li> <li>②友だちと順番に鳴らす</li> <li>③ミュージッククロス（風）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「校歌」「ロンドン橋」名前よび</li> <li>②タンバリン、鈴など</li> <li>③「ヴィバルディ四季 春」 ○ミュージッククロス</li> </ol>
5	リズムを感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしたり、楽器を鳴らしたりしながら、リズムや速さの違いを感じる【わかる力】</li> <li>・仲間を意識して演奏をする【つながる】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「茶摘み」歌唱、リズム遊び</li> <li>②3拍子、4拍子のタッピング</li> <li>③</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「茶摘み」「ピクニック」</li> <li>②タンバリン、鈴など</li> <li>③「おぼろ月夜」「トルコ行進曲」</li> </ol>
6	いろいろな音を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな自然の音や楽器の音色を感じる【わかる力】</li> <li>・使いたい楽器を自分で選ぶ。動きや持ち方を工夫して楽器を鳴らす【自分で決める力】【できることを生かす力】</li> <li>・楽器だけでなく、身近な物を使って音をつくる楽しさを知る。【楽しむ力】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①雨に関する歌 雨音、水の音視聴</li> <li>②雨音体験 雨の音づくり</li> <li>③光や傘をみながらの鑑賞</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「雨ふり水族館」「アンダーザシー」</li> <li>②レインスティック マラカス など</li> <li>③「にじ」</li> </ol>
7			<ol style="list-style-type: none"> <li>①海に関する歌、波音を聴く</li> <li>②ウクレレ体験、波の音作り</li> <li>③ミュージッククロス（波）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「イルカはさんぷらご」</li> <li>②オーシャンドラム、ウクレレ</li> <li>③「パーリーシェル」「浜辺の歌」</li> </ol>
8・9			<ol style="list-style-type: none"> <li>①虫の声 鳴き声</li> <li>②虫の声を楽器等で表現</li> <li>③夜の雰囲気鑑賞</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「虫の声」「とんぼのめがね」</li> <li>②マラカス、太鼓、トライアングル</li> <li>③ヴィバルディ「四季」「赤とんぼ」</li> </ol>
10	音を合わせて楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮者になって音楽を進行したり、指揮に合わせて音を出したりすることを楽しむ。【楽しむ力】【つながる力】</li> <li>・いろいろなリズムパターンを楽しむ【楽しむ力】</li> <li>・太鼓、ベルやウインドバーチャイムなどの音色を感じる。【受け止める力】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①指揮者体験 指揮者に合わせて歌唱</li> <li>②リズム作り 友だちと一緒に鳴らす</li> <li>③クラシック音楽</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「もみじ」「村祭り」</li> <li>②和太鼓</li> <li>③クラシックの曲</li> </ol>
11			<ol style="list-style-type: none"> <li>①秋～冬の歌 絵画などを作成</li> <li>②③ブラックライト&amp;雪や星のモニュメントを見ながら、ウインドバーチャイムなど</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「ほしの世界」</li> <li>②ハンドベル・トーンチャイム「きらきらほし」</li> <li>③鑑賞「星に願いを」</li> </ol>
12	音楽鑑賞会・紅白歌合戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なジャンルの音楽に触れ、好きな音楽を見つける。【経験を生かす】</li> <li>・様々な音楽に触れて自分の気持ちを表出する。【伝える】</li> <li>・友だちの活動の様子に関心をもつ。【つな</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②歌や楽器で、体を動かしたり自分の得意な方法を発表</li> <li>③友だちの発表を見る・クリスマス</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①各自好きな歌</li> <li>②マラカス、タンバリンなど</li> <li>③クリスマスソング、オルゴール曲、</li> </ol>
1	日本の伝統音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統音楽の独特な雰囲気を感じる。【わかる力】</li> <li>・教員と一緒に歌ったり体を動かしたりして、日本に伝わるわらべ歌の楽しさを感じ取る。【楽しむ】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①わらべ歌を聴く、ふれあい遊び</li> <li>②和楽器</li> <li>③雅楽の演奏視聴</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①わらべうた、「ソーラン節」</li> <li>②太鼓、鳴子など</li> <li>③「早春賦」「春の海」雅楽 演奏</li> </ol>
2	世界の音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな国の音楽の特徴に気づく。【わかる】</li> <li>・外国の音楽にあわせて、声を出したり体を動かしたりして楽器を鳴らしたりして楽しむ。【受け止める】【楽しむ】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②サンバ、フラ、などのリズムにあわせて体を動かす、楽器を鳴らす。</li> <li>③ライブに行こう</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「世界中の子供たちが」</li> <li>②マラカス、タンバリンなど</li> <li>③J-POP、流行りの歌など</li> </ol>
3	1年間のまとめ～卒業・進級に向けて～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式で歌う歌や聴く曲に馴染む。【経験を生かす】</li> <li>・1年間を振り返り、好きな曲を友達と一緒に楽しむ。【楽しむ】</li> <li>【つながる】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業式の歌を歌う。</li> <li>②得意な楽器演奏発表</li> <li>③生徒からのリクエスト音楽・ライブ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業式の歌</li> <li>②好きな楽器</li> <li>③J-POP、流行りの歌など</li> </ol>

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

①歌唱・表現②器楽③鑑賞の内容が単元ごとに含まれるようにする。

# 令和4年度 中村特別支援学校 分教室 中学部 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	器楽、歌唱、身体表現等の経験を深め、自分に合った音楽表現の方法について理解するとともに、できることを生かして音楽活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力・表現力等	音楽活動を行う中で楽しみ方を広げ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。
	学びに向かう力・人間性等	音楽活動を行う中で楽しみ方を広げ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	歌で友だちの輪を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学年の始まりや季節の変化を感じながら音楽を楽しむ【経験を深める】【楽しむ】</li> <li>・仲間を意識して演奏をする【つながる】</li> </ul>	①季節の歌、校歌 ②友だちと順番に鳴らす ③ミュージッククロス（風）	①「校歌」「ロンドン橋」名前よび ②タンバリン、鈴など ③「ヴィバルディ四季 春」 ○ミュージッククロス
5	リズムを感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしたり、楽器を鳴らしたりしながら、リズムや速さの違いを知る【わかる力】</li> <li>・仲間を意識して演奏をする【つながる】</li> </ul>	①「茶摘み」歌唱、リズム遊び ②3拍子、4拍子のタッピング ③	①「茶摘み」「ピクニック」 ②タンバリン、鈴など ③「おぼろ月夜」「トルコ行進曲」
6	いろいろな音を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな自然の音や楽器の音色を感じとる【わかる力】</li> <li>・使いたい楽器を自分で選ぶ。動きや持ち方を工夫して楽器を鳴らす【自分で決める力】【できることを生かす力】</li> <li>・楽器だけでなく、身近な物を使って音をつくる楽しさを知る。【楽しむ力】</li> </ul>	①雨に関する歌 雨音、水の音視聴 ②雨音体験 雨の音づくり ③光や傘をみながらの鑑賞	①「雨ふり水族館」「アンダーザシー」 ②レインスティック マラカス など ③「にじ」
7			①海に関する歌、波音を聴く ②ウクレレ体験、波の音作り ③ミュージッククロス（波）	①「イルカはさんぶらこ」 ②オーシャンドラム、ウクレレ ③「パーリーシェル」「浜辺の歌」
8・9			①虫の声 鳴き声 ②虫の声を楽器等で表現 ③夜の雰囲気での鑑賞	①「虫の声」「とんぼのめがね」 ②マラカス、太鼓、トライアングル ③ヴィバルディ「四季」「赤とんぼ」
10	音を合わせて楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮者になって音楽を進行したり、指揮に合わせて音を出したりすることを楽しむ。【楽しむ力】【つながる力】</li> <li>・いろいろなリズムパターンを楽しむ【楽しむ力】</li> <li>・太鼓、ベルやウインドバーチャイムなどの音色を感じる。【受け止める力】</li> </ul>	①指揮者体験 指揮者に合わせて歌唱 ②リズム作り 友だちと一緒に鳴らす ③クラシック音楽	①「もみじ」「村祭り」 ②和太鼓 ③クラシックの曲
11	①秋～冬の歌 絵画などを作成 ②③ブラックライト＆雪や星のモニュメントを見ながら、ウインドバーチャイムなど		①「ほしの世界」 ②ハンドベル・トーンチャイム「きらきらぼし」 ③鑑賞「星に願いを」	
12	音楽鑑賞会・紅白歌合戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なジャンルの音楽に触れ、好きな音楽を見つける。【経験を生かす】</li> <li>・自分の好きな曲を友だちに伝える。【伝える】</li> <li>・友だちの活動の様子に関心をもつ。【つながる】</li> </ul>	①②歌や楽器で、体を動かしたり自分の得意な方法を発表 ③友だちの発表を見る・クリスマス	①各自好きな歌 ②マラカス、タンバリンなど ③クリスマスソング、オルゴール曲、
1	日本の伝統音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統音楽の独特な雰囲気を覚える。【わかる力】</li> <li>・教員と一緒に歌ったり体を動かしたりして、日本に伝わるわらべ歌の楽しさを感じ取る。【楽しむ】</li> </ul>	①わらべ歌を聴く、ふれあい遊び ②和楽器 ③雅楽の演奏視聴	①わらべうた、「ソーラン節」 ②太鼓、鳴子など ③「早春賦」「春の海」雅楽 演歌
2	世界の音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな国の音楽の特徴に気づく。【わかる】</li> <li>・外国の音楽にあわせて、声を出したり体を動かしたりして楽器を鳴らしたりして楽しむ。【受け止める】【楽しむ】</li> </ul>	①②サンバ、フラ、などのリズムにあわせて体を動かす、楽器を鳴らす。 ③ライブに行こう	①「世界中の子供たちが」 ②マラカス、タンバリンなど ③J-POP、流行りの歌など
3	1年間のまとめ～卒業・進級に向けて～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式で歌う歌や聴く曲に馴染む。【経験を生かす】</li> <li>・1年間を振り返り、好きな曲を友達と一緒に楽しむ。【楽しむ】</li> <li>【つながる】</li> </ul>	①卒業式の歌を歌う。 ②得意な楽器演奏発表 ③生徒からのリクエスト音楽・ライブ	①卒業式の歌 ②好きな楽器 ③J-POP、流行りの歌など

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

①歌唱・表現②器楽③鑑賞の内容が単元ごとに含まれるようにする。

# 令和4年度 中村特別支援学校 分教室 高等部 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	卒業後につながるいろいろな音楽活動を経験する中で、自分に合った音楽表現の方法についての理解を広げたり深めたりするとともに、できることを生かせるようにする。
	思考力・判断力・表現力等	音や音楽に応じて表現するとともに、音楽表現の方法を自分で決めたり、自分の意思を伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力・人間性等	音や音楽に応じて表現するとともに、音楽表現の方法を自分で決めたり、自分の意思を伝えたりできるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	歌で友だちの輪を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学年の始まりや季節の変化を感じながら音楽を楽しむ【経験を深める】【楽しむ】</li> <li>・仲間を意識して演奏をする【つながる】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①季節の歌、校歌</li> <li>②友だちと順番に鳴らす</li> <li>③ミュージッククロス（風）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「校歌」「start」名前よび</li> <li>②タンバリン、鈴など</li> <li>③「ヴィバルディ四季 春」 ○ミュージッククロス</li> </ol>
5	リズムを感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしたり、楽器を鳴らしたりしながら、リズムや速さの違いを知る【わかる力】</li> <li>・仲間を意識して演奏をする【つながる】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「茶摘み」歌唱、リズム遊び</li> <li>②3拍子、4拍子のタッピング</li> <li>③</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「ホルディア」「ミッキーマウスマーチ」</li> <li>②タンバリン、鈴など</li> <li>③「おぼろ月夜」「トルコ行進曲」</li> </ol>
6	いろいろな音を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな自然の音や楽器の音色を感じとり気持ちを表現する【わかる力】【伝える力】</li> <li>・使いたい楽器を自分で選ぶ。動きや持ち方を工夫して楽器を鳴らす【自分で決める力】【できることを生かす力】</li> <li>・楽器だけでなく、身近な物を使って音をつくる楽しさを知る。【楽しむ力】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①雨に関する歌 雨音、水の音視聴</li> <li>②雨音体験 雨の音づくり</li> <li>③光や傘をみながらの鑑賞</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「雨ふり水族館」「アンダーザシー」</li> <li>②レインスティック マラカス など</li> <li>③「にじ」</li> </ol>
7			<ol style="list-style-type: none"> <li>①海に関する歌、波音を聴く</li> <li>②ウクレレ体験、波の音作り</li> <li>③ミュージッククロス（波）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「イルカはさんぶらこ」</li> <li>②オーシャンドラム、ウクレレ</li> <li>③「パーリーシェル」「浜辺の歌」</li> </ol>
8・9			<ol style="list-style-type: none"> <li>①虫の声 鳴き声</li> <li>②虫の声を楽器等で表現</li> <li>③夜の雰囲気鑑賞</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「虫の声」「とんぼのめがね」</li> <li>②マラカス、太鼓、トライアングル</li> <li>③ヴィバルディ「四季」「赤とんぼ」</li> </ol>
10	音を合わせて楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮者になって音楽を進行したり、指揮に合わせて音を出したりすることを楽しむ。【楽しむ力】【つながる力】</li> <li>・パターンを組み合わせてリズムをつくる【自分で決める】</li> <li>・太鼓、ベルやウインドバーチャイムなどの音色を感じる。【受け止める力】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①指揮者体験 指揮者に合わせて歌唱</li> <li>②リズム作り 友だちと一緒に鳴らす</li> <li>③クラシック音楽</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「もみじ」「村祭り」</li> <li>②和太鼓</li> <li>③クラシックの曲</li> </ol>
11			<ol style="list-style-type: none"> <li>①秋～冬の歌 絵画などを作成</li> <li>②③ブラックライト&amp;雪や星のモニュメントを見ながら、ウインドバーチャイムなど</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「ほしの世界」</li> <li>②ハンドベル・トーンチャイム「きらきらぼし」</li> <li>③鑑賞「星に願いを」</li> </ol>
12	音楽鑑賞会・紅白歌合戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なジャンルの音楽に触れ、好きな音楽を見つける。【経験を生かす】</li> <li>・自分の好きな曲を友だちに伝える。【伝える】</li> <li>・友だちの活動の様子に関心をもつ。【つながる】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②歌や楽器で、体を動かしたり自分の得意な方法を発表</li> <li>③友だちの発表を見る・クリスマス</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①各自好きな歌</li> <li>②マラカス、タンバリンなど</li> <li>③クリスマスソング、オルゴール曲、</li> </ol>
1	日本の伝統音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統音楽の独特な雰囲気を覚える。【わかる力】</li> <li>・教員と一緒に歌ったり体を動かしたりして、日本に伝わるわらべ歌の楽しさを感じ取る。【楽しむ】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①わらべ歌を聴く、ふれあい遊び</li> <li>②和楽器</li> <li>③雅楽の演奏視聴</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①わらべうた、「ソーラン節」</li> <li>②太鼓、鳴子など</li> <li>③「早春賦」「春の海」雅楽 演歌</li> </ol>
2	世界の音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな国の音楽の特徴に気づく。【わかる】</li> <li>・外国の音楽にあわせて、声を出したり体を動かしたりして楽器を鳴らしたりして楽しむ。【受け止める】【楽しむ】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②サンバ、フラ、などのリズムにあわせて体を動かす、楽器を鳴らす。</li> <li>③ライブに行こう</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「世界中の子供たちが」</li> <li>②マラカス、タンバリンなど</li> <li>③J-POP、流行りの歌など</li> </ol>
3	1年間のまとめ～卒業・進級に向けて～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式で歌う歌や聴く曲に馴染む。【経験を生かす】</li> <li>・1年間を振り返り、好きな曲を友達と一緒に楽しむ。【楽しむ】</li> <li>【つながる】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業式の歌を歌う。</li> <li>②得意な楽器演奏発表</li> <li>③生徒からのリクエスト音楽・ライブ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業式の歌</li> <li>②好きな楽器</li> <li>③J-POP、流行りの歌など</li> </ol>

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

①歌唱・表現②器楽③鑑賞の内容が単元ごとに含まれるようにする。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 低学年グループ) (図工) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を広げ、材料の特徴に気付いたり、用具の使い方を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながら造形活動に取り組む。
	思考力・判断力 ・表現力等	いろいろな材料や用具に慣れるとともに、使用するものを選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	表現や鑑賞の活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	べったんころころ (絵具) (自己紹介カード) 【平面作品 (絵の具)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵具やビー玉を使って模様をつける方法を知る。</li> <li>色を選ぶなど自分の気持ちを伝える。</li> <li>コロコロアートを通して好きなことを見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>転がしたり、写したりして画用紙に模様をつけて自己紹介カードやクラス旗をつくる。</li> <li>ビー玉など身近な素材の感触、音などに親しむ。</li> </ul>	ビー玉、絵具、画用紙。ファイルケース、トレー、筆、水、ろうきんなど
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な素材で模様をつけられることに気づく。</li> <li>素材や絵具に慣れる。</li> <li>好きな素材を見つける。</li> </ul>		画用紙、ポスターカラー、皿類、水、道具類 (ステンシルスタンプ、段ボール、エアキャップ (フチフチ)、トイレットペーパーの芯)
6	カラフルいろみず 【造形遊び (感触)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで1つの大きな作品を作る経験をする。</li> <li>自分の気持ちを表現する。</li> <li>得意な方法で進んで模様付けすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトルに水を入れたり、絵具をいれて、色水をつくらしたりしながら、遊ぶ。</li> <li>絵具を混ぜたり、色が変化する様子に気づく。</li> </ul>	布、絵具、ボール類、たらい、ろうきん、皿類、水、道具 (ステンシル、スタンプ、ローラーなど)、素材 (緩衝材、スイーツのカップなど)
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろないろをみつける。</li> <li>いろみずをつくりながら、してみたいことを見つける。</li> <li>いろみずをつくってたのしく活動する。</li> </ul>		絵具、ペットボトル、コップ、トレー
8 ・ 9	スライム② 【造形遊び (感触)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の感触の変化に気づき、スライムを作る。</li> <li>触って感触に気づき、気持ちを表現する。</li> <li>作ったり触ったり遊んだりしながら楽しみを見つけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料を混ぜてスライムを作る。</li> <li>スライムを使って遊ぶ。</li> </ul>	PVAのり、飽和ホウ砂水、食紅、水、バット、フラコップ、ペットボトル
10	のばしてべったん① (粘土) 【立体作品 (粘土)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>小麦粉の感触の変化に気づく。</li> <li>感触の変化を受けとめ、気持ちを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小麦粉や紙粘土などの粘土を触る</li> <li>形を作ったり、のばしたりして簡単な作品を作る。</li> <li>鑑賞する。</li> </ul>	小麦粉、油、食紅、絵具、トレー
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>伸ばしたり、形を作ったりしながら紙粘土の感触に気づく。</li> <li>自分の気持ちを伝える。</li> </ul>		紙粘土、トレー、ろうきん、
12	ひかりのくにのなかまたち (光・セロハン) 【造形遊び・立体作品・鑑賞 (光・工作)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙粘土と素材を使って選んだりしながら作品をつくる。</li> <li>自分の気持ちを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セロハンを中心とした素材を触る。</li> <li>光や色に気づき、光をとおす飾りをつくる。</li> <li>飾りを鑑賞する。</li> </ul>	紙粘土、型、段ボールのフレーム、絵具、どんぐり
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>セロハンやおかしの包み紙などの素材の感触を知る。</li> <li>形や色に気づき自分の気持ちを表現する。</li> <li>進んで活動に参加し、材料を使おうとする。</li> </ul>		ビニール袋、セロハン、おかしの包み紙、テープ、光、モール、セロハンテープ
2	ひらひらゆれて 【造形遊び・鑑賞 (工作)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>セロハンやおかしの包み紙などの素材の感触を知る。</li> <li>形や色に気づき自分の気持ちを表現する。</li> <li>進んで活動に参加し、材料を使おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できあがりの作品を見る。</li> <li>素材に触り飾りをつくる。</li> <li>飾りが揺れているのを見たり、触ったりする。(鑑賞)</li> </ul>	ビニール袋、セロハン、おかしの包み紙、テープ、光、モール、セロハンテープ
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>紙テープやスズランテープの中から好きな素材を見つけながらかざりをつくる。</li> <li>揺れているかざりに気づき、気持ちを表現する。</li> </ul>		ハンガー、紙テープ、マジック、ビニール、のり、スズランテープ、

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 中学年グループ) (図工) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を広げ、材料の特徴に気付いたり、用具の使い方を知ったりするとともに、できることを見つれたり増やしたりしながら造形活動に取り組む。
	思考力・判断力・表現力等	いろいろな材料や用具に慣れるとともに、使用するものを選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力・人間性等	表現や鑑賞の活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4 5	「自己紹介カードとクラス旗を作ろう」 ステンシルをしよう 【平面作品 (絵の具・版画)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スタンプやステンシルの活動を通して、絵の具の感触や用具の使い方について知り、できることを見つれたり増やしたりしながら造形活動に取り組む。</li> <li>○いろいろな材料や用具に慣れたり、使用するものを選ぶ経験を重ねたりする。</li> <li>○スタンプやステンシルの活動に取り組む中で、興味関心の幅を広げたり、共同作品を作る中で一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。</li> </ul>	画用紙やクラス旗用の布に、絵の具やスタンプ等でステンシルをする。画用紙の枠内に氏名や誕生日、好きなことや苦しいこと、係などを記入し、顔写真を貼る。好みに、周りを装飾する。	画用紙、クラス旗用の布、ステンシルの型、絵の具、筆、刷毛、ローラー、スポンジ、スタンプ台、文字数字等のスタンプ、ペン等、はさみ等、糊やテープ、折り紙や花紙、シールやテープ等
6 7	「不思議な生き物を作ろう」 自然物と粘土で作ろう 【造形遊び (粘土・感触) 立体作品 (工作) 鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○粘土を使った造形遊びを通して、粘土や自然物など、材料の特徴に気づき、できることを見つれたり増やしたりしながら造形活動に取り組む。</li> <li>○いろいろな材料に慣れたり、感じたことを表したりできるようにする。</li> <li>○粘土を使った造形遊びに取り組む中で、興味関心の幅を広げたり、できた作品を鑑賞しあうことで一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。</li> </ul>	落ち葉、小枝、木の実、石など自然物を見つけに行く。粘土と合わせて生き物を作る。蛍光絵の具で着色する。ブラックライトで鑑賞する。	落ち葉、小枝、木の実、石などの自然物、粘土、乾燥すると透明になる接着剤、蛍光絵の具、丸シール、ブラックライト、暗室
8 9 10	「染め物をしよう」 【造形遊び (感触) 平面作品 (絵の具・染物)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○半紙や布、色水などの感触に気づいたり、染物のやりかたを知ったりするとともに、できることを見つれたり増やしたりしながら造形活動に取り組む。</li> <li>○いろいろな材料や用具に慣れたり、使用するものを選ぶ経験を重ねたりする。</li> <li>○染物の活動に取り組む中で、興味関心の幅を広げることができる。</li> </ul>	半紙に染料で、折り染めやマブリングをする。布巾に染料や紅茶で、折り染めや輪っか絞りをする。持参した布巾を持ち帰る。学校の布巾は教室の台拭き等に使うか技術員室等、お世話になっている部屋に配る。	半紙、輪ゴム、マブリングセット、ストロー、うちわ、布巾、紅茶、レモン汁、塩、スーパーボールやビー玉、釣り糸、割りばし等
11 12	「はがきを作ろう」 感触を味わって紙すきをしよう 【造形遊び (感触) 平面作品 (絵の具・染物)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料の感触に気づいたり、ミキサーの使用や紙すきのやりかたを知ったりするとともに、できることを見つれたり増やしたりしながら造形活動に取り組む。</li> <li>○いろいろな材料や用具に慣れたり、使用するものを選ぶ経験を重ねたりする。</li> <li>○紙すきの活動に取り組む中で、興味関心の幅を広げることができる。</li> </ul>	紙パックを切り、水に浸す。両面のフィルムをはがして、ちぎる。ミキサーにかける。好みに花紙を入れる。網をはさんだ枠に、パルプ液を流し込む。途中、好みに折り紙片などをはさみ込む。タオルの上で枠を外し、はさんで水分をとる。網を外して、乾燥させる。	紙パック、はさみ等、計量器、ミキサー、電源リレー、スイッチ類、花紙、折り紙等、紙すきセット、タオル
1 2 3	「手作りおもちゃで楽しもう」 身近な素材でおもちゃを作ろう 【立体作品 (工作) 鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な素材を使っておもちゃ作りを通して、材料の特徴や使い方、用具の使い方について知るとともに、できることを見つれたり増やしたりしながら造形活動に取り組む。</li> <li>○いろいろな材料や用具に慣れたり、使用するものを選ぶ経験を重ねたりする。</li> <li>○おもちゃ作りやできた作品で遊ぶことに取り組む中で、興味関心の幅を広げたり、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。</li> </ul>	薄い箱に鈴を入れる。シールや色画用紙等を切り貼ったり、ペンやクレヨンで描いたりして、タンバリンにする。振ったり叩いたりして鳴らす。紙コップに、切り貼りしたり描いたりして、カエルや兎にする。底に曲がるストローを通し、動かして鳴らす。ビニールを正方形に切る。角にテープで止めた4本の風糸をまとめて鈴などに結び、パラシュートにする。投げたり、シーソーのような台から打ち上げたりして遊ぶ。	チーズや菓子などの薄くて丈夫な箱、シールや色画用紙等、はさみ等、糊、テープ類、ペンやクレヨン、紙コップ、鉛筆等、先の曲がるストロー、ビニールや紙ナブキン等、風糸、ガチャのカプセルや鈴などの重り、丈夫な板、つぶれない缶や丸いペットボトル

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。



# 令和4年度 中村特別支援学校 小学部高学年 図工 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を広げ、材料の特徴に気付いたり、用具の使い方を知ったりするとともに、できることを見つげたり増やしたりしながら造形活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力・表現力等	いろいろな材料や用具に慣れるとともに、使用するものを選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力・人間性等	表現や鑑賞の活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	自己紹介カードづくり 【平面】 絵の具、工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の使い方を知り、自分なりの方法で造形活動に取り組む。【知識・技能】</li> <li>好きな色の画用紙や絵の具などを選んで色づけし、表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>発表を通して、一緒に活動している友だちに関心を向ける。【学びに向かい合う力・人間性等】</li> </ul>	画用紙に絵の具を広げたり、ペンで自己紹介のプロフィールを書いたりして、自分だけの自己紹介カードを制作する。	画用紙、写真、ペン、絵の具
5	絵の具でアート① ～クラス旗を作ろう～ 【平面】 絵の具、染物	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の使い方を知ったり、絵の具の感触を味わいながら慣れたりして、自分なりの方法で造形活動に取り組む。【知識・技能】</li> <li>好きな色の画用紙や絵の具を選んで色づけし、表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> </ul>	染物をしたり、用具を用いて絵の具で自由に色付けしたりする。得意なことを生かして共同作業をし、クラス旗を作る。	絵の具、ローラー、筆、スポンジスタンプ、コーヒーフィルター（染め紙）、スパッタリング用の網、歯ブラシ（スパッタリング、ドリッピング）
6	絵の具でアート② ～絵の具の楽しみ方を知ろう～ 【平面】 絵の具	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料や用具の自分なりの使い方を知って、造形活動の楽しみを広げる。【学びに向かい合う力・人間性等】</li> </ul>	絵の具を直接触り、感触を味わいながら画用紙に色を付けたり、ローラーや筆などの用具を用いて色付けを行ったりする。また、スパッタリングやドリッピング、染め紙、などの簡単な技法を経験をする。	
7				
8・9・10	ねんどでお好きにアート 【立体】 【造形あそび】 粘土、感触	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の質感の違いや特徴に気付く。【知識・技能】</li> <li>材料や用具に慣れ、できることを見つげたり増やしたりして造形活動に取り組めるようにする。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>好きな形や色を見つげたり選択したりして、興味関心の幅を広げる。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	粘土を用いた造形活動を通して、様々な材料や用具に慣れたり、使い方や感触を知る経験をかさねたりする。粘土に砂や水などの材料を混ぜて感触を楽しんだり、自由に形作ったり飾り付けたりし、自分だけの粘土のアートを完成させる。	紙粘土、粘土に混ぜたり、粘土を飾り付けたりする材料（砂、綿、水など・・・）、形作るための用具（フォーク、ブラシ、型抜きなど・・・）
11	ランタンの世界をつくろう 【立体】 【鑑賞】 光、工作、染物	<ul style="list-style-type: none"> <li>暗い部屋での鑑賞を通して、光や色の変化に気付く。【知識・技能】</li> <li>好きな色の絵の具を選択して色付けし、表現する。【思考力・表現力・判断力】</li> <li>光の学習を通して、興味があるものを見つげたり、楽しみを見つげたりする。</li> </ul>	ガーゼを好きな色の絵の具で染め、膨らませた風船に洗濯のりで貼り付け、ランタンを作る。鑑賞で暗い部屋に自分たちが作ったランタンを灯し、普段とは違った雰囲気を楽しむ。	ガーゼ、洗濯のり、絵の具、ライト
12				
1	お祝いの花を咲かせよう 【立体】 【平面】 【鑑賞】 工作、絵の具	<ul style="list-style-type: none"> <li>できることを見つげたり増やしたりしながら活動に取り組む。【知識・技能】</li> <li>用具や身体を使って自分なりに表現する経験をかさねる。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>友だちとの活動を楽しみながら共同作品を作る。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	卒業や進級の時期に向け、大きな用紙に絵の具を広げ、大きな桜の木のアートを制作する。絵の具を自分なりの方法で塗り広げたり、用具を自分なりの方法で使用したりする。	絵の具、花紙、ロール紙、ローラー
2				
3	小高作品展をしよう 【鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の活動を通して、年間で行ってきた活動を思い出したり、積み重ねてきたことに気付いたりする。【知識・技能】</li> <li>今まで作った作品を見たり触れたりして、自分なりに感じたことを表す。【思考力・表現力・判断力】</li> <li>一緒に活動してきた友だちに意識を向ける。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	今まで作った作品を見たり、活動している様子を写真や動画で見たりして、一年の活動の振り返りを行う。	過去の作品、iPad（動画や写真）

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

--	--	--	--

# 令和4年度 中村特別支援学校 (中学部) (美術) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を深め、基礎的な表現方法について理解するとともに、できることを生かして造形活動に取り組めるようにする。		
	思考力・判断力 ・表現力等	材料や用具の違いを意識できるようにするとともに、表したいことや表し方を決めようとしたり、自分の気持ちを伝えたりできるようにする。		
	学びに向かう力 ・人間性等	表現や鑑賞の活動を行う中で楽しみ方を広げ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。		
月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	自己紹介カードをつくろう ～自分の虹を描こう～ 平面、絵具・版画	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きな色を選び表現することができる</li> <li>自分の得意な動きを生かして表現することができる</li> </ul>	自己紹介カード作り	画用紙、スポンジ 絵の具
5	クラスの魂を旗に 平面、絵具	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスで協力して旗を完成させることができる</li> <li>友だちと協力して1つの作品を作ることの楽しさを味わうことができる</li> </ul>	中村OPクラス旗作り	布、絵の具
6	ゼリーアート ～自分たちの海を作ろう～ 立体・造形遊び 感触・絵具・光	<ul style="list-style-type: none"> <li>感触、温度感、色などの違いを意識して活動に取り組む。</li> <li>感触を感じ、自分の気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	ゼリーの感触を感じる	ゼリー、絵の具
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きないろを選んだり、得意な動きを生かして取り組む。</li> <li>感触を感じ、自分の気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	好きな色のゼリーを重ねて海を作る。	ゼリー、絵の具、容器
8 ・ 9  10	ダイナミックアート 平面、絵具・感触	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の得意な動きを生かして表現することができる。</li> <li>自分の好きな色、方法を選んで表現することができる。</li> </ul>	自分の人型を取り色を塗る。	模造紙、はさみ、絵の具、用具、マスキングテープ等
11	紙を染める～折染～ 平面、絵具・染物	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙の感触の変化や、染めたとき色の変化に気づく。</li> <li>自分だけの折り方や染め方で、紙染めをすることができる。</li> </ul>	紙染め	和紙、絵の具、染料
12	ランタン作り 立体・鑑賞、光・工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の紙染めの作品から好きなものを選び、ランタンを作る。</li> <li>できた作品を鑑賞する。</li> </ul>	ランタン作り 鑑賞	牛乳パック、懐中電灯
1  2	いろいろねんどで スノードーム 立体、粘土・感触	<ul style="list-style-type: none"> <li>感触を感じながら、自分の得意な動きを生かして造形活動に取り組む。</li> <li>自分の好きな色や教材を選んで作品作りをする</li> <li>できた作品を鑑賞することができる。</li> </ul>	粘土の感触を感じる 粘土細工 スノードームづくり	粘土、容器、みずのり、スパンコール等
3	中村美術館 ～一年間のまとめ～ 鑑賞、感触	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの作品を見たり触ったりして、気付いたことや感じたことを表現できる。</li> </ul>	作品鑑賞	今までの作品

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 ( 高等部 ) ( 美術 ) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	卒業後につながる表現や鑑賞の活動を経験する中で、自分に合った表現方法についての理解を広げたり深めたりするとともに、できることを生かせるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	自分の表したいことに応じて工夫するとともに、表し方を自分で決めたり、自分の意思を伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	表現や鑑賞の活動を行う中で卒業後につながる楽しみを見つけ、主体的に取り組めるようにするとともに、仲間と協働して自分の役割を果たすことができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	クラス旗づくり 【平面・絵の具、染色】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用したい道具や色を選び、自分なりの方法で活動に取り組む。</li> <li>・テープや型をはがしてできる模様気づき、その面白さに気づいたり、達成感を感じることができる。</li> <li>・友達と取り組む創造活動の喜びを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人パーツを作る。</li> <li>・マスキングテープや型を好きなように貼る。</li> <li>・好きな色を選び白紙の部分塗る。</li> <li>・マスキングテープや型を剥がす。</li> <li>・背景の色を選び、布を染める。</li> </ul>	旗の布、 個人パーツ用の布、 マスキングテープ、 型、絵の具、 ローラー、塗れ雑巾
5				
6	石粉粘土を知ろう 【造形あそび・粘土、感触】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石粉粘土に親しみ、石粉や粘土の性質に気づく。</li> <li>・立体造形に関心をもち、自分なりの石粉粘土との関わり方を楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土を触り、どんな感じがするか伝える。</li> <li>・石粉や石粉粘土を使って、形を変えてみる。</li> <li>・道具を使って、石粉粘土の形を変えてみる。</li> </ul>	石粉粘土、石粉、水、 粘土板、へら、 型抜き等、濡れ雑巾、 ビニール袋
7				
8 ・ 9	スチレン版画 【平面・版画】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用したい道具を選び、版画の自分なりの方法で版画の模様付けができる。</li> <li>・版画で画用紙にうつる模様や色に気づいたり、面白さを感じることができる。</li> <li>・友達の作り方や作品に関心をむける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スチレンボードに模様をつける。</li> <li>・好きな絵の具を選び、ローラーで版画インキをのせる。</li> <li>・画用紙をのせこする。</li> <li>・画用紙をめくる。</li> <li>・鑑賞会</li> </ul>	スチレンボード、 版画インキ、ローラー へら、型等、画用紙、 新聞紙、塗れ雑巾
10				
11	石粉粘土でオブジェを作ろう 【立体、鑑賞・粘土】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石粉粘土のおもしろさに気づき、自分なりの表現で制作することができる。</li> <li>・飾るものを作る楽しみを感じることができる。</li> <li>・友達の作り方や作品に関心をむける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石粉粘土を丸めて球を作る。</li> <li>・石粉粘土を伸ばしてひもを作る。</li> <li>・石粉粘土を広げて板を作る。</li> <li>・得意な方法で立体作品を作る。</li> <li>・乾燥させ触り心地の違いを感じる。</li> <li>・鑑賞会</li> </ul>	石粉粘土、粘土板、 へら、型抜き等、 濡れ雑巾、ビニール袋
12				
1	1, 2年生 装飾作り 「3年生を送り出す準備をしよう」 【立体・工作】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材に触れながら、自分なりに飾りを作ろうとする。</li> <li>・友達と一緒に飾りを作る楽しみや喜びを感じることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セロファンやお花紙、スズランテープなどの素材の感触を味わう。</li> <li>・素材を裂いたり、丸めたり、貼りつけたりして装飾を作る。</li> </ul>	セロファン、お花紙、 スズランテープ、 折り紙、セロテープ、 自助具
2				
3				
3	3年生 卒業制作オルゴール 「デコパージュ」 【立体・工作】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の模様や色を楽しみ、好きなものを選ぶことができる。</li> <li>・筆や指先を使い、紙を箱に張り付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙を選ぶ</li> <li>・紙をちぎる</li> <li>・デコパージュ液を塗る</li> <li>・紙を張り付ける</li> </ul>	紙ナブキン、 オルゴールキット、 デコパージュ液、筆、 写真

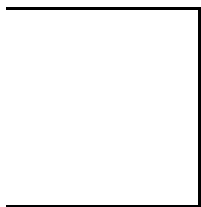
※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (分教室) (小学部) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	表現や鑑賞の経験を広げ、材料の特徴に気付いたり、用具の使い方を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やししたりしながら造形活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力・表現力等	いろいろな材料や用具に慣れるとともに、使用するものを選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力・人間性等	表現や鑑賞の活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	誕生日カードを作ろう	好きな絵の具の色を選ぶことができる。道具を選び使用することができる。	ペットボトルスタンプに絵の具をつけてスタンピング。好きな色の絵の具を画用紙にのせて、デカルコマニの手法で行う。	絵の具、画用紙、R1ペットボトルスタンプ
5	クラス旗を作ろう	好きな絵の具の色を選ぶことができる。使いたい道具を選ぶことができる。	手の平につけるスポンジスタンプや刷毛などで布に絵の具をつけることができる。	布、蛍光絵の具、スポンジ、柄付きローラー、刷毛
6	光るカタツムリを作ろう	素材(貝殻・ボタン)の感触を感じることができる。自分ができるやり方で貝殻やボタンに絵の具をつけることができる。	貝殻やボタンに蛍光絵の具をつけ紙皿に貼りカタツムリを作る。ブラックライトをあてて光る様子を鑑賞する	紙皿、ボタン、貝殻、蛍光絵の具、ペン
7	染物をしよう	染める素材の感触を感じることができる。色が変わる様子や染め液を素材にかけるときの音を感じることが出来る。	染めるものをクシャクシャに丸めて「平成ゆめつつシート」に詰めて染め液をかける。染めるものを折りたたんで輪ゴムや洗濯ばさみで挟み、ジブロック袋に入れ、染め液をかける。	平成ゆめつつシート、染め液、タオル、輪ゴム、色落ち止めの酢
8・9	花火を作ろう・ハロウィン飾りを作ろう	道具を使って、花火の模様を作ることができる。足形やステンシルシートで模様をつけることができる	教員が作った道具に絵の具をつけ、画用紙にスタンピングする。布に足形をとる。ステンシルシートで布に模様をつける。	トイレットペーパーの芯、蛍光絵の具、紺の画用紙、布、
10	陶芸をしよう	手で粘土に触れ、その感触や重さ、色などに興味をもつとともに、適宜道具を併用しながら作品作りを楽しむことができる。 ・出来上がった作品を紹介しあい、それぞれの作品がもつ面白	港南台ひの特別で下準備した半完成の皿などに道具や指で模様を付けたり、色どべや化粧土で模様などをつける。	陶芸粘土、新聞紙、釉薬、のべぼう、各種粘土へら、抜き型、縄刻印など
11	クリスマスの飾りを作ろう	素材(どんぐり、松ぼっくり)に触ったりして感触を感じることができる 素材につけたい色を教員と一緒に選ぶことができる	ジブロックに素材を入れて、絵の具を入れて色を付ける 風船スタンプでリース型に色を付ける	どんぐり、まつぼっくり、だんぼーる、絵の具、風船、クリスマスかざり
12	スノードームを作ろう	容器を装飾して、作品として仕上げる楽しさを体験することができる。選んだ飾りのパーツの感触を楽しむことができる。容器の中で揺れる飾りの様子を楽しむことができる。	R1容器などにビーズやスパンコールなどの飾りを入れ、水4洗濯糊6を入れる。容器の周りにシールなどをつけてもよい。	R1容器、ビーズ、スパンコール、ラメ粉、水、洗濯糊など
1	新聞紙でだるまを作ろう	身近な素材の新聞紙に興味を持ち、感触を感じながら作品作りを楽しむことができる。先生と協力しながら、だるま作りに取り組み、作りだす喜びを感じることができる。	新聞紙1枚を丸める。丸めたものをさらにもう1枚で包んでいく。形を整え、マスキングテープで固定する。丸めた新聞紙を糊の容器の中に浸し、選んだお花紙を貼る。	新聞紙、糊、マスキングテープ、お花紙、顔用パーツの画用紙、絵の具
2	卒業の飾りを作ろう	風船スタンプで画用紙に模様をつけることができる。風船スタンプの感触を感じながら、模様をつけることができる	風船スタンプに数色の絵の具をつけて、画用紙の上をスタンピングしながら模様をつける。	新聞紙、糊、マスキングテープ、お花紙、顔用パーツの画用紙、絵の具
3	思い出のアルバム作り	好きな色の絵の具、台紙を選ぶ 得意な方法で画用紙に模様を付けて、オリジナルの台紙をつくる	手、指、ペットボトルスタンプなどでえのぐをつけ、2枚の画用紙を重ねて模様をつける。 ・クリアケースに画用紙を入れ、絵の具のついたビー玉を転がし模様をつける。	色画用紙、風船スタンプ、ペットボトルスタンプ、ビー玉、クリアケース、絵の具

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。



# 令和4年度 中村特別支援学校 分教室 中学部 美術 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	いろいろな素材に触れる活動を楽しむ
	思考力・判断力 ・表現力等	身近な道具や材料を使った造形活動を楽しむ
	学びに向かう力 ・人間性等	集団の活動を楽しむ

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	自己紹介カードを作ろう (絵の具をで色をつけよう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 使いたい絵の具の色を選ぶ</li> <li>• 絵の具やお花紙やサランラップなどの感触を、触って聞いて、確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ちょうちょに自分で選んだ色をぬったり、絵の具をつけた色画用紙を半部に折ってデカルコマニーで模様をつける。</li> <li>• お花紙を丸めたり、その丸めたお花紙をサランラップにくるんだりして花びらを作る。</li> </ul>	絵の具、色画用紙、サランラップ、お花紙、筆などの道具、お皿、お手拭き、セロテープ
5	クラス旗を作ろう (布に色をつけよう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暖かいお湯の感触を感じながら染物をする。</li> <li>• ローラーやスポンジなどの道具使って色塗りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビニール袋や、プラスチックのケースに絵の具を入れて、お湯や水の感触を味わいながら各自それぞれの布に色をつける</li> <li>• 旗の布に絵の具をしみこませたスポンジやローラーを使って色をつける。</li> </ul>	絵の具、ジップロック、プラスチックケース、布、トレー、スポンジ、ローラー
6	南国の植物を飾ろう (道具を使って色を塗ろう、セロファンの感触を楽しもう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道具を使ったり直接絵の具などを触れて紙に色をつけ活動を楽しむ。</li> <li>• 音楽に合わせリズムを取りながら道具を使う楽しさを味わう。</li> <li>• セロファンの感触を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実際に観葉植物を見て触れて感じる。</li> <li>• 道具を使って色を塗って活動を楽しむ。絵の具に触れ手形をつける。</li> <li>• 色画用紙や紙皿にボンドを塗ってその上にセロファンを載せ</li> </ul>	絵の具、セロファン、色画用紙、紙皿、ストロー、トレー、
7	ラベンダーボールを作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ラベンダーの香りを感じて楽しむ。</li> <li>• 紫に和紙を染めたり、和紙を裂いて感触を楽しんだりする。</li> <li>• 友達が活動している様子を見て一緒に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ラベンダーを摘み取りながら香りを楽しむ。</li> <li>• ラベンダーの色に和紙を染める。(ジップロックに入れてor直接手に触れて)</li> <li>• 和紙を割いて土台に貼る。</li> </ul>	和紙、絵の具、ジップロック、風船、ラベンダー、新聞紙、絵の具、
8	①スライムであそぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・スライムを作って遊ぼう。・透かして見て楽しもう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・3液を混ぜてシェイクする。</li> <li>• 直接触って感触を楽しむ。</li> </ul>	スライムの液薬、カップ、箸、トレー、ペットボトル
9	②ランタンを作ろう (陶土の土の感触を楽しもう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>②・粘土の冷たさ、柔らかさ、つるつるした感触などを味わいリラックスする。</li> <li>• 手のあとをついたり、道具を使いぎって模様を付けたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビニール袋に入れて透かしてみる。</li> <li>②・粘土に触れて感触を味わう</li> </ul>	ランシェードの土台、ろくろ、模様付けの道具、どべ、おしぼり
10	ハロウィンを飾ろう。 (紙粘土を作って遊ぼう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トイレットペーパーをちぎったりたたいたりして細かくし糊と混ぜて紙粘土作り、その感触を味わう。</li> <li>• 紙粘土を土台に盛り、かぼちゃの形を作る。</li> <li>• 友達が活動している様子を見て一緒に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お花紙の色を選び、お花紙とトイレットペーパーをちぎりシューサーで紙粘土を作る。</li> <li>• 作った紙粘土で感触を楽しみ、さらに糊を加えて土台に盛り形を整える。</li> </ul>	トイレットペーパー、お花紙、糊、シューサー、ざる、トレー、土台、色画用紙
11	クリスマスの飾りを作ろう (紙粘土を作って遊ぼう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トイレットペーパーをちぎったりたたいたりして細かくし、糊と混ぜて紙粘土作り、その感触を味わう。</li> <li>• 紙粘土を円形の土台に盛り、手を使ってリースの形を作る。</li> <li>• 友達が活動している様子を見て一緒に楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お花紙の色を選び、お花紙とトイレットペーパーをちぎりシューサーで紙粘土を作る。</li> <li>• 作った紙粘土で感触を楽しみ、さらに糊を加えて土台に盛り形を整える。</li> </ul>	トイレットペーパー、お花紙、糊、シューサー、ざる、トレー、土台、紙粘土、絵の具、リボン、
12	絵馬を作ろう。 (紙をちぎって感触を味わおう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 和紙や折り紙をちぎり、紙の感触を味わう。</li> <li>• 絵の具の感触を味わいながら手形をとる。</li> <li>• 糊を使って飾りを貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 和紙や折り紙を割いたり、パンチで梅などのモチーフを作ったり、絵の具で教員と一緒に模様をつけたりして飾りを作る。</li> <li>• 手形をとる。</li> <li>• 絵馬の土台に教員と一緒に貼り付ける。</li> </ul>	色画用紙、パンチ、千代紙、糊、両面テープ、絵の具、筆などの画具、新聞紙、雑巾
1	アルバムを作ろう (のり、両面テープ、などの道具や絵の具、色画用紙、シールなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 好きな色の台紙を選ぶ。</li> <li>• 得意な方法で画用紙に模様を付けて、オリジナルの台紙をつくる。</li> <li>• 糊付け、パンチ、模様付けなどできることを見つけてオリジナルのアルバムを作る</li> <li>• 友だちや先生とのやりとりをしながら活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手、指、ペットボトルスタンプなどで画用紙に絵の具で模様をつける。</li> <li>• クリアケースに画用紙を入れ、絵の具のついたビー玉を転がし模様をつける。</li> </ul>	台紙、和紙、色画用紙、絵の具、千代紙、筆、ハサミ、パンチ、新聞紙、ローラー、雑巾
2	卒業式の準備をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 卒業式があることを知り、祝う気持ちを大切にしながら飾りやプレゼントを作る。</li> <li>• 手指を使って素材に触れたり、耳で素材の音を聞いたり、においを感じたりしながらプレゼントや飾りを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 卒業生にプレゼントを作る。(布袋に模様をつける)</li> <li>• 卒業式の会場に飾る花飾りを作る。(和紙に色付けをする、桜の花びらを土台に貼る)</li> </ul>	色画用紙、プレゼント用の袋、和紙、布絵の具、スタンプ、新聞紙、雑巾、
3	卒業式の準備をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 卒業式があることを知り、祝う気持ちを大切にしながら飾りやプレゼントを作る。</li> <li>• 手指を使って素材に触れたり、耳で素材の音を聞いたり、においを感じたりしながらプレゼントや飾りを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 卒業生にプレゼントを作る。(布袋に模様をつける)</li> <li>• 卒業式の会場に飾る花飾りを作る。(和紙に色付けをする、桜の花びらを土台に貼る)</li> </ul>	色画用紙、プレゼント用の袋、和紙、布絵の具、スタンプ、新聞紙、雑巾、

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。



# 令和4年度 中村特別支援学校 分教室 高等部 美術 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	身近な素材や用具、感触の違う素材などに触れ、感触の経験の幅を広げる。
	思考力・判断力・表現力等	いろいろな造形活動を通して、素材や用具を自分で選び、自分の作品を作る楽しさを味わう。
	学びに向かう力・人間性等	完成した自分の作品や友だちの作品を見て、その違いやよい点を意識する。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	・こいのぼり作り	①こいのぼりの形や色に気付き、進んで手形をとったり色を選んだりする。 ②マジックや両面テープなどの材料に進んで触れる。	・4色の画用紙から2色を選び、手形を取る。両面テープをはがして、こいのぼりのうろことして貼る。マジックで目を描き、両面テープをはがして貼る。	こいのぼり本体、4色画用紙、絵の具、両面テープ、目、マジック
5	・クラス旗作り	①みんなで協力して高等部の旗を作ることを知る。 ②染色液に布を浸し、できた模様を楽しむ。	・丸い布切れを一人2枚、染色液に浸し染める。染色液の色を赤、オレンジ、青、水色の4色から選ぶ。背景の布を紫色に染める。	布、染色液、クリップ、丸い布切れ
6	・紫陽花作り	①梅雨の季節に咲く紫陽花を知る。 ②折った和紙を絵の具に浸し、できた模様を楽しむ。 ③染めた和紙でティッシュを包み糊で留め、立体の紫陽花作りを経験する	・紫陽花の実物を見る。 ・折った和紙を絵の具に浸して、紫陽花の模様を作る。絵の具の色を自分で選ぶ。紫陽花模様の和紙でティッシュをくるみ、台紙に貼る。	紙皿、和紙、ティッシュ、絵の具、ボンド
7	・ステンシルでプレゼント作り	①音楽交流など、ボランティアで来た方へのお礼のふきんを作ることを知る。 ②ステンシルで「ありがとう」の文字に色を付け、カラフルなふきんを作る楽しさを味わう。	・「ありがとう」と型どったステンシルに、アクリル絵の具を塗り、プレゼント用の布巾をつくる。アクリル絵の具の色を自分で選ぶ。	ステンシル版、アクリル絵の具、R1スポンジ、
8・9	・いろいろな粘土に親しむ	①超軽量粘土に色を塗りこみながら、両手のひらや指への刺激を感じる。 ②粘土の感触や匂いを体験しよう。	・超軽量粘土でフォトームを作り、貝殻で飾りを付ける。 ・陶芸粘土でできたランプシェードの部分に、型抜きをしたり、どへで色づけをしたりする。	超軽量粘土、段ボールフォーム、絵の具、貝殻 陶芸粘土、おわん、ストックング・クッキー型
10	・風船ランプづくり	①得意な手の使い方と和紙を裂く。 ②風船スタンプの基調色を選ぶ。 ③風船スタンプの感触を意識しながら、和紙の色付けをする。	・和紙を裂いて、膨らませた風船に張っていく。 ・和紙を色づけする基調色を二者択一して選ぶ。 ・完成した作品をブラックライトの光でみる。	和紙、風船、蛍光絵の具、新聞紙、
11	・夜空の星 ・学習発表会の看板作り	①キャンパスとモデリングペイストの新しい素材を触ったり感じたりする。 ②手元を見ながら（感じながら）風船スタンプを押し、スタンプの感触とその立体的な模様を楽しむ。	・キャンパスを担当と一緒に触る。 ・モデリングペイストは順番に一人ひとり練る。 ・黄色と緑の色カードから好きな色を選ぶ。 ・絵の具をつけた風船スタンプを担当と一緒に押す。	キャンパス、蛍光絵の具（黄色、緑）、 モデリングペイスト、風船、色カード
12	・クリスマスリース作り	①のこぎりの使い方を体験し、角材を切るときの振動や音を感じる。 ②切った木片にやすりをかけ、感触を意識する。 ③木片リースに教員と一緒に刷毛で選んだ色を塗る。	・5cm間隔に印のついている角材をのこぎりで切る。 ・切った木片にやすりをかける。 ・木片をつないだリースに選んだ色を塗る。 ・まつぼっくりに色を塗り、木片リースに糊付けする。	角材、のこぎり、新聞紙、紙やすり、絵の具、刷毛、絵の具、まつぼっくり
1	・ねずみのキーホルダー作り ・ありがとう布巾作り	①ねずみの色を選ぶ。②教員と一緒にボスカで色を塗る。 ①「ありがとう」の文字の色を選ぶ。②教員と一緒に手元を見ながらR1スポンジで色を付ける。	・プラ版のねずみの色を選ぶ。 ・教員と一緒にねずみの色を塗り、目と鼻とひげを書く。 ・「ありがとう」の文字の色を選び、デザインを考える。 ・教員と一緒に手元を見ながら色を付ける。	ねずみ形のプラ版、ボスカ、ひも、箸、 オープントスター、アルミホイール、
2	・桜の花びら作り ・高等部のアルバム作り ・高等部のアルバム作り	①風船スタンプの感触を意識しながら、教員と一緒に色付けをする。 ①アルバムの台紙の色を選ぶ。②手形をとる	・絵の具をつけた風船スタンプを担当と一緒に押す。  ・アルバムの3枚の台紙の色を選ぶ。	風船、蛍光絵の具、新聞紙、  色見カード、絵の具、画用紙、刷毛
3	・高等部アルバム作り ・作品を振り返ろう	①教員と一緒にはさみやで切ったり、糊や両面テープで写真や装飾物を張る。 ①今年度作成した作品を鑑賞する。	・写真や手形やタイトルなどを教員と一緒に、はさみで切ったり、糊や両面テープで貼る。 ・写真立て、風船スタンプ、ランプシェード、高等部アルバムを見て、一年を振り返る。	台紙用色紙、写真、手形、タイトル、カスタネットはさみ、糊、両面テープ、新聞紙、風船ランプ、写真立て、ランプシェード、

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 小低グループ) (体育) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	・粗大運動やボール運動等の経験を広げ、動きの変化に気付いたり身体の動かし方や使用する用具等を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながらいろいろな運動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	・いろいろな動きや用具等に慣れるとともに、運動の行い方を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	・いろいろな運動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	粗大運動 いろいろな揺れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーツブランコやワンロールの揺れを経験する。【知識・技能】</li> <li>・身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・友だちや教員と一緒に楽しく体を動かす。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操</li> <li>・シーツブランコ、ワンロール</li> <li>・リラクゼーション</li> </ul>	シーツブランコ、ワンロール、エアレックスマット、魚、リラックスソング
5				
6	粗大運動 友だちと揺れよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアトランポリンの揺れを経験する。【知識・技能】</li> <li>・身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・友だちや教員と一緒に楽しく体を動かす。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操</li> <li>・エアトランポリン</li> <li>・リラクゼーション</li> </ul>	エアトランポリン、エアレックスマット、魚、リラックスソング
7				
8	粗大運動 友だちと弾もう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリンの揺れを経験する。【知識・技能】</li> <li>・身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・友だちや教員と一緒に楽しく体を動かす。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操</li> <li>・トランポリン</li> <li>・リラクゼーション</li> </ul>	トランポリン、魚、リラックスソング
9				
10				
11	粗大運動 ボールスライダーをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールスライダーの振動や揺れ、スピード等を経験する。【知識・技能】</li> <li>・振動や揺れの楽しさ、スピードの速さ等自分の気持ちを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・友だちの活動を見たり聞いたりして、活動を楽しむ。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操</li> <li>・ボールスライダー</li> <li>・リラクゼーション</li> </ul>	ボールスライダー、クッションチェアー、魚、リラックスソング
12				
1	ボール運動 ボールであそぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな大きさ、感触のボールや大ハルーンを経験する。【知識・技能】</li> <li>・ボールや大ハルーンを使って体を動かすことの楽しさを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・友だちの活動を見たり聞いたりして、活動を楽しむ。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操</li> <li>・大玉転がし、いろいろなボール転がし</li> <li>・リラクゼーション</li> </ul>	大ハルーン、いろいろなボール、長机、魚、リラックスソング
2	ボール運動 ボールでのあてをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなボールでのあてを経験する。【知識・技能】</li> <li>・いろいろなボールを使って体を動かすことの楽しさを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・簡単なルールに従って活動を楽しむ。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操</li> <li>・的あて</li> <li>・リラクゼーション</li> </ul>	いろいろなボール、的あてセット、魚、リラックスソング
3	ボール運動 ボールでゲームをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボウリングのゲームを経験する。【知識・技能】</li> <li>・ボール（ボウリング球）を使って体を動かすことの楽しさを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・簡単なルールに従って活動を楽しむ。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操</li> <li>・ボウリング</li> <li>・リラクゼーション</li> </ul>	ボウリングセット、投球器、魚、リラックスソング

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 中学年グループ) (体育) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	粗大運動やボール運動等の経験を広げ、動きの変化に気付いたり身体の動かし方や使用する用具等を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながらいろいろな運動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	いろいろな動きや用具等に慣れるとともに、運動の行い方を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	いろいろな運動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	その他の運動 「ブラブラせいじんがやってきた」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の時間に行う準備運動を知ることができる(知識・技能)</li> <li>・自分が好きな動きを伝えることができる(思考力・判断力・表現力等)</li> <li>・友だちや教員と一緒に楽しみながら行うことができる(学びに向かう力・人間性等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像を見ながらの準備体操の練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・テレビ</li> <li>・映像または音源</li> </ul>
5	その他の運動 「燃えろ！中村運動会」  ※中村OPの時期に合わせて設定してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の得意な動きで走ったり跳ったりすることができる(知識・技能)</li> <li>・競技中の動きや踊りで自分の思いを表現することができる(思考力・判断力・表現力等)</li> <li>・友だちや教員と協力して競技を楽しむことができる(学びに向かう力・人間性等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操(ブラブラせいじん)</li> <li>①玉入れ</li> <li>②綱取り合戦</li> <li>③パン取り競争</li> </ul> <p>※中村OPに合わせてクラスでも独自の運動会をしようというテーマで行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音源</li> <li>・楽器</li> <li>・ボール(玉入れ)</li> <li>・輪投げの輪</li> <li>・スズランテープ</li> <li>・造形パン</li> </ul>
6				
7				
8・9	ボール運動 「ポッチャ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの方法でボールを投げたり転がしたりすることができる(知識・技能)</li> <li>・自分の投球結果から喜びや悔しさなどの気持ちを表現することができる(思考力・判断力・表現力等)</li> <li>・友だちの投球を意識することができる(学びに向かう力・人間性等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操(ブラブラせいじん)</li> <li>・ポッチャ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・テレビ</li> <li>・映像(競技の様子)</li> <li>・ボール(ポッチャ)</li> <li>・的(楽器付き)</li> <li>・ランブ(雨どい)</li> <li>・ホワイトボード</li> <li>・顔写真マグネット</li> <li>・得点メダル</li> </ul>
10				
11				
12				
1	粗大運動 「なかむらたんけん隊の大冒険」  ※単元名はグループ学習で行っていた「なかむらたんけん隊」とのコラボ名です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な動きや感触を経験する(知識・技能)</li> <li>・自分の好きな動きや感触を表現することができる(思考力・判断力・表現力等)</li> <li>・友だちと一緒に活動することを楽しむことができる(学びに向かう力・人間性等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備体操(ブラブラせいじん)</li> <li>・映像に合わせた揺れ等の粗大運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・映像(船やスキーなど)</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・風や温度を感じられるもの(うちわや霧吹き等)</li> <li>・トランポリン</li> <li>・ユニジャンプ</li> <li>・台車ライダー</li> <li>・ハルーン 他</li> </ul>
2				
3				

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 高学年グループ) (体育) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	・粗大運動やボール運動等の経験を広げ、動きの変化に気付いたり身体の動かし方や使用する用具等を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながらいろいろな運動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	・いろいろな動きや用具等に慣れるとともに、運動の行い方を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	・いろいろな運動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	粗大運動 エアートランポリンをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の学習の流れや準備運動を知る。【知識・技能】</li> <li>・トランポリンの揺れを感じ、楽しさや心地よさを伝えることができる。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・積極的にアピールし、活動を楽しむことができる。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像を見ながら準備運動を行う。</li> <li>・エアートランポリンに乗って友だちと一緒に活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアートランポリン</li> <li>・TV,タブレット端末</li> </ul>
5	粗大運動 波乗りをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて教員と一緒に（教員の支援を受けながら）楽しく体を動かす。【知識・技能】</li> <li>・音楽を感じながら、体を動かすことの楽しさや心地よさを表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・簡単な合図や指示に従って、楽しく体を動かそうとする。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具に乗り、音楽と映像に合わせて揺れや回転をする。</li> <li>・音楽に合わせて暗転と明転の場面を作り、揺れにも強弱をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーナッツバルーン</li> <li>・ワンロール</li> <li>・ユニジャンプ</li> <li>・TV,タブレット端末</li> <li>・ミュージックライト</li> </ul>
6				
7	その他の運動 リレーをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で自分から体を動かしたり、教員と一緒に動かしていることに気づく。【知識・技能】</li> <li>・周りの友だちや教員と一緒に、体を動かす楽しさを伝えることができる。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・チームメイトを意識したり、ゲームを楽しんだりする。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2チームに分かれて、バトンをつなぎ、競争する。</li> <li>・フープを床に固定したガタガタの道を進んだり、途中でツリーチャイムを鳴らしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピブス</li> <li>・輪バトン</li> <li>・フープ</li> </ul>
8 ・ 9	ボール運動 ポッチャをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの投球方法を見つける。【知識・技能】</li> <li>・学習を通して感じたことを表す。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・周りの友だちや教員と一緒に、体を動かすことを楽しむ。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2チームに分かれて、的をめがけてボールを投げたり、転がしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール</li> <li>・的</li> <li>・ピブス</li> <li>・クッションチェア</li> <li>・とい</li> </ul>
10				
11	粗大運動 体育館で体を動かそう 「滑り台」&マット運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サインミュージックや準備運動、整理運動に慣れ親しむ。【知識・技能】</li> <li>・周りの友だちや教員と一緒に、体を動かすことを楽しむ。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・自分の力で体を動かそうと意識する。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の舞台にエバーマットを敷き傾斜を作りその上を滑る。</li> <li>・マットの上を転がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エバーマット</li> <li>・マット</li> </ul>
12				
1	粗大運動・その他の運動 駅伝をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車から伝わる振動やささまざまな動きを受け入れる。【知識・技能】</li> <li>・身体を動かすことの楽しさや心地よさを言葉や発語、表情、身振りなどで表現する。【思考力・表現力・判断力等】</li> <li>・一緒に活動している友だちを見たり、意識を向けたりできる。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車に乗り、決められた区間を走る。</li> <li>・チームに分かれて競争する。</li> <li>・走っている様子の中継する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タスキ</li> <li>・台車,クッションチェア</li> <li>・TV,タブレット端末</li> </ul>
2				
3	まとめ リクエスト			

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (中学部) (体育) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	・粗大運動や簡単な球技等の経験を深め、身体の動かし方や使用する用具等について理解するとともに、できることを生かしていろいろな運動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	・動きや用具等の違いを意識できるようにするとともに、運動の行い方を決めようとしたり、自分の気持ちを伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	・いろいろな運動を行う中で楽しみ方を広げ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	その他の運動 (リトミック・パラバルーン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リトミックで身体を動かす中で感じたことを表現する。</li> <li>・パラバルーンを上下左右に持ち上げたり、パラバルーンのふちを握り続けたりすることができる。</li> <li>・友だちとともに安全に楽しく活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせた動きを楽しむ。</li> <li>・パラバルーンで楽しく身体を動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CD (校歌リトミック・BGM)</li> <li>・スピーカー</li> <li>・パラバルーン</li> <li>・鈴</li> </ul>
5	その他の運動 (オリジナル徒競走)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技を通して、友だちや教員と楽しく身体を動かす。</li> <li>・教員とコースを走りながら、環境の変化を感じる。</li> <li>・教員の話や簡単な合図、授業の流れに沿って運動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの方法(歩行器など)で走行を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CD</li> <li>・スピーカー</li> <li>・各自必要な歩行器</li> </ul>
6	球技 (風船バレー、Tボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをする。</li> <li>・自分の得意な動きを活かしてバットなどを使い、ボールに当てることができる。</li> <li>・ボールに気付き、追視ができる。</li> <li>・教員や友だちと一緒に身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風船の特性を知り、手で打ったり、ラケットや物を使って打ったりして、ゲームを行う。</li> <li>・Tボールで、ボールをバットにあて、ゲームを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい風船</li> <li>・ネット</li> <li>・対戦表、得点表</li> <li>・ラケット、バット</li> <li>・ボール、ベース</li> <li>・看板(アウト、ヒットなど)</li> </ul>
7				
8 ・ 9 ・ 10	粗大運動 (台車スライダー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車スライダーの動きを受け入れる。</li> <li>・教員の合図のもと、前後左右などの動きやスピードが変わることに気づく。</li> <li>・身体を動かすことの楽しさや心地よさを言葉や発語、表情、身振りなどで表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの姿勢で台車に乗る。</li> <li>・様々な動きやスピードを感じる。</li> <li>・光る電球をみたり、スズランテープのゴールに触れたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車2台(クッションチェア付き、エアレックスマット)</li> <li>・光る電球</li> <li>・スズランテープ</li> </ul>
11	粗大運動 (トランポリン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリンでさまざまな揺れを感じ、感じたことを表現する。</li> <li>・友だちとともに安全に楽しく活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリンで楽しく身体を動かす。</li> <li>・音楽に合わせて動きを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリン</li> <li>・iPad、スピーカー</li> </ul>
12 ・ 1	球技 (ポッチャ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポッチャで使う物やルールを自分なりに知る。</li> <li>・勾配具や教員のサポートを受けながら、上肢を動かし、ボールを放したり、転がしたり、投げたりする。</li> <li>・友だちと協力し合う楽しさや競技を通して感じたことを自分なりに表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技用のボールを体験する。</li> <li>・自分のやり方を見つける。</li> <li>・対戦などをしてポッチャを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技用ポッチャ</li> <li>・ランブ</li> <li>・的</li> </ul>
2 ・ 3	粗大運動 (エアトランポリン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体全体あるいは座位姿勢でさまざまな揺れを感じ、自分にとって心地よい揺れを見つける。</li> <li>・映像や曲に合わせて、身体を動かしたり、座位姿勢を保持したりすることを知る。</li> <li>・雰囲気や揺れで感じたことを自分なりに表現し、周囲に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアトランポリンで色々な揺れを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアトランポリン</li> <li>・iPad、スピーカー</li> <li>・プロジェクター</li> </ul>

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

## 令和4年度 中村特別支援学校 (高等部) (体育) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	・卒業後につながるいろいろな運動を経験する中で、身体の動かし方や使用する用具等についての理解を広げたり深めたりするとともに、できることを生かせるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	・動きや用具等に応じて運動を行うとともに、運動の行い方を自分で決めたり、自分の意思を伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	・いろいろな運動を行う中で卒業後につながる楽しみを見つけ、主体的に取り組めるようにするとともに、仲間と協働して自分の役割を果たすことができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4 ・ 5	粗大運動(4) (トランポリン、 ユニジャンプ、バルーン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな姿勢で揺れを感じ、姿勢保持を意識する。</li> <li>・大きい小さいなどの揺れの違いに気づくことができる。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> </ul>	大型トランポリン、ユニジャンプまたはバルーンの二つのグループに分かれて、音楽に合わせて上下左右の大小様々な揺れを感じる。	・CD・CDデッキ・iPad・テレビ・大型トランポリン×2・ユニジャンプ×2
6 ・ 7	球技①(6) (ポッチャ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが自分の得意な動きややり方で、ボールを使ってのゲームを行う。</li> <li>・様々な形で行う球技を体験する。</li> <li>・集団でゲームを行う楽しさを知る。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが自分の得意な動きややり方で、ボールを使ってのゲームを行う。</li> <li>・集団でのゲームの雰囲気を感じながら、自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりする。</li> </ul>	・iPad×1・テレビ×1・エアレックス×4 ・ポッチャセット2 セット・槌・ランプス・長机3台(ポッチャ台)
8 ・ 9 ・ 10	その他の運動 (風船バレー、パラバルーン、 ボウリング等)(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが自分の得意な動きややり方で、様々なスポーツを行う。</li> <li>・様々なスポーツを体験する。</li> <li>・集団でゲームを行う楽しさを知る。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> </ul>	単元種によって異なる。	・iPad×1・テレビ×1 ・その他単元(種目)によって必要なもの
1 1 ・ 1 2	球技②(6) (サウンドテーブルテニス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが自分の得意な動きややり方で、道具を使っての球技ゲームを行う。</li> <li>・様々な形で行う球技を体験する。</li> <li>・集団でゲームを行う楽しさを知る。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが自分の得意な動きややり方で、道具を使ってのゲームを行う。</li> <li>・集団でのゲームの雰囲気を感じながら、自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりする。</li> </ul>	・iPad×1・テレビ×1 ・ボール(色々な種類) ・ラケット(複数) ・ペットボトル(的) ・長机×2
1 ・ 2 ・ 3	リクエストスポーツ(6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが自分の得意な動きややり方で、様々なスポーツを行う。</li> <li>・様々なスポーツを体験する。</li> <li>・集団でゲームを行う楽しさを知る。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> </ul>	単元(種目)によって異なる。	・iPad×1・テレビ×1 ・iPad×1 ・テレビ×1 ・HDMIケーブル×1 ・その他単元(種目)によって必要なもの

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (分教室小学部) (体育) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	・粗大運動やボール運動等の経験を広げ、動きの変化に気付いたり身体の動かし方や使用する用具等を知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながらいろいろな運動に取り組めるようにする。		
	思考力・判断力 ・表現力等	・いろいろな動きや用具等に慣れるとともに、運動の行い方を選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。		
	学びに向かう力 ・人間性等	・いろいろな運動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。		
月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	粗大運動 揺れの学習①	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>バルーンなどの揺れを体験する。</li> <li>バルーンなどに乗って感じたことを自分なりの表現で伝える。</li> <li>活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>バルーンに乗り揺れる。</li> <li>友だちの活動を見る。</li> <li>感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種バルーン</li> <li>CD、CDデッキ、エアレックスマッチ、クッション</li> </ul>
5	球技①	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>玉入れのルールを知り、自分なりの投げ方で楽しむ。</li> <li>活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>球入れをする。</li> <li>感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド、的、カラーボール、投球器、雨どい、iPad</li> </ul>
6	その他の運動 港南オリンピック	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの方法で参加し、競技を楽しむ。</li> <li>日常の学習とは違う雰囲気を感じ取り、その気持ちを自分なりに表現する。</li> <li>集団での活動を通して、他学部の友だちとの交流を楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>玉入れをする。</li> <li>パンとりをする。</li> <li>リレーをする、応援をする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド、的、カラーボール、投球器、雨どい、模造パン、ピンチハンガー、鉢巻、フラフープ、iPad、プロジェクター、賞状、トロフィー、メダル</li> </ul>
7	粗大運動 水袋体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>身体全体で揺れを感じるとともに、自分の身体を感じる。</li> <li>活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>水袋に乗り揺れる。</li> <li>感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビニールプール、水袋、カラーボール、iPad、ミラーボールライト、水泳帽、サングラス、クッション</li> </ul>
8 ・ 9	球技②	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>ボウリングのルール、球、ピンなど、学習する。</li> <li>投球器を使い自分にあつた投球をする。</li> <li>活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>ボウリングをする。</li> <li>ハイタッチをする。</li> <li>感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボウリングセット2組</li> <li>iPad、テレビ、ブラックライト、ミラーボールライト、エアレックスマット</li> </ul>
10	粗大運動 揺れの学習②	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>エアトランポリンなどの揺れを体験する。</li> <li>エアトランポリンなどに乗って感じたことを自分なりの表現で伝える。</li> <li>活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>エアトランポリンに乗り揺れる。</li> <li>感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアトランポリン、クッション、エアレックスマット、iPad、ミラーボールライト</li> </ul>
11 ・ 12	その他の運動 リトミック	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>友だちや先生と一緒に、リズムに合わせて歩いたり身体を動かしたりして楽しく運動する。</li> <li>歩いたり手足を動かしたりして感じたことを自分なりの表現で伝える。</li> <li>簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>音楽を聴きながらリズムに合わせて行進したり、体を動かしたりする。</li> <li>感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPad (準備運動、リトミック用の曲)</li> <li>スピーカー</li> <li>ゴム風船</li> </ul>
1	球技③	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>自分のできるやり方で、ボールを転がす。</li> <li>的のピン(ペットボトル)を倒すゲームを楽しむ。(ごろバレーゲーム)</li> <li>活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>準備運動をする。</li> <li>ボール転がしの練習をする。</li> <li>ごろバレーゲームをする。</li> <li>感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な大きさのボール</li> <li>500mlのペットボトル(鈴入り) iPad</li> <li>スピーカー</li> </ul>
2	その他の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手な活動の克服したり、得意な活動の幅を広げたりする。</li> <li>日常の学習とは違う雰囲気を感じ取り、その気持ちを自分なりに</li> </ul>	※各単元の学習内容	

2	てりか出の運動 リクエスト授業	目標達成には進捗を確認し、その進捗をログなどに 表現する。 ・集団での活動を通して、他学部の子たちとの交流を楽しむ。		
3	※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。			



# 令和4年度 中村特別支援学校 分教室 中学部 ( 体育 ) 年間指導計画

## 年 間 指 導 目 標

年間指導目標	知識・技能	・粗大運動や簡単な球技等の経験を深め、身体の動かし方や使用する用具等について理解するとともに、できることを生かしていろいろな運動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	・動きや用具等の違いを意識できるようにするとともに、運動の行い方を決めようとして、自分の気持ちを伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	・いろいろな運動を行う中で楽しみ方を広げ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	その他の運動・粗大運動① (リトミックと揺れ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようにする。</li> <li>・リトミックでは、曲に合わせてながら、自ら体を動かしたり、教員に体を動かされたりして、体を動かす楽しさを味わう。</li> <li>・バルーンやハンモックなどなどの揺れを体験する。</li> <li>・活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②リトミックや身体接触遊びをする。</li> <li>③バルーンや揺れの遊具に乗り揺れる。</li> <li>④友だちの活動を見る。</li> <li>⑤感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種バルーン、揺れ遊具(ハンモック、オーンスウィング、シーツブランコ)</li> <li>・CD、CDデッキ、エアレックスマッチ、クッション</li> </ul>
5	粗大運動② (エアートランポリン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようにする。</li> <li>・エアートランポリンなどの揺れを体験する。</li> <li>・エアートランポリンなどに乗って感じたことを自分なりの表現で伝える。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②エアートランポリンに乗り揺れる。</li> <li>③感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアートランポリン、クッション、エアレックスマット、クッションマット</li> <li>・iPad、ミラーボールライト</li> </ul>
6	球技① (ゴールボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようにする。</li> <li>・ルールを学びながら投球器を使い自分にあった投球をする。</li> <li>・活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②ボウリングをする。</li> <li>③ハイタッチをする。</li> <li>④感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボウリングセット2組</li> <li>・iPad、テレビ、ブラックライト、ミラーボールライト、エアレックスマット</li> </ul>
7	粗大運動③ (水袋体験)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようにする。</li> <li>・身体全体で揺れを感じるとともに、自分の身体を感じる。</li> <li>・活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②水袋に乗り揺れる。</li> <li>③感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニールプール、水袋、カラーボール、iPad、ミラーボールライト</li> <li>・水泳帽、サングラス、クッション</li> </ul>
9 1 0	その他の運動① (ゲームと運動会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようにする。</li> <li>・パン取りや大玉転がしでは、自分なりの方法で楽しむ。</li> <li>・音楽やリズムに合わせて体を動かし、身体表現を楽しむ。</li> <li>・集団での活動を通して、他学部の友だちとの交流を楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②パンとりや大玉転がしをする。</li> <li>③綱引きでは曲に合わせて綱を持ちダンスをする。</li> <li>④応援合戦をして大鼓をたたいたり団扇を振ったりする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模造パン、ピンチハンガー、巻、フラフープ</li> <li>・綱、大玉、トレー、的、iPad、プロジェクター、</li> </ul>
1 1	その他の運動②・粗大運動④ (リトミックと揺れ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようにする。</li> <li>・リトミックでは、曲に合わせてながら、自ら体を動かしたり、教員に体を動かされたりして、体を動かす楽しさを味わう。</li> <li>・バルーンやハンモックなどなどの揺れを体験する。</li> <li>・活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②リトミックや身体接触遊びをする。</li> <li>③バルーンや揺れの遊具に乗り揺れる。</li> <li>④友だちの活動を見る。</li> <li>⑤感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種バルーン、揺れ遊具(ハンモック、オーンスウィング、シーツブランコ)</li> <li>・CD、CDデッキ、エアレックスマッチ、クッション</li> </ul>
1 2	球技② (ポッチャ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の得意な動きややり方で、ボールを使っでのゲームを行う。</li> <li>・様々な形で行う球技を体験する。</li> <li>・集団でゲームを行う楽しさを知る。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②ぽっちゃんをみんなで楽しむ</li> <li>③感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad×1 ・テレビ×1 HDMケーブル</li> <li>・ポッチャセット ・籠 ・ランプス</li> <li>・T台</li> </ul>
1 2	粗大運動⑤ (台車スライダー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車スライダーの動きに慣れ、楽しむことができる。</li> <li>・前後、左右、回転する動きやスピードの変化を感じることができる。</li> <li>・感じたことを身体の動きや表情、声などで表出する。</li> <li>・教員の話聞き仲間の活動を見ながら、順番を待つことができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②台車スライダーに乗り、前後、左右、回転などの動きを体験し、いろいろな動きやスピードの変化を感じる。</li> <li>③感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車スライダー</li> <li>・iPad</li> <li>・各自必要なクッション</li> </ul>
1 2	その他の運動③ (ポッチャ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の得意な動きややり方で、ボールを使っでのゲームを行う。</li> <li>・様々な形で行う球技を体験する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②ぽっちゃんをみんなで楽しむ</li> </ol>	※各単元の教材、準備物

3

ソングブック

- ・集団でゲームを行う楽しさを知る。
- ・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。

③感想を発表する。

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

—

—  
—

—

—

—

シャ  
ッ

—

ス

—

ポー

—

い  
、

鉢

賞

シャ  
ッ

—

×1

—

—

—

—

3

# 令和4年度 中村特別支援学校 (分教室高等部) (体育) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	・卒業後につながるいろいろな運動を経験する中で、身体の動かし方や使用する用具等についての理解を広げたり深めたりするとともに、できることを生かせるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	・動きや用具等に応じて運動を行うとともに、運動の行い方を自分で決めたり、自分の意思を伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	・いろいろな運動を行う中で卒業後につながる楽しみを見つけ、主体的に取り組めるようにするとともに、仲間と協働して自分の役割を果たすことができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	その他の運動と粗大運動① (リトミックと揺れ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>・リトミックでは曲に合わせて自ら体を動かしたり、教員に体を動かされたりして、体を動かす楽しさを味わう。</li> <li>・バルーンやハンモックなどの揺れを体験する。</li> <li>・活動を通して友だちや教員とのやりとりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②リトミックや身体接触遊びをする。</li> <li>③バルーンや揺れの遊具に乗り揺れる。</li> <li>④友だちの活動を見る。</li> <li>⑤感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種バルーン、揺れ道具 (ハンモック、オーシャンスイング、シートブランコ) ・CD、CDデッキ、エアレックスマット、クッションマット</li> </ul>
5 ・ 6	その他の運動① (ゲームと運動会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>・パン取りや大玉転がしでは、簡単なルールを知りながら、自分なりに楽しむ。</li> <li>・音楽やリズムに合わせて体を動かし、身体を動かすことを楽しむ。</li> <li>・集団での活動を通して、他学部の友だちとの交流を楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②パン取りや大玉転がしをする。</li> <li>③綱引きでは曲に合わせて綱を持ちダンスをする。</li> <li>④応援合戦をして太鼓をたたいたり、団扇を振ったりする。</li> <li>⑤感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模造パン、ピンチハンガー、鉢巻、プラフープ、綱、大玉、トレー、的</li> <li>・iPad、プロジェクター、賞状、トロフィー、メダル</li> </ul>
7 ・ 8	粗大運動② (エアートランポリン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>・エアートランポリンの揺れ方、強さの違いを体験する。</li> <li>・エアートランポリンなどに乗って感じたことを自分なりの表現で伝える。</li> <li>・活動を通して友だちや教員との関わりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②エアートランポリンに乗り、揺れる。</li> <li>③感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアートランポリン、クッション、エアレックスマット</li> <li>・iPad、ミラーボールライト</li> </ul>
9	球技① (ボウリング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>・ボウリングのルールや使用する道具について知る。</li> <li>・投球器を使い自分に合った投球をする。</li> <li>・活動を通して友だちや教員との関わりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②ボウリングをする。</li> <li>③ハイタッチをする。</li> <li>④感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボウリングセット2組</li> <li>・iPad、ミラーボールライト、エアレックスマット、ブラックライト、テレビ</li> </ul>
1 0	その他の運動と粗大運動③ (リトミックと揺れ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動で体育の始まりを意識できるようになる。</li> <li>・リトミックでは、曲に合わせて、自ら体を動かしたり、教員に体を動かされたりして、体を動かす楽しさを味わう。</li> <li>・バルーンやハンモックなどの揺れを体験する。</li> <li>・活動を通して友だちや教員との関わりを楽しむ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②リトミックや身体接触遊びをする。</li> <li>③バルーンや揺れの道具に乗り揺れる。</li> <li>④友だちの活動を見る。</li> <li>⑤感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種バルーン、揺れ道具 (ハンモック、オーシャンスイング、シートブランコ) ・CD、CDデッキ、エアレックスマット、クッション</li> </ul>
1 1 ・ 1 2	球技② (ポッチャ、ごろバレー、Tボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のできる範囲内で、投球を楽しむ。</li> <li>・ポッチャやごろバレー、Tボールのルールに触れ、教員や友だちと楽しくゲームを行う。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②ポッチャをみんなで楽しむ。</li> <li>③感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad</li> <li>・テレビ</li> <li>・HDMIケーブル</li> <li>・ポッチャセット</li> <li>・槌</li> <li>・ランプス・T台</li> </ul>
1 ・ 2	粗大運動④ (台車スライダー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車スライダーの動きに慣れ、楽しむことができる。</li> <li>・前後、左右、回転する動きやスピードの変化を感じることができる。</li> <li>・感じたことを身体の動きや表情、声などで表出する。</li> <li>・教員の話聞き、仲間の活動を見ながら、順番を待つことができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②台車スライダーに乗り、前後、左右、回転などの動きを体験し、いろいろな動きやスピードの変化を感じる。</li> <li>③感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台車スライダー</li> <li>・iPad</li> <li>・各自必要なクッション</li> </ul>
3	その他の運動② (風船バレー、ダンス、パラバルーン) リクエスト授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の得意な動きややり方で、様々なスポーツを行う。</li> <li>・集団でゲームを行う楽しさを知る。</li> <li>・自分の気持ちを表出したり、友だちの活動に注目したりすることができる。</li> <li>・ゲームのルールに触れ、教員や仲間と一緒にスポーツをすることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①準備運動をする。</li> <li>②レクリエーションスポーツを楽しむ。</li> <li>③友だちの活動を見る。</li> <li>④感想を発表する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の教材、準備物</li> </ul>

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 低学年グループ) (生活) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	身近な事物に触れたり人と関わったりする経験を広げ、それらの特徴に気付いたり自分との関わりを知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながら遊んだり関わったりする活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力・表現力等	身近な事物に触れたり人と関わったりすることに慣れるとともに、活動の中で選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。
	学びに向かう力・人間性等	身近な事物に触れたり人と関わったりする活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4 5 6	学校探検をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段とは異なる場所でも、落ち着いて活動に取り組むことができる</li> <li>普段とは異なる場所に気づくことができる</li> <li>さまざまな人と関わることができる</li> </ul>	①学校探検をする。 (技術員室、保健室、小中・小高教室、図書コーナー、給食室、校庭、中小)	学校探検カード、シール
	植物を育てよう① (朝顔)	<p style="text-align: center;">※植物を育てよう①②③共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物や土の感触や香りに気づくことができる</li> <li>植物の世話を楽しむことができる</li> <li>朝顔を育てることを通して自然と触れ合い、植物に興味関心をもつ</li> </ul>	①土を準備する ②種を植える ③水やりをする	土、プランター、朝顔の種、じょうろ、スコップ、トレー
7 8	色水遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の感触に気付くことができる</li> <li>水に親しみ、水ならではの遊びを楽しむことができる</li> <li>水の変化や音などに興味を持ち、楽しみながら触れることができる</li> </ul>	①水袋や霧吹き、足湯などで水を感じる ②朝顔の色水遊び(メインの活動)	朝顔の花、和紙、ビニール袋、霧吹き、バケツ、トレー
	植物を育てよう② (朝顔)	※植物を育てよう①②③共通	①朝顔の葉や蔓、花に触る ②水やりをする	朝顔のプランター、じょうろ
9 10 11	公園に行こう (晴れの日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の外でも落ち着いて活動に取り組むことができる</li> <li>公園にある遊具や自然に気づくことができる</li> <li>公園での過ごし方に興味関心をもつことができる</li> </ul>	①遊具やかけっこ等で一緒に遊ぶ ②秋探し ③公園のグラウンドに座ってみる	ビニール袋、ブルーシート
	秋を感じよう (雨の日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や校庭にある自然に触れながら遊ぶことができる</li> <li>季節の変化や秋に気づくことができる</li> <li>季節の植物に興味関心をもつことができる</li> </ul>	①落ち葉、どんぐり、ススキなどに触れる	落ち葉、どんぐり、ススキ、ブルーシート
	植物を育てよう③ (朝顔)	※植物を育てよう①②③共通	①朝顔の片付け ・種や枯れた蔓に触る (可能ならみずみずしい蔓と触り比べる) ・土を片付ける	朝顔のプランター、トレー、ビニール袋、スコップ
12 1	紙で遊ぼう ※風の要素も取り入れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙の感触や音に気づくことができる</li> <li>紙に親しみ、紙での遊びを楽しむことができる</li> <li>素材が変化していく過程に興味をもち、積極的に活動することができる</li> </ul>	①新聞紙で遊ぶ ・破いて紙吹雪、新聞紙プール ・新聞紙バラバルーン ・新聞紙ドーム	新聞紙、扇風機、うちわ、ビニールプール
2 3	1年間で振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの活動を思い出し、自分から活動に取り組むことができる。</li> <li>相手とのやり取りを楽しむことができる</li> <li>友だちの活動に興味関心をもつことができる</li> </ul>	①生活で学習したことを、もう一度やってみる。 ・友だちのやり方を真似して活動する	

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和 4 年度 中村特別支援学校 (小学部中学年) グループ (生活) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	身近な事物に触れたり人と関わったりする経験を広げ、それらの特徴に気付いたり自分との関わりを知ったりするとともに、できることを見つけたり増やししたりしながら遊んだり関わったりする活動に取り組めるようにする。		
	思考力・判断力 ・表現力等	身近な事物に触れたり人と関わったりすることに慣れるとともに、活動の中で選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。		
	学びに向かう力 ・人間性等	身近な事物に触れたり人と関わったりする活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。		
月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4 5 6	①中村探検隊発足 ・出発！学校周りの探検 ①植物を植えよう (ヘチマ)	◎気づいたことを基に考えたり、自分の気持ちを伝えたりすることができる。 ○学校の周りを探検することを通して、新しい場所に出る経験を広げるとともに、学校の周りにおける施設・場所等に気づくことができる。 ○環境の違う場所での活動を通して、友だち、教員とのやりとりを通じた活動を受け入れたり、楽しんだりすることができる。 ○植物の特徴や変化に気付くことができる。 ○身近な植物について知る。 ○植物の世話を楽しむことができる。 (○の目標・学習内容・評価は8月まで継続、◎は年間通しての目標)	・実際に校外に出て、学校の周りを探検する。 ・赤玉土や培養土に触れて、プランターに入れる。 ・ヘチマの苗を植える。 ○水やりをする。  ※児童の実態に応じて、交通ルールの学習等を行う。	・記録用タブレット端末、TV等 ・ヘチマの苗、栽培ネット、プランター、土等
7 8	②中村探検隊 ・突撃！地区センター水遊び ②植物を育てよう (ヘチマ)	・自分なりの挨拶の仕方に気づいたり、知ったりすることができる。 ・水に親しみ、水ならではの遊びを楽しむことができる。 ・水の力や温度などに気付くことができる。	・地区センターに行き、働いている方々に挨拶をしてから施設を利用する。 ・ヘチマの水やりを通して、水を使って楽しく遊ぶ。	・ホース、じょうろ、水やりの道具等
9 10 11 12	③中村探検隊 ・出撃！お遣い (お遣い遊び) ③植物を収穫しよう (ヘチマ)	・疑似体験を通して“買い物”に関係する事物に気付くことができる。 ・賑やかな雰囲気や友だちとの活動を楽しむことができる。 ・収穫を通して、ヘチマの感触、形、重さ、ツルや種の感触等に気づくことができる。	・買い物遊びを通して、お金を使ったやりとりを経験する。 ・ヘチマを収穫したり、収穫したヘチマを加工する。 ※児童の実態に応じて、実際に買い物(お遣い)する等行う。	・お買い物遊びをするための道具、小銭、小銭入れ ・ヘチマの実
1 2 3	④中村探検隊 ・開局！中村郵便局感謝の気持ちを届けよう ④収穫し加工した植物を使ってもらおう	・郵便局の仕事を体験することを通して、身の回りにおける社会の仕組みを知ることができる。 ・郵便局の仕事を体験することを通して、身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にすることができる。 ・郵便局の仕事を体験することを通して、簡単な手伝いや仕事、また、身の回りの仕組みや公共の施設の使い方などに関心をもって活動に取り組もうとしている。 ・自分たちが作った手紙や作品をクラス以外の先生に届けることで、人との関わりを広げる。	・お世話になった身の回りの人に、手紙を書いたり、送ったりする。 ・ヘチマたわしと感謝の手紙を添えて、届ける。 ※児童の実態に応じて、郵便局の方を呼ぶ等行う。	・はがき、切手、スタンプ、ポスト、ポスター等 ・完成したヘチマたわし

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。



# 令和4年度 中村特別支援学校 (小学部 小高グループ) (せいかつ) 年間指導計画

年間指導	知識・技能	身近な事物に触れたり人と関わったりする経験を広げ、それらの特徴に気付いたり自分との関わりを知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながら遊んだり関わったりする活動に取り組めるようにする。		
	思考力・判断力 ・表現力等	身近な事物に触れたり人と関わったりすることに慣れるとともに、活動の中で選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。		
	学びに向かう力 ・人間性等	身近な事物に触れたり人と関わったりする活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。		
月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4・5	さつまいもを植えよう🍠	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てる植物を様々な感覚で感じる活動を通して、植物の様子を育つ過程を知ることができる。</li> <li>苗植え、水やり、収穫の仕事をすることで野菜が育つことに気づき、成長の変化や育てた感想を表現しようことができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>さつまいもについて知る(触る、嗅ぐ、加工する等)</li> <li>種芋を植える</li> </ol>	さつまいも、ミキサー、包丁、種芋、手拭き
	買い物へ行こう!①	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物の仕方を学び、金銭を使う経験をする。</li> <li>購入したいものを選び、教員に伝えることができる/自分で選ぶことができる</li> <li>様々な店の従業員とのやりとりを経験し、場の違いや他者を意識することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>買い物の方法を知る(疑似体験)</li> <li>自販機で買い物をする</li> <li>買い物へ行く店へ事前学習に行く</li> <li>買い物へ行こう!</li> </ol>	買い物ごっこ用商品、小銭等
6・7・8	水で遊ぼう! ～みず+〇=?～	<ul style="list-style-type: none"> <li>水あそびや水を題材にした様々な実験を通してその特徴を知ることができる。</li> <li>自然物に親しむあそびや活動の感想を表現することができる。</li> <li>自然物に親しむあそびや活動に主体的に取り組もうとすることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>水と色(色水遊び)</li> <li>水と新聞紙(感触遊び)</li> <li>水と片栗粉(ダイラタンシー)</li> <li>水と洗濯のり(スライム)</li> </ol>	絵具、食紅、新聞紙、片栗粉、洗濯のり、ホウ砂水、手拭き、ブルーシート等
9・10	お仕事調べ ～社会科見学に行こう～	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の周りにいろいろな役割がある公共施設があることを知る。</li> <li>消防署や警ら隊の見学を通して、気付いたことや自分の気持ちを表現する</li> <li>消防署や警ら隊の地域で働く方々との交流を経験する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域探検(消防署、警ら隊の場所を知る)</li> <li>消防署や警ら隊の仕事内容を知る</li> <li>水消火器体験をする</li> <li>消防署、警ら隊をそれぞれ見学する</li> <li>新聞を作ろう(なかよし交流)</li> </ol>	
11・12	さつまいもdeリース🎄	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てる植物を様々な感覚で感じる活動を通して、植物の様子を育つ過程を知ることができる。</li> <li>苗植え、水やり、収穫の仕事をすることで野菜が育つことに気づき、成長の変化や育てた感想を表現しようことができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>さつまいもの収穫をする</li> <li>さつまいもスタンプでクリスマスカードづくり</li> <li>完成したさつまいもを給食室に届ける</li> <li>さつまいものつるを使ってクリスマスリースを作る</li> </ol>	ブルーシート、軍手、トレイ、手拭き、絵具、画用紙、ペン、装飾、リボン等
	買い物へ行こう!②	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物の仕方を学び、金銭を使う経験をする。</li> <li>購入したいものを選び、教員に伝えることができる/自分で選ぶことができる</li> <li>様々な店の従業員とのやりとりを経験し、場の違いや他者を意識することができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>買い物の方法を知る(疑似体験)</li> <li>買い物へ行く店へ事前学習に行く</li> <li>買い物へ行こう!</li> </ol>	
1・2・3	感謝の気持ちを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内で働いている様々な人たちの仕事を疑似体験し、その仕事内容について知る。</li> <li>校内で働いている様々な人々との交流を通して、身近な人々に関心をもつ。</li> <li>校内で働いている人々から感謝される/感謝する経験をとおして、自分の気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>校内で働いている人々にインタビュー(動画等)しに行き、仕事内容を知る。</li> <li>校内で必要な仕事を一緒に体験する。</li> <li>ありがとうカードを作ろう!</li> <li>ありがとうカードを届けよう!</li> </ol>	i Pad、各種スイッチ、テレビ、画用紙、色ペン、その他

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (中学部) (技術・家庭) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	衣食住、植物育成、簡単な材料加工等についての経験を広げ、基礎的な知識を理解するとともに、できることを生かして家庭生活や身近な技術に係る活動に取り組めるようにする。			
	思考力・判断力・表現力等	扱う素材や道具に慣れたりそれらの違いを意識したりできるようにするとともに、生活をよりよくするための方法を決めようとしたり、自分の気持ちを伝えたりできるようにする。			
	学びに向かう力・人間性等	家庭生活や身近な技術に係る活動を行う中で楽しみを見つけ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。			
月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材	
4	植物育成に関する技術 【自然】	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物が育つ条件や工夫について知る。</li> <li>育てる植物の特徴に気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てる植物について知る。</li> </ul>	ペットボトル、ラディッシュ、サラダ菜、土など（肥料、プランター）、観察日記、カメラ	
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の生長に気付く。</li> <li>植物が育つように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物を育てる。</li> <li>観察記録をつける。（応用）</li> </ul>		
6	私たちの食生活 【自分の身の回り】	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てた野菜に関心を持つ。</li> <li>調理の過程での、食材の特徴や変化に気付く。</li> <li>簡単な調理の仕方や手順について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てた野菜で調理をする。</li> </ul>	サラダ、酢漬け、すりおろしなど、料理内容に応じて準備	
7					
8・9	清掃に関する技術 【自分の身の回り】	<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除用具の種類と使い方を知る</li> <li>掃除を通してきれいになることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除用具の種類と特徴を知る。</li> <li>掃除の仕方を知る</li> </ul>	ほうき、ちりとり、ワイパー、粘着カーペットクリーナー、iPad	
10	材料と加工に関する技術① 【社会】	(布) <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲や見通しをもって取り組み自分の役割に気づく。</li> <li>使いたい布や絵の具の色をえらぶことができる。</li> <li>作品を制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>布の感触を味わう。</li> <li>布を染める。</li> <li>作品を制作する。</li> </ul>	布（固い、柔らかいなどのいろいろな素材）デニム、ムーブメントクロス、タオル生地	
11					
12	材料と加工に関する技術② 【社会】	(木材) <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割に気づく。</li> <li>材料について知る。変化に気づく。</li> <li>加工を体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材に触れる。性質を知る。</li> <li>加工体験（切る、叩く、割るなど）</li> </ul>	木材、水やすり、ハンマー、カンナ、くぎ	
1					
2	私たちの衣服 【自分の身の回り】	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服が変わると感じる暑さや寒さが変わることを知る。（場面に応じた日常着の着方）</li> <li>普段着ている衣服の洗濯やブラシかけの方法を知る。（日常着の手入れの仕方）</li> <li>世界で有名な民族衣装について知る。（応用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の働きについて</li> <li>衣服の手入れ（洗濯、ブラシかけ）</li> <li>世界の民族衣装</li> </ul>	普段着（半袖、長袖、肌着、上着等）洗濯用の桶、洗剤、ブラシ、民族衣装（映像を含む）	
3	一年の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前に学習したことを思い出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の中で、特に楽しめた授業を</li> </ul>	選択する授業に応じて	

ウ	その振り返り	以前に学習したことについて	振り返る。	準備
※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。				

# 令和4年度 中村特別支援学校 ( 高等部 ) ( 職業 ) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	進路を見据えた作業的な活動を経験するなかで、必要な基礎的知識についての理解を広げたり深めたりするとともに、できることを生かして作業に取り組み始めるようにする。			
	思考力・判断力 ・表現力等	自分の作りたいものに応じて工夫するとともに、よりよい作業の方法を自分で決めたり、自分の意思を伝えたりできるようにする。			
	学びに向かう力 ・人間性等	進路を見据えた作業的な活動を通して、卒後につながる楽しみを見つけ、主体的に取り組み始めるようにするとともに、仲間と協働して役割を果たすことができるようにする。			
活動番号	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材	
1	紙工 名刺づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路を見据えて、作業的な活動の経験を積み重ねる。</li> <li>自分の得意な方法やできる方法で名刺を製作し達成感を味わう。</li> <li>作業全体を通し、コミュニケーションする力を培う。</li> <li>実習で使用する名刺を製作することで進路実習への意欲を高める。</li> </ul>	<p>【オリエンテーション】 名刺をいつ、どこで、何のために活用するかを知る。</p> <p>【作業過程】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①パルプ液作成</li> <li>②色パルプ液作成</li> <li>③プレート作成作業</li> </ol>	さらし布、名刺用型枠、パケツ、トレイ類、ミキサー、個々の自助具(はがす用、ちぎる用、押す用)、スイッチ類、取っ手付き計量カップ	
2	布工 小物ポーチ作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気づく。</li> <li>使いたい色や布の柄を選ぶことができる。</li> <li>使用する道具やミシンの扱い方を理解する。</li> <li>ビニール袋の中の色水が動く様子や感触を味わう。</li> <li>ミシンの音を聞いたり、針や布の動きを見たり、振動を感じたりしながら操作する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①さらし布を、好きな色で染色する</li> <li>②染めたさらし布にミシンで模様付けをする</li> <li>③ボタンホール、ボタンを付けて、ポーチ型に成形</li> </ol>	さらし布、ボタン、絵の具、ビー玉、輪ゴム、ビニール袋、刺し糸、ミシン糸、ミシン、ボビン、スイッチ、ハサミ、作業手順書	
3	紙工 プレゼント作り (1・2年：卒業生へのネームプレート 3年：季節を感じるパープレート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路を見据えて、作業的な活動の経験を積み重ねる。</li> <li>自分の得意な方法を活かして製作活動に取り組み、達成感を味わう。</li> <li>作業全体を通し、コミュニケーションする力を培う。</li> <li>意欲や見通しをもって作業的に活動に取り組む。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①パルプ液作成</li> <li>②色パルプ液作成</li> <li>③プレート作成作業</li> </ol>	さらし布、型枠、パケツ、トレイ類、ミキサー、個々の自助具(はがす用、ちぎる用、押す用)、スイッチ類、取っ手付き計量カップ	
4	布工 プレゼント作り (1・2年：パッチワークでマイバッグ 3年：卒業制作 タペストリー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気づく。</li> <li>使いたい布の柄を選んだり、配置を決めたりすることができる。</li> <li>使用する道具やミシンの扱い方を理解する。</li> <li>ミシンの音を聞いたり、針や布の動きを見たり、ミシンの振動を感じたりしながら操作する。</li> </ul>	<p>【パッチワークでマイバッグ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①布を選び、配置を考える②表面用の布と裏面用の布を縫い合わせる③成形④持ち手を縫い付ける</li> </ol> <p>【タペストリー】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デザインを考える②使いたい布を選ぶ③成形</li> </ol>	柄布 ミシン糸 ミシン アイロン ロープ ボビン スイッチ ハサミ 作業手順書 フェルト 布用ポンド	
5	バスボム作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路を見据えて、作業的な活動の経験を積み重ねる。</li> <li>役割を分担して協力して活動に取り組み、自分の力を生かす能力を高める。</li> <li>意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色やアロマオイルを選ぶ。</li> <li>成形する。</li> <li>袋詰めをする。</li> </ul>	クエン酸、重曹、塩、食紅、アロマオイル、ビニール袋、手拭きなど	
6	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路を見据えて、作業的な活動の経験を積み重ねる。</li> <li>作業全体を通し、コミュニケーションする力を培う。</li> <li>集団の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする態度を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回収作業(牛乳パック、ペットボトルキャップなど)</li> <li>補充作業(ティッシュ、ペーパータオル、石鹸など)</li> <li>美化活動(窓ふき、モップかけなど)</li> </ul>	回収用紙袋、雑巾、モップ、掃除機	

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。  
 ※高等部の職業は、3グループに分けて縦割りにし、ローテーションで活動内容をまわす。

	5・6 (前)	6 (後)・7	9・10 (前)	10 (後)・11	12・1 (前)	1 (後)・2
A	1	2	3	4	5	6
B	2	6	1	3	4	5
C	6	1	2	5	3	4

**グループ**  
**A: 3年生4人**  
**B: 1、2年生6人**  
**C: 1、2年生5人**  
**※グループは実態に応じて組む。**

# 令和4年度 中村特別支援学校 分教室小学部 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	身近な事物に触れたり人と関わったりする経験を広げ、それらの特徴に気付いたり自分との関わりを知ったりするとともに、できることを見つけたり増やしたりしながら遊んだり関わったりする活動に取り組めるようにする。		
	思考力・判断力 ・表現力等	身近な事物に触れたり人と関わったりすることに慣れるとともに、活動の中で選ぶ経験を重ねたり、感じたことを表したりできるようにする。		
	学びに向かう力 ・人間性等	身近な事物に触れたり人と関わったりする活動に取り組む中で楽しみを見つけ、興味関心の幅を広げるとともに、一緒に活動している他者の存在に関心を向けることができるようにする。		
月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	新緑の季節を感じよう。〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラディッシュの栽培と収穫を通して、植物の生長に関心をもち、教員と一緒に水やりの仕事をしようとする。</li> <li>鯉のぼりや新茶にかかわる活動を通して、季節の行事や植物を知り、友だちと協力してこいのぼりを制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラディッシュ、種、赤玉土、培養土を触る。水やりを行い、今後の水やり当番の日を確認する。</li> <li>鯉のぼりを作ることを知る。うろこの色を選び、色を塗り、両面テープをはがし、本体に貼る。</li> </ul>	ラディッシュ見本、種、赤玉土、培養土、水やりペットボトル、たらい、タオル、ブルーシート
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶に関する活動を通して、季節の風物詩を経験する。</li> <li>ラディッシュの生長と収穫の喜びを経験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶の木や新茶に触ったり、匂いを嗅いだりしする。</li> <li>ラディッシュの生長の様子を観察する。</li> </ul>	お茶の木、新茶、湯飲み、急須、ラディッシュのプランター、ブルーシート
6	サツマイモを栽培しよう。〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>さつまいもの栽培と収穫を通して、植物の生長に関心をもち、教員と一緒に水やりの仕事をしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さつまいも、さつまいもの苗、赤玉土、培養土を触る。</li> <li>水やりを行い、今後の水やり当番の日を確認する。</li> </ul>	サツマイモの苗、プランター、赤玉土、培養土、さつまいも、ブルーシート
7・8	夏た！祭りだ！〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭りの露店で遊ぶ活動を通して、夏の風物詩を経験するとともに、教員と一緒にお金を払う経験もする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>盆踊り、魚釣りゲーム、的あてやゲーム、かき氷体験を楽しむ。</li> <li>露店の人にお金をはらう</li> </ul>	サツマイモの苗、プランター、赤玉土、培養土、さつまいも、ブルーシート
9	お月見をしよう。〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>お月見の活動を通して、季節の行事を経験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の虫の声や草花を実物や映像で視聴したり、秋の歌を歌ったりする。</li> <li>お月見団子を作り、感触を味わう。</li> </ul>	魚釣りゲーム（金魚すくい）、たらい大、回り灯籠、衣装、うちわ、かき氷マシン、シ
10	紙すきでカードを作ろう。〔社会〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙すきの活動を通して、いろいろな感覚刺激を経験する。</li> <li>紙すきで制作したはがきで年賀状やカードを作ることに興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳パックで作ったパルプを触る。</li> <li>お花紙とパルプをミキサーにかける。</li> <li>紙すき器で紙をすく。</li> </ul>	牛乳パック、ミキサー、お花紙、紙すき器
11	サツマイモの収穫をしよう。〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>さつまいものつるを自分で引っ張って収穫し、その喜びを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車いすから降りることが出来る児童生徒は、プランターの近くに移動して、土やつるの匂いを感じながら、さつまいものつる</li> </ul>	ブルーシート、さつまいものプランター、たらい、タオル
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬至の学習を通して、柚子の匂いや足浴を楽しむ。</li> <li>紙すきで制作したはがきで年賀状を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬至の学習を通して、柚子の匂いや足浴を楽しむ。</li> <li>紙すきで制作したはがきで年賀状を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬至について知る。</li> <li>柚子の匂いを感じ、ゆず湯や普通のお湯で足浴をする。</li> </ul>	たらい、タオル、柚子、入浴剤
1	餅つきをしよう。〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>手作りの臼と杵で餅つきの体験を通してもちの感触と餅つきの雰囲気を経験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もちの感触を味わう。</li> <li>餅つきの音や掛け声、杵で餅をつく動作を楽しむ。</li> </ul>	もち米、手作り杵、臼
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>豆まきをしよう。〔身の回りの生活〕</li> <li>凧あげをしよう。〔身の回りの生活〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節分の豆まきを通して季節の習わしを体験する。</li> <li>凧あげを通して季節の遊びを体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豆まきの歌を歌って、季節の行事を知る。</li> <li>鬼退治的あてゲームで楽しむ。</li> <li>ビニール袋と紙テープで簡単な凧を作り、中庭で凧あげを楽しむ。</li> </ul>	節分の豆、鬼の衣装、的当てゲーム、ビニール袋、紙テープ、ペン、毛糸
3	お世話になった方に感謝の気持ちを届けよう。〔社会〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>お世話になっているスタッフに、感謝の気持ちを込めて、メッセージカードを作ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙すきで制作したはがきでメッセージカードを作る。</li> </ul>	紙、絵の具、シール

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

# 令和4年度 中村特別支援学校 (分教室 中学部) ( 総合 ) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	小学部での経験を深め、自然や季節の行事について理解するとともに、できることを生かして活動に取り組めるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	物事の違いを意識できるようにするとともに、やることを決めようしたり、自分の気持ちを伝えたりできるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	活動を行う中で楽しみ方を広げ、意欲をもって取り組めるようにするとともに、友だちと協力して活動することができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	新緑の季節を感じよう 〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラディッシュの栽培と収穫を通して、植物の生長に関心をもつ。</li> <li>植物の生長にとって水が必要なことを知り、友だちと協力し、</li> <li>端午の節句や新茶に関する活動を通して、季節の生活を経験する。</li> <li>友だちと水やりを協力したことでラディッシュ生長を促せ、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラディッシュの実物に触る。</li> <li>土や赤玉、ラディッシュの種などに触る。</li> <li>ラディッシュの種をプランターに植える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プランター、土、赤玉</li> <li>ラディッシュの種</li> <li>ビニールシート</li> </ul>
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>お茶の葉の匂いを嗅いだり、葉に触ったりする。</li> <li>お湯だしのお茶の匂いを嗅ぐ。</li> <li>ラディッシュの収穫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茶葉</li> <li>急須、ポット</li> <li>ビニールシート</li> </ul>	
6	サツマイモを植えよう〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモの栽培を通して、植物の生長に関心をもつ。</li> <li>植物の生長にとって水が必要なことを知り、友だちと協力して水やりをする体験をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモの実物に触り、焼き芋の匂いを嗅ぐ。</li> <li>土や赤玉、サツマイモの苗などに触る。</li> <li>サツマイモの苗をプランターに植える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プランター、土</li> <li>サツマイモの苗</li> <li>ビニールシート</li> </ul>
7 ・ 8	夏だ！祭りだ！〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭りの露店で遊ぶ活動を通して、夏の生活を経験する。</li> <li>かき氷機や金魚釣りなどの体験を通して、氷を削る機械やサカナを釣る道具などの違いを知り、自分のやり方を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚釣り、ヨーヨー釣り、かき氷、射的の活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚釣りセット、ヨーヨー釣りセット、氷、かき氷器、投球器</li> </ul>
9	お月見をしよう〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>お月見の活動を通して、季節の行事を経験する。</li> <li>お月見団子作りを通して、団子粉の感触と香りの違いを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月、ススキ、三宝に載った団子の貼り絵をして、月見のイメージをもつ。</li> <li>お月見団子を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>切り絵セット</li> <li>白玉粉</li> </ul>
10	紙すきでカードを作ろう〔社会〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙すきの活動を通して、パルプ液の感触を味わったり、ミキサーの使い方やはがきの加工を経験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パルプと水入れたミキサーをスイッチで作動させ、パルプ液を作る。</li> <li>紙すき器にパルプ液を入れ水分絞り、はがきにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミキサー、牛乳パック、紙すき器</li> </ul>
11	サツマイモの収穫・サツマイモをいろいろしてみよう?! 〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモの収穫を通して、土やつるや芋に触る体験をする。</li> <li>そのままのサツマイモと加熱したサツマイモの感触や香りの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモの生長映像を観る。</li> <li>サツマイモの茎を引っ張り収穫をする。</li> <li>サツマイモを洗って袋に入れて、重さを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サツマイモのプランター</li> <li>ビニールシート</li> </ul>
12	冬至です。ゆず湯です。 年賀状を書こう 〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬至の学習を通して、季節を感じ、ゆずの匂いや足浴を楽しむ。</li> <li>紙すきで制作したはがきで、年賀状を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆずの匂いを嗅ぐ。</li> <li>ゆず湯で手浴足浴をする。</li> <li>紙すきで作ったはがきに干支を貼り、年賀状を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はがき</li> <li>動物のイラスト</li> <li>糊、カスターネットはさみ</li> </ul>
1	餅つきをしよう 伝承遊びを楽しもう 〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易な杵と臼での餅つき体験を通して、餅つきの雰囲気と餅の感触を経験する。</li> <li>伝書遊びを通して、昔から伝わる遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手作りの杵と臼で餅つき体験をする。</li> <li>出来立ての餅の匂いや感触を味わう。</li> <li>「だるまさんが転んだ」を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手作りの杵と臼</li> <li>もち米</li> <li>だるまさんセット</li> </ul>
2	豆まきをしよう〔身の回りの生活〕  買い物をしてみよう〔社会〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>節分の豆まきを通して、季節の習わしを体験する。</li> <li>お金を使って、人とのやり取りをしてもものを買う体験をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆の匂いを嗅いで嗅ぐ。</li> <li>鬼に豆袋を投げる。</li> <li>お金を使ってものを買う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆</li> <li>お金、菓子などの空箱</li> </ul>
3	お世話になった人に感謝の気持ちを届けよう〔社会〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>お世話になった人に感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙すきで作ったはがきに、ステンシルでありがとうと描き、お世話になった人に渡す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はがき</li> <li>ありがとうのステンシル</li> </ul>

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。



# 令和4年度 中村特別支援学校 (分教室高等部) (総合) 年間指導計画

年間指導目標	知識・技能	・卒業後につながる作業的な活動を意識しながら、自然や季節の行事について基礎的知識の理解を広げたり深めたりするとともに、自分できることを生かせるようにする。
	思考力・判断力 ・表現力等	・活動内容に応じて、二者択一や自分の得意な方法で、自分の意思を伝えるようにする。
	学びに向かう力 ・人間性等	・卒業後につながる楽しみを見つけ、主体的に取り組めるようにするとともに、仲間と協働して自分の役割を果たすことができるようにする。

月	単元名	単元目標	主な活動内容	主な教材
4	新緑の季節を感じよう 〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラディッシュの栽培と収穫を通して、植物の生長に関心をもつ。②</li> <li>・端午の節句や新茶に関する活動を通して、季節の生活を経験する。④</li> <li>・ラディッシュの生長と収穫の喜びを経験する。⑧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラディッシュの実物に触る。</li> <li>・土や赤玉、ラディッシュの種などに触る。</li> <li>・ラディッシュの種をプランターに植える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランター、土、赤玉</li> <li>・ラディッシュの種</li> <li>・ビニールシート</li> </ul>
5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の葉の匂いを嗅いだり、葉に触ったりする。</li> <li>・お湯だしのお茶の匂いを嗅ぐ。</li> <li>・ラディッシュの収穫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶葉類</li> <li>・急須、ポット</li> <li>・ビニールシート</li> </ul>
6	サツマイモを植えよう〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモの栽培を通して、植物の生長に関心をもつ。①⑧</li> <li>・サツマイモとラディッシュとの違いを見つけたり感じたりする。②⑥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモの実物に触り、焼き芋の匂いを嗅ぐ。</li> <li>・土や赤玉、サツマイモの苗などに触る。</li> <li>・サツマイモの苗をプランターに植える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランター、土</li> <li>・サツマイモの苗</li> <li>・ビニールシート</li> </ul>
7	夏だ！祭りだ！〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りの様々な露店を回りながら、自分なりの方法で遊ぶ。①⑤</li> <li>・活動を通して、夏季ならではの行事を体験する。②⑧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚釣り、ヨーヨー釣り、かき氷、射的の活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚釣りセット、ヨーヨー釣りセット、氷、かき氷器、投球器</li> </ul>
8 ・ 9	お月見をしよう〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お月見の活動を通して、季節の行事を経験する。①⑤</li> <li>・団子作りを通して、材料とできた団子の違いやなどを体験する。④⑨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月、ススキ、三宝に載った団子の貼り絵をして、月見のイメージをもつ。</li> <li>・お月見団子を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り絵セット</li> <li>・白玉粉</li> </ul>
10	紙すきでカードを作ろう〔社会〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙すきにより、はがきを作る一連の作業を経験する。①④</li> <li>・パルプ液の感触を味わったり、ミキサーを回す体験をする。⑥⑦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パルプと水入れたミキサーをスイッチで作動させ、パルプ液を作る。</li> <li>・紙すき器にパルプ液を入れ水分絞り、はがきにすく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミキサー、牛乳パック、紙すき器</li> </ul>
11	さつまいもの収穫をしよう 〔自然〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモの収穫を通して、土やつるや芋に触る体験をする。①⑦</li> <li>・サツマイモを加工することで、生のサツマイモとの違いを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモの茎を引っ張り収穫をする。</li> <li>・サツマイモを洗って袋に入れて、重さを感じる。</li> <li>・サツマイモを過熱して漬しスイートポテトを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモのプランター</li> <li>・ビニールシート</li> </ul>
12	冬至です。ゆず湯です。 年賀状を書こう 〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬至の学習を通して、季節を感じ、ゆずの香りや足浴を楽しむ。②⑧</li> <li>・紙すきで制作したはがきで、年賀状を作る。①⑤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆずの匂いを嗅ぐ。</li> <li>・ゆず湯で手浴足浴をする。</li> <li>・紙すきで作ったはがきに干支を貼り、年賀状を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はがき</li> <li>・動物のイラスト</li> <li>・糊、カスターネットはさみ</li> </ul>
1	餅つきをしよう 伝承遊びを楽しもう 〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易な杵と臼での餅つき体験を通して、餅つきの雰囲気と餅の感触を経験する。②④⑧</li> <li>・伝承の遊びを通して、昔から伝わる遊びを楽しむ。①⑨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りの杵と臼で餅つき体験をする。</li> <li>・出来立ての餅の匂いや感触を味わう。</li> <li>・「だるまさんがころんだ」を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りの杵と臼</li> <li>・もち米</li> <li>・だるまさんセット</li> </ul>
2	豆まきをしよう〔身の回りの生活〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節分の豆まきを通して、季節の習わしを体験する。②⑨</li> <li>・豆を触ったり、香りを感じたりする。④⑧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆の匂いを嗅いで嗅ぐ。</li> <li>・鬼に豆袋を投げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆</li> <li>・鬼の衣装、投球台</li> </ul>
3	ミシンを使ってみよう〔社会〕 みんなで、お世話になった人に感謝の気持ちを届けよう〔社会〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンがけを体験し、色系で模様をつける。①④</li> <li>・お世話になった人に感謝の気持ちをもつ。⑤⑨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンで布巾に模様を付ける。</li> <li>・紙すきで作ったはがきに、ステンシル等でお礼の文字や絵を描き、布巾と共にお世話になった人に渡す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシン、刺繍糸、布巾</li> <li>・はがき、ステンシル</li> </ul>

※単元目標に対する指導の手立てや評価の観点については、児童生徒の実態に応じて個々に設定する。

7 日課表及び年間予定授業時数

<小学部>

	通学籍			訪問籍
	通常日課 (14:30下校)	短縮日課 (13:30下校)	短縮A日課 (11:30下校)	
9:30	登校 ADL	登校 ADL	登校 ADL	
10:00	朝の活動	朝の活動	朝の活動	10:00
10:15	朝の会	朝の会	朝の会	訪問指導
10:30	午前の学習	午前の学習	午前の学習	
11:00	ADL・休憩	ADL・休憩	ADL・休憩	
11:15	午前の学習	午前の学習	帰りの会	
11:30			下校	
11:45	ADL・休憩	ADL・休憩		
12:00	給食	給食		12:00
13:00	中村タイム	ADL 帰りの会		13:00 訪問指導
13:30	午後の学習	下校		
14:00	ADL・休憩			
14:15	帰りの会			
14:30	下校			
				15:00

<中学部>

	通学籍			訪問籍
	通常日課 (14:30下校)	短縮日課 (13:30下校)	短縮A日課 (11:30下校)	
9:30	登校 ADL	登校 ADL	登校 ADL	
10:00	朝の活動	朝の活動	朝の活動	10:00
10:15	朝の学活	朝の学活	朝の学活	訪問指導
10:30	午前の学習	午前の学習	午前の学習	
11:00	ADL・休憩	ADL・休憩	ADL・休憩	
11:15	午前の学習	午前の学習	帰りの会	
11:30			下校	
11:45	ADL・休憩	ADL・休憩		
12:00	給食	給食		12:00
13:00	中村タイム	ADL 帰りの会		13:00 訪問指導
13:30	午後の学習	下校		
14:00	ADL・休憩			
14:15	帰りの会			
14:30	下校			
				15:00

<高等部>

	通学籍			訪問籍
	通常日課 (14:30下校)	短縮日課 (13:30下校)	短縮A日課 (11:30下校)	
9:30	登校 ADL	登校 ADL	登校 ADL	
10:00	朝の活動	朝の活動	朝の活動	10:00
10:15	朝のHR	朝の会HR	朝のHR	訪問指導
10:30	午前の学習	午前の学習	午前の学習	
11:00	ADL・休憩	ADL・休憩	ADL・休憩	
11:15	午前の学習	午前の学習	帰りの会	
11:30			下校	
11:45	ADL・休憩	ADL・休憩		
12:00	給食	給食		12:00
13:00	中村タイム	ADL 帰りの会		13:00 訪問指導
13:30	午後の学習	下校		
14:00	ADL・休憩			
14:15	帰りの会			
14:30	下校			
				15:00

年間予定授業時数(7月末)

	国語	社会	算数 数学	理科	生活	音楽	図工 美術	家庭 技術	体育 保健	道徳	特活				総合	YICA	自立 活動	総授 業 時数	総授業 日数
											学級 活動	児童会 生徒会	クラブ	学校 行事					
小1	22		22		34	34	34		34	11	11	2		10			196	410	71
小2	24		24		35	35	35		35	12	12	2		10			201	425	71
小3	24	24	24	24		35	35		35	12	12	2		10	23		165	425	71
小4	24	24	24	24		35	35		35	12	12	2		10	23		165	425	71
小5	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10	23		153	425	71
小6	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10	23		153	425	71
中1	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10	23		112	384	71
中2	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10	23		112	384	71
中3	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10	23		112	384	71
高1	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10			135	384	71
高2	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10			135	384	71
高3	24	24	24	24		35	35	12	35	12	12	2		10			135	384	71

年間予定授業時数(12月末)

	国語	社会	算数 数学	理科	生活	音楽	図工 美術	家庭 技術	体育 保健	道徳	特活				総合	YICA	自立 活動	総授 業 時数	総授業 日数
											学級 活動	児童会 生徒会	クラブ	学校 行事					
小1	44		44		68	68	68		68	22	22	4		14			471	893	152
小2	48		48		70	70	70		70	24	24	4		14			466	908	152
小3	48	48	48	48		70	70		70	24	24	4		14	37		403	908	152
小4	48	48	48	48		70	70		70	24	24	4		14	37		403	908	152
小5	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		14	37		379	908	152
小6	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		24	37		381	920	154
中1	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		14	37		292	821	152
中2	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		14	37		292	821	152
中3	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		24	37		293	832	154
高1	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		14			329	821	152
高2	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		14			329	821	152
高3	48	48	48	48		70	70	24	70	24	24	4		24			330	832	154

年間予定授業時数(3月末)

	国語	社会	算数 数学	理科	生活	音楽	図工 美術	家庭 技術	体育 保健	道徳	特活				総合	YICA	自立 活動	総授 業 時数	総授業 日数
											学級 活動	児童会 生徒会	クラブ	学校 行事					
小1	68		68		102	102	102		102	34	34	6		24			545	1187	204
小2	70		70		105	105	105		105	35	35	6		24			542	1202	204
小3	70	70	70	70		105	105		105	35	35	6		24	70		437	1202	204
小4	70	70	70	70		105	105		105	35	35	6		24	70		437	1202	204
小5	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		24	70		401	1202	204
小6	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		34	70		387	1198	202
中1	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		24	70		286	1087	204
中2	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		24	70		286	1087	204
中3	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		34	70		282	1093	201
高1	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		24			356	1087	204
高2	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		24			356	1087	204
高3	70	70	70	70		105	105	36	105	35	35	6		32			325	1064	197

月	目標	行事	管理		教育		組織			月
			心身	環境	指導	学習	職員	医ケア委員会	PTA	
4月	自分のからだを知ろう	定期健康診断	健康観察（毎日） 保健調査票確認 定期健康診断	教室の整備 教材の消毒 給食室臨時衛生検査 学校環境衛生検査	健康手帳の活用 健康診断の受け方		組織確認 健康診断 救命研修（AED） 初転任者研修	クラス実態確認・表作成 小1・転入生医ケア提案 気切児童管理票確認 指示書・依頼書確認	組織編制	4月
5月		個別面談 定期健康診断 中村オリンピック	スポーツ振興センター加入 定期健康診断	医薬品の管理 給食室点検 照度検査 ダニ・ダニアレルゲン検査	健康診断結果について 病気の早期発見・治療 体の清潔について		医ケア申請書類提出（年間）	医ケア実施状況報告 医療的ケア校内検討委員会 神経内科検診		5月
6月	歯をきれいにしよう	体重測定 遠足 中3修学旅行 高3修学旅行	定期健康診断 宿泊前検診	給食室点検	感染症予防（手洗い） 宿泊前の体調管理					6月
7月	夏を健康にすごそう		定期健康診断まとめ	清掃用具点検 給食室点検 環境衛生検査	夏に多い病気の紹介		医療的ケア保護者説明会 健康診断票の記入	医療的ケア実地研修（初転任） 神経内科検診 後期医ケア書類の準備・配布		7月
8・9月		発育測定	疾病治療状況調査	給食室臨時衛生検査 教室の整備 教材の消毒 ダニ・ダニアレルゲン検査 プールの水質検査	熱中症の予防 水分と汗について		医ケア個別マニュアル作成	医療的ケア校内検討委員会 個別マニュアル確認 3・4・5号様式作成・提出 神経内科検診		8・9月
10月	目の健康を大切にしよう	小6修学旅行	宿泊前検診 児童生徒結核検診報告	教室内照度検査 給食室点検	目のしくみ・健康 宿泊前の体調管理		職員結核検診報告	リスクマネジメント集計（前期）		10月
11月	かぜを予防しよう	保健集会 体重測定・歯科検診 中村フェスタ	教室の換気	加湿器設置・点検 給食室点検	かぜの予防 てあらい・うがいの仕方		腰痛検診	気切児童管理票確認 神経内科検診		11月
12月		中村フェスタ 歯科検診		加湿器点検・掃除 給食室点検 カーペット清掃	てあらい・うがいの仕方 気温差に対応できる服		次年度に向けて医ケア更新作業	次年度医ケア書類の準備・配布 神経内科検診		12月
1月	寒さに負けないようにしよう	発育測定		加湿器点検 給食室臨時衛生検査 インフルエンザ流行状況報告 次年度健康診断日程調整	感染症予防		生活指導管理表配布	神経内科検診		1月
2月		就学前面接 学校保健委員会 歯科巡回指導	スポーツ振興センター入金	加湿器点検 給食室点検 照度検査 ダニ・ダニアレルゲン検査 環境衛生検査 インフルエンザ流行状況報告			学校保健委員会 アレルギー対応確認	医療的ケア校内検討委員会 神経内科検診		2月
3月	1年間の成長をまとめよう			備品点検・加湿器点検 廊下ワックス カーペット清掃 給食室点検			年間反省 次年度計画検討 学校保健活動状況報告	個別マニュアル確認 3・4・5号様式作成・提出 医ケア実態表確認		3月

8-2 学校安全計画

横浜市立中村特別支援学校

月	目標	行事	管理		教育		職員		PTA	月
			環境	生活	指導	学習				
4月	身の回りの環境を整えよう	防災マニュアル配布 避難訓練（火災/消火器訓練）	安全点検 発電機管理 プールの管理	教室の整備 通路の点検 ヘルメット数確認・発注 非常袋点検 災害時食料預かり	安全な生活の過ごし方		組織確認 災害時確認一覧表作成 年間計画確認 水泳学習前AED研修(職員研修) 非常時持ち出し用名簿作成 連絡調整者選出・打ち合わせ	組織編制 防災マニュアルの説明		4月
5月	安全に避難する方法について知ろう	合同避難訓練（地震）	安全点検 プールの管理 樹木の防虫		プールでの安全な行動		地域防災拠点確認 スクールバス連絡会			5月
6月			安全点検 プールの管理	発電機点検	雨具の扱い方					6月
7月	夏の事故を防止しよう	合同不審者対応訓練 災害時食料食事体験 不審者対応訓練（職員）	安全点検 プールの管理	交通安全 備蓄庫点検・大掃除	プールでの安全な行動					7月
8・9月	大規模地震の時の避難のしかたを知ろう	総合防災訓練	安全点検 プールの管理	発電機点検	避難時の安全な行動		防災研修 地域防災訓練 参加	地域防災訓練		8・9月
10月		合同避難訓練（火災）	安全点検 プールの管理	災害時食料の返却・点検 非常袋点検	避難時の安全な行動			災害時食料の点検 非常袋点検		10月
11月	安全な生活をしよう		安全点検	暖房設備整備 発電機点検	遊具の安全な使い方		不審者対応訓練（職員研修）			11月
12月	冬の事故を防止をしよう		安全点検		暖房器具の安全な使い方					12月
1月	登下校時の安全に気をつけよう	抜き打ち避難訓練（地震）	安全点検	発電機点検	登下校の安全		年間反省及び次年度計画 防災計画の見直し			1月
2月	教室の中を整理整頓しよう	地域避難訓練	安全点検		安全な生活の過ごし方		年間反省及び次年度計画 防災計画の見直し			2月
3月			安全点検	非常袋点検 災害時食料の返却 発電機点検	安全な生活の過ごし方		安全点検 次年度防災計画立案	非常袋点検 災害時食料の返却		3月

# 学校防災計画

令和4年4月

横浜市立中村特別支援学校

# 目 次

- 1 日常の防災体制
  - (1) 学校防災関連の組織・任務
  - (2) 学校防災員の役割
  - (3) 安全管理
  - (4) 防災教育および研修
  - (5) 防災訓練
  - (6) 水泳学習時の避難
  - (7) 給食時の避難
  - (8) 不審者対策
- 2 南海トラフ地震に関連する情報や警戒宣言発表時の児童生徒への対応
- 3 震災時の学校災害対策本部の組織、各班の任務
- 4 学校が避難場所となった場合の対応に関すること
- 5 地震発生時の場所別・時間帯別の児童生徒への対応
- 6 非常時持ち出し品リスト
- 7 緊急連絡先電話番号簿
- 8 港南分教室
- 9 資料
  - 令和4年度 避難訓練実施計画
  - 令和4年度 避難経路図

## 本計画の目的

火災、風水害、地震などの災害に対して、児童生徒の安全な避難・保護を第一の目的とする。併せて、可能な限り施設、設備、重要書類などの保全を確保するものとする。そのために、日常的な防災施設、設備などの点検及び避難訓練を積み重ねることによって、災害発生の際の処置に万全を期する。

## 1 日常の防災体制

### (1) 学校防災関連組織・任務

学校防災については、学校防災委員の参画を得て、防災安全部が所掌する。日常的な業務については、防災安全部会の会議を経て対応し、適宜、必要に応じて学校防災委員は防災安全部会に参加する。

#### ア 学校防災委員構成メンバー

校長、副校長、事務長、教務主任、防災安全部長、防災安全副部長、養護教諭、スクールバス部長

#### イ 所掌

分担	主たる業務	主たる担当者
総務	・ 校内防災体制の見直し ・ 関係機関への連絡方法の確認 ・ 地域や保護者への連絡方法の確認	防災委員 防災安全部
安全管理	・ 消火器、防災設備の安全点検 ・ 校内の施設設備の安全点検 ・ 安全点検チェック表の作成	防災安全部 各所担当
防災教育 防災訓練 防災研修	・ 関連実施計画の作成、運用	防災委員 防災安全部
地域防災拠点 対応	・ 関係地域防災拠点の把握および連絡	各所担当

### (2) 学校防災委員の役割

学校防災委員は、防災安全部と連携して次の事項を行うものとする。

- ア 防災計画の作成及び変更に関すること。
- イ 災害対策の編成及び資器材に関すること。
- ウ 児童生徒等の避難対策に関すること。
- エ 学校周辺の地域との応援協定に関すること。
- オ 震災などの災害発生時に備え、応急救護装備及び医薬品・食糧等の備蓄に関すること。
- カ 避難訓練の内容とその実施方法に関すること。
- キ 災害発生時における児童生徒の引渡し及び保護者との連絡に関すること。
- ク 災害発生時におけるスクールバスへの連絡及び対応に関すること。
- ケ 可燃物及び火気使用設備の管理に関すること。
- コ その他、防災管理上必要な事項に関すること。

### (3) 安全管理

校内各箇所に防災責任者を定め、日常的に安全状態の保全に努める。とりわけ次の3点に注意する。

- ① 建物周囲、室内、廊下等に、危険物や紙屑等の可燃物が放置されていないか。
- ② 暖房冷房等の設備の不完全箇所の発見に努め、可燃物の整理に留意する。
- ③ 毎月、安全点検チェック表をもとに、安全点検を行う。

また、その他の設備等の点検・整備については、設備や備品の設置状況、格納状態の点検整備を行い、避難に当た



り支障の無いようにする。

## ア 学校施設設備

### (ア) 自家発電装置

本校には、中村小学校の機械室に消火栓のポンプを稼働させるための自家発電装置が備え付けられている。また、非常時に吸引器を使用するため発電機が本校の備蓄庫（防災倉庫2に計5台：ガソリン2、ガスボンベ3）に備えられている。これらについて、月に1回程度点検する。

### (イ) プールの貯水

トイレの排水等、生活用水として利用するためにプールに貯水を行う。  
貯水するのは水泳学習実施期間とし、児童生徒が下校するまでは、排水しない。

### (ウ) 窓ガラス

強化ガラスになっている（網入り又は飛散防止フィルムが貼ってある）ので飛び散る心配はない。

### (エ) 転倒落下防止

必要箇所を点検し取り付ける。

## イ 備蓄備品

### (ア) 備品項目

#### a 宿泊対策関係

- ① 暖房機器
- ② 燃料
- ③ 寝具
- ④ 照明
- ⑤ 生活用品
- ⑥ 食事関係（非常食等）

#### b 情報機器関係

#### c 校舎使用不可の場合に必要な物（テント等）

## ウ その他

### (ア) 予算措置

非常食、生活用品等は、その都度更新する。

### (イ) リスト

- a 備品リストを作成する。
- b 備品リストを職員室に置き、全職員に公開する。
- c 点検・補充は定期的に防災安全部で行う。
- d 灯油は保管できないため中村小へ提供を依頼する。

## エ 安全管理分担（各箇所防災責任者：各年度の担当者については別表に定める。）

防火管理者：校長	
教室	小A・B・C・D 中A・B・C 高・ジョブトレーニングルーム
特別教室	視聴覚室、温水プール、多目的ルーム
管理諸室（2階）	校長室、事務室、職員室、相談室、男子トイレ、女子トイレ
管理諸室（1階）	保護者控室、保健室、技術員室、湯沸室、教材室、教材制作室、男子更衣室、女子更衣室、給食室、ホール、男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ、玄関、外回り、防災倉庫2
管理諸室（地階）	倉庫1、倉庫2、防災倉庫1、電気室、駐車場 機械室
その他	電気設備および危険物の点検と整備、非常持出品の標示と点検

#### (4) 防災教育および研修

##### ア 防災教育

- a 避難訓練を通して、様々な災害に応じた避難方法を学ぶ。
- b 緊急時の持ち物点検や非常食体験を通して、被災時の行動について意識を高める。
- c 個々の実態に応じて、災害に対する科学的な理解や防災リテラシーへの理解を深める。

##### イ 防災研修

###### (ア) 目標

児童生徒及び保護者、職員への防災学校防災対策計画の周知徹底を図り、防災意識の啓発を行う。

###### (イ) 研修内容

###### a 職員に対して

- ① 学校防災計画内容の周知徹底
- ② 常時防災管理組織に関する任務と責任について
- ③ 非常時対策組織（災害対策本部）の各係の任務について
- ④ 児童生徒の保護対策について
- ⑤ 救護対策について（児童生徒の非常袋・災害時用食料の点検も含む）
- ⑥ 防災設備、備品の点検・整備
- ⑦ 防災意識の啓発
- ⑧ 心のケアなどへの関心喚起と対応スキルの向上

###### b 児童生徒、及び保護者に対して

- ① 対策計画の内容説明（防災保護者懇談会等）
- ② 非常袋等の確認、点検
- ③ 緊急連絡先の確認

#### (5) 防災訓練

##### ア 地震想定

###### (ア) 目標

児童生徒の在校中に於ける地震発生及び警戒宣言発令に備え、児童生徒の安全確保を図り、的確な防災活動が出来るようにする。

###### (イ) 訓練方法

- a 大規模地震を想定（震度5強以上で津波想定を含む）。
- b 教室の中央に集まり、頭、身体を保護する。（ガラスから離れる。落下物に注意）
- c 地震がおさまったら本部の指示に従って避難する。
- d 避難完了後、児童生徒、教職員の人員確認をする。

###### (ウ) その他、非常時組織の各係の活動訓練

- a 連絡・通報係：情報収集訓練
- b 避難・誘導係：二次・三次避難訓練
- c 救護係：傷病者の救護訓練
- d 初動対応係：残留者の検索、校舎内外の巡視、マイナス体制補填、（二次災害防止、施設設備点検）訓練。
- e 搬出係：重要書類の搬出訓練（避難後）
- f 備蓄物品係：備蓄物品の搬出訓練（避難後）

※ 初期消火は、児童生徒の避難を最優先にしたうえで、できると判断できたときは行う。

##### イ 火災想定

###### (ア) 目標

校内出火時の避難経路を確認し、速やかに避難できるようにする。

###### (イ) 訓練方法

- a 出火場所想定（湯沸し室、給食室、保護者控室、技術員室、教材制作室、相談室、中村小学校等）
- b 緊急放送をその時点での活動場所で聞く。
- c 定められた経路に従って避難する（履き物は取り替えなくてよい）。
- d 初動対応班は本部の指示に従い、避難支援や残留者の検索、校内外の巡視にあたる。
- f 避難完了後、員数を確認する。

- (ウ) その他、非常時組織の各系の活動訓練
  - a 救護係：傷病者の救護訓練
  - b 検索係：残留者の検索、初期消火（残留者の有無確認後）
  - c 搬出係：重要書類の搬出訓練（避難後）

## (6) 水泳学習時の避難

水泳学習に際しては、水から上がりプールサイドで待機する。避難の必要があれば、タオルケットを利用して避難をする。そのため、常時、教室保管のタオルケットをプールサイドに3枚用意して実施する。水泳指導中、動線確保と安全確保の観点からステージにはトランポリンやユニジャンプ等大きな物は置かない。

**ア** 入水している児童・生徒及び指導教員はただちに活動を中止する。指導教員はプールサイドのマット上に児童・生徒を移動させる。監視担当教員は児童生徒の安全を確保する。

**イ** 着替え担当教員は非常時用タオルケットを持ってきて、プールサイドに移動した児童・生徒をくるんで抱え、その場にいる教員で連携をとリステージに移動する。プールからマットまでの移動やステージまでの移動を児童・生徒の体形や実態に応じて※落ちていて速やかに介助する（予め緊急時のリフティング、トランスファーの仕方についてクラスで確認しておく）。

※ 身体の高い児童・生徒は2人体制でトランスファーをする。

※ 気管切開や配慮を必要としている児童生徒については、あわてず無理のない体位で避難できるよう努める。

※ ガラスが飛び散る可能性があるためサンダルを活用する。

**ウ** 待機担当教員は児童生徒を車いすに乗車させるなど避難の準備を行う。

**エ** パーテーションは倒して隅のほうに置く。

**オ** ステージに集合する。テレビからはなるべく離れた場所に集まる。クラスリーダーが点呼・安否確認し所定の避難場所に避難する。

## (7) 給食時の避難

**ア** 給食を直ちに中止する。

(ア) 経口摂取の場合

口に入っている物は嚥下を促す。

嚥下できず危険な場合は、タオル等で可能な限り取る。

(イ) 注入の場合

a 経鼻経管：使用中のスタンドの安全を確保する。

イリゲーターのクレンメを止め、接続部をはずし、胃チューブの蓋を閉める。

b 胃ろう：イリゲーターのクレンメと、胃ろうチューブのクランプを止める。

接続部を外し、胃ろうチューブの蓋を閉める。

落ち着いたら胃ろうチューブを外す。

**イ** 児童生徒の安全を確保し、避難準備をする。

(ア) 児童生徒の避難準備（荷物、必要に応じて防災頭巾）をする。

(イ) 吸引器、非常袋等を手元に置く。

(ウ) 火災：周囲を片付け、避難動線を確保する。

地震：周囲を片付け避難動線を確保する。室内中央に集まる。

※ 片付ける時は、児童生徒から目を離さないようにする。食器が割れる可能性があるため注意する。

**ウ** 放送等の指示に従い避難する。

## (8) 不審者対策

**ア** 予防・訓練

(ア) 門扉やドアについては、必要がない時は閉めるようにする。

(イ) 来校者には、名札を着用してもらうようにする。

(ウ) 不審者発見時は防犯カメラに録画された映像を確認し通報時に役立てる。

(エ) 年1回、不審者の侵入を想定した対応訓練（児童生徒を含む）を実施する。

## イ 不審者侵入時の対応

- (ア) 不審者を発見した場合は、速やかに職員室、校長室ないし事務室に連絡する。なお、連絡ができない場合は、笛や防犯ブザーで周囲に知らせる。
- (イ) 連絡を受けた職員は、校内放送で暗号を使って伝達する。
- (ウ) 校内放送や笛、防犯ブザーなどで不審者の侵入が通知された際の行動
  - a ホールやステージ、廊下にいる場合：近くのクラスの教室に入る
  - b 運動場にいる場合は、近くの教室に入る。
  - c 視聴覚室で学習している場合、直ちに内部から施錠する。
- (エ) 不審者発見の報告を受けた職員は、管理職の指示により直ちに中村小に状況を報告する。
- (オ) 各教室は、不審者が教室内に入らないように内側から施錠する。
- (カ) 管理職と不審者対応班（年間固定）は不審者がいるところに、車椅子や丸椅子等身を守る物を持って集結し対応する（その際、職員室、玄関、掃除用具入れ、小D教室にある防犯スプレーと玄関、掃除用具入れ、小C教室にあるさすまたを携帯する。）。
- (キ) 管理職と対応者は、不審者を空いている部屋に誘導し、警察官等が来るのを待つ。

## ウ 西校舎に不審者が侵入した場合の対応

- (ア) 不審者を発見した場合は、速やかに中村小職員室に連絡する。なお、それができない場合は、笛や防犯ブザーで周囲に知らせる。
- (イ) 速やかに教室を施錠し、生徒の安全を確保する。特別支援職員室に連絡し安否報告を行う。
- (ウ) 西校舎にいる職員の不審者対応班は、中村小学校職員と連携し対応にあたる。その際、西校舎にいる職員はさすまたと防犯スプレーを持参する。
- (エ) 多目的ルームで学習している場合、放送を聞いたら直ちに施錠をする。連絡の必要がある場合は、内線で小CDまたは中村小学校職員室に連絡する。

<避難訓練、及び防災研修年間計画> (各年度の具体計画については、別表に定める)

月	主な内容など	備考
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検、発電機管理</li> <li>・防災一覧票（掲示用）の作成</li> <li>・非常持ち出し用名簿の確認</li> <li>・ヘルメット等の確認・発注</li> <li>・AED 関係防災研修（職員のみ）</li> <li>・震災時の安否確認の方法について</li> <li>・学校防災計画配布（分掌内）</li> <li>・非常袋・災害時用食料の案内配布と預かり</li> <li>・第1回避難訓練要項提案</li> <li>・合同避難訓練（第一回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災設備の確認</li> <li>・各クラスで緊急連絡先確認</li> <li>・安全点検表配布</li> <li>・防災計画の説明</li> <li>・AEDに関する実技研修</li> <li>・火災想定</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・合同避難訓練（第二回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村小と合同 地震・津波想定</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・合同不審者対応訓練計画提案</li> <li>・不審者対応訓練（職員のみ）</li> <li>・プール、給食時の避難方法マニュアル作成検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者想定（南警察署署員来校）</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・災害時用食料の点検</li> <li>・合同不審者対応訓練</li> <li>・防災倉庫1（備蓄庫）の点検・大掃除</li> <li>・総合防災訓練計画提案、</li> <li>・災害時用食料摂取体験計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村小と合同 不審者への対応</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員防災研修 消火器等実技研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する実技研修（南消防署職員来校）</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・非常袋点検表の配布</li> <li>・総合防災訓練</li> <li>・合同避難訓練計画提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模地震想定 災害時用食料摂取体験</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検 ・災害時用食料の返却・点検</li> <li>・合同避難訓練（第三回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村小と合同 火災想定 全員参加</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> </ul>	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・避難訓練計画立案</li> </ul>	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・非常袋点検表の配布</li> <li>・避難訓練（予告なし）</li> <li>・防災計画の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震想定（予告なし）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検</li> <li>・部内防災訓練（スクールバス部合同）</li> <li>・防災計画の見直し</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検 ・災害時用食料返却</li> <li>・次年度防災計画の立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村小学校と確認、必要に応じて調整</li> </ul>

\* 中村小学校との火災想定合同避難訓練を年間2回実施し特別支援学校側からの通報（出火）による訓練も行う。

\* 詳細な日時等については、年間予定表および月間予定表を参照する。

## 2 南海トラフ地震に関連する情報についての児童生徒への対応

### 1 児童生徒保護対策

#### (1) 地震対策

市内いずれか1か所でも震度5強以上の場合、児童生徒は学校止め置きとなる。

#### (2) 想定

- ア 津波が想定される震度7強の大規模地震激震。
- イ 児童生徒全員が被災。交通や通信の手段無し。情報が乏しく、状況把握がままならない。

### 2 南海トラフ地震発生時の対応

#### (1) 在校時

- ア 授業を打ち切り、避難場所に誘導し、児童生徒の安全を最優先する。
  - a 本部の指示により校庭、あるいは、状況に応じて市指定避難場所（中村小学校4階）ないし屋上、などへ移動し、児童生徒の安全・保護に努める。
  - b 本部は、可能なメディア（テレビ、ラジオ、広報車、掲示板など）により情報を収集し、児童生徒の避難場所の情報を知らせる（災害伝言ダイヤル「171」等の活用）。
- イ 本部は直ちに中村小学校と情報交換し、協力し合えることがあれば確認し、迅速に対応する。
- ウ 原則としてスクールバスの運行はとりやめる。放課後児童デイ等への引き渡しも行わない。
- エ 保護者への引き渡しまでの動き（保護者は、原則として、学校へ児童生徒を引き取りに来る。）
  - a 保護者への引き渡しを行うまで、児童生徒は学校で保護をする。持参している非常袋と災害時用食料を使用する。保護体制は、学級を単位とし、介助等の人的不足については相互に協力し合い、引渡しまでの保護に努める。
  - b 保護者が何日かに及ぶ場合、24時間の対応を図る。  
人員、時間帯については、本部長の判断により、状況に応じた体制を工夫する。
  - c 児童生徒の引渡し後、保護者の希望により学校で待機する場合、児童生徒の保護に関しては、保護者による対応とする。
  - d 保護者が学校へ引き取りに来る際は、食料、薬等の準備をして来る。
- オ 児童生徒引渡し後における職員の配備は、本部長の判断により、状況に応じて適切に対応する。

#### (2) 登下校時、津波が想定される震度7強の大規模地震激震があった場合

- ア スクールバス乗務員は、バスを直ちに安全な場所に停車する。本部からの指示を受ける（停車地点、状況の説明、乗車している児童生徒の氏名等を報告する。原則、学校に戻ることになるが交通状況等により現場待機もあり得る。）
  - a 学校へ向かうことが困難な場合は、近くの広域避難場所や地域防災拠点、もしくは安全と思われる場所に避難する。
  - b 本部の判断により、安否確認班（3人1組；担任1、バス部1、防災1）が直ちに現地へ向かう。
- イ 本部と連絡がとれない場合、近くの広域避難場所や地域防災拠点、もしくは安全と思われる場所で待機し、それ以降の運行は行わない。
  - a 原則として乗務員のみ判断、行動はせず、安否確認班の到着を待ち、本部の指示を受ける。
  - b 状況により、児童生徒の安全を最優先して行動する。必要があれば救急車等の救援要請をする。
- ウ 安否確認班は、児童生徒の救護、誘導、学校着または保護者に引き渡すまでの保護にあたる。
- エ 保護者は地震発生後、原則として学校へ来て待機し、児童生徒の引き取りに関し本部の指示を受ける。

#### 【大規模地震発生時】

大規模地震発生時とは、横浜市内のいずれかで震度5強以上が観測されたときとする。

発生時間帯	スクールバスの対応	備考
運行前	運行しない	
登校便運行中	以降の運行を取りやめ、 学校に直行する	未乗車の児童生徒は帰宅
授業時間中	下校便は運行しない	

バスを使用する校外行事中	即時帰校し、下校便は運行しない	帰校が難しい場合は、近隣の安全な施設に避難等の措置
下校便運行中	以降の運行を取りやめ、学校に戻る	未降車の児童生徒は学校で引き渡し

◆地震発生に伴い、救出活動や応急救護が必要な事態や車両の故障が発生した場合には、現場に教職員を派遣し、救援活動を実施する。

◆東京湾内湾に津波警報・大津波警報が発令された場合、浸水が予想される区域を走行しているバスは、速やかに区域外に移動する。

#### 【南海トラフ地震に関連する情報の発表時】

市教委より全市一斉休校の通知があった場合や、ない場合でも情報の切迫度や地域等の危険度により登下校を見合わせる判断をした場合は、以下のような対応をとる。

発表時間帯	スクールバスの対応	備考
運行前	運行しない	
登校便運行中	以降の運行を取りやめ、学校に直行する	未乗車の児童生徒は帰宅
授業時間中	下校便は運行しない	
バスを使用する校外行事中	即時帰校し、下校便は運行しない	帰校が難しい場合は、近隣の安全な施設に避難等の措置
下校便運行中	<b>原則としてそのまま運行する</b>	

#### (3) 校外行事中

- ア 直ちに行事を中止し、行事に同行している管理職を責任者として本部（学校）へ連絡をとり、対応する。管理職が何らかのトラブルにより指揮不能の場合、行事のリーダーがその任を代行する。
- a 学校へ戻ることが可能とされる時は、直ちに学校へ戻る。
- b 学校へ戻ることが困難な場合は、近くの広域避難場所もしくは安全と思われる場所に避難し、所轄の消防、警察署等の指示を仰ぐ。また、本部との連絡を密にする。
- イ 本部との連絡がとれない場合、責任者を中心に状況に応じた対応を図る。
- a 近くの広域避難場所、もしくは安全と思われる場所に避難し、所轄の消防・警察署、現地対策本部等の指示を仰ぐ。
- b 本部と連絡がとれるまでは、原則として避難場所にとどまる。
- ウ 避難が長期に及ぶ場合、責任者は必要に応じて係（救護、食料・水分調達など）を設け、職員を配備し、児童生徒の保護にあたる。
- エ 本部は、でき得る限りの手段で現地と連絡をとり、必要ならば救護班を組織し、現地に赴き児童生徒の救護、誘導、学校へ戻るまでの保護にあたる。
- オ スクールバスは、原則として地震発生後運行を止めるが、状況により、本部または現地の責任者の指示により運行する。
- カ 保護者は、地震発生後、原則として現地ではなく学校へ来て待機し、児童生徒の引き取りに関して、本部の指示を受ける。

#### (4) 在宅時

- ア 原則として、学校は臨時休業とする。
- イ 児童生徒の安否について、本部の指揮の下、要員を定めて各々の状況の把握に努める。
- ウ 必要に応じて校医および医療機関との連携を図る。

### 3 南海トラフ地震に関する情報（臨時）が発表された場合

#### (1) 調査を開始した場合

- ア 通常通り。
- イ 情報の収集
- ウ 地域防災拠点開設に向けて施設の点検等の準備
- エ 教職員の動員はなし

#### (2) 地震発生の可能性が相対的に高まった場合

- ア 原則通常通り。ただし、情報共有や状況確認を行う可能性があるため、連絡体制を確保する。
- イ 全市一斉休校の指示があった場合は休校。指示がない場合でも、情報の切迫度、地域等の危険度により、各学校、中学校ブロック等で登下校の見合わせ等の判断。
- ウ 地域防災拠点開設について区役所から連絡があった場合は、校長、副校長が動員。状況に応じて体制の拡大縮小を検討。

#### (3) 南海トラフ地震に関する情報（定例）が発表された場合 通常とおりとす。

**今後発表される南海トラフ地震に関する情報の発表による、自動的「全市一斉休校」はない。**

### 4 火災対策

- ①発見者は速やかに火災発生を大声または非常ベル、放送等により伝達する。
- ②本部は直ちに中村小と情報交換し、協力し合えることがあれば確認の上、迅速に対応する。
- ③授業を打ち切り、本部の指示に従い、児童生徒を避難させる。
- ④担任または授業者は、避難後、員数を確認し、各クラスの連絡班員を經由して本部に報告する。
- ⑤避難場所は、原則として中村小グラウンドとする。状況によっては、本部の指示に従い安全な場所に避難する。
- ⑥初期消火班・検索班は、避難後直ちに活動を開始し、逐次状況を本部に報告する。
- ⑦児童生徒の安全が確保された後、本部の判断により保護者に引き渡す。

### 5 風水害対策（台風、集中豪雨、雪等）

#### <在校時>

- ①児童生徒の下校時機については、気象情報等を参考に本部が適切に判断する。
- ②児童生徒を緊急に下校させる場合は、一斉メール配信・電話により保護者に知らせる。保護者への連絡がつかない児童生徒については学校で保護する。
- ③下校が不可能な場合は、本部の判断により天候が回復するまで学校で保護し、その旨を電話又はメールで保護者へ連絡する。
- ④天候が回復するなどし、安全が確認できたら電話又はメールで保護者へ下校時刻を知らせる。

#### <登下校時>

- ①天候が悪化した場合、本部はバスと連絡をとり、状況によっては安否確認班を組織して現場へ赴き児童生徒を保護者に引き渡すまで保護に当たる。
- ②本部は担任を通して保護者へ連絡する。

#### <校外行事中>

※地震対策（（1）<校外行事中>）に準じる。

#### <在宅時>

- ①午前6時の段階で「暴風警報」あるいは「大雪警報」が発令中の時、または状況によっては警報が発令されなくても本部の判断で臨時休校とする。

### 6 非常袋（災害時のみ使用）

#### <内容物：保護者が用意する>

予備薬、おむつ1組、非常食1食分、経管で栄養を摂取する児童生徒は、経管セット1式、経鼻経管チューブ、エクステンションチューブの予備、吸引に必要な器具等、必要な物品を袋に入れて、身元を明示した名札をつける。袋の中身1つ1つにすべて記名する。

本校には定時での服薬を行う必要がある児童生徒がいる。そのために3日分の予備薬と物品をいつも携行しておくよう



にする。

予備薬には、準備した日付、学部、学年、氏名のほか、薬の内容と投薬量、投薬の時間などを明らかにするため、所定のラベルに保護者が必要事項を記して貼付したものを携行する。その際、チャックのついた袋などにまとめておくこととする。

① 用意する時期

年度当初（4月）に用意することとし、その後、年度途中で更新のあった場合は、その都度更新する。

② 処方されている内容について把握する。

4月に保護者から処方内容について調査する。また、年度途中で変更のあった場合は、その都度申し出てもらう。

<携帯方法>

通学カバンの中に入れておくこととする。

<点検について>

年度の10月、3月に、非常袋の点検を行い、点検票で保護者が点検の確認をする。

<災害時用食料>

・栄養剤、クラッカー、ベビーフードなど、児童生徒の食形態に応じたものについて、3日分を保護者に用意してもらい、学校預かりとする。その際、必要に応じてスプーンや容器などを添える。

・前期、後期の終わりに賞味期限を確認するために保護者へ返却し、各期のはじめに集める。

・各クラスで所定の透明コンテナに収納し、保管しておく。

<救急対策>

①設備

保健室にある設備・備品をそのまま使用する。

②予備薬について

非常袋に入っている予備薬を使用する。

③医療との連携

可能な限り主治医に連絡をとるよう努めるが、状況によっては近隣の医療機関を受診することもありうる。

### 3 震災時の学校災害対策本部の組織、各班の任務

#### (1) 災害対策本部の設置

- ①校長は、災害が発生し、またはその恐れのある時、及び市教委から警備防災についての指示があった時は、災害対策本部を（以下「本部」）設置する。
- ③ 部は校長室におく。校長室使用不能の場合は、本部の場所を明示する。
- ④ 部は校長、副校長、事務長、教務主任、及び防災担当分掌部をもって組織する。
- ⑤ 部長は校長とし、副本部長に副校長をあて、本部長不在の時はその任を代行する。いずれも不在時については、事務長、教務主任が順次その任を代行するものとする。また、勤務時間外に於いて本部長等不在の際は、最初に学校へ到着した職員が本部長の任を代行し、暫定的に出勤職員を各々の係に配備する。
- ⑤本部は、中村小の災害対策本部と情報交換し、協力し合えることがあれば確認の上、迅速に対応する。

<災害対策本部> (各年度の担当者等の具体については、別表で掲示する)

班の設置	主たる業務	要員、担当など
本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関との連絡、調整、折衝</li> <li>・ 「中村小学校災害避難場所運営委員会」との連携</li> <li>・ 放送やメガホンなどによる避難指示</li> <li>・ 状況を把握し、防災活動上必要な指揮・命令</li> </ul>	校長（本部長） 副校長（副本部長） 事務長 学校防災委員
初動対応班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震時、建物の安全確認</li> <li>・ 避難後の残留者の有無を確認</li> <li>・ 校舎内外の巡視（二次災害防止、施設設備点検）</li> <li>* 訪問担当をあてない。</li> </ul>	学級より各2名程度 級外からも1名 被災時は、係の中から、各校舎に2名を 検索にあてる。 （新・旧校舎、高等部）
連絡通報班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報収集し本部へ通報</li> <li>・ 本部の指示を全職員に伝達・通報</li> </ul>	関係各部より 各1名 （事務、教務、防災安全、バス）
救護班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傷病者の救護</li> <li>・ 児童生徒の健康安全を図る</li> </ul>	養護教諭
搬出班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要書類の搬出及び管理（避難後）</li> </ul>	事務室、教務部：各1名
備蓄物品班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備蓄物品の搬出、及び管理（避難後）</li> </ul>	栄養士および各学級より1名
安否確認班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス運行停止の際、児童生徒の保護に向かい安否を確認する。</li> </ul>	バス1台につき、担任・バス部・防災安全部：各1名

※初期消火活動は、児童生徒の避難を最優先したうえで、可能であれば行う。

#### <防犯>

不審者対応班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不審者侵入時に緊急対応する。年間固定</li> </ul>	各クラスより1名
--------	--	----------

## 職員の体制（非常時）

### A 発生時

- (1) 勤務時間中：災害対策本部における分担による配置につく。
- (2) 勤務時間外：原則、職員は学校（本部）に集合する者と地域防災拠点に向かう者とに分かれる。  
本部長の判断により、災害時対策本部組織に基づき、状況に応じた体制をとる。
- (3) 避難及び保護が長期にわたる場合  
交替による24時間体制とする。  
人員、時間帯については、本部長の判断により、状況に応じた体制をとる。

## 4 学校が避難場所となった場合の対応に関すること

- ・基本的には中村小学校における地域防災拠点での協働を図り、その支援に努める。
- ・本校は、在校生とその保護者および同居の家族が避難してくる避難場所として、福祉避難所に準じた運営を行う（横浜市学校防災計画P77参照）。また、学校施設の長所を生かし、配慮が必要な方の受け入れについても想定する。

## 5 地震発生時の場所別・時間帯別の児童への対応

災害時における対応マニュアル（別紙）参照

## 6 非常持ち出し品リスト

### (1) 搬出班（重要書類）

#### ①第1持ち出し

- ・卒業生台帳・学校沿革史・勤務記録カード—————事務室
- ・指導要録—————校長室
- ・出席簿・緊急連絡網—————職員室

#### ②第2持ち出し

- ・各種公文書類及び法令など

#### ③第3持ち出し

- ・各種備品関係帳簿及び備品など

### (2) 備蓄班（備蓄物品）

- 水—————中村小4階（視聴覚室）
- 食料（アルファ米等）—————中村小4階（視聴覚室）
- 簡易コンロおよびガスボンベ、発電機—————防災倉庫2
- 生活用品等—————中村小4階（視聴覚室）と防災倉庫2

## 7 緊急連絡先電話番号簿

### (1) 連絡表

- ア 南区役所……………341-1212
- イ 南警察署……………742-0110
- ウ 南消防署……………741-0119
- エ 市教育委員会…総務課庶務係…671-3240  
特別支援教育課……………671-3958  
健康教育・食育課……………671-3275
- オ 中村小学校……………261-1985
- カ 警備会社（公安警備保障）……………261-4018

### (2) 中村小学校災害避難場所運営委員会 …… 「横浜市立中村学校消防計画」を参照

## \* \* 補足説明 (H19年度学校防災計画より、以降継続・追加)

### 1 常時防災管理組織

- (1) 今までの防火責任者が兼ねるようにした。
- (2) 「防火責任者」を「防災責任者」とし、今までの「安全点検」も、その活動に含める。

### 2 非常時対策組織

防災担当も本部の人員として入れる。

### 3 出席簿の持ち出し

- (1) 非常用クラス名簿を作成し教室に置く。
  - (2) 非常時に、学級担任は非常用クラス名簿を持って避難し、人員の確認等に活用する。
- ※出席簿は、公簿であるため、職員室に保管し教室には置かない。したがって、非常時に担任が出席簿を持って避難することは困難であり、「非常持ち出し」の中に含める。

### 4 避難経路図

「校庭への出口」と「避難場所」の記述のみにする（校舎の規模からして細かい経路より实际的）。

### 5 備蓄備品

備品の点検・補充は、防災安全係で行う

### 6 災害時用備蓄食料

備品リスト参照 基本計画（平成21年度策定）に従って、更新する。

### 7 防災研修

- (1) 常時防災管理組織に関する任務と責任。→→安全点検と同時に行う。  
〈職員に対して〉の研修内容については、避難訓練の際にできるものは行う。

## 8 港南分教室

### (1) 関係連絡先

ア 分教室	045-831-7351 (直通)
イ 横浜医療福祉センター港南	045-830-5757 (代表)
ウ 十愛療育会法人本部	045-830-5758 (代表)
エ 港南区役所	045-847-8484
オ 港南消防署	045-844-0119
カ 港南台消防出張所	045-834-0119
キ 港南警察署	045-842-0110
ク 災害伝言ダイヤル	171

### (2) センターとの連携

- ア センターの建物は、震度7まで安全とされる耐震構造となっている。
- イ 火災時等での施設外の避難場所は、当センターより800mほど離れた港南台第二小学校と指定されている。
- ウ 非常用食料・飲料水・常備薬など入所者用として3日分保管されている。
  - ・ センターが実施する避難訓練や大規模災害対応訓練などに参加する。
  - ・ 授業時の児童生徒がいる時間に発災した場合は、分教室職員はセンター災害対策本部の指示に従い、センター職員と協力して児童生徒の安全を図る。
  - ・ 児童生徒の下校後は基本的に待機し、本校管理職の指示に従う。

### (3) 本校に準じた防災体制

日常の防災対策を本校の学校防災計画に準じて行なう。

### (4) 係分担

分教室には、次の係を置くものとする。  
初動対応、安全確認、不審者対応係

## 9-2 学校防犯マニュアル

### ○ 日常の安全管理

#### 1 施設管理

##### (1) 校門、校舎の管理

- ① 学校の出入りは、中村小学校共用職員玄関側と昇降口側の校門を使用する。
- ② 登下校は、昇降口側の校門のみを使用する。
- ③ 登下校終了後は、昇降口側廊下自動扉をロックする。(暗証番号で解錠)
- ④ 昇降口側校門付近と自動扉付近の2か所をビデオカメラで撮影し職員室で常時監視する。また、来校者はインターフォンで確認する。
- ⑤ 中村小学校共用職員玄関は常時施錠し、来校者はモニター付きインターフォンで確認する。

##### (2) その他の場所の施錠

- ① 倉庫・用具庫や、使用頻度の低い特別教室・会議室等は施錠し、定期的に点検する。

##### (3) 来校者への案内表示

##### (4) 施設の点検整備

- ① 門扉、囲障、窓、施錠設備、外灯等の設備について日常的に点検し、必要な補修を行う。
- ② 死角の原因となる障害物の排除などにより、敷地内の視界をできる限り確保する。(廃材の片付け・下草刈り・樹木の剪定等)

#### 2 日常の対応

##### (1) 安全管理に対する校内の責任体制、執行体制

- ① 校長、副校長、教務主任、防犯・防災担当等、安全管理に対する責任体制を整理し、平常時、緊急時それぞれの役割分担を明確にしておくこと。
- ② 教職員(教員、学校事務職員、学校栄養職員、学校用務員、学校給食調理員等)が安全管理について共通の意識を持ち、それぞれの役割の中で相互に協力する体制を作る。  
特に、緊急時の役割については、一部の教職員が不在でも機能するように、複数で担当するなどの工夫をすること。
- ③ 併設の中村小学校と共通理解した上で、相互に連携した安全管理を進める。

##### (2) 「空白の時間」対策について

- ① 児童生徒の登校開始前に、校内の安全確認を行った上で、児童生徒を入れる。
- ② 登校時に、教職員等が通学路や校門等で安全見守りを行う。
- ③ 校門の開錠や開門の時刻を、児童生徒や保護者に対して明確に周知する。また、登校時間の厳守について、児童生徒への指導を徹底する。  
9:20 スクールバス入庫 9:50 登校指導終了

##### (3) 受付

- ① 昇降口側校門付近と自動扉付近の2か所をビデオカメラで撮影し職員室で常時監視する。また、来校者はインターフォンで確認する。
- ② 中村小学校共用職員玄関は常時施錠し、来校者はモニター付きインターフォンで確認する。
- ③ 昇降口に受付場所を設定し、受付簿へ必要事項の記載と来校者用名札の着用を義務付ける。また、副校長・教務主任・事務が退校の確認をする。
- ④ 来校目的がはっきりしていない、態度に不審な点がある、大きな声でクレームをつける等の場合は、複数で対応し校舎内には入れない。または、教室のない2階に誘導し相談室で複数対応する。(応対場所、複数人で対応する必要がある場合の対処方法等)

##### (4) 言葉掛け

- ① 教職員は来校者に対して、あいさつや言葉掛けを積極的に行い、用件確認や行き先案内を習慣化する。
- ② 来校者に言葉掛けをする場合、次の点に留意する。
  - ・ 用件が答えられるか、また、正当なものか。
  - ・ 保護者なら、子どもの学年、組、氏名が答えられるか。
  - ・ 教職員に用事がある場合は、氏名、学年、教科等の担当が答えられるか。

③ 教職員は、特に、名札等を着用していない者に対して用件を確認し、受付が完了であれば受付に立ち寄ること、名札を着用することについて指示する。

(5) 見守り・パトロール

- ① 教職員等により、必要に応じて校内巡視を行う。
- ② 必要に応じて、校外（特に学校周辺）の巡視を行う。

(6) 防犯関係設備・備品の活用

- ① 防犯カメラのモニターを、意識的に確認する。何らかの変化があった場合は見逃さず、対応する。

5 安全教育・教職員研修

(1) 安全教育

- ① 具体的場面を想定しての指導

(不審者侵入に関する指導例)

- ・ 世の中には、子どもに危害を加える人が存在すること。
- ・ 学校内に不審者が侵入する可能性があるということ。
- ・ 校舎内外で単独で行動しないこと。（特に、死角となるような場所に対する注意）
- ・ 侵入者についての情報を近くにいる教職員の誰かにすばやく伝えること。
- ・ 教職員からの指示があった場合は、それに従うこと。
- ・ 教職員が近くにいる場合、侵入者から遠ざかる方向に逃げる。仲間にもその方向を伝えること。
- ・ 大きな声を出して、危険を知らせること。
- ・ 逃げる途中で出会った教職員の指示に従うこと。

(2) 教職員の安全研修

- ① 不審者対応訓練・研修を実施する。警察署にも協力を要請し専門家の意見を防犯計画に反映させる。

○ 不審者が侵入した場合の対応

1 基本的事項

(1) 児童生徒の安全確保を最優先する。

児童生徒が危機にさらされている場合は、当該危機から脱出させることを第一に考える。また、児童生徒の安全確保のために、そのままの場所にとどめるほうが良いのか、別の場所に避難すべきか、判断し、即応する。

(2) 教職員自身の安全を守る。

児童生徒の安全確保に加え、教職員自身の身の安全の確保を行う。複数の教職員で対応する。様々な場面を想定したうえで、どのように他の教職員と連携が取れるかを検討し、

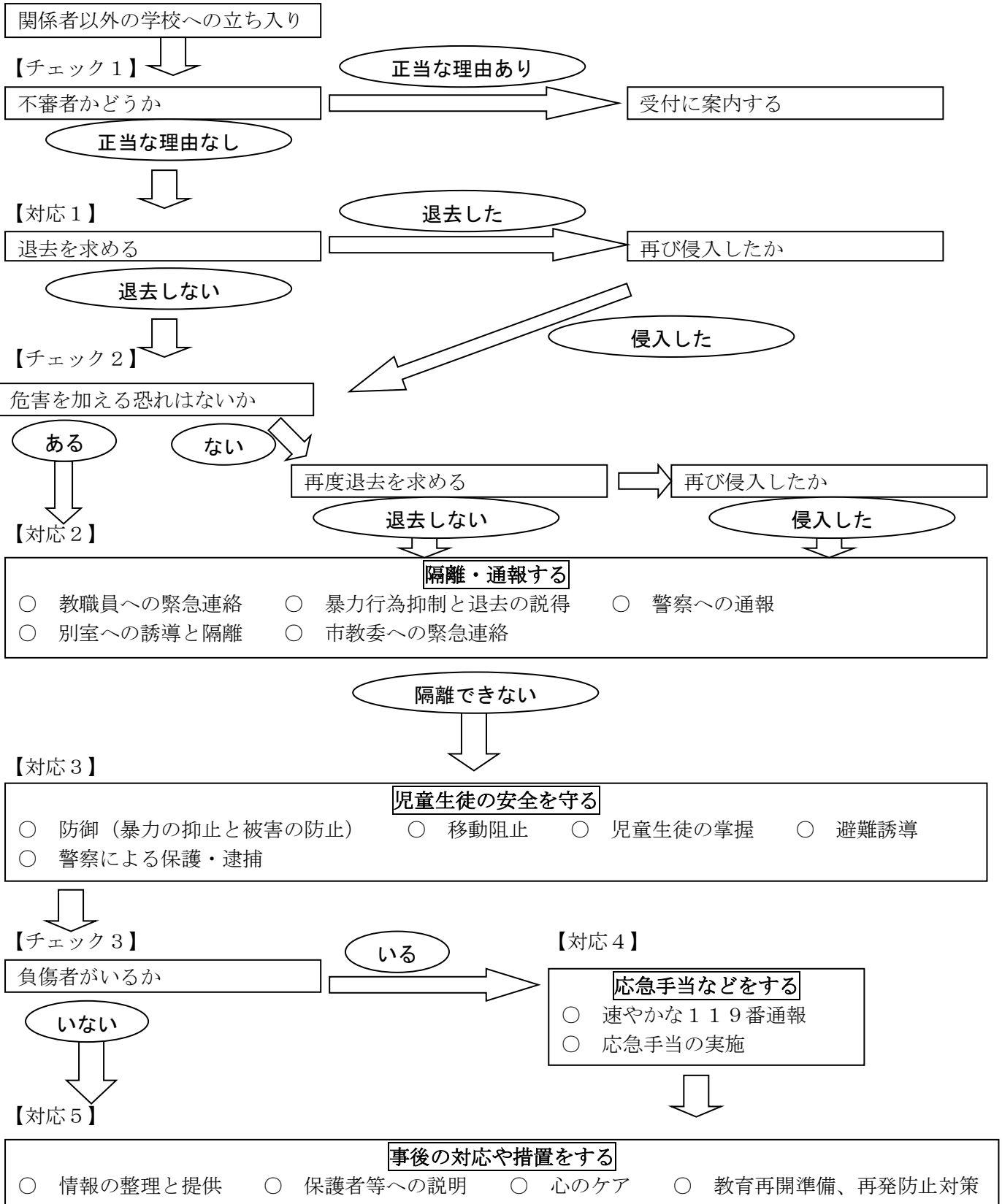
(3) 一刻も早く警察に連絡する。

不審者の身柄の拘束は警察に委ねる。少しでも危険が想定される場合は、一刻も早く警察（消防）に連絡する。

※ 結果的に、通報するまでもないような案件であったという場合もあるが、それを心配して通報が遅れるということがないようにする。また、危機的な混乱した状況の中では、警察や消防に連絡したのかどうか不明な場合もありうる。「たぶん連絡しただろう」ではなく、「重複してもかまわない」と心がける。

現在、各学校には、「さすまた」などの防犯器具が備えてある場合が多いが、これらについては、真にやむを得ない場合を除き、あくまで児童生徒を不審者から遠ざけるための不審者のけん制や、自らの身を守るという目的での使用を心がけること。教職員は、警察が駆けつけるまでの間、いかにしのぐかである。

2 学校における不審者への緊急対応





### 3 チェックと対応

#### ■ チェック 1：不審者かどうか

不審者かどうかのポイントは、「受付」時の対応、「言葉掛け」した際の対応で判断する。言葉をかける前に不審を感じるような場合は、一人で対応せず、複数の教職員で対応する。さらに、危険を感じるような場合にあっては、警察への通報を行う。

#### □ 対応 1：退去を求める

- (1) 不審者侵入時の教職員の役割分担に従い、他の教職員に連絡し、協力を求める。その際、「大きな荷物が届いた」の暗号を使う。
- (2) 言葉や相手の態度に注意しながら、丁寧に退去するよう説得する。その際、相手に近寄りすぎない。(最低1mから1.5mは離れる。)
- (3) 次のような場合は、不審者として、警察へ通報する。
  - ① 受付を無視し、無理に立ち入ろうとする。
  - ② 退去の説得に応じようとしない。
  - ③ 暴力的な言動をする。
- (4) 一旦退去しても再び侵入する可能性もあるので、敷地外に退去したことを見届けて門を閉める。
- (5) 再度侵入したり、学校周辺に居続けたりする可能性があるため、しばらくの間、対応した教職員は、その場に就いて様子を見る。
- (6) 警察や市教委に報告し、学区内のパトロールの強化や近隣の学校等への情報提供をする。

#### ■ チェック 2：危害を加える恐れはないか

- (1) 所持品に注意する
  - ① 凶器を所持していたら、直ちに警察へ通報する。
  - ② 不審者が興奮しないよう、丁寧に落ち着いて対応し、警察が到着するのを待つ。
  - ③ 凶器を隠し持っている場合もあるので、手の動きに注意する。
- (2) 次のような言動がないか注意する
  - ① 暴力を行使しようとする。
  - ② 静止を聞かず興奮状態である。
  - ③ 言動が不自然であったり、要領を得ないことを言ったりしている。

#### □ 対応 2：隔離・通報する

- (1) 別室に案内し、隔離する。  
2階(校長室または相談室)に誘導し、隔離する。  
※ 不審者を先に奥に案内し、対応者は身を守るため後から入り口近くに位置し、扉は開放しておく。対応は複数の職員で行う。警察への通報が必要な場合は、相手に気づかれないように室外の職員に連絡する。
- (2) 暴力行為抑止と退去の説得をする。
- (3) 警察、市教委に通報するとともに、教職員に周知する。

#### □ 対応 3：児童生徒の安全を守る

- (1) 防御(暴力の抑止と被害の防止)する。  
児童生徒から注意をそらさせ、不審者を児童生徒に近づけないようにすることで、被害を防止しながら、警察の到着を待つ。
  - ① 応援を求める。
    - ・ 大きな声を出す。
    - ・ 緊急時校内連絡システムを活用する
  - ② 身近なもので不審者との距離を取り、移動を阻止する。
    - ・ 机・イス・さすまた
- (2) 児童生徒を掌握し、安全を守る
  - ① 授業時間中は、授業担当者が掌握し、安全を守る。他の役割に移行する場合は、近くの教職員に掌握・誘導を依頼する。

② 授業以外の場合は、あらかじめ分担した者が担当場所で安全を守る。

③ 教職員、全校に緊急連絡を行う。

(3) 避難の誘導をする

① 教室等への侵入可能性が低いなど、緊急性が低い場合は、すぐ避難できるように、児童生徒を教室等で待機させる。

② 教室等への侵入の恐れがある場合には、児童生徒と不審者の間に教職員が入り、両者を引き離し、児童生徒を大人の居る場所に避難させる。

③ 避難の指示がある場合はそれに従う。教室等に不審者が侵入した場合には、指示を待たずに避難する。

■ チェック3：負傷者がいるか

(1) 負傷者がいるかどうか把握する。

① 授業中は、授業担当者が把握して報告する。

② 休み時間や放課後などは、教職員があらかじめ決めておいた担当の場所に急行し、速やかに負傷者の有無を確認する。

③ 周辺の地域の民家などに避難していないか、担当者が周辺を回るなどして確認する。

④ 全員を集合させ、負傷していないか把握する。校舎内外、学校周辺を担当者が巡視する。

(2) 情報を集約する

□ 対応4：応急手当などをする

(1) 負傷者がいる場合には、速やかに、応急手当の実施、救急車の要請を行う。

(2) 救急搬送する場合は、教職員が付き添う。

□ 対応5：事後の対応や措置をする

(1) あらかじめ定められた役割分担に従い、事後の対応・措置を行う。

(2) 情報を収集し、事件・事故の概要等について把握・整理し、提供する。

※ 報道機関との対応については、窓口を管理職に一本化し、正確な情報を伝えていく。

(3) 速やかに保護者等に連絡や説明を行う。

① 客観的な事実

② 教職員の取った対応

③ その際の児童生徒の様子と、今後予想される子どもたちの状況

④ 学校再開へ向けての対応

⑤ 保護者や地域への依頼

(6) 教育再開の準備及び事件・事故の再発防止対策の実施。

① 児童生徒、教職員の心のケア

② 学校の安全管理体制の再構築

マニュアルや役割分担、来校者対応などの見直し・改善

③ 施設、設備の点検と補修

児童生徒に事件を連想させる箇所や、事件を引き起こす契機となったような施設・設備については、早急な改善を図る。

④ 保護者会等の開催

保護者会等を開催し、今後の安全管理について方針を説明するとともに、保護者や地域との連携・協力について理解を求める。

(7) 以上については、市教委に適時状況を報告し、十分な連携をとって進める。

○ 登下校時の児童生徒の安全確保

1 日常からの取組

(1) 通学路の安全確認、安全点検

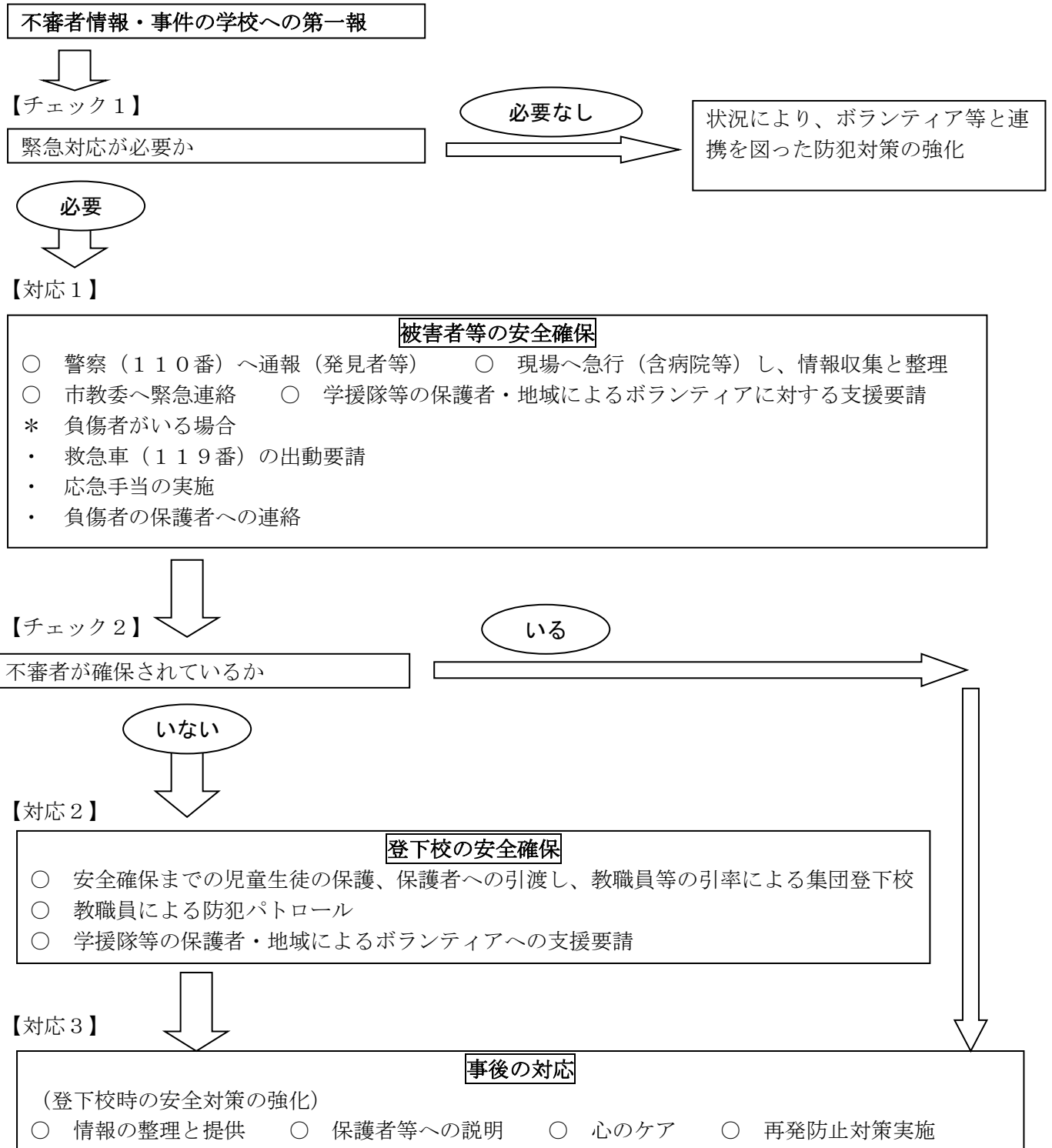
① スクールバスチェック乗車を定期的に行い、コースや乗降ポイントの点検を行う。

② 学校近隣やスクールバス乗降ポイントにおける人通りが少ない場所など危険箇所を把握し、保護者、地域、警察などの関係者の間で共通認識を得ておく。

(2) 情報の収集と発信

- ① 保護者や地域住民、スクール乗務員等の協力のもと不審者・車情報を収集し、状況に応じて、メール配信等で発信する。
- ② 学校警察連絡協議会を通じて情報交換に努めるとともに、不審者情報や事件情報については、迅速に的確に把握し対応を図る。

2 緊急事態発生時の対応例



### 3 チェックと対応

#### ■ チェック1：緊急対応が必要か

不審者情報には、近隣の地域での情報、重大事件から誤報、また、現在進行中のことから数日前の出来事など様々な情報が学校に寄せられる。第一報が入った時点で、緊急に対応しなければならない情報かどうか判断する必要がある。

##### (1) 第一報で把握する情報

- ① いつ、どこで、誰に、どんなことが起こったか。
- ② 警察（110番）に通報したか。
- ③ 負傷者はいるか。

##### ④ 周りに他の児童生徒はいるか。

##### (2) 緊急対応が必要かどうか見分けるポイント

例えば、次のような状況が続いており児童生徒の安全が確保されていない場合、緊急対応が必要。

- ① 凶器を持った不審者が、通学路の近くでうろついている。
  - ② 登下校中の児童生徒が、不審者に襲われ、けがをした。
  - ③ 不審者が、登下校中の児童生徒に声をかけ、連れ去ろうとしている。
  - ④ 学校区内や周辺で、凶悪な犯罪が発生し、解決していない。
- \* 緊急対応が必要でない場合でも、状況に応じて、学援隊等のボランティアと連携を図った防犯対策の強化や登下校時の安全について、学年に応じた安全指導を行うことが望ましい。

#### □ 対応1：被害者等の安全確保

緊急対応が必要と判断した場合、予め決めた役割分担に基づき、具体的な対応を行う。

##### (1) 警察に通報されていない場合は、「110番」通報する。

##### (2) 現場（含病院等）に急行し、情報収集と整理を行う。

① 児童生徒（周辺の児童生徒含む）や不審者の現状、対応状況等について情報の収集整理を行う。

##### ② 周辺の店や民家などに避難している児童生徒の有無

##### ③ 不審者の状況

##### ④ 現場では誰がどのような対応をしたか

##### ⑤ 負傷者が病院に搬送されていれば、病院に急行し、負傷者の氏名、状況等を把握

\* 現場と学校で連絡を取り合うこと。

##### ⑥ 不審者が近辺にいると考えられる場合は、警察到着までの間、児童生徒の安全を確保する。

##### (3) 市教委へ緊急連絡を行う。

##### (4) 学援隊等の保護者・地域によるボランティアに対して、支援を要請する。

##### (5) 負傷者がいる場合には、応急手当の実施、緊急通報や保護者への連絡を行う。

##### ① 救急車の要請をしていない場合は、「119番」通報する。

##### ② 負傷した児童生徒の保護者に、負傷状況や搬送先の病院などを連絡する。

#### ■ チェック2：不審者が確保されているか

不審者が確保されていない場合、登下校時の児童生徒に被害が及ぶ危険性も考えられるため、被害者等の安全確保を行った後、警察に対し、不審者が確保されているか確認を行う。

警察に確認するポイントとして、

○ 不審者が確保されているか

○ 確保されていない場合、登下校中の児童生徒に被害が及ぶ危険性があるか。

○ どの地域で危険性があるのか。

○ 学校への指示等があるか。

#### □ 対応2：登下校の安全確保

警察情報をもとに、不審者が確保されていなく、登下校の安全確保のための緊急対応が必要である場合は、児童生徒の学校での保護、学援隊等の保護者・地域のボランティアと連携しての防犯パ

トロールや児童生徒の引率などの対応が考えられるが、これらのことは、警察と相談しながら進める。

- (1) 安全確保までの児童生徒の保護、保護者への引渡しや集団登下校を行う。
  - ① 児童生徒の現在の状況（登校中、下校中、登校前、帰宅後など）を把握する。
  - ② 登校前であれば、必要に応じて自宅待機させる。
  - ③ 下校前の場合は、安全が確保されるまで学校に待機させる。
  - ④ 児童生徒だけでの登下校が難しい場合は、保護者への引渡し、教職員や学援隊等保護者・地域のボランティアの引率による集団登下校を行う。
- (2) 登下校中の場合などは、教職員による防犯パトロールの実施、学援隊等の保護者・地域のボランティアへの防犯パトロールの協力要請を行う。
- (3) 学校警察連絡協議会等を通じての近隣校等への情報提供を行う。

#### □ 対応3：事後の対応

事態が収束した後、その事態の発生要因を分析し、事態への対応を見直すことによって、日頃の対策と緊急対応を改善し、登下校時の安全対策の強化を図る必要がある。

また、保護者等への説明、児童生徒への心のケアを適切に行う必要がある。

- (1) 情報の整理と提供、保護者等への説明  
事態に関する情報の整理を行い、保護者等への説明を実施する。
- (2) 児童生徒への心のケアの実施  
児童生徒への心のケアを実施する。
- (3) 再発防止対策の実施
  - ① 通学路の安全点検を実施するとともに事態の発生原因を分析する。
  - ② 原因に対して、対応策を検討する。
  - ③ 対応策については、学援隊等保護者・地域のボランティア、警察等の関係機関の協力も視野に入れること。

#### ○ 心のケア

「心のケア」は、学校管理下であるかどうかを問わず事件・事故が起こってしまった際の、子ども、保護者、そして教職員への心理的な支援の総称である。教職員が日ごろから、まさかの時には「心のケア」が必要だと認識していることが、早期支援につながる。身体的なケガの大きさに注目が向き、つい後回しになりがちな「心のケア」であるが、心身両面のケアが子どもたちの心的外傷からの回復をより確かなものにするようになる。また、常に子どもを中心とした心の健康について意識を高め、状況を把握しておくことは、「心のケア」にとって重要な意義があり、「リスク回避（ハイリスクな児童生徒への的確な支援による二次被害の防止）」への大きなより所となる。

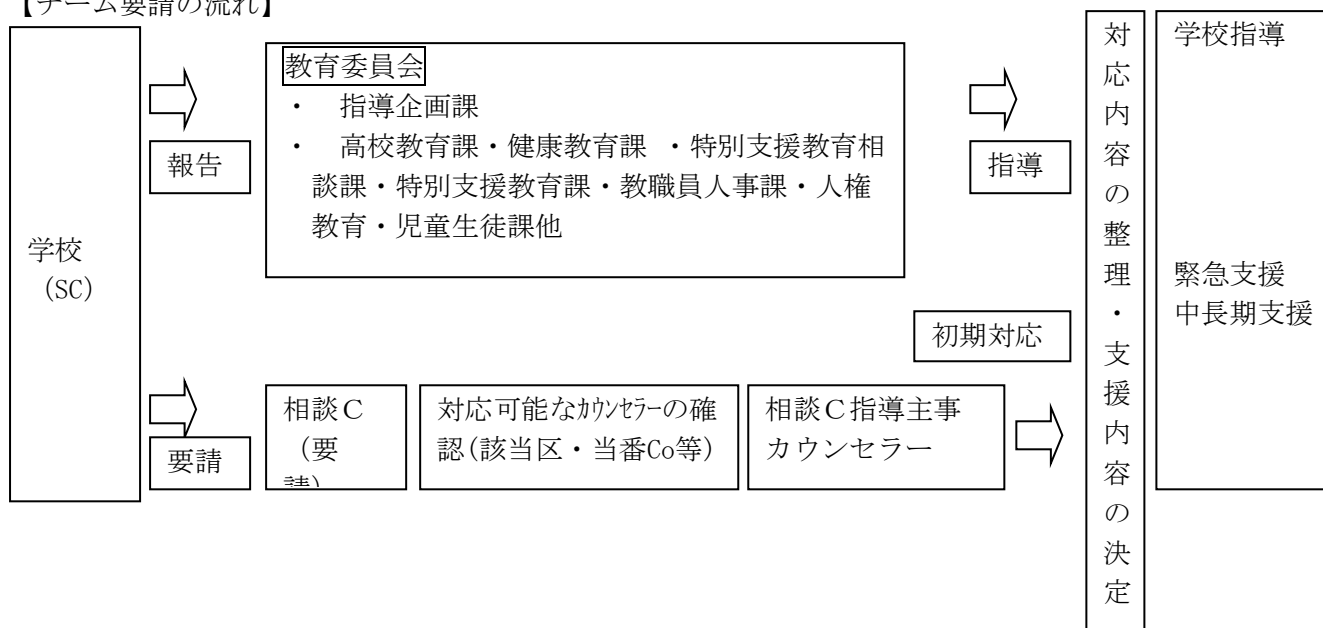
本章の「心のケア」については、基本的には震災等自然災害が起こった際の「心のケア」と同様な配慮が必要であり、「横浜市学校防災計画」に記載された内容を参照して確認することが求められる。

\* 「ハイリスク」とは、事件や事故をきっかけに、激しい動揺が起きたり、不安から精神の安定が図れなくなったり、また事件や事故の後に被害を増大させる外部からの二次被害がありうるなどの可能性が高い状況を表わす。支援をする教職員は、特定の児童生徒だけではなく、誰もがハイリスクな状況になる可能性があることを理解する必要がある。

※ 「心のケア」については、「学校の防犯マニュアル～不審者の侵入防止と登下校の安全確保のために 横浜市教育委員会 平成15年策定（平成22年改訂）」を参照のもと対応する。

教育委員会における「心のケアに関する緊急支援チーム」との連携について

【チーム要請の流れ】



- ① 派遣要請は、原則として学校長から教育総合相談センター（人権教育・児童生徒課）指導主事に申し込む。
- ② カウンセラー等の専門家の派遣体制は、事件・事故の内容や程度（対応レベル）によって、教育委員会が決定する。
- ③ 市立学校で事件・事故が発生した場合に、「横浜市緊急対策チーム」の枠組みの中で、健康福祉局の医師や医療ソーシャルワーカー等で構成する「心のケア緊急対策チーム」を学校に派遣し、人権教育・児童生徒課派遣スタッフのコーディネートの下に必要な支援を行う仕組みを整備している。（平成19年5月14日付 教総第127号 参照）
- ④ 以下の別表の「レベルⅢ強以上の大規模及び中規模事件」が発生した場合  
緊急対策チームの招集により、危機管理監の指揮の下で、教育委員会事務局と健康福祉局が連携して必要な支援を行う。
- ⑤ 別表の「レベルⅢ弱以下の小規模事件」が発生した場合  
教育委員会事務局は、必要に応じて、健康福祉局に相談を行うなど、連携を図る。

【注】 横浜市緊急対策チーム

市では、大規模地震をはじめとする様々な危機発生時に、全庁的な対応方針をこれまで以上に迅速・的確に決定することができるよう、20種類の危機事案ごとに庁内関係部署による「緊急対策チーム」を設置し、危機発生初動期の市対策本部の体制を強化している。この中で、学校に不審者が侵入し、児童・生徒等に多大な被害が発生するなどの「教育施設事件」に関する緊急対策チームも設置されており、事件発生時に招集され、初動対応にあたることとなっている。本取組は、この枠組みに位置づけられるものである。

なお、緊急対策チームの概要については、下記URLを参照のこと。

[http://www.city.yokohama.jp/me/anken/kikikanri/kinkyutaisyo\\_team/kinkyutaisyo\\_team\\_index.html](http://www.city.yokohama.jp/me/anken/kikikanri/kinkyutaisyo_team/kinkyutaisyo_team_index.html)

9-3 初動対応シート（在校中）

場面	対象	地震発生	安全確保・1次避難	2次避難	安全確認	津波情報	3次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・引渡し	防災拠点機能
大地震発生・大津波警報発表	授業中	校長・副校長・本部	<p>地震発生震度5強以上</p> <p>◎緊急放送で安全確保の指示 ◎テレビ、ラジオ等で地震・津波情報等の確認と最新情報を入力</p>	<p>津波の危険が迫っている場合は直接3次避難指示</p> <p>統括本部設置 ◎校長は職員室で指揮 ◎副校長はすぐに校庭へ *持ち出すもの;児童生徒・職員名簿、安否確認票(大書き)、筆記用具、ガムテープ、本部旗、拡声器、紙、防災倉庫①②の鍵、ラジオライト、ライト、携帯電話、パソコン</p>	<p>◎人数と安否確認 クラスリーダー→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・3次避難の準備 ・負傷者の確認と手当て ・児童生徒の不安緩和 ・医療機関との関係 (2次避難状況を特別支援教育課に報告(様式2、ファックス等で))</p>	津波情報	<p>◎警報を受け、中村小4階への避難指示(小、中学部は青昇降口・青階段、高等部は近い方の階段からあがる。) ◎中村小の建物に入れない場合(想定外の状況)は看護学校を目指す。 ・津波情報の確認と最新情報を入力</p>	<p>◎人数と安否確認 クラスリーダー→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・3次避難の準備 ・負傷者の確認と手当て ・児童生徒の不安緩和 ・医療機関との関係 (3次避難状況を学校教育事務所に報告(様式2、ファックス等で))</p>	<p>◎特別支援教育課に連絡(2次報告) ◎区災害対策本部へ連絡 ●学校携帯サイトの掲示板、災害時用伝言ダイヤル171の録音などで情報発信</p>	<p>◎統括本部で情報収集 ・学校周辺の被害状況 ・公共交通機関等の運行状況 ・通信手段の開通状況 ・保護者への連絡方法の確認 ●市内のいずれかで震度5強以上観測した場合は留め置き</p>	<p>◎区災害対策本部との連携 ◎特別支援教育課との連携 ◎防災拠点運営の協力</p>
		教職員	<p>◎的確な指示 防災頭巾を着用させ、倒れてくるものに注意 ・ヘルメット着用</p>	<p>地震が収まったら</p> <p>◎校庭へ避難誘導 名簿、引渡しカード等を携帯 ・残留、不明者がいないか確認</p>	<p>災害対策本部設置</p> <p>検索・救護・搬出</p> <p>初期消火、防災備品展開</p>	大津波襲来の予想	<p>◎予め誘導担当3名が看護学校までのルートの安全確認をし、1名は引き返して本隊に連絡。2名は看護学校で受け入れに当たる</p>	<p>検索・救護・搬出班活動</p> <p>備蓄物品班活動、防災備品展開</p>	<p>◎役割分担に従って行動 ・子どもへの対応 ・負傷者への対応 学校・地域の被害状況把握 ・ライフライン・公共交通機関の状況把握 危険箇所確認と立ち入り禁止表示</p>	<p>◎引渡しの手順 ・電話等による連絡</p> <p>連絡とれた</p> <p>保護者へ引き渡し</p> <p>留め置き</p> <p>連絡とれず、又危険で保護者の引取りが困難な場合</p>	<p>地域防災拠点マニュアルに沿って協力開始</p> <p>・待機場所の確保 ・食料の確保 ・保護者への連絡継続</p>
		児童生徒	<p>◎揺れが収まるのを待つ 防災頭巾をかぶる 活動場所で安全な場所に集まる</p>	<p>◎落ち着いて移動 ・防災頭巾で頭部を保護 ・バック、吸引器等携帯</p>	健康観察・管理 *気温、風、日差し等を配慮する					<p>◎下校 ・保護者への引渡し ・留め置き</p>	<p>◎待機場所の確保 ・食料の確保 ・保護者への連絡継続</p>
		関連事項		<p>◎揺れが収まるのを待つ 防災頭巾をかぶる 活動場所で安全な場所に集まる</p>	<p>・防災第2倉庫の鍵をあげ、青シート・毛布等を持ち出す。(防災安全部) ・校長室職員室からの荷物に、ラジオライト、手動式ライトを入れておく。</p>	<p>・本部にある児童生徒安否確認票を張り出しチェックしていく。 ・訪問児童生徒の安否確認</p>	<p>・学校の防災倉庫1・中村小4階女子更衣室に行き毛布などを持ち出す。倉庫2からは発電機の搬出。</p>	<p>・児童生徒引き渡しマニュアル(今後作成)に沿って体制を組む。</p>	<p>防災倉庫1・中村小4階視聴覚準備室から食糧の搬出</p>		

\* 発電機はビニール袋に入れて管理しておく。

\* 南区役所;341-1212、南区役所 地域防災課;671-3456 中村消防署;241-0119、南警察;742-0110、警備会社(公安警備);261-4018、◎特別支援教育課(TEL;671-3958、fax663-1831) 中村小学校;261-1985

\* 横浜看護専門学校;232-0033南区中村町3-209-1 TEL;262-4580

9-4 初動対応シート (校外学習中)

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	津波情報	2次避難	安全確認	学校における対応策の検討			
大地震発生・大津波警報発表 校外学習等	校長 (又は副校長)	地震発生 * 震度5強以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>本部設置</li> <li>◎テレビ、ラジオ等で地震・津波情報等の確認と最新情報を入手</li> <li>・地形や滞在場所の状況を判断し、安全確保を指示</li> <li>・公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・揺れがおさまるのを待ち、安全な場所への移動を指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へ連絡し、状況を報告、指示を受ける。</li> <li>・地元の公共機関等へ連絡し、救援要請を行う。 ①区役所 ②近隣の小中学校 ③警察等</li> </ul>	大津波襲来の予想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元公共機関等の指示を受け、近隣ビルの最上階又は近くの丘陵地への避難誘導</li> <li>・津波情報の確認と最新情報を入手</li> <li>・学校へ状況を報告、指示を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校携帯サイトの掲示板、災害時用伝言ダイヤル171の録音などで情報発信&lt;人数と安否確認&gt;</li> <li>・周囲の被害状況の掌握</li> <li>・負傷者の確認と手当</li> <li>・児童生徒の不安緩和</li> <li>・地元病院などの医療機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現地からの報告を受け、特別支援教育課に報告</li> <li>②保護者へ連絡</li> <li>・現状の説明(安否についても)</li> <li>③現地から帰校させる交通手段などの手配</li> <li>④地元公共機関への応援要請</li> <li>⑤現地への教職員派遣</li> </ul> <p>* 県外(特に修学旅行等)で校外学習中に横浜市内で大規模な地震に伴う被害が出た場合は、学校、特別支援教育課に連絡し、具体的な指示を受けてから活動する。(特に横浜に向かって移動中の場合)</p>			
	教職員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・揺れがおさまるのを待って、安全な場所へ退避させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒を安全な場所へ移動させる。</li> <li>・公共交通機関を使用している場合は、乗務員の避難指示に従う。</li> </ul>			地震が収まったら 災害対策本部設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転士の判断でバスを安全な場所へ移動し、その場で待機し、学校・会社と連絡を取り合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 巨大津波の場合は、現場の判断で高台を目指す。</li> <li>①バスの中で待機</li> <li>②高台がなくバスが渋滞で立ち往生している時最寄りの高層ビルをさがす。又は海より遠くへ移動。</li> </ul>			
	バス運転手・介助員		<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスで行った場合、バス運行中に起こった場合は、登下校中の被災への対応に準じる。</li> </ul>									
	児童生徒		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康観察・管理を受ける</li> </ul>									
	関連事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高層ビルからの落下物に注意</li> <li>・ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護。</li> </ul>								<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地の最寄り防災拠点を探しそこでの指示を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下見時に現地の地域の防災拠点をおさえておくようにしたい。現地近くの特別支援学校(肢体)の連絡先も調べておく。</li> </ul>

\* 発電機はビニール袋に入れて管理しておく。

\* 南区役所;341-1212、南区役所 地域防災課;671-3456、中村消防署;241-0119、南警察;742-0110、警備会社(公安警備);261-4018

◎特別支援教育課(TEL;671-3958、fax663-1831)

\* 横浜看護専門学校;232-0033南区中村町3-209-1 TEL;262-4580

\* 東洋観光(045-786-3829)・・・スクールバス1号車(090-5534-2078)、2号車(090-7834-7525)

4号車(090-7211-8592)、5号車(090-7210-3653)

\* 丸大観光(045-465-4700)・・・スクールバス3号車(080-8421-0269)



9-5 初動対応シート（登下校中）

場面	対象	地震発生	安全確保・1次避難	2次避難	安全確認	津波情報	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者との連携	防災拠点機能		
大地震発生・大津波警報発表	スクールバスや自家用車で登下校		校長・副校長・本部	統括本部設置（職員室） ◎緊急放送で職員に安全確保の指示 ◎テレビ、ラジオ等で地震・津波情報等の確認と最新情報を入手	・大きなゆれで本部をグラウンドに置く場合もある。 ◎速やかにスクールバスとの連携を指示。現在の待機場所を確認。	大津波襲来の予想	各バスコースの地図でバスの現在位置を確認指示（バス部へ）；自家用車の現在位置の確認指示（クラス代表へ） ・周囲の被害状況の把握 ・3次避難の準備（2次避難状況を特別支援教育課に報告（様式2、ファックス等で）	◎特別支援教育課に連絡（2次報告） ◎区災害対策本部へ連絡 ● <b>学校携帯サイトの掲示板、災害時伝言ダイヤル171の録音などで情報発信</b>	◎統括本部で情報収集 ・学校周辺の被害状況 ・公共交通機関等の運行状況 ・通信手段の開通状況 ・保護者への連絡方法の確認 ● <b>市内のいずれかで震度5強以上観測した場合は留め置き</b>	◎区災害対策本部との連携 ◎特別支援教育課との連携 ◎防災拠点運営の協力		
			教職員	・安全確保した後、災害対策本部に集合して指示を聞く。	バス部は部長の指示で各コース担当がバスとの連携を図る。現在位置の確認、児童生徒の様子などを掌握。 *171や一斉メールで情報発信		・バス部は地図でバスの現在位置を確認。クラスリーダーを中心に自家用車の現在位置を確認。  ・施設被害状況の把握 ・危険箇所の表示	・本部の指示のもと、中村小4階又は、看護学校に避難し児童生徒の安否確認体制や初期消火班、備蓄物品班等の活動を展開。 ・バスとの連携や地図を見くらべ現在待機しているバスの位置を特定し、安否確認に向かう準備をし3人1組（担任1、バス部1、防災安全部1）で自転車等で現地に向かう。保護者と連絡をとりバス待機場所に迎えに来てもらう。 ・確認した自家用車に場合によっては迎えに行く体制をつくる。	①スクールバスの待機場所に行き、バス乗務員さんたちと協力して最寄りの地域防災拠点に移動する。保護者と合流する。 ②自家用車の児童生徒・保護者が移動した地域防災拠点に行き状況掌握に努める。	*訪問時の被災の時は児童生徒の安全を守り、地域の防災拠点に保護者とともに移動等支援する。	・止め置き状態が長く続く場合を考え、児童生徒の健康安全管理上必要な備品を準備・展開する。	
			バス用運転手・保護者（介助員）	・最寄りの安全と思われる場所に直ちに停車する。車内ラジオをつけ、状況を確認する。	・運転士（者）の判断でバスを安全な場所に移動し、その場で待機し、学校・会社と連絡を取り合う。		・スクールバスコースからどれだけ離れているか、現在地点を把握しておく。 ・自家用車も現在地点を確認しておく。	・待機しているバスの中で児童生徒の様子を見ながら学校迎えが来るのを待つ。 *巨大津波の場合は、現場の判断で高台を目指す。 ①バスの中で待機 ②海からより遠くへ移動、自家用車も同じ	・学校から現地に到着した3人の職員と合流して現地最寄りの地域防災拠点に移動する。 ・自家用車の保護者も現地最寄りの地域防災拠点に移動する。	・スクールバス乗車児童生徒の保護者は地域防災拠点に向かい子どもを引き取る。事情によってはその場に長時間の滞在をしなければならぬことも想定しておく。（家庭から現地に向かう時は最小限の必要物品をもっていく。		
			児童生	・スクールバス・自家用車内で待機。	◎落ち着いて車内に待機する。 ・バック、吸引器等携帯		健康観察・管理	・バスの中で学校又は保護者が迎えに来るのを待つ。	・地域防災拠点で保護者とともに過ごす。			
関連事項			・スクールバス、自家用車の待機場所によっては、学校に近い場合は、職員が手分けをして安否確認に向かう。				・学校の防災倉庫1・中村小4階女子更衣室に行き毛布・シートなどを持ち出す。倉庫2からは発電機の搬出。	バスや自家用車の待機場所により、学校に近い場合安否確認後、学校に移動させ、止め置きとする。				

\*発電機はビニール袋に入れて管理しておく。

\*南区役所;341-1212、南区役所 地域防災課;671-3456、中村消防署;241-0119、南警察;742-0110、警備会社(公安警備);261-4018、◎特別支援教育課(TEL;671-3958、fax663-1831) 中村小学校261-1985

\*横浜看護専門学校;232-0033南区中村町3-209-1 TEL;262-4580

\*東洋観光(045-786-3829)・・・スクールバス1号車(090-5534-2078)、2号車(090-7834-7525) 4号車(090-7211-8592)、5号車(090-7210-3653)

\*丸大観光(045-465-4700)・・・スクールバス3号車(080-8421-0269)



## 1 1 学校いじめ防止基本方針

1 策定日 平成28年4月1日

2 いじめ防止に向けた学校の考え方

(1) いじめの定義

法第2条にあるように、「いじめ」とは、「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」をいう。

(2) いじめを防止するための基本的な方向性

すべての子供は、かけがえのない存在であり、社会の宝である。子供が健やかに成長していくことはいつの時代も社会全体の願いであり、豊かな未来の実現に向けて最も大切なことである。子供は人と人のかかわり合いの中で、自己の特性や可能性を認識し、また、他者の長所等を発見する。互いを認め合い、だれもが安心して生活できる場であれば、子供は温かい人間関係の中で自己実現を目指して伸び伸びと生活できる。しかし、ひとたび子供の生活の場に、他者を排除するような雰囲気形成されれば、その場は子供の居場所としての機能を失い、いじめを発生させる要因ともなりかねない。子供にとって、いじめはその健やかな成長への阻害要因となるだけでなく、将来に向けた希望を失わせるなど、深刻な影響を与えるものとの認識に立つ必要がある。

- ① いじめはどの集団にも、どの学校にも、どの子供にも起こる可能性がある最も身近で深刻な人権侵害案件である。
- ② いじめを防止するには、特定の子供や特定の立場の人だけの問題とせず、広く社会全体で真剣に取り組む必要がある。
- ③ 子供の健全育成を図り、いじめのない子供社会を実現するためには、学校、保護者、地域など、市民がそれぞれの役割を自覚し、主体的かつ相互に協力し、活動する必要がある。
- ④ 子供は、自らが安心して豊かに生活できる社会や集団を築く推進者であることを自覚し、いじめを許さない子供社会の実現に努める。

(3) 学校いじめ防止基本方針

基本理念のもと、いじめの問題への対策を、教職員がそれぞれの役割を自覚し、主体的かつ相互に協力しながら学校全体で進め、法により規定されたいじめの防止及び解決を図るための基本事項を定めること等により、学校全体で子供の健全育成を図ることを目指すことを目的とする。

3 組織の設置

(1) 組織の名称及び構成

- ① 名称 いじめ防止対策委員会
- ② 構成 校長 副校長 養護教諭 人権推進委員

(2) 組織の役割

- ① あらゆる教育活動を通じ、だれもが、安心して、豊かに生活できる学校づくりを目指す。
- ② 子供が主体となっていじめのない子供社会を形成するという意識を育むため、子供が発達段階に応じていじめを防止する取組が実践できるよう指導、支援する。
- ③ いじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子供にも起こりうることを強く意識し、いじめを未然に防ぎ、いじめが発生した場合は早期に解決できるよう保護者、地域や関係機関と連携し情報を共有しながら指導にあたる。
- ④ いじめを絶対に許さないこと、いじめられている子供を守り抜くことを表明し、いじめの把握に努めるとともに、学校長、校長代理のリーダーシップのもと組織的に取り組む。
- ⑤ 相談窓口を明示するとともに、児童生徒一人ひとりの状況の把握に努める。

4 いじめ防止及び早期発見のための取り組み

- (1) 子供の健全育成に関わる機関、諸団体等との連携強化
- (2) 教職員の資質の向上
- (3) 保護者等を対象とした啓発活動
- (4) 全ての教育活動を通じた人権教育、道徳教育及び体験活動等の充実を図る。

5 その他

- (1) 組織的な指導体制を図る。
- (2) 校内研修の充実を図る。
- (3) 校務の効率化を図り、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保する。
- (4) 地域や家庭との連携を図る。

### 12-3 特別な教科「道徳」に示す内容の学年、学校段階一覧

中村特別支援学校(令和4年度版)

#### A. 主として自分自身に関すること

ポイント	・小学校1, 2年	・小学校3, 4年	・小学校5, 6年	・中学校
善悪の判断 自律、自由と責任	(1) 良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んで行うこと。		(1) 正しいと判断したことは、責任を持って行うこと。	
正直、誠実	(2) うそをついたり、ごまかしたりせず、素直に生活すること。		(2) 過ちを素直に認め、明るい心で生活すること。	
節度、節制	(3)-1 健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切にすること。 (3)-2 自分でできることは自分で行い、わがままを言わず、生活をする。			
個性の伸長	(4) 自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと。			(4) 個性を伸ばして充実した行き方を追求すること。
希望と結城 努力と強い意志	(5) 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。			
真理の探究				(6) 真実を大切にし、新しい物を生み出そうと努めること。

#### B. 主として人との関わりに関すること

ポイント	・小学校1, 2年	・小学校3, 4年	・小学校5, 6年	・中学校
親切、思いやり	(6) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。		(7) 相手のことを思いやり、相手の立場に立って親切にすること。	
感謝	(7) 日常世話になっていつ人々に感謝をすること。		(8) 多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることを感謝し、それに応えること。	
礼儀	(8) 気持ちの良い挨拶、言葉遣い行動に心がけること。		(9) 時と場ををわきまえて、礼儀正しく行動すること。	
友情、信頼	(9) 友達と仲良くし、助け合うこと。		(10) 友達と互いに信頼し、友情を深め異性について理解しながら、人間関係を築いていくこと。	
相互理解、寛容			(11) 自分の考えを相手に伝えるときも、いろいろな見方考え方があることを理解すること。	

#### C. 主として集団や社会とのかかわりに関すること

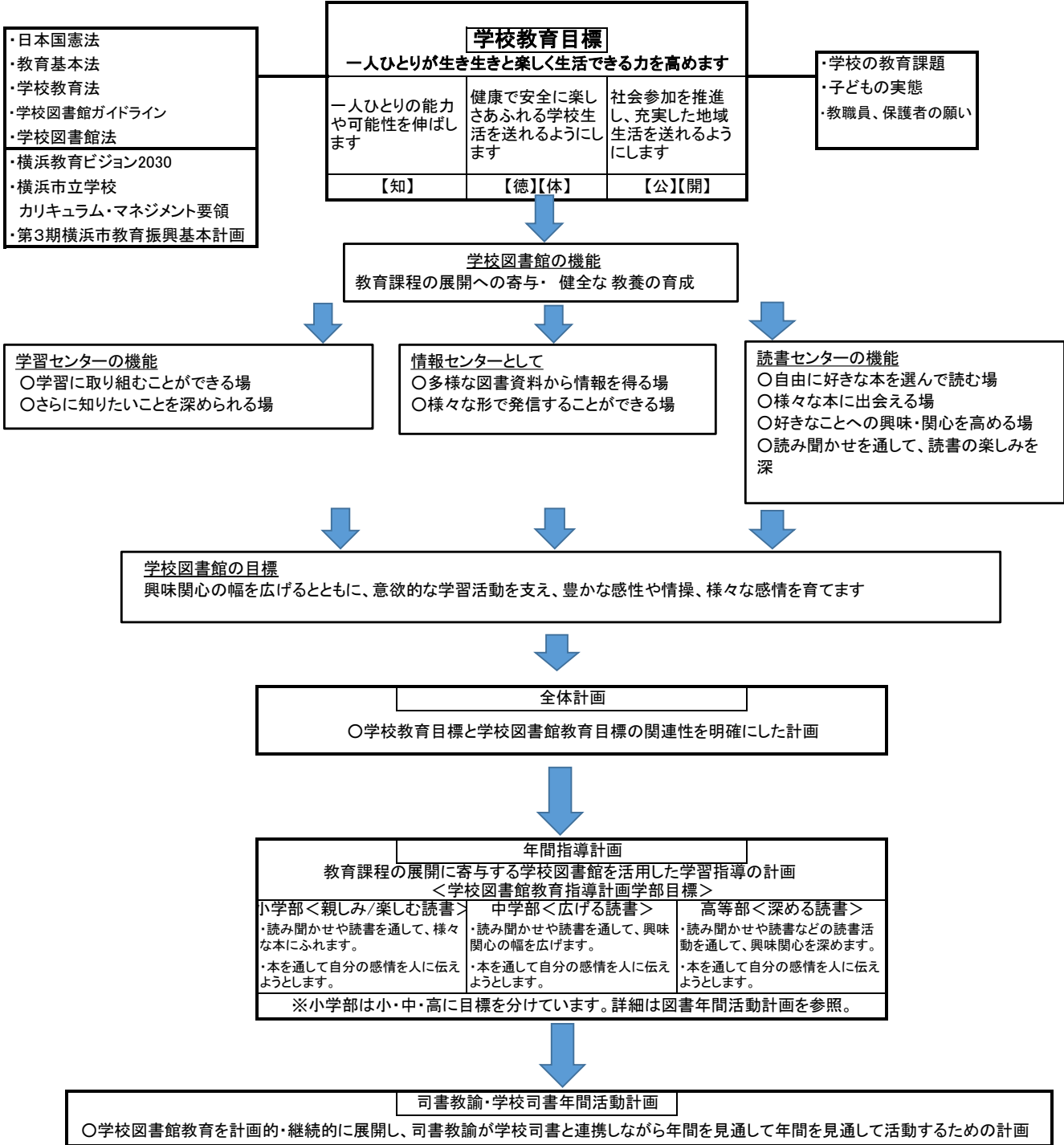
ポイント	・小学校1, 2年	・小学校3, 4年	・小学校5, 6年	・中学校
規則の尊重	(10) 約束や決まりを守り、みんなが使う物を大切にすること。		(12) 法や決まりの意味を理解し、進んで守り、義務を果たすこと。	
公正、公平、社会正義	(11) 誰に対しても分け隔てなく接すること。		(13) 誰に対しても差別することなく、偏見を持つことなく接すること。	
勤労、公共の精神	(12) 働くことの良さを知り、みんなのために働くこと。		(14) 働くことや社会に貢献することの充実感を味わい、社会に貢献すること。	
家族愛 家庭生活の充実	(13) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家族の役に立つこと。		(15) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家族の役に立つこと。	
よりよい学校生活 集団生活の充実	(14) 学校の人々に親しみ、学校生活を楽しくすること。		(16) みんなで協力してよりよい集団を作り、学校生活の充実に努めること。	
伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度	(15) 我が国や郷土の文化や伝統を大切にすること。			(17) 我が国や郷土の文化や伝統を大切にすること。
国際理解 国際親善	(16) 他国の人々や文化に親しみ、関心を持つこと。			(18) 他国の人々や文化に親しみ、関心を持ち、広い視野を持つこと。

#### D. 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

ポイント	・小学校1, 2年	・小学校3, 4年	・小学校5, 6年	・中学校
生命の尊さ	(17) 生きることの素晴らしさを知り、生命を大切にすること。			(19) 生命の尊さについて理解し、かけがいのない命を尊重すること。
自然愛護	(18) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。			(20) 自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。
感動、畏敬の念	(19) 美しい物に触れ、感動の心を持つこと。			(21) 美しい物や気高い物に感謝する心を持ち、人間の力を越えた物に畏敬の念を深めること。
よりよく生きる喜び	(20) 人間として生きる喜びを感じる。			(22) 人間として生きる喜びを感じる。

\* 参考:学習指導要領での項目数は小学校1, 2年(19項目)、小学校3, 4年(20項目)、小学校5, 6年(22項目)、中学校(22項目)であるが、児童生徒の実態に応じて、以上の枠組みに変更した。

# 中村特別支援学校図書館教育全体計画



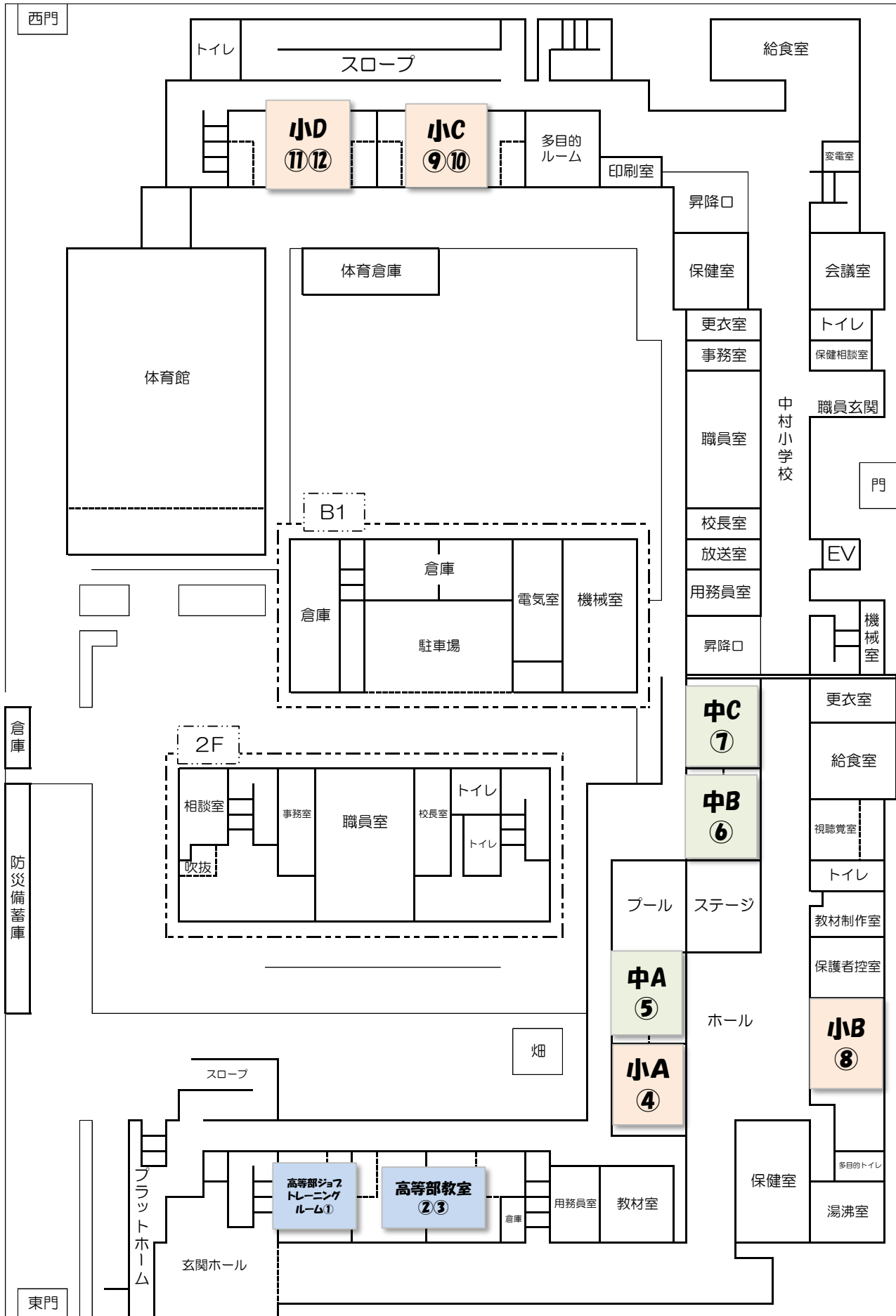
### 図 書 年 間 活 動 計 画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	☆横浜市民読書の日(毎月23日)	☆										
				読書活動コンクール作品募集 「ぐるぐるカレー」 ◇給食コラボメニュー	蔵書点検		読書活動コンクール応募締め切り	はまっ子読書の日	●全校読書集会 ・読書活動コンクール表彰式 ・読み聞かせ	「おうちピクニック」 ◇給食コラボメニュー		春季休業中の図書の貸し出し不可
小学部				中村小学校図書館利用体験 ◇読み聞かせ会	返却					◇読み聞かせ会		
中学部				◇読み聞かせ会						◇読み聞かせ会		
高等部				◇読み聞かせ会						◇読み聞かせ会		
司書教諭	図書館教育全体計画の立案	児童生徒図書選書入力	読書活動コンクール実施計画 職員会議提案	児童生徒図書発注① 図書だより①発行	児童生徒図書選書作業(入力)	児童生徒図書発注② 第1回読書活動推進連絡会	児童生徒図書選書作業 委員会書類提出(様式B)	読書活動コンクール採点準備・委員への採点依頼 はまっ子読書の日報告(YCAN)	読書活動コンクール採点 表彰状作成 児童生徒図書発注③ 図書だより②発行 蔵書点検	第2回南区読書活動推進連絡会	委員会書類提出(様式C) 悉皆研修	委員会書類提出(様式A・D) 図書だより③発行
学校司書	図書整備 授業支援(本校) 授業支援(分教室) 昼休み読書活動支援	児童生徒図書選書入力 悉皆研修	研修	研修 小学部中村小学校体験付き添い		児童生徒図書選書入力 研修	児童生徒図書選書作業入力	読書活動コンクール採点準備・委員への採点依頼補助 研修	読書活動コンクール採点、表彰状名前のチェック 蔵書点検 研修	研修	悉皆研修	委員会書類提出(様式ア・イ・ウ)

	小学部低学年	小学部中学年	小学部高学年	中学部	高等部
		親しみ、楽しむ読書		広げる読書	深める読書
目標	・読み聞かせや読書を通して、本にふれます。 ・本を通して自分の感情を人に伝えようとしています。	・読み聞かせや読書を通して様々な本にふれます。 ・本を通して自分の感情を人に伝えようとしています。	・読み聞かせや読書を通して、読書意欲を高めます。 ・本を通して自分の感情を人に伝えようとしています。	・読み聞かせや読書を通して、興味関心の幅を広げます。 ・本を通して自分の感情を人に伝えようとしています。	・読み聞かせや読書を通して、興味関心を深めます。 ・本を通して自分の感情を人に伝えようとしています。

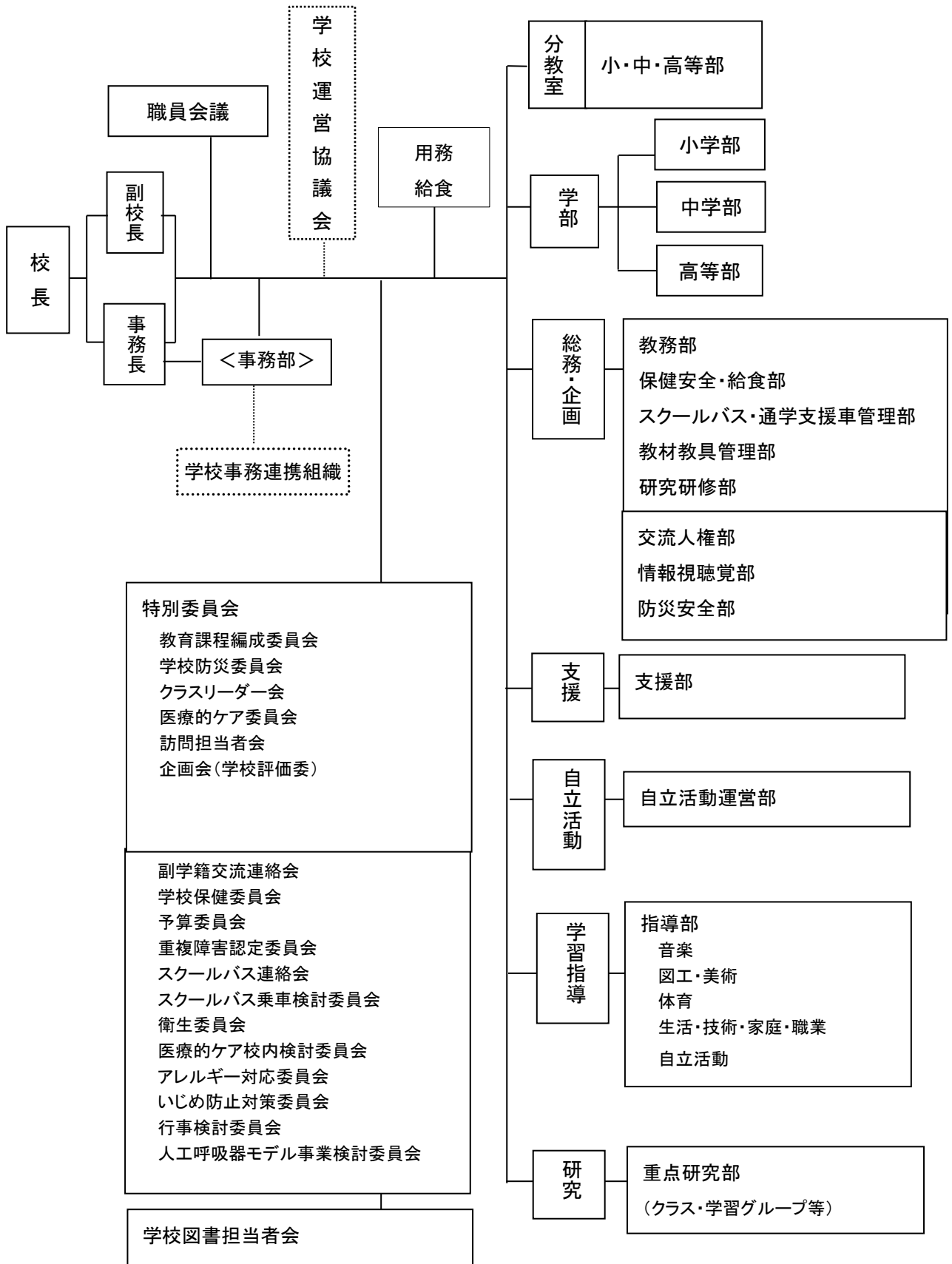


# 令和4年度 学校平面図





令和4年度 組織図



令和4年度 校務分掌・業務分担

2022/5/26 16:41

	小A	小B	小C	小D	中A	中B	中C	高	分教室			級外
									小G	中・高A	中・高B	
◎学部長 ◎副学部長	◎古川 ○松岡 ○田川			◎佐藤○ ○田中			◎藤原 ○小林 ◎山崎 ○山田			◎越智 ○安江		
◎リーダー ◎副リーダー	◎古川 ◎佐藤○	◎小林 ◎佐藤○	◎田川 ◎山田	◎松岡 ◎吉田	◎山崎 ◎福島	◎佐藤○ ◎松澤	◎田中 ◎山田	◎藤原 ◎山崎	◎渡辺	◎藤原	◎花房	
分掌無所属			川崎 田中心	(岡田)	内野		土田	神原				
校務・企画	教務部	小B		田川	松岡		佐藤○	田中	○高橋	越智		◎早坂 佐野
	保健室・健康課	保健室	関		○貞任		◎藤原	山田	渡辺			石川 山田
	スクールバス 通学支援管理	相談室	◎古川	山口	松本	松野		○長岡				
	教材教員部	中C	◎佐藤○		高戸口	新坂		佐藤○		◎藤原		
	研究研修部	控え室	◎小林		◎山崎			小林美	神山	大場		
	交流人権部	中B	石塚	藤本	次田		◎松澤	○岡山	杉田			
	防災安全部	シヨブ		◎佐藤○		松村		○迫尾			徳永 磯山	
	情報視聴覚部	高等部	内山	池谷	鈴木か	森林	橋田		◎林な ◎林ま		花房 神原	神原
	自立活動 課外部	中A	西山	(真田)	◎吉田	◎福島		岩崎			江角	
	支援部	小A	門馬		金田	坂本		小林西	神谷		安江 岡本	◎有留 ○澤本
学習指導	音楽	小A	門馬	関	田川	◎坂本 ◎山田	福島	松村	田中	山田 迫尾	渡辺 安江	神保
	図工・美術	中B	内山	石塚	藤本 佐藤	森林 貞任	山崎	◎松野	田中	林ま 小林	杉田 岡本	徳永
	体育	高等部	西山	小林	◎鈴木か	吉田 高戸口	橋田	佐藤○	藤原	長岡 岩崎	大場	花房
	生活・技術 家庭・職業	小B	佐藤	◎池谷	金田	松岡 松本	新坂	松澤	小林西	林な 神谷	神山	藤原 江角
	自立活動	中A	古川	山口		◎藤田			岡山 佐藤		越智	
重点研究	クラス・学習グループ等 ※ 学習指導部：代表(◎) 以外は学部・学級で選出。											

特別委員会

学校防災委員会	保・控室	副校長 ○事務長 ◎佐藤と 山田み 長岡 徳永	特A
教育課程編成委員会	校長室	校長 ○古川 早坂 ◎松岡 佐藤○ 花房 林ま 田川	
リーダー会	教室	◎早坂 ○佐藤○ 古川 高橋 越智 クラスリーダー 澤本	特B
課外委員会	保・控室	副校長 ◎関 ○山口 門馬 坂本 新坂 松野 小林西 小林美 佐藤藤 渡辺 養護教諭 看護師	
訪問担当者会	相談室	◎貞任 ○迫尾 森林 松村 (訪問担当者による構成)	特C
企画会(学校評議会)	校長室	校長 副校長 事務長 ◎早坂 ○田川 林ま 佐藤○ 高橋 松岡 越智 澤本 有留 古川 夏刈	

副学級交流連絡会		副学級交流担当者(必要に応じて交流人権部が参加する)	
学校保健委員会	校長室	校長 副校長 ◎養護教諭 ○(保健安全給食部) 石川 早坂	特D
予算委員会	校長室	校長 副校長 ◎事務長 事務職員 各クラス・分掌代表	
健康課管理認定委員会	校長室	校長 副校長 事務長 ◎澤本 有留 早坂 山田み	
スクールバス連絡会	相談室	校長 副校長 ◎古川 ○長岡 各号車担当 スクールバス乗務員	
スクールバス 運営検討委員会	相談室	校長 副校長 ◎古川 ○長岡 早坂 澤本 学部長 関 夏刈 (当該クラス担任)(看護師)	
衛生委員会	校長室	校長 副校長 事務長 衛生管理者 職員団体代表	
課外課外校内検討委員会	シ ン ジ 等	校長 副校長 早坂 臨床指導系 内科技系 課外委員会 関 各学部(1課外委員長と合わせて、各学部から1名ずつ) 養護教諭 看護師	
アレルギー検討委員会	シ ン ジ 等	校長 副校長 早坂 藤原 養護教諭 ◎石川	
いじめ防止対策委員会	シ ン ジ 等	校長 副校長 ◎岡山 ○松澤 養護教諭	
行事検討委員会	シ ン ジ 等	校長 副校長 ◎早坂 古川 佐藤○ ○高橋 越智 養護教諭	
人工知能等IT事業検討委員会	校長室	校長 副校長 ◎早坂 古川 佐藤○ ○高橋 越智 養護教諭 看護師	
学校図書担当委員会	相談室	学校司書 司書教諭	

校長	坂本	養護教諭	夏刈 山田みどり	学校司書	小川	主幹教諭 高橋和 松岡 田川伊織 林真由
副校長	加藤	学校看護師	上田 曾田 藤本 石岡 村上繪子 高田優子	初任研修主任指導教員	石外真陽子	人権教育推進委員 ○岡山 松澤
事務長	和田			初任研修コーディネーター	佐藤○	道徳教育担当 田川伊織
教務主任	早坂	学校事務職員	和田 佐野 磯山智雄 神原直倫	教育実習担当	早坂	国際理解教育担当 ○石塚 徳永
特別支援教育コーディネーター	澤本	学校用務員	船川 簡井	事務補助	岩岸	教育課程研究員 松岡
連絡主任	有留	給食調理員	鈴木美 山田真代子	職員室業務アシスタント		施設管理担当 早坂 澤本 和田
栄養教諭	石川	司書教諭	○倉田 門馬幸江 林真由			

令和4年度 年間行事計画(予定)

4月		5月		6月		7月		8月		9月				
1	金	春季休業開始	1	日	1	水	1	1	1	月	1	木	給食開始 総合防災訓練	1
2	土		2	月	2	木	2	2	2	火	2	金	宿泊学習保護者説明会(中)10:30	2
3	日		3	火	3	金	3	3	3	水	3	土		3
4	月		4	水	4	土	4	4	4	木	4	日		4
5	火	春季休業終了	5	木	5	日	5	5	5	金	5	月	個別面談(小)	5
6	水	始業式・着任式11:30下校	6	金	6	月	6	6	6	土	6	火	個別面談(小)	6
7	木	入学式(中・高AM 小PM)在校生届け出による休業	7	土	7	火	7	7	7	日	7	水	個別面談(小)	7
8	金	訪問指導開始 11:30下校(分教室入学式など)	8	日	8	水	8	8	8	木	8	金	個別面談(小)	8
9	土		9	月	9	木	9	9	9	土	9	日		9
10	日		10	火	10	金	10	10	10	月	10	火	個別面談(小)	10
11	月	給食開始(小2~高3) 11:45下校(小1)メール配信登録開始	11	水	11	土	11	11	11	日	11	月	個別面談(中・高) 遠足(小5・6)	11
12	火	11:45下校(小1)	12	木	12	日	12	12	12	火	12	水	個別面談(中・高)	12
13	水	11:45下校(小1) 身体計測(高①)	13	金	13	月	13	13	13	土	13	日		13
14	木	11:45下校(小1) 内科検診10:00(中・高) 神肢P理事会	14	土	14	火	14	14	14	日	14	月	個別面談(中・高) 遠足(小5・6)	14
15	金	11:45下校(小1) 身体計測(高②)	15	日	15	水	15	15	15	木	15	金	個別面談(中・高) 身体計測(高①) 教育実習(小~9/30)	15
16	土		16	月	16	木	16	16	16	土	16	日		16
17	日		17	火	17	金	17	17	17	日	17	月	個別面談(中・高) 身体計測(高②) 教育実習(保健室~9/22)	17
18	月	給食開始(小1) 身体計測(中①)	18	水	18	土	18	18	18	日	18	月		18
19	火	身体計測(中②)	19	木	19	日	19	19	19	火	19	水	敬老の日	19
20	水	学校説明会 身体計測(中③)	20	金	20	月	20	20	20	土	20	日		20
21	木	開校記念日 全校集会(午後) 内科検診10:00(小) テストメール配信	21	土	21	火	21	21	21	日	21	月	身体計測(中①)	21
22	金	合同避難訓練(火災) テストメール配信	22	日	22	水	22	22	22	火	22	水	身体計測(中②)	22
23	土		23	月	23	木	23	23	23	土	23	日		23
24	日		24	火	24	金	24	24	24	日	24	月	身体計測(中③)	24
25	月	学部学級懇(小) 身体計測(小①)	25	水	25	土	25	25	25	日	25	月	身体計測(中①)	25
26	火	学部学級懇(中)10:30 身体計測(小②)	26	木	26	日	26	26	26	火	26	水	身体計測(中②)	26
27	水	心電図検査10:40(各学部1年・前年度未検査者)	27	金	27	月	27	27	27	土	27	日	身体計測(中③)	27
28	木	学部学級懇・修学旅行保護者説明会(高) 身体計測(小③)	28	土	28	火	28	28	28	日	28	月	身体計測(小①) 教育実習(高~10/7)	28
29	金	昭和の日	29	日	29	水	29	29	29	火	29	水	身体計測(小②)	29
30	土		30	月	30	木	30	30	30	土	30	日	身体計測(小③)	30
			31	火	31	日	31	31	31	日	31	月	身体計測(小④) 学校給食費口座振替日	31

4月15日(金)  
不祥事防止研修

芸術文化学校プログラム

ふれあいコンサート(小5・6)

授業日数	小 16	中 16	高 16	給食 14	小 19	中 19	高 19	給食 19	小 21	中 21	高 21	給食 21	小 15	中 15	高 15	給食 12	小 4	中 4	高 4	給食 0
------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	-----	-----	-----	------

令和4年度 年間行事計画(予定)

10月			11月			12月			1月			2月			3月						
1	土		1	火	身体計測(小①) 分教室修学旅行	1	1	木	高等部入学選考 届け出による休業(高等部)	1	1	日	元日 休庁	1	1	水	新就学児準備面接 届け出による休業(小・中学部)	1	1	水	
2	日		2	水	身体計測(小②) 分教室修学旅行	2	2	金		2	2	月	振替休日 休庁	2	2	木	高等部入学説明会	2	2	木	
3	月		3	木	文化の日	3	3	土		3	3	火	休庁	3	3	金	高等部3年卒業遠足	3	3	金	卒業を祝う会
4	火	遠足(小1・2)	4	金		4	4	日		4	4	水	学校閉庁日	4	4	土		4	4	土	
5	水	合同避難訓練(火災)	5	土		5	5	月		5	5	木	学校閉庁日	5	5	日		5	5	日	
6	木	宿泊前検診10:00(中1・2、小6)	6	日		6	6	火		6	6	金	冬季休業終了	6	6	月		6	6	月	
7	金	前期終了 前期終業式	7	月	身体計測(小③)	7	7	水	PTA運営委	7	7	土		7	7	火		7	7	火	高等部卒業式予行
8	土		8	火	身体計測(小④)	8	8	木	歯科検診10:00(小)	8	8	日		8	8	水	市P連	8	8	水	
9	日		9	水	PTA運営委	9	9	金	神経内科10:00	9	9	月	成人の日	9	9	木	個別面談(中・高)	9	9	木	
10	月	スポーツの日	10	木	歯科検診10:00(中・高)	10	10	土		10	10	火	11:30下校 全校集会	10	10	金	個別面談(中・高)	10	10	金	高等部卒業式 12:00下校
11	火	後期開始 後期始業式	11	金		11	11	日		11	11	水	給食開始	11	11	土	建国記念の日	11	11	土	
12	水	PTA運営委	12	土		12	12	月	リハーサル(小学部中高学年グループ)	12	12	木		12	12	日		12	12	日	
13	木	宿泊学習(中1・2) 届出による休業(中3)	13	日		13	13	火	リハーサル(高等部)	13	13	金	身体計測(中①)	13	13	月	個別面談(中・高)	13	13	月	分教室高等部卒業式
14	金	宿泊学習(中1・2) 届出による休業(中3)	14	月	市P連	14	14	水	中村フェスタ②(小学部中高学年グループ)	14	14	土		14	14	火	個別面談(中・高)	14	14	火	
15	土		15	火	リハーサル(小学部低学年グループ)	15	15	木	中村フェスタ②(高等部)	15	15	日		15	15	水	PTA運営委	15	15	水	小中卒業式予行
16	日		16	水	リハーサル(中学部)	16	16	金		16	16	月	身体計測(中②)	16	16	木	個別面談(小)	16	16	木	給食終了
17	月		17	木	中村フェスタ①(小学部低学年グループ)	17	17	土		17	17	火	身体計測(中③) 10歳を祝う集会	17	17	金	個別面談(小) 神経内科10:00	17	17	金	11:30下校 中村小卒業式
18	火		18	金	中村フェスタ①(中学部)	18	18	日		18	18	水	身体計測(小①) PTA運営委	18	18	土		18	18	土	
19	水	宿泊前検診13:00(高1・2)	19	土		19	19	月		19	19	木	身体計測(小②)	19	19	日		19	19	日	
20	木	修学旅行(小6) 届出による休業(小1~5)	20	日		20	20	火		20	20	金	神経内科10:00	20	20	月	個別面談(小)	20	20	月	小学部・中学部卒業式 12:00下校
21	金	修学旅行(小6) 届出による休業(小1~5)	21	月	身体計測(高①)	21	21	水		21	21	土		21	21	火	個別面談(小)	21	21	火	春分の日
22	土		22	火	身体計測(高②)	22	22	木		22	22	日		22	22	水		22	22	水	11:30下校 分教室小・中学部卒業式
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	23	金	全校集会 給食終了	23	23	月	身体計測(小③)	23	23	木	天皇誕生日	23	23	木	11:30下校 分教室修了式
24	月		24	木	身体計測(中①)	24	24	土		24	24	火	遠足(小3・4)	24	24	金	PTA総会	24	24	金	12:00下校 修了式 離任式
25	火		25	金	神経内科10:00	25	25	日		25	25	水		25	25	土		25	25	土	
26	水		26	土		26	26	月	冬季休業開始	26	26	木	歯科巡回指導10:00	26	26	日		26	26	日	
27	木	宿泊学習(高1・2) 届出による休業(高3)	27	日		27	27	火	学校閉庁日	27	27	金	身体計測(小④)	27	27	月	市P連理事会引継ぎ	27	27	月	学年末休業開始~3/31
28	金	宿泊学習(高1・2) 届出による休業(高3)	28	月	身体計測(中②)	28	28	水	学校閉庁日	28	28	土		28	28	火	学校給食費口座振替日	28	28	火	バス模擬運行(未)
29	土		29	火	身体計測(中③) 学校給食費口座振替日	29	29	木	休庁 学校給食費口座振替日	29	29	日		29	29	水		29	29	水	学校給食費口座振替日
30	日		30	水		30	30	金	休庁	30	30	月	身体計測(高①) 学校給食費口座振替日	30	30	土		30	30	土	
31	月	学校給食費口座振替日	31	土		31	31	日	休庁	31	31	火	身体計測(高②)	31	31	水		31	31	水	学年末休業終了 春季休業4/1~4/6

10月20日(木)  
不祥事防止研修

授業日数	小20		中20		高20		小17		中17		高16		小16		中16		高16		小18		中18		高17		小17		中17		高17		合計
	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数	給食	授業日数			
	20		20		20		17		17		16		16		16		16		16		18		18		17		17		17	203	
	20		20		20		16		16		16		16		16		16		16		19		19		17		17		17	203	
	20		20		20		17		17		15		15		15		15		15		19		19		11		11		11	188	

## 18 学校沿革

### 《学校設立までの経過》

横浜市は、昭和41年4月に「在宅心身障害児家庭訪問教育制度」を発展させ、在宅児の訪問指導を開始し、さらに、昭和47年4月にその制度の発展的改善を図るために市立中村小学校に「訪問指導学級」を開級し、在宅児の通学指導を行った。

その後、昭和54年度養護学校義務制度化に伴い、訪問学級を「市立上菅田養護学校中村方面分教室」として整備改善されたものが、昭和57年「市立中村養護学校」として独立開校した。同時に、市立日野養護学校の分教室であった、大綱方面分教室を「中村養護学校大綱分校」として位置づけた。大綱分校は、昭和49年から実施していた在宅訪問指導を、昭和54年度の養護学校義務制度化に伴い、それまでの訪問指導学級を発展的に解消し開設された市立日野養護学校大綱方面分教室となったものである。

昭和	57年	4月	1日	横浜市立中村養護学校、同大綱分教室開校式(中村本校にて)
昭和	57年	4月	1日	高橋甲子雄初代校長就任
昭和	57年	4月	5日	中村養護本校入学式
昭和	57年	4月	7日	大綱分教室入学式
昭和	58年	3月	24日	第1回卒業式
昭和	58年	4月	1日	校章制定
昭和	60年	2月	20日	公開研究発表 主題「重度・重複障害児の指導内容の検討と実践」
昭和	60年	3月	1日	校歌制定
昭和	60年	4月	1日	大綱分教室が大綱養護学校として開校
昭和	60年	4月	1日	大出光郷2代校長就任
昭和	62年	4月	1日	西原栄一3代校長就任
平成	元年	4月	1日	鈴木喜代三4代校長就任
平成	3年	4月	1日	島本恭介5代校長就任
平成	3年	8月		増改築工事着工
平成	4年	7月		増改築工事竣工
平成	7年	4月	1日	横川紀美子6代校長就任
平成	9年	4月	1日	高田良子7代校長就任
平成	10年	12月	21日	給食調理室新設
平成	11年	4月	1日	樫淵哲男8代校長就任
平成	11年	4月	7日	上菅田養護学校高等部中村分教室開級・入学式
平成	13年	4月	1日	溝口謙9代校長就任
平成	13年	10月	27日	開校20周年記念式典
平成	17年	4月	1日	松崎紀一10代校長就任
平成	18年	7月	30・31日	平成18年度第42回関東甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究協議会神奈川大会主幹校
平成	18年	9月	29日	レインボーフェスタ☆みなみ開催
平成	19年	4月	1日	横浜市立中村特別支援学校に校名変更
平成	20年	4月	1日	田中宏和11代校長就任
平成	21年	4月		プレハブ校舎増築
平成	21年	12月	15日	林文子横浜市長学校訪問
平成	22年	4月	1日	佐塚丈彦12代校長就任
平成	22年	8月		給湯設備、トイレ・シンク改修工事
平成	23年	4月	1日	中村特別支援学校高等部へ自校化
平成	23年	4月	21日	開校30周年記念全校集会 校歌板完成
平成	23年	10月		中村うんどう基礎プログラム(NMBP)が博報賞特別支援教育部門受章
平成	23年	10月	20・21日	平成23年度第48回関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会神奈川大会事務局校
平成	24年	3月		平成23年度横浜市優秀教育実践校表彰
平成	24年	7月		「特別支援学校 自立活動 わたしたちのうんどう」、「NMBPの理論と実際 自立活動の方程式」出版
平成	24年	8月		「学校に泊まろう！プロジェクトinなかむら」開催、平成24年度第55回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究協議会長野大会にて発表
平成	25年	1月		中村小学校との共有職員玄関及び校名板完成
平成	26年	3月		「やさしい声と小さな笑顔 親子で取り組む・わたしたちのうんどう」出版
平成	26年	4月		中村小学校校舎スロープ完成
平成	26年	4月	1日	福田有志12代校長就任
平成	27年	7月		平成27年度 第51回 関東甲越地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会 PTA・校長会合同研究協議会「神奈川大会」副主管校
平成	28年	4月	1日	吉原勝13代校長就任
平成	28年	6月		港南分教室開級
平成	29年	3月		プラットホーム駐車場拡張
平成	30年	3月		プラットホーム屋根増築
令和	3年	4月	1日	菊本純14代校長就任
令和	3年	4月		開校40周年記念全校集会